

令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
(令和5年度調査)

(2) 介護老人保健施設及び介護医療院におけるサービスの
提供実態等に関する調査研究事業

報 告 書 (案)

介護老人保健施設及び介護医療院におけるサービスの提供実態等に関する
調査研究事業
報告書

■ 目 次 ■

調査検討組織設置要綱

調査概要

第1章	事業実施概要	1
1.	調査の目的	1
2.	事業実施方法	1
第2章	調査結果	4
第1節	回収状況	4
第2節	施設調査の結果	5
1.	施設の基本情報	5
2.	施設の設備	51
3.	職員体制	58
4.	入所者の状況	68
5.	新規入所者・退所者の状況	76
6.	在宅復帰・在宅療養支援等指標（介護老人保健施設）	85
7.	介護医療院に係る届出内容	103
8.	入所者の医療等の必要性、提供内容等	107
9.	口腔衛生管理・栄養管理	182
10.	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った対応の実施状況（介護医療院）	211
11.	短期入所療養介護	217
第3節	短期入所療養介護利用者調査の結果	236
1.	短期入所療養介護利用者の属性	236
2.	入所者への医療の状況	246
第4節	入所者票の結果	263
1.	入所者の基本情報	263
2.	施設の利用状況	271

調査票

結果概要

介護老人保健施設及び介護医療院におけるサービスの提供実態等に関する調査研究事業の調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社は介護老人保健施設及び介護医療院におけるサービスの提供実態等に関する調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護老人保健施設及び介護医療院におけるサービスの提供実態等に関する調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、奈良県立医科大学今村知明教授を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長が必要と認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が行う。
- (2) 調査項目の検討にあたっては、必要に応じ、有識者等からのヒヤリングを実施する。
- (3) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

介護老人保健施設及び介護医療院におけるサービスの提供実態等に関する調査研究事業の調査検討組織 委員等

委員長	今村 知明（奈良県立医科大学 教授）
副委員長	木下 彩栄（京都大学大学院医学研究科 教授）
委員	江澤 和彦（公益社団法人日本医師会 常任理事）
委員	鈴木 龍太（日本介護医療院協会 会長／ 一般社団法人日本慢性期医療協会 常任理事）
委員	田中 志子（公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長）

（敬称略、50音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室長 福田 亮介
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 高齢者薬事サービス調整官 伊藤 竜太
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 佐野 隆一郎
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 老人保健施設係 月井 直哉

介護老人保健施設及び介護医療院におけるサービスの提供実態等に関する 調査研究事業

1. 調査目的

令和3年度介護報酬改定では、介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能の評価の充実を行ったところであり、審議報告においては、これらの取組状況を把握した上で、在宅復帰・在宅療養支援機能の促進に向け、更なる検討を行うことが求められている。

また、介護医療院については、サービス提供の実態を把握した上で、円滑な移行の促進と介護保険財政に与える影響の両面から、どのような対応を図ることが適当なのかを検討すべきとされている。

本調査は、介護老人保健施設及び介護医療院の基本情報、施設サービスの実施状況、介護報酬の算定状況、利用者の状態・入退所先等の実態を調査する。その上で、令和3年度介護報酬改定における見直しによる影響の分析等を通じ、令和6年度診療・介護報酬改定に向けた検討に資する基礎資料を作成することを目的とする。

2. 調査客体

- ・ 介護老人保健施設 無作為抽出（1,500施設）
- ・ 介護医療院 悉皆（約760施設）
- ・ 上記施設の入所者（10分の1程度の無作為抽出）
- ・ 上記施設の短期入所療養介護の利用者（抽出）

3. 主な調査項目

【施設票】

- ・ 施設の基本情報、施設サービスの実施状況
- ・ 協力病院の実態、協力病院との連携の状況等
- ・ 入所者の状況、医療等の提供状況
- ・ 口腔衛生管理・栄養管理の状況
- ・ 利用者の入退所先 等

【入所者票】

- ・ 入所者の基本情報、住まいの状況
- ・ 人生最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った対応について（介護医療院のみ） 等

【短期入所療養介護利用者票】

- ・ 利用者の基本情報
- ・ 利用者の有する疾患、医療等の提供状況 等

第1章 事業実施概要

1. 調査の目的

令和3年度介護報酬改定では、介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能の評価の充実を行ったところであり、審議報告においては、これらの取組状況を把握した上で、在宅復帰・在宅療養支援機能の促進に向け、更なる検討を行うことが求められている。

また、介護医療院については、サービス提供の実態を把握した上で、円滑な移行の促進と介護保険財政に与える影響の両面から、どのような対応を図ることが適当なのかを検討すべきとされている。

本調査は、介護老人保健施設及び介護医療院の基本情報、施設サービスの実施状況、介護報酬の算定状況、利用者の状態・入退所先等の実態を調査する。その上で、令和3年度介護報酬改定における見直しによる影響の分析等を通じ、令和6年度診療・介護報酬改定に向けた検討に資する基礎資料を作成することを目的とした。

2. 事業実施方法

(1) 調査検討組織の設置と開催状況

介護老人保健施設の在宅復帰・在宅療養支援機能の促進にむけた検討および介護医療院については、サービス提供の実態を把握した上で、円滑な移行の促進と介護保険財政に与える影響についての調査研究事業を実施するに当たり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり、「介護老人保健施設及び介護医療院におけるサービスの提供実態等に関する調査研究事業の調査検討組織」（以下、「調査検討組織」という。）を設置した。

調査検討組織の運営は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングが行った。

① 構成委員

○委員長

今村 知明（奈良県立医科大学 教授）

○副委員長

木下 彩栄（京都大学大学院 医学研究科 教授）

○委員（五十音順、敬称略）

江澤 和彦（公益社団法人日本医師会 常任理事）

鈴木 龍太（日本介護医療院協会 会長）

田中 志子（公益社団法人全国老人保健施設協会 副会長）

○オブザーバー

厚生労働省 老健局 老人保健課

介護保険データ分析室長 福田 亮介

高齢者薬事サービス調整官 伊藤 竜太

課長補佐 佐野 隆一郎

老人保健施設係 月井 直哉

② 開催状況

<第1回>

○日時：令和5年6月12日（月） 10時00分～12時00分

○場所：WEB会議

（議題）

- ・事業の概要について
- ・調査票案について

<第2回>

○日時：令和5年9月6日（水） 18時00分～20時00分

○場所：WEB会議

（議題）

- ・調査結果概要（速報値）案について

<第3回>

○日時：令和6年2月1日（木） 13時00分～14時30分

○場所：WEB会議

（議題）

- ・結果概要（案）・報告書（案）について

(2) 調査実施概要

① 調査対象

1) 介護老人保健施設

【施設調査】

全国の介護老人保健施設（療養型介護老人保健施設を除く）のうち1,500施設を無作為抽出。ただし、被災地の事業所を除いた。

【入所者票】

上記、介護老人保健施設に令和5年6月30日の入所者で、誕生日が「4日」「14日」「24日」の人全員を調査の対象とした。

【短期入所療養介護利用者調査】

上記、介護老人保健施設の利用者のうち、「急性疾患に対する医療的処置を行った人（令和4年7月～令和5年6月の1年間）」「総合医学管理加算の算定者（令和3年4月～令和5年6月）」に該当する利用者全員を調査の対象とした。

2) 介護医療院

【施設調査】

全国の介護医療院全数

ただし、被災地の事業所を除いた。

【入所者票】

上記、介護医療院に令和5年6月30日の入所者で、誕生日が「4日」「14日」「24

日」の人全員を調査の対象とした。

【短期入所療養介護利用者調査】

上記、介護医療院の利用者のうち、「急性疾患に対する医療的処置を行った人（令和4年7月～令和5年6月の1年間）」に該当する利用者全員を調査対象とした。

② 調査実施方法

郵送配布、郵送回収

③ 調査期間

令和5年7月4日～令和5年7月24日

ただし、回収状況を勘案し、回収期間を延長し、郵送は9月5日、WEBは8月30日回収分までを有効票として取り扱った。

④ 主な調査項目

（介護老人保健施設票）

- ・施設基本情報、設備、職員体制、入所者数
- ・2023年4月～6月の新規入所者数、退所者数
- ・在宅復帰・在宅療養支援等の指標
- ・入所者の医療等の必要性、提供内容等
- ・入所者の口腔衛生管理・栄養管理
- ・短期入所療養介護について

（介護医療院票）

- ・施設基本情報、設備、職員体制、入所者数
- ・2023年4月～6月の新規入所者数、退所者数
- ・介護医療院に係る届出内容
- ・入所者の医療等の必要性、提供内容等
- ・入所者の口腔衛生管理・栄養管理
- ・人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った対応の実施状況
- ・短期入所療養介護について

（入所者票）

- ・入所者基本情報
- ・入所・入院前の居場所
- ・施設の利用状況
- ・人生最終段階における医療・ケアについて（介護医療院のみ）

（短期入所療養介護利用者票）

- ・短期入所療養介護利用者の基本情報
- ・短期入所療養介護利用中の検査の状況
- ・短期入所療養介護利用中に実施した医療処置

第2章 調査結果

第1節 回収状況

介護老人保健施設への調査のうち施設票の回収数は535件、回収率35.7%、入所者票の回収数は430件、回収率28.7%、短期入所療養介護利用者票の回収数は205件であった。

介護医療院への調査のうち施設票の回収数は315件、回収率41.3%、入所者票の回収数は247件、回収率32.4%、短期入所療養介護利用者票の回収数は38件であった。

図表 2-1-1 回収状況

調査票名	母集団	発出数	回収数 ※1	回収率	有効 回収数	有効 回収率
介護老人保健 施設票	4,212	1,500	535 (217)	35.7%	527	35.1%
入所者票※2	※3	1,500	430	28.7%	416 (4,206人)	27.7%
短期入所療養 介護利用者票	※3	※3	205	※3	197	※3
介護医療院票	764	763	315 (137)	41.3%	308	40.4%
入所者票※2	※3	763	247	32.4%	237 (1,581人)	31.1%
短期入所療養 介護利用者票	※3	※3	38	※3	18	※3

※1 ()内は WEB 調査の回収数。回収数全体に対する WEB での回収割合は、介護老人保健施設は40.6%、介護医療院は43.5%であった。

※2 施設ごとに各1枚の調査票に複数の入所者に関して記入する形式の調査票であった。

※3 対象者数が特定できないため空欄とした。

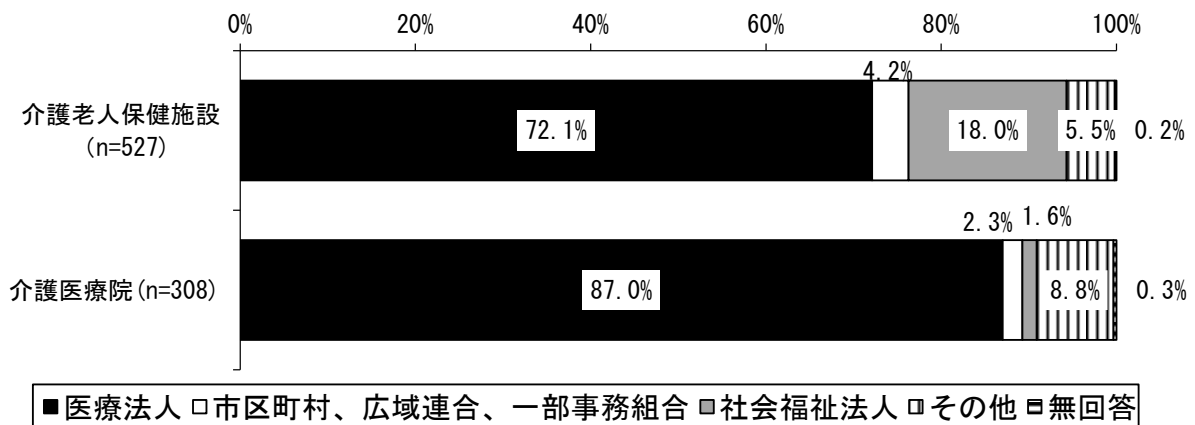
第2節 施設調査の結果

1. 施設の基本情報

(1) 運営主体

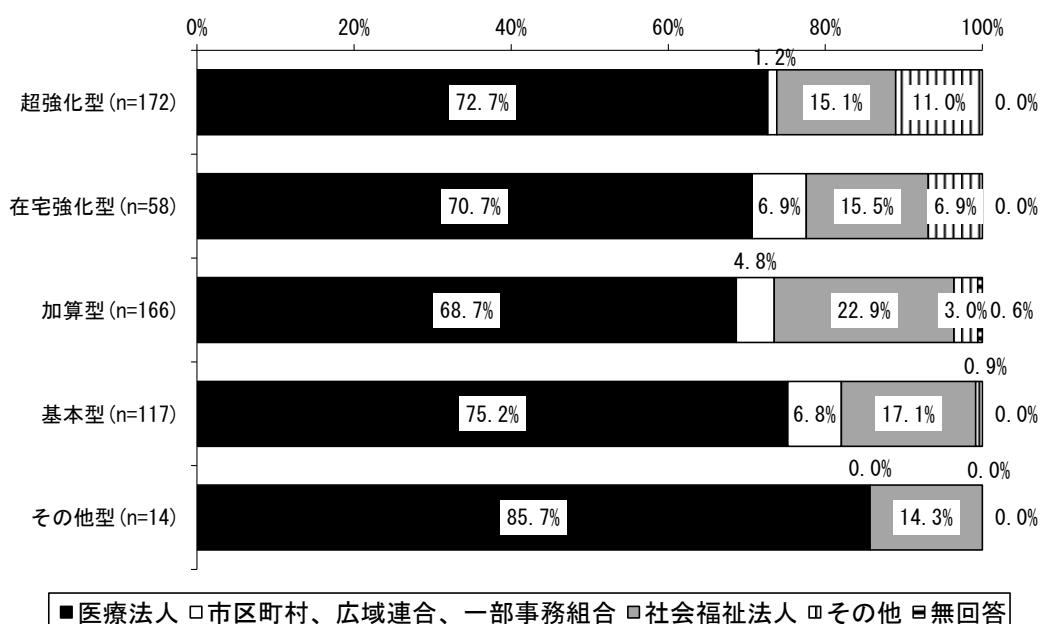
介護老人保健施設の運営主体は「医療法人」が72.1%、「社会福祉法人」が18.0%であった。介護医療院の運営主体は「医療法人」が87.0%であった。

図表 2-2-1 運営主体（介護老人保健施設票：問1／介護医療院票：問1）



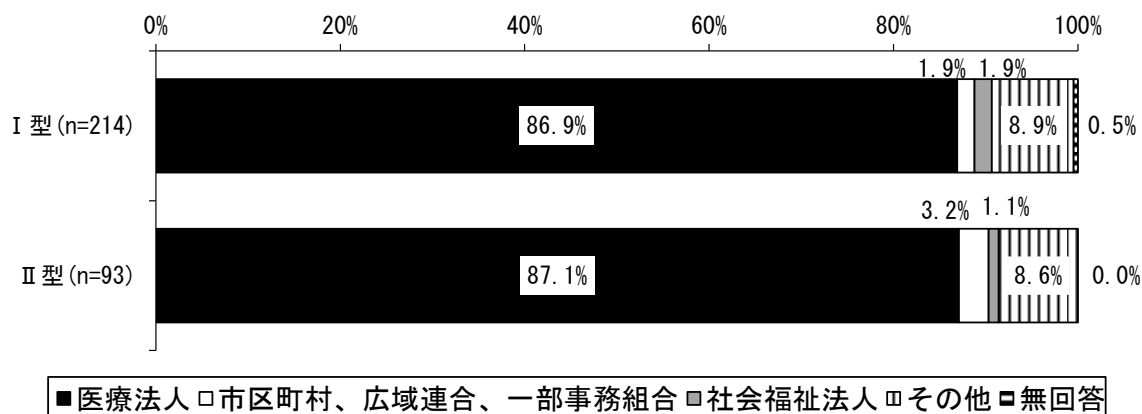
介護老人保健施設は、超強化型では「医療法人」が72.7%、「社会福祉法人」が15.1%であった。在宅強化型では「医療法人」が70.7%、「社会福祉法人」が15.5%であった。加算型では「医療法人」が68.7%、「社会福祉法人」が22.9%であった。基本型では「医療法人」が75.2%、「社会福祉法人」が17.1%であった。

図表 2-2-2 運営主体（介護老人保健施設 施設類型別）（問1）



介護医療院は、Ⅰ型では「医療法人」が86.9%、「市区町村、広域連合、一部事務組合」「社会福祉法人」がいずれも1.9%であった。Ⅱ型では「医療法人」が87.1%、「市区町村、広域連合、一部事務組合」が3.2%、「社会福祉法人」が1.1%であった。

図表 2-2-3 運営主体（介護医療院 類型別）（問 1）

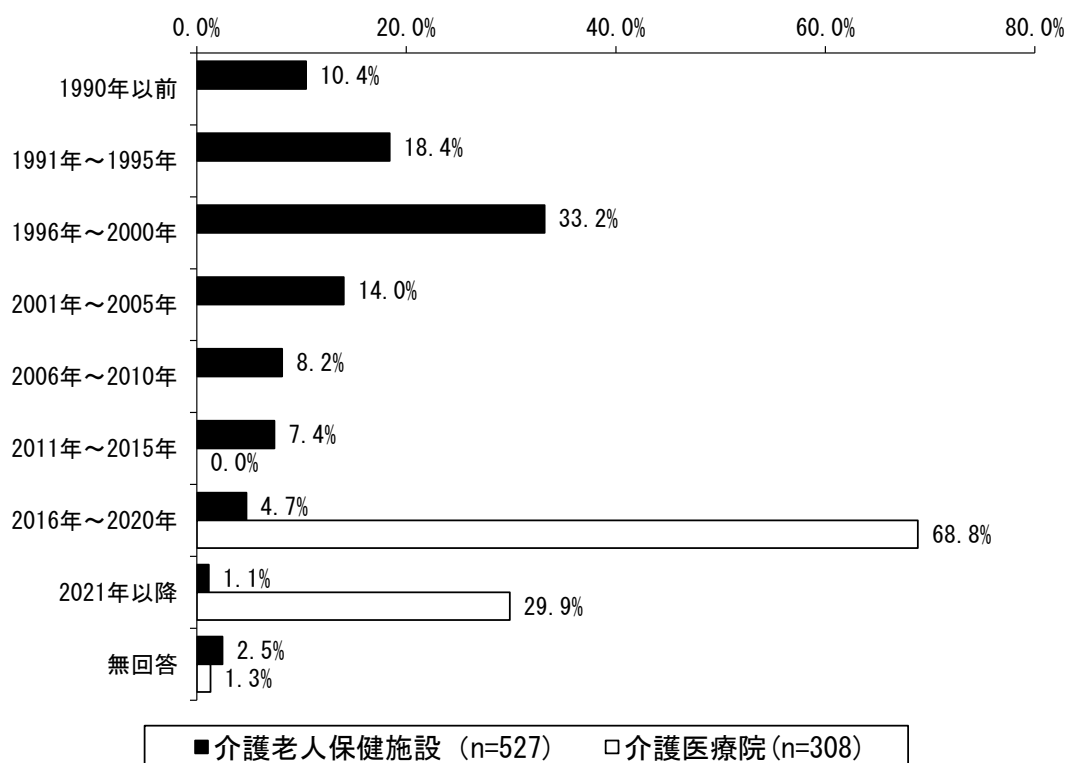


※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

(2) 開設年

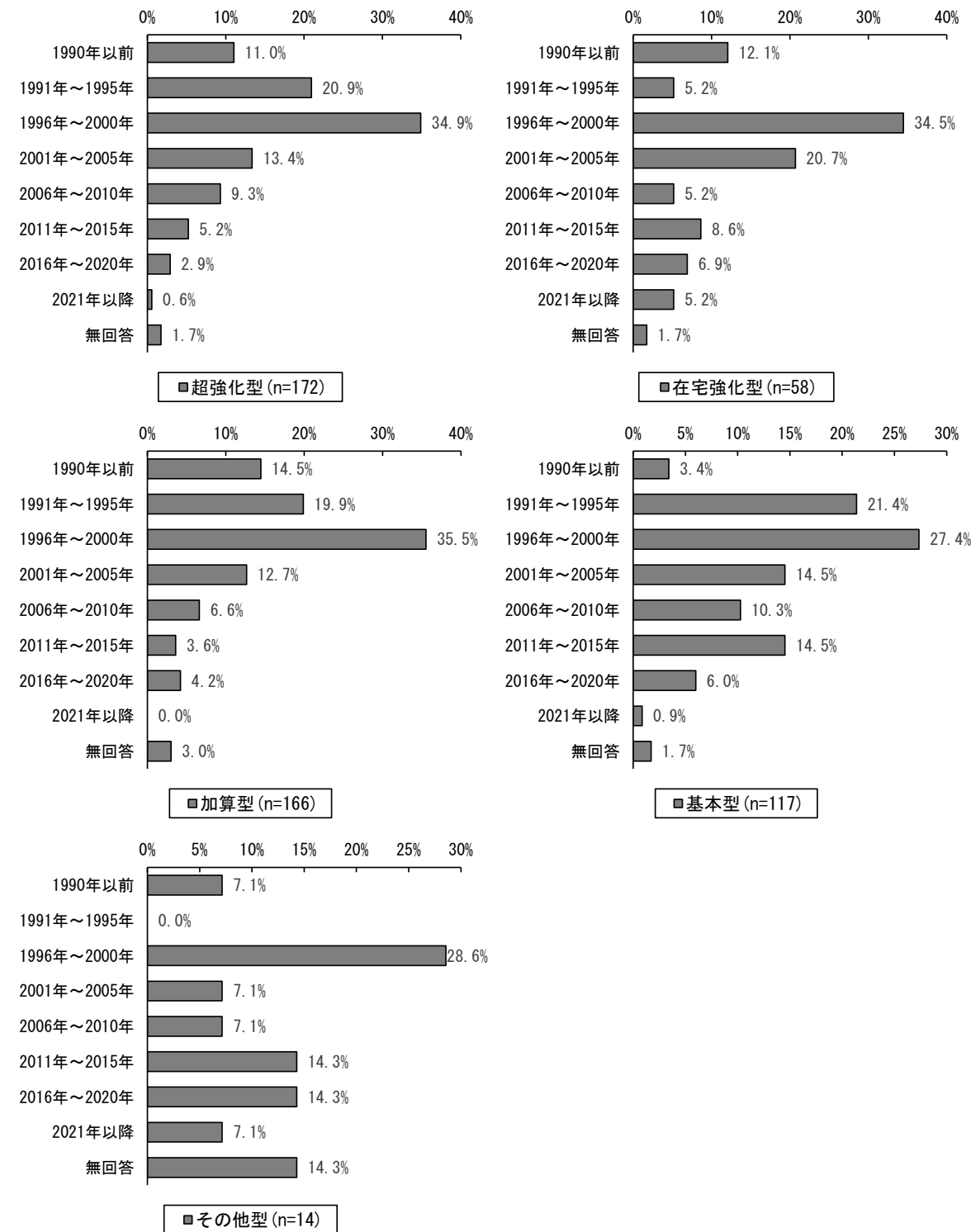
介護老人保健施設の開設年は「1996年～2000年」が33.2%、「1991年～1995年」が18.4%であった。介護医療院の開設年は「2016年～2020年」が68.8%、「2021年以降」が29.9%であった。

図表 2-2-4 開設年（介護老人保健施設票：問 2／介護医療院票：問 2）



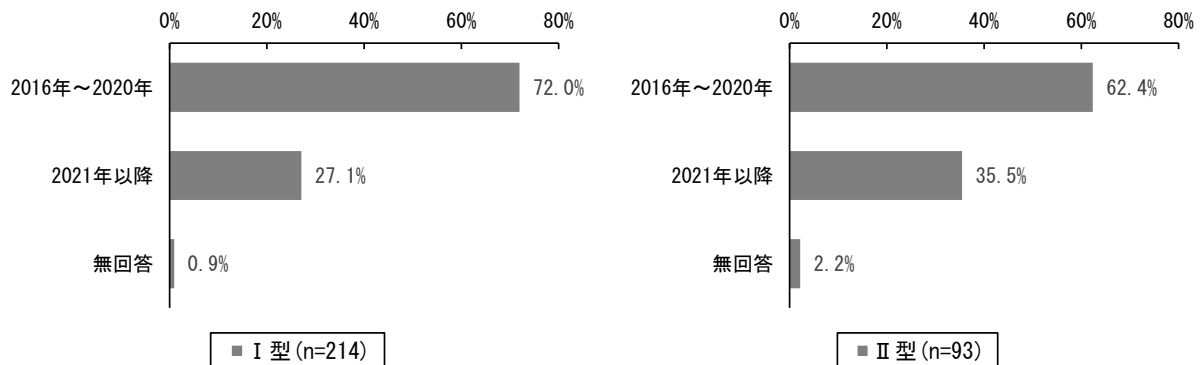
介護老人保健施設は、超強化型では「1996年～2000年」が34.9%、「1991年～1995年」が20.9%であった。在宅強化型では「1996年～2000年」が34.5%、「2001年～2005年」が20.7%であった。加算型では「1996年～2000年」が35.5%、「1991年～1995年」が19.9%であった。基本型では「1996年～2000年」が27.4%、「1991年～1995年」が21.4%であった。

図表 2-2-5 開設年（介護老人保健施設 施設類型別）（問 2）



介護医療院は、Ⅰ型では「2016年～2020年」が72.0%、「2021年以降」が27.1%であった。Ⅱ型では「2016年～2020年」が62.4%、「2021年以降」が35.5%であった。

図表 2-2-6 開設年（介護医療院 類型別）（問 2）



※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

(3) 入所定員

介護老人保健施設の入所定員は平均 89.1 人、介護医療院の入所定員は平均 54.6 人であった。

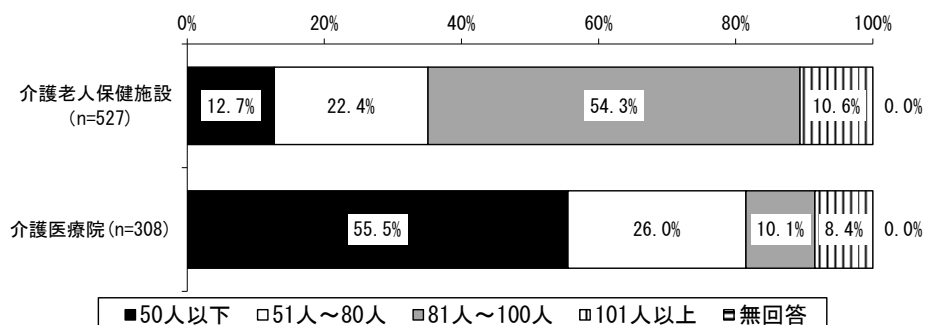
図表 2-2-7 入所定員（介護老人保健施設票：問 3／介護医療院票：問 3）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	527	89.1	28.0	100.0
超強化型	172	91.9	25.8	100.0
在宅強化型	58	92.4	26.5	100.0
加算型	166	91.3	27.1	100.0
基本型	117	81.8	31.3	90.0
その他型	14	75.1	28.2	80.0
介護医療院	308	54.6	45.1	48.0
Ⅰ型	214	56.5	39.2	48.0
Ⅱ型	93	49.7	56.4	46.0

※介護医療院の類型別はⅠ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

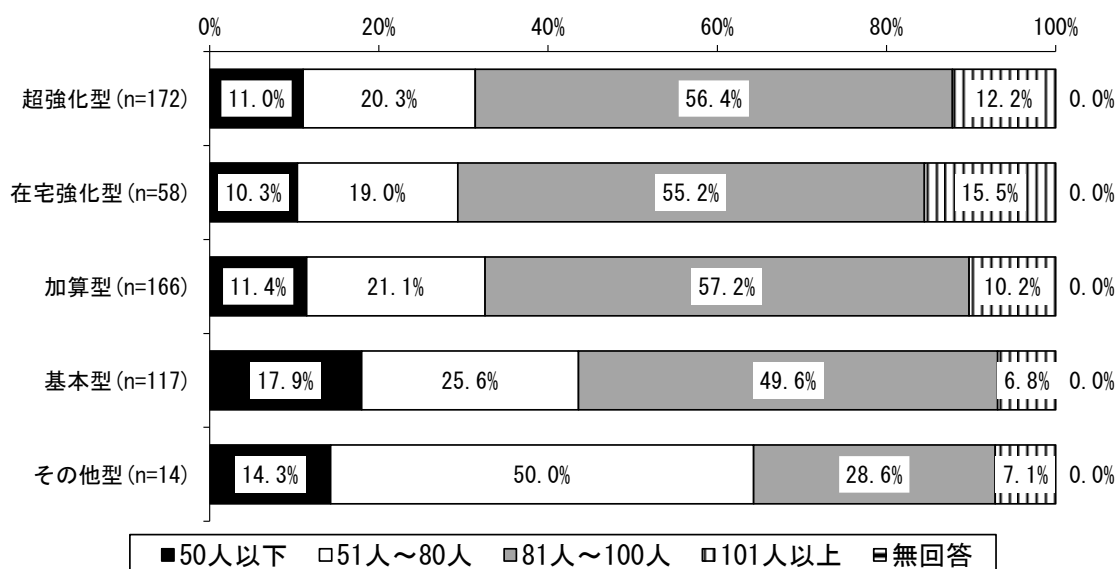
介護老人保健施設の入所定員は「81人～100人」が54.3%、「51人～80人」が22.4%であった。介護医療院の入所定員は「50人以下」が55.5%、「51人～80人」が26.0%であった。

図表 2-2-8 入所定員（介護老人保健施設票：問 3／介護医療院票：問 3）



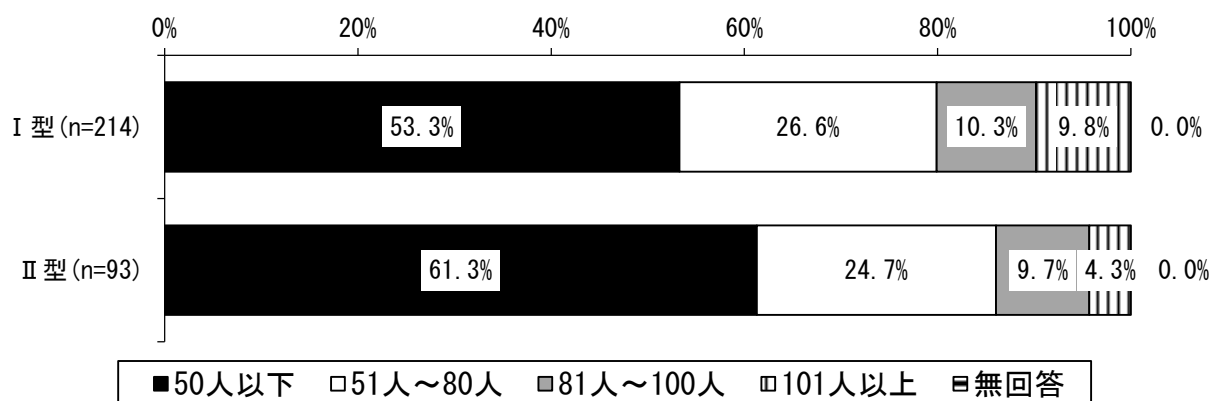
介護老人保健施設は、超強化型では「81人～100人」が56.4%、「51人～80人」が20.3%であった。在宅強化型では「81人～100人」が55.2%、「51人～80人」が19.0%であった。加算型では「81人～100人」が57.2%、「51人～80人」が21.1%であった。基本型では「81人～100人」が49.6%、「51人～80人」が25.6%であった。

図表 2-2-9 入所定員（介護老人保健施設 施設類型別）（問3）



介護医療院は、I型では「50人以下」が53.3%、「51人～80人」が26.6%であった。II型では「50人以下」が61.3%、「51人～80人」が24.7%であった。

図表 2-2-10 入所定員（介護医療院 類型別）（問3）

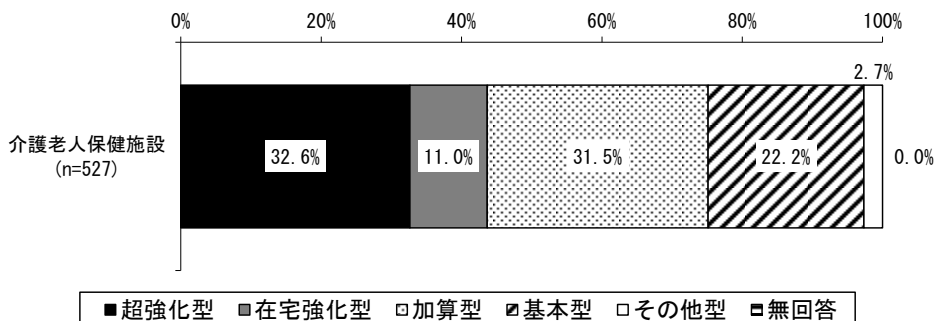


※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(4) 類型

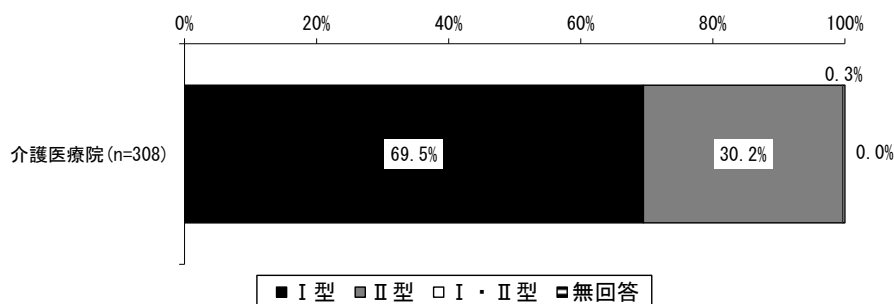
介護老人保健施設の介護報酬上の届出は、超強化型が 32.6%、在宅強化型が 11.0%、加算型が 31.5%、基本型が 22.2%、その他型が 2.7%であった。

図表 2-2-11 介護老人保健施設の介護報酬上の届出（問 4）



介護医療院の類型は、I 型が 69.5%、II 型が 30.2%、I・II 型が 0.3%であった。

図表 2-2-12 介護医療院の類型（問 4）

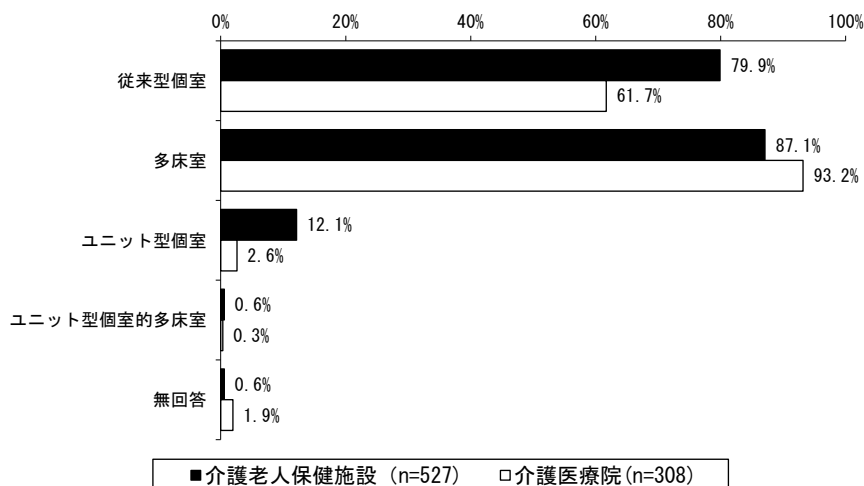


(5) 居室区分

介護老人保健施設での居室区分は「多床室」が 87.1%、「従来型個室」が 79.9%であった。介護医療院では「多床室」が 93.2%、「従来型個室」が 61.7%であった。

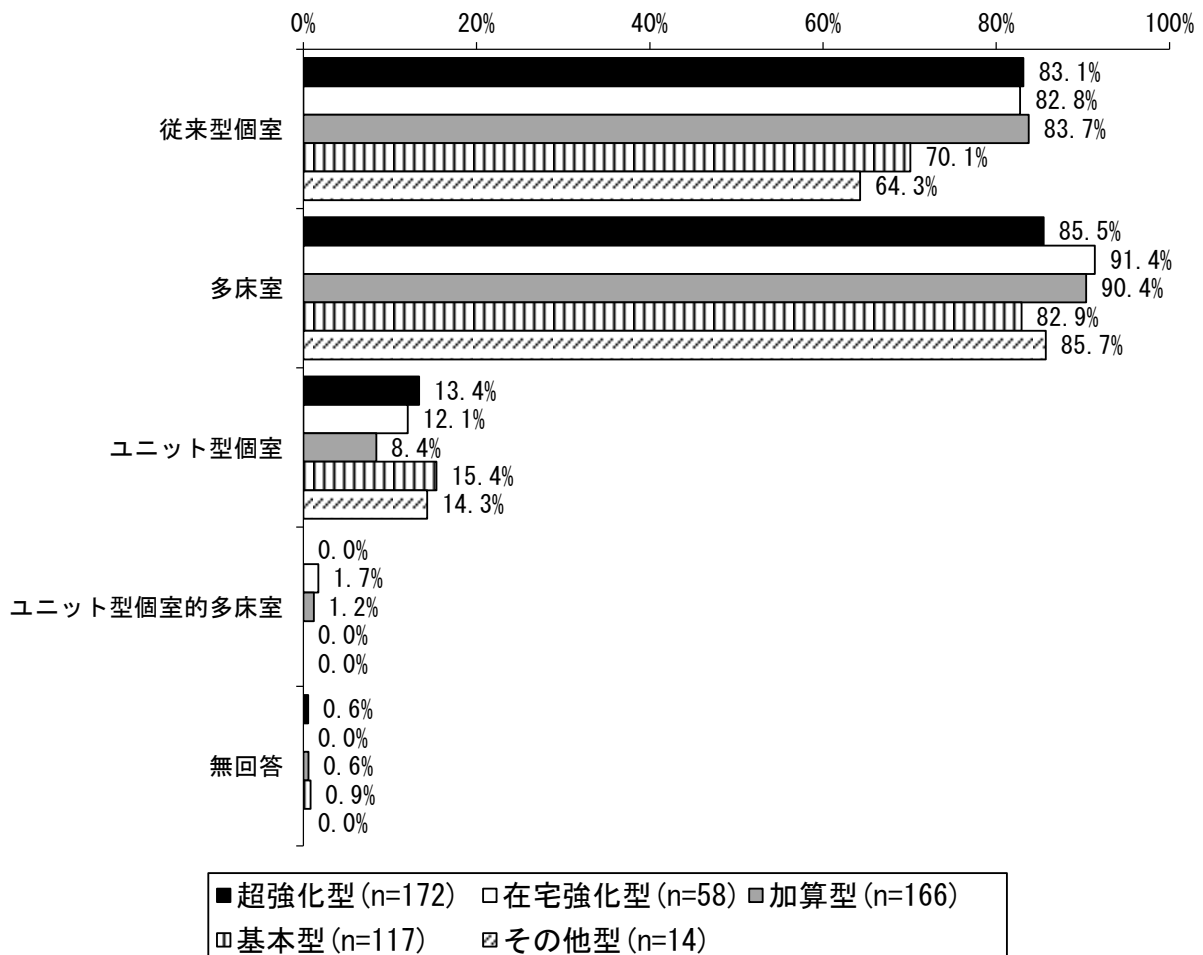
図表 2-2-13 居室区分（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 5／介護医療院票：問 5）



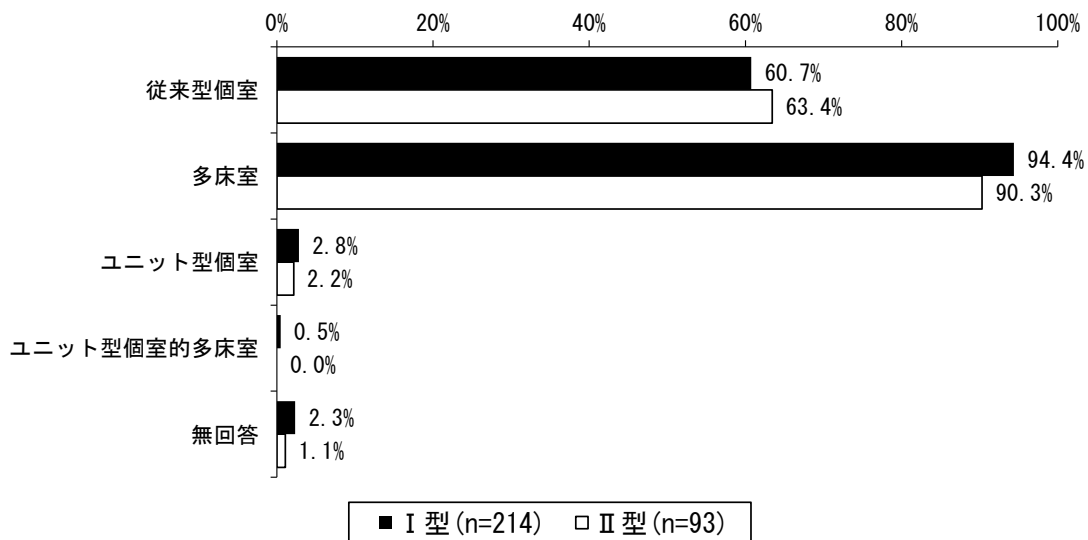
介護老人保健施設は、超強化型では「多床室」が85.5%、「従来型個室」が83.1%であった。在宅強化型では「多床室」が91.4%、「従来型個室」が82.8%であった。加算型では「多床室」が90.4%、「従来型個室」が83.7%であった。基本型では「多床室」が82.9%、「従来型個室」が70.1%であった。

図表 2-2-14 居室区分（介護老人保健施設 施設類型別）（複数回答）（問 5）



介護医療院は、I型では「多床室」が94.4%、「従来型個室」が60.7%であった。II型では「多床室」が90.3%、「従来型個室」が63.4%であった。

図表 2-2-15 居室区分（介護医療院 類型別）（複数回答）（問 5）



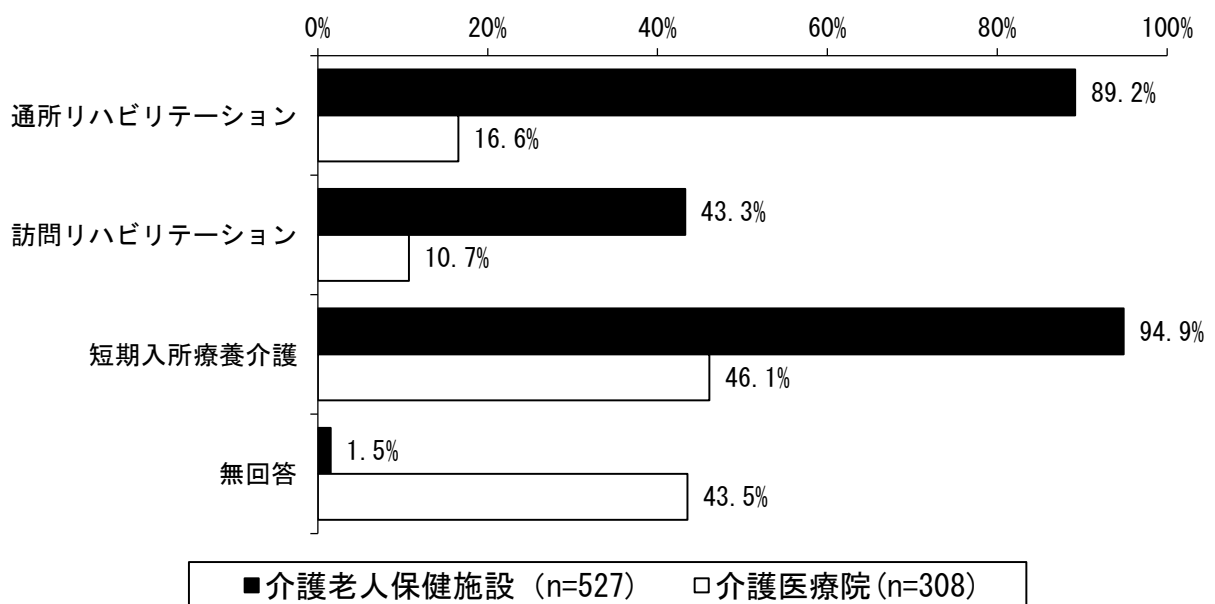
※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(6) 実施している居宅サービス

介護老人保健施設が実施している居宅サービスは、「短期入所療養介護」が94.9%、「通所リハビリテーション」が89.2%であった。介護医療院では「短期入所療養介護」が46.1%、「通所リハビリテーション」が16.6%であった。

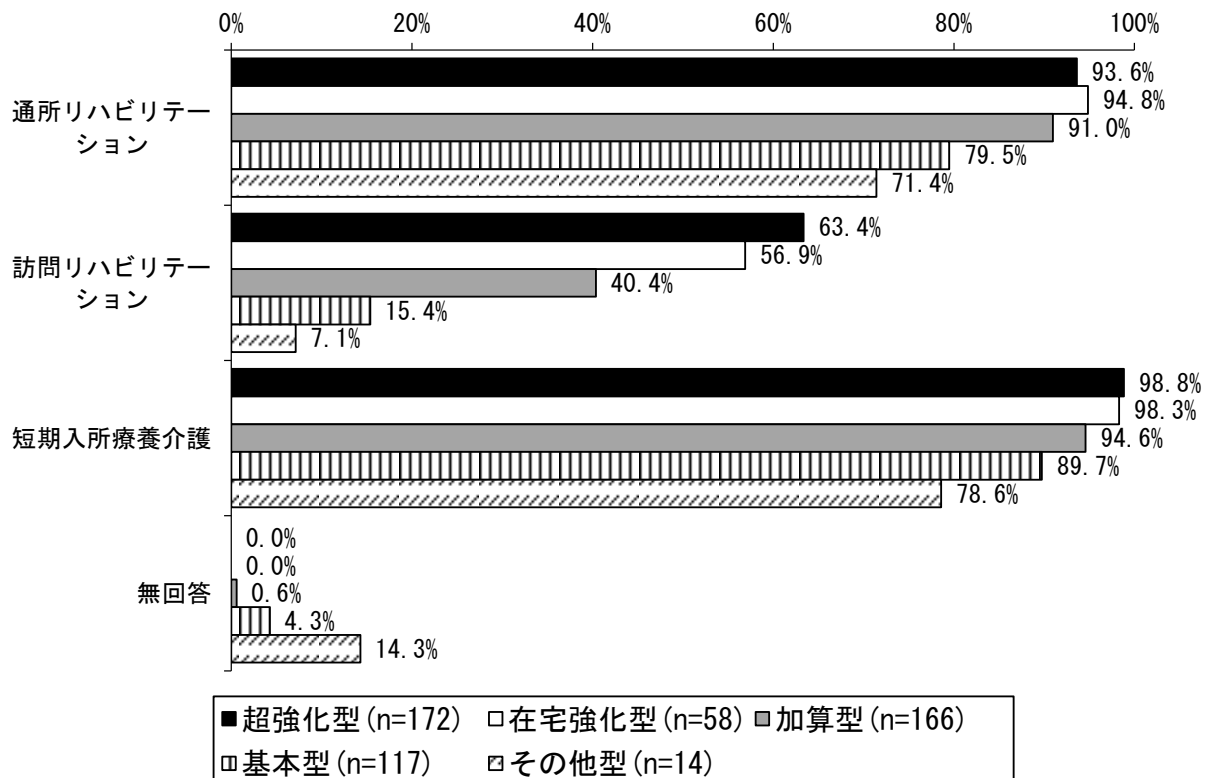
図表 2-2-16 実施している居宅サービス（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 6／介護医療院票：問 6）



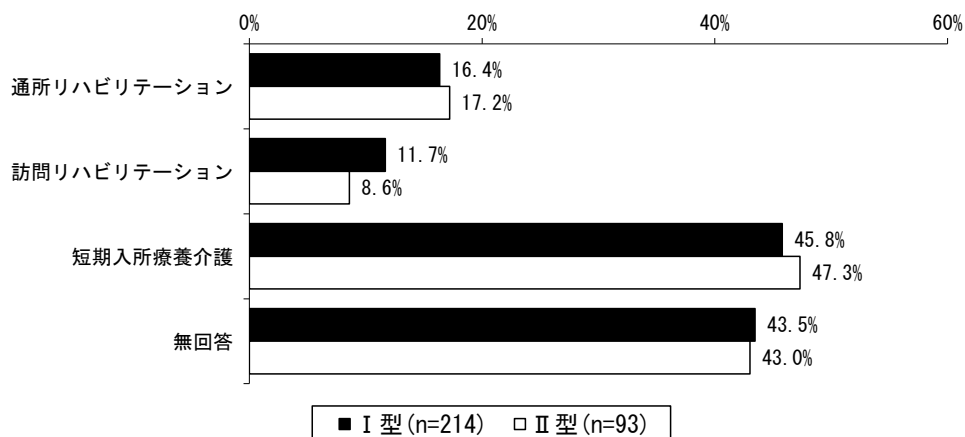
介護老人保健施設では、短期入所療養介護を超強化型の 98.8%、在宅強化型の 98.3%、加算型の 94.6%、基本型の 89.7%が実施していた。通所リハビリテーションを超強化型の 93.6%、在宅強化型の 94.8%、加算型の 91.0%、基本型の 79.5%が実施していた。

図表 2-2-17 実施している居宅サービス（介護老人保健施設 施設類型別）（複数回答）
（問 6）



介護医療院では、短期入所療養介護を I 型の 45.8%、II 型の 47.3%が実施していた。通所リハビリテーションを I 型の 16.4%、II 型の 17.2%が実施していた。

図表 2-2-18 実施している居宅サービス（介護医療院 類型別）（複数回答）（問 6）

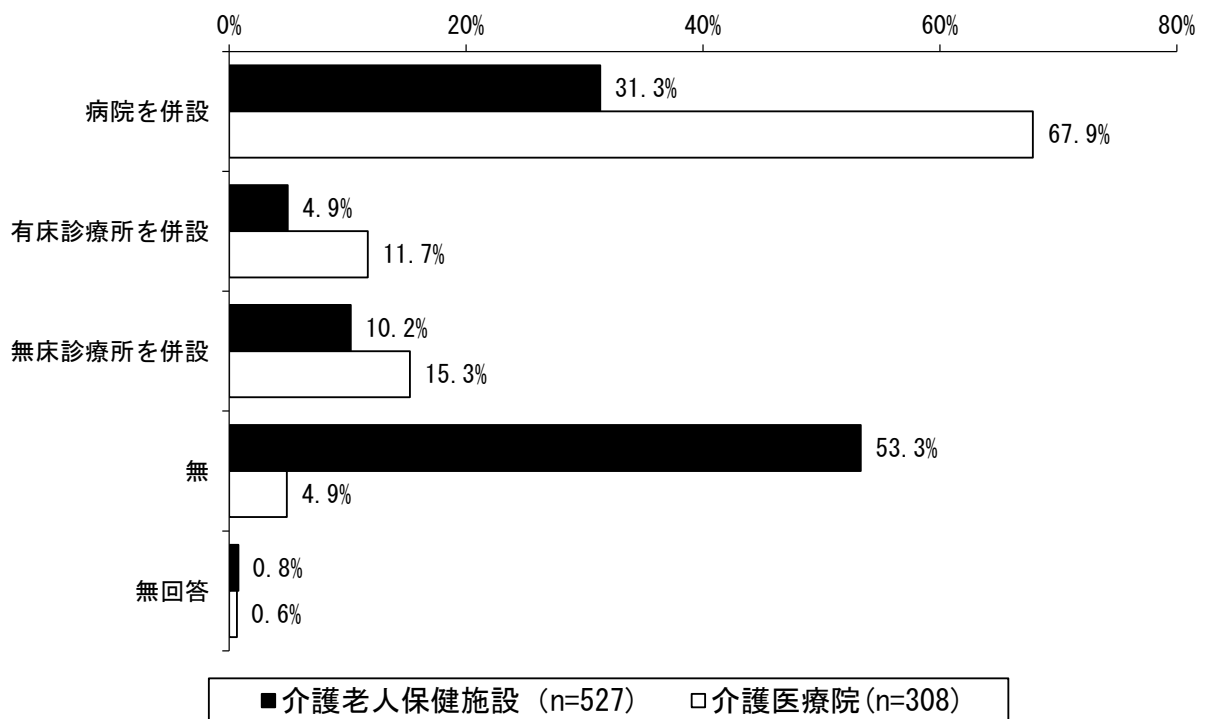


※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(7) 併設医療機関

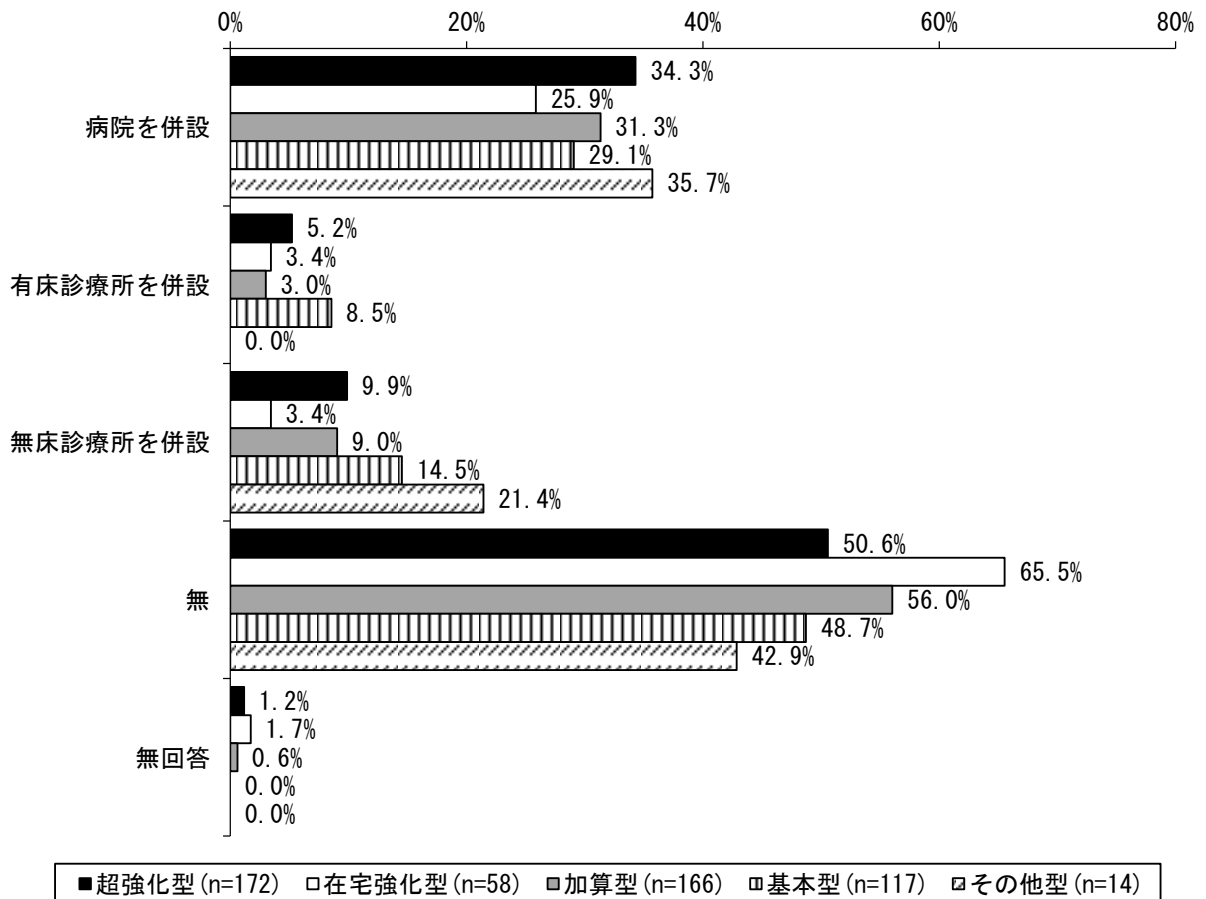
併設医療機関として「病院を併設」は介護老人保健施設では 31.3%、介護医療院では 67.9%であった。併設医療機関「無」は介護老人保健施設では 53.3%、介護医療院では 4.9%であった。

図表 2-2-19 併設医療機関（複数回答）
（介護老人保健施設票：問 7 / 介護医療院票：問 7）



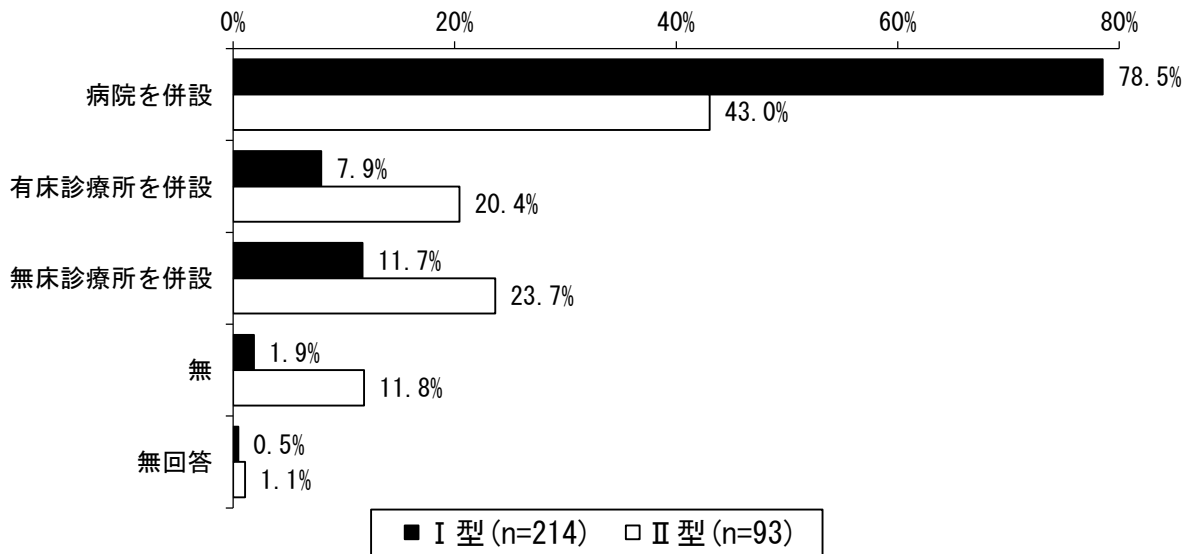
介護老人保健施設では併設医療機関として「病院を併設」は超強化型では 34.3%、在宅強化型では 25.9%、加算型では 31.3%、基本型では 29.1%であった。併設医療機関「無」は、超強化型では 50.6%、在宅強化型では 65.5%、加算型では 56.0%、基本型では 48.7%であった。

図表 2-2-20 併設医療機関（介護老人保健施設 施設類型別）（複数回答）（問 7）



介護医療院では併設医療機関として「病院を併設」は、I型では78.5%、II型では43.0%であった。「無床診療所を併設」がI型では11.7%、II型では23.7%であった。

図表 2-2-21 併設医療機関（介護医療院 類型別）（複数回答）（問 7）

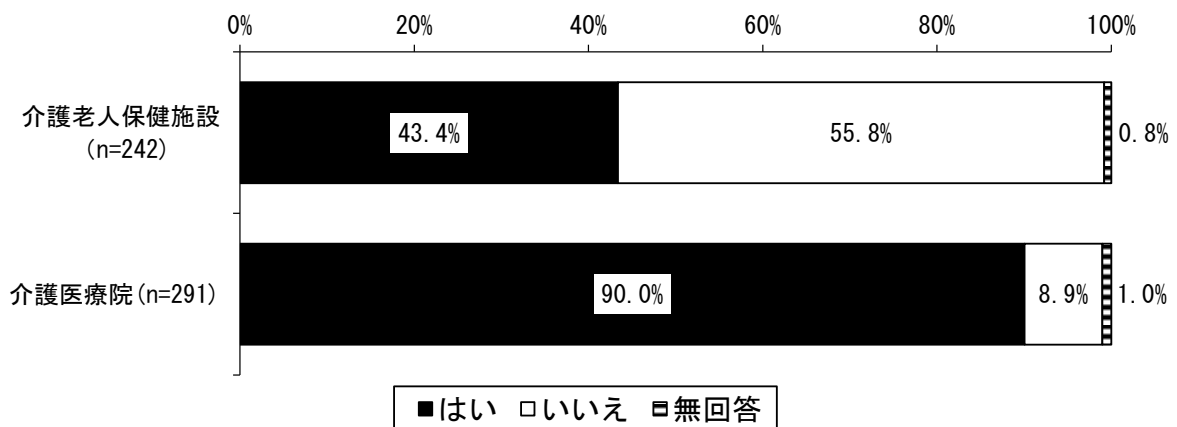


※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(8) 施設の管理者の医師が併設病院・診療所の管理者である状況

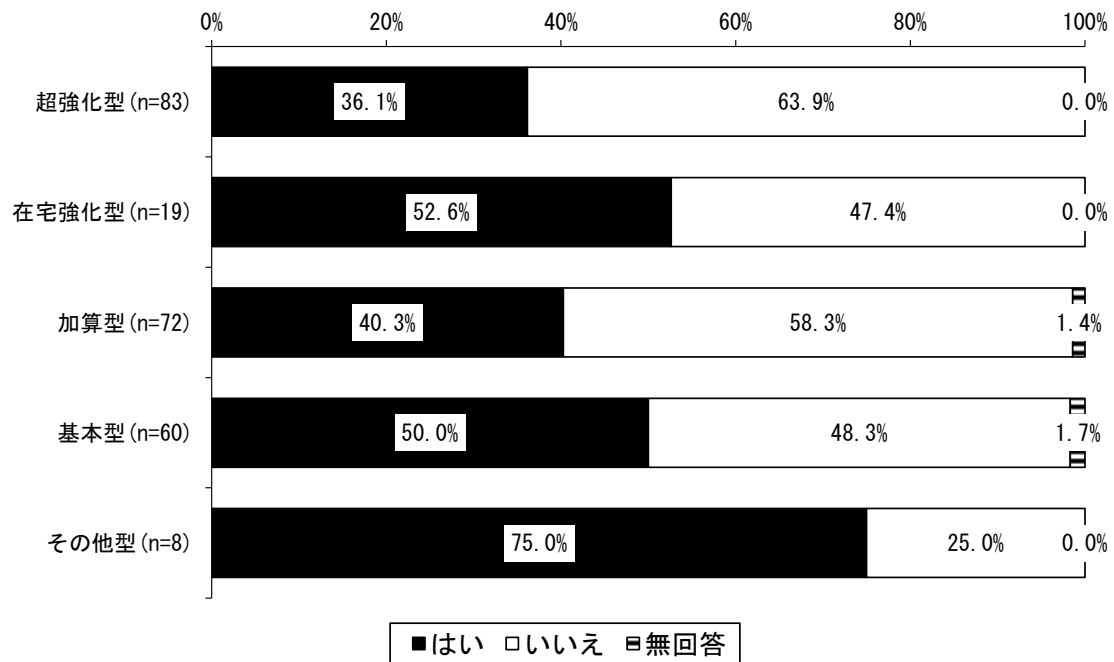
併設医療機関がある施設において、施設の管理者の医師が併設病院・診療所の管理者であるのは、介護老人保健施設の43.4%、介護医療院の90.0%であった。

図表 2-2-22 施設の管理者の医師が併設病院・診療所の管理者である施設
（介護老人保健施設票：問 7 / 介護医療院票：問 7）



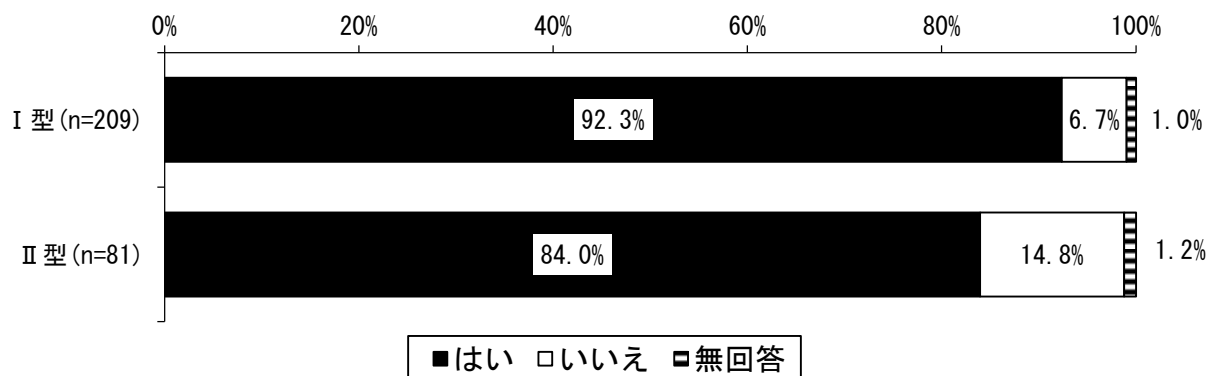
併設医療機関がある介護老人保健施設において、施設の管理者の医師が併設病院・診療所の管理者であるのは、超強化型では 36.1%、在宅強化型では 52.6%、加算型では 40.3%、基本型では 50.0%であった。

図表 2-2-23 施設の管理者の医師が併設病院・診療所の管理者である施設
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 7)



併設医療機関がある介護医療院において、施設の管理者の医師が併設病院・診療所の管理者であるのは、I型では 92.3%、II型では 84.0%であった。

図表 2-2-24 施設の管理者の医師が併設病院・診療所の管理者である施設
(介護医療院 類型別) (問 7)



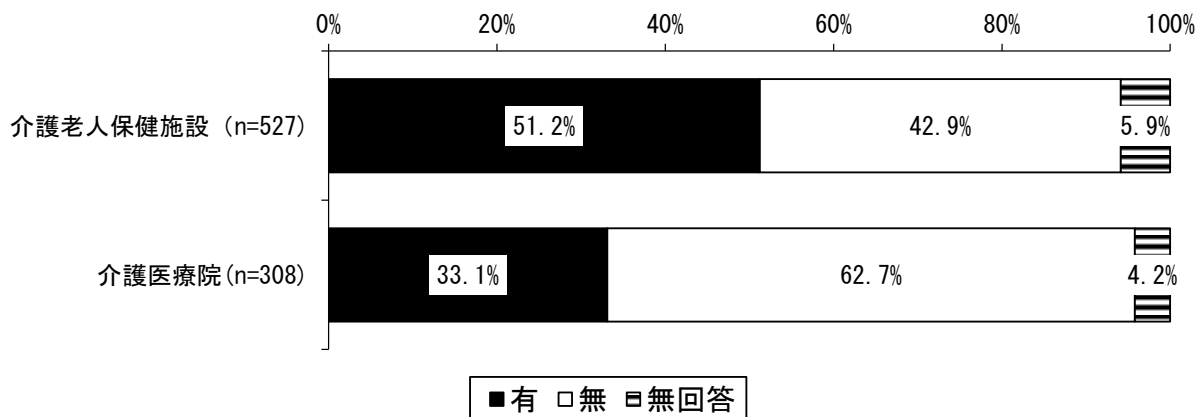
※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(9) 併設医療機関以外の同一法人・関連法人の病院の有無

併設医療機関以外の同一法人・関連法人の病院が「有」は、介護老人保健施設の 51.2%、介護医療院の 33.1%であった。

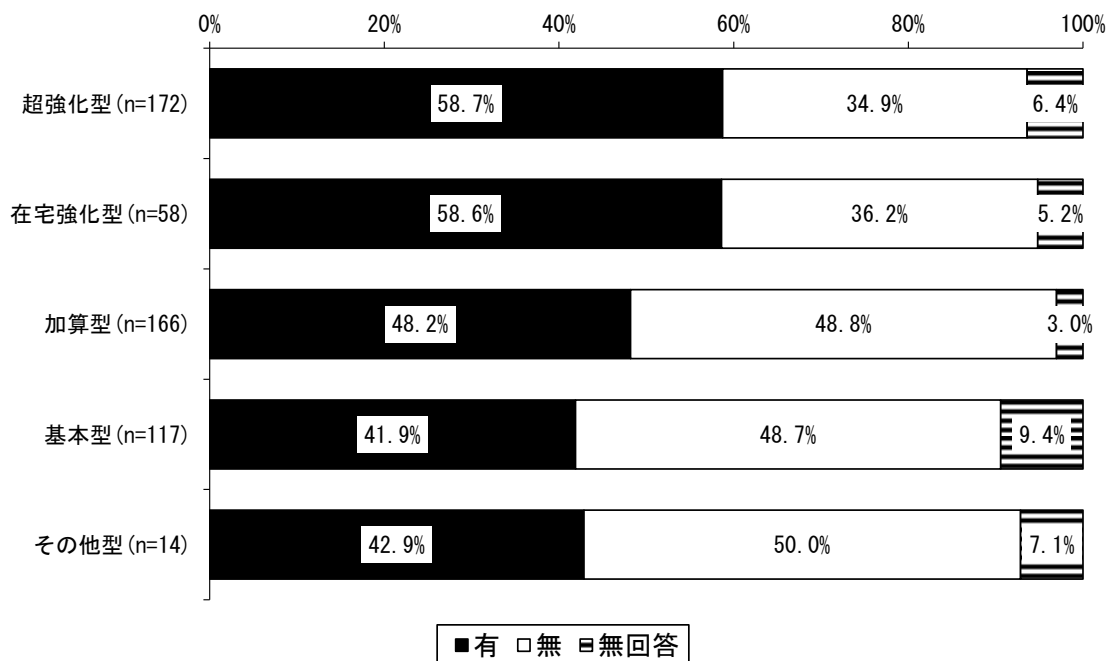
図表 2-2-25 併設医療機関以外の同一法人・関連法人の病院の有無

(介護老人保健施設票：問 8/介護医療院票：問 8)



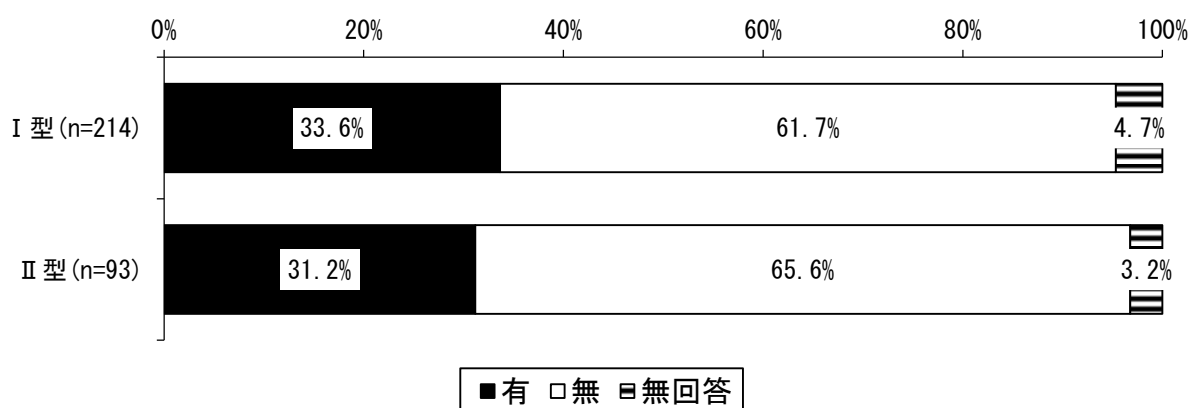
介護老人保健施設で併設医療機関以外の同一法人・関連法人の病院が「有」は、超強化型の 58.7%、在宅強化型の 58.6%、加算型の 48.2%、基本型の 41.9%であった。

図表 2-2-26 同一法人・関連法人の病院の有無（介護老人保健施設 施設類型別）（問 8）



介護医療院で併設医療機関以外の同一法人・関連法人の病院が「有」は、I型の33.6%、II型の31.2%であった。

図表 2-2-27 同一法人・関連法人の病院の有無（介護医療院 類型別）（問 8）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(10) 協力病院

① 協力病院数

協力病院数の平均は、介護老人保健施設で1.9か所、介護医療院で1.4か所であった。

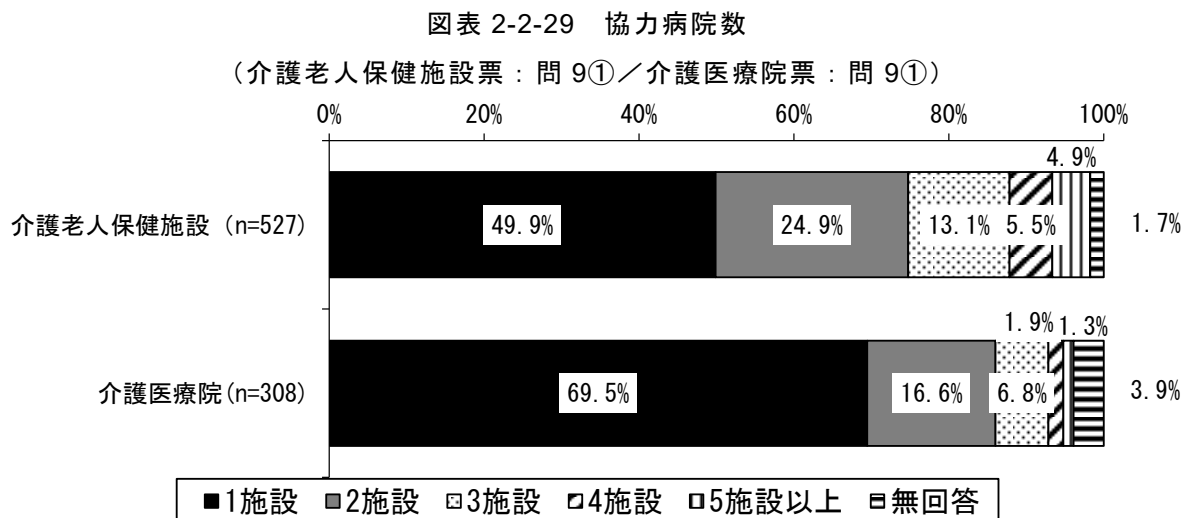
図表 2-2-28 協力病院数

（介護老人保健施設票：問 9①／介護医療院票：問 9①）

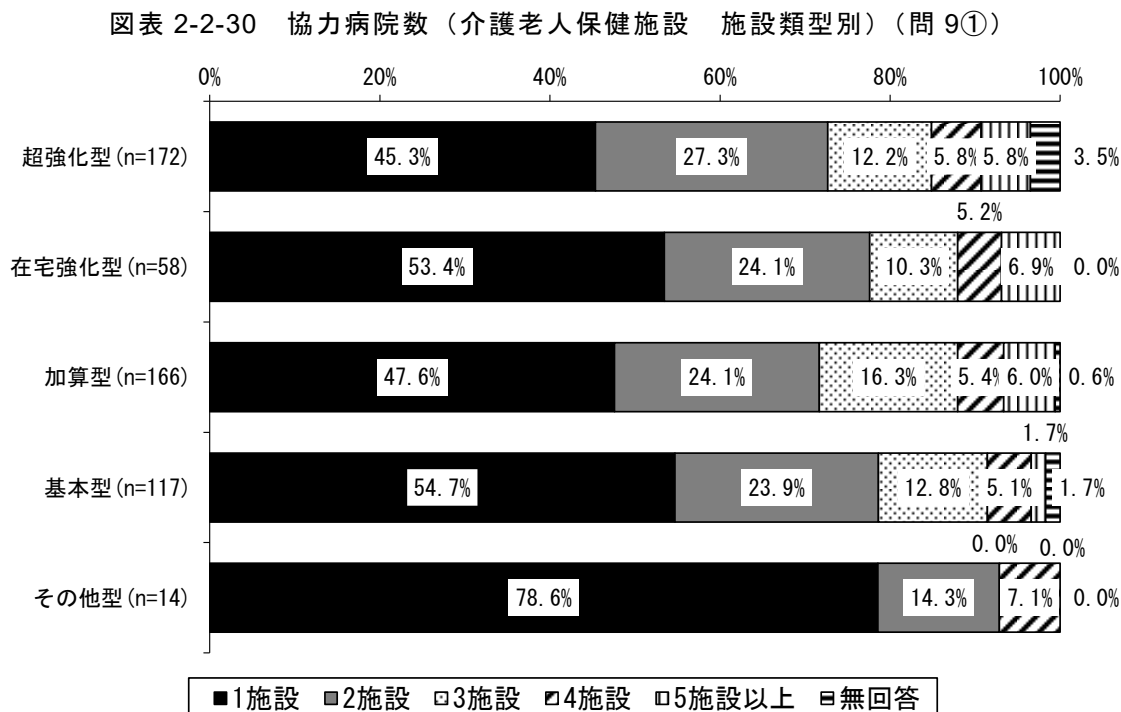
	件数	平均値（か所）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	518	1.9	1.3	1.0
超強化型	166	2.0	1.4	2.0
在宅強化型	58	2.1	2.0	1.0
加算型	165	2.0	1.2	2.0
基本型	115	1.7	1.0	1.0
その他型	14	1.4	0.8	1.0
介護医療院	296	1.4	0.9	1.0
I型	204	1.5	0.9	1.0
II型	91	1.4	0.8	1.0

※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

協力病院数は、介護老人保健施設では「1施設」が49.9%、「2施設」が24.9%であった。介護医療院では「1施設」が69.5%、「2施設」が16.6%であった。

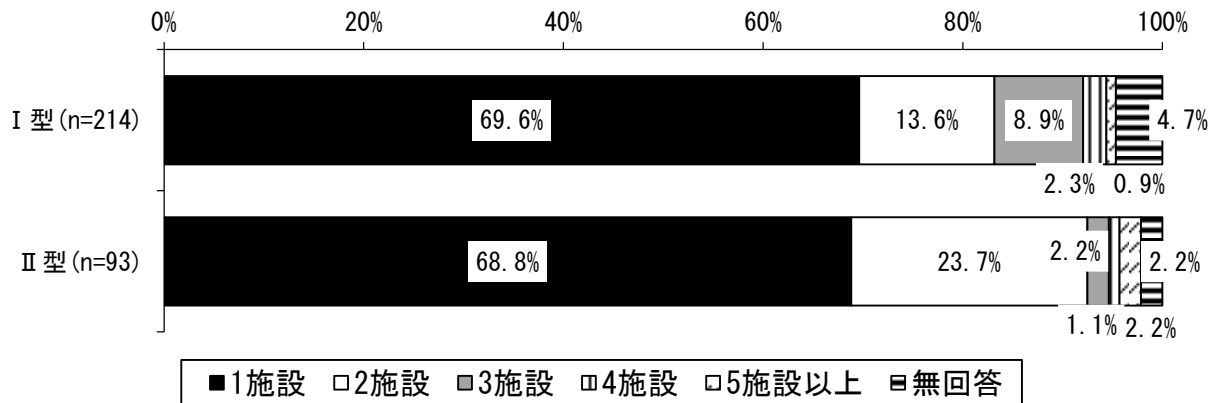


介護老人保健施設は、超強化型では「1施設」が45.3%、「2施設」が27.3%であった。在宅強化型では「1施設」が53.4%、「2施設」が24.1%であった。加算型では「1施設」が47.6%、「2施設」が24.1%であった。基本型では「1施設」が54.7%、「2施設」が23.9%であった。



介護医療院は、I型では「1施設」が69.6%、「2施設」が13.6%であった。II型では「1施設」が68.8%、「2施設」が23.7%であった。

図表 2-2-31 協力病院数（介護医療院 類型別）（問 9①）

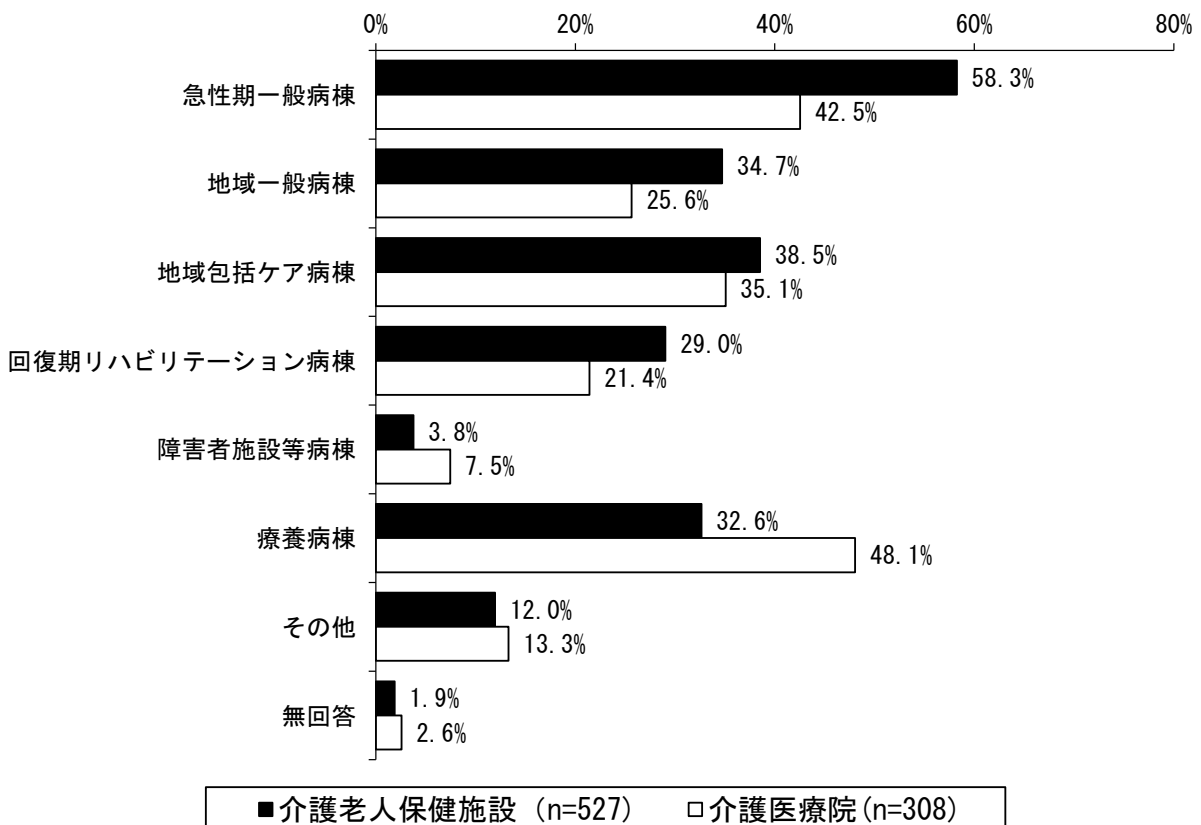


※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

② 主たる協力病院が有する病床の種類

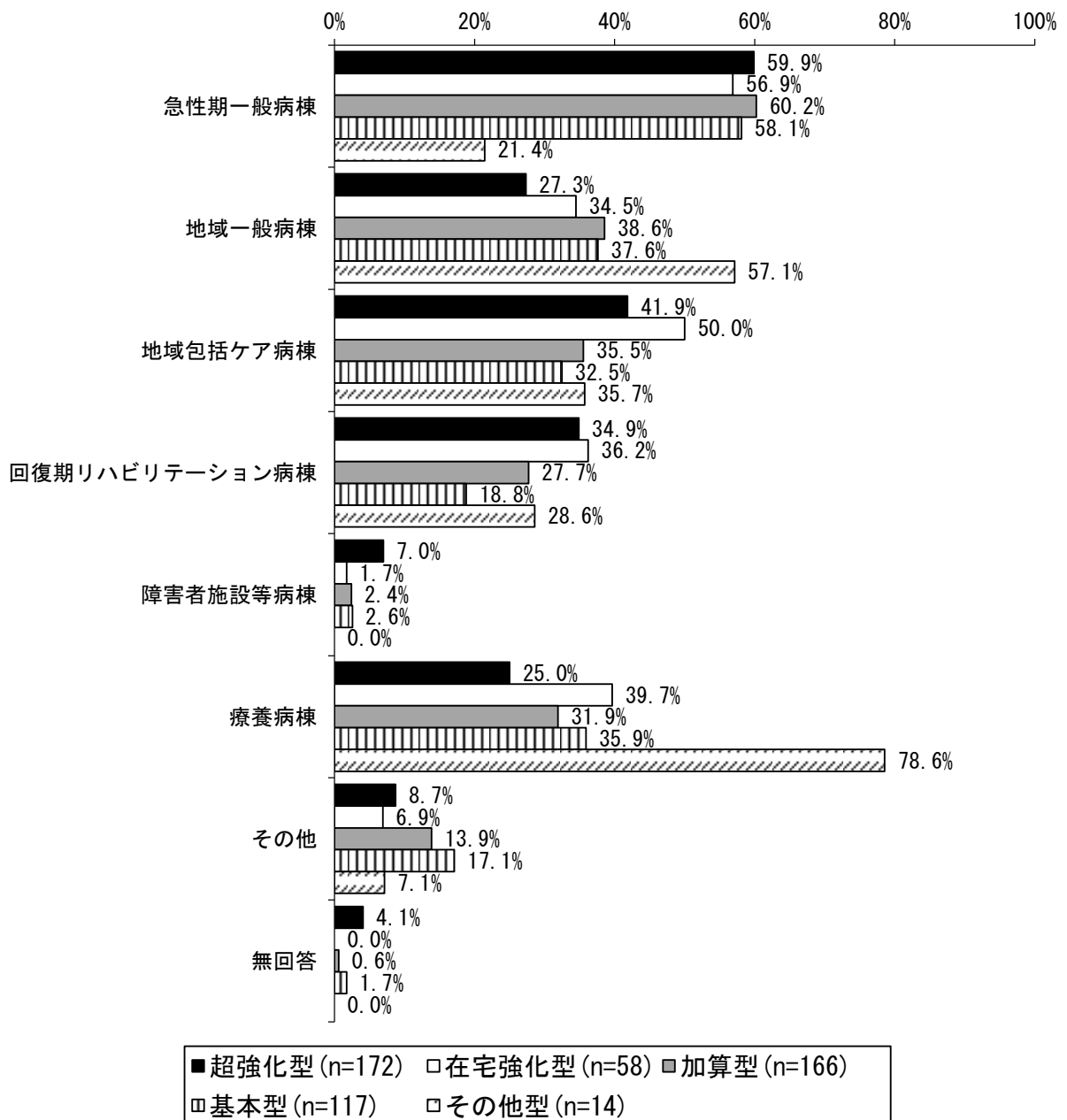
主たる協力病院が有する病床の種類は、介護老人保健施設では「急性期一般病棟」が58.3%、「地域包括ケア病棟」が38.5%であった。介護医療院では「療養病棟」が48.1%、「急性期一般病棟」が42.5%であった。

図表 2-2-32 主たる協力病院が有する病床の種類（複数回答）
（介護老人保健施設票：問 9②／介護医療院票：問 9②）



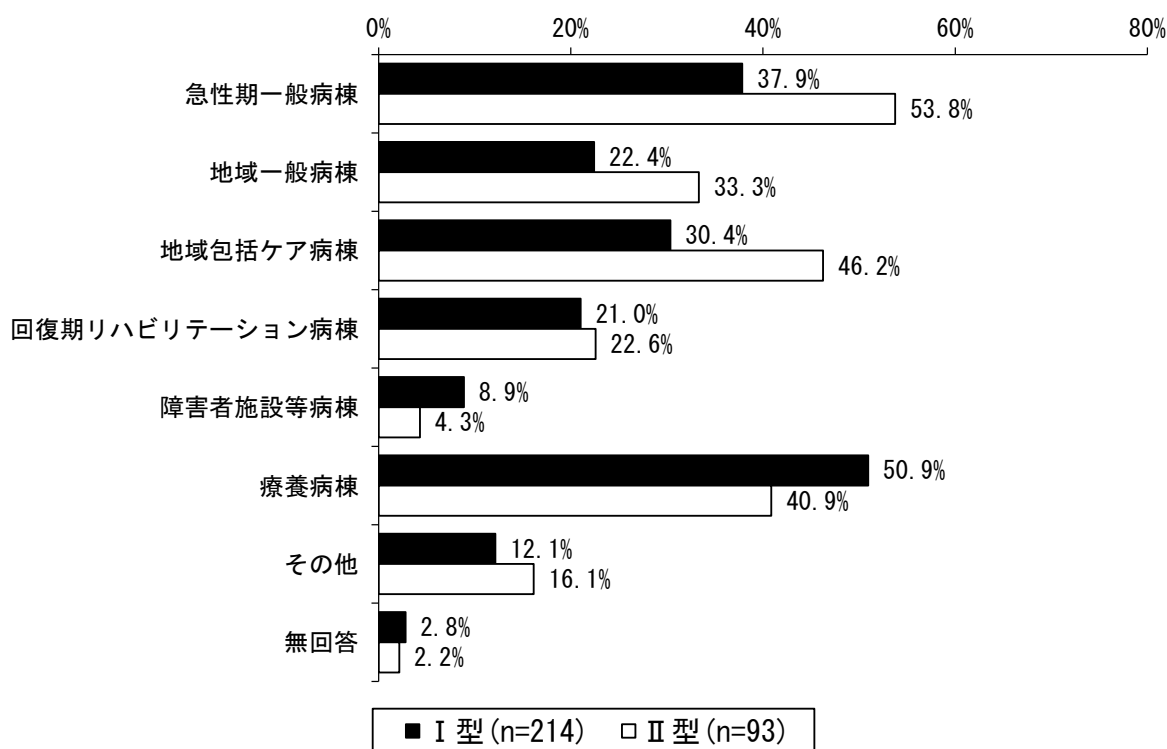
介護老人保健施設は、超強化型では「急性期一般病棟」が 59.9%、「地域包括ケア病棟」が 41.9%であった。在宅強化型では「急性期一般病棟」が 56.9%、「地域包括ケア病棟」が 50.0%であった。加算型では「急性期一般病棟」が 60.2%、「地域一般病棟」が 38.6%であった。基本型では「急性期一般病棟」が 58.1%、「地域一般病棟」が 37.6%であった。基本型では「急性期一般病棟」が 58.1%、「地域一般病棟」が 37.6%であった。

図表 2-2-33 主たる協力病院が有する病床の種類
(介護老人保健施設 施設類型別) (複数回答) (問 9②)



介護医療院は、I型では「療養病棟」が50.9%、「急性期一般病棟」が37.9%であった。
II型では「急性期一般病棟」が53.8%、「地域包括ケア病棟」が46.2%であった。

図表 2-2-34 主たる協力病院が有する病床の種類
(介護医療院 類型別) (複数回答) (問 9②)

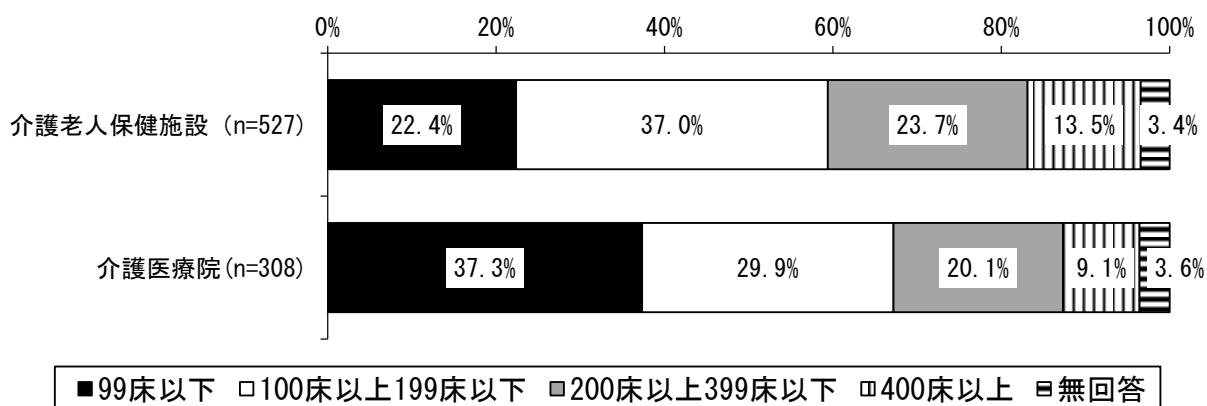


※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

③ 主たる協力病院の病床数

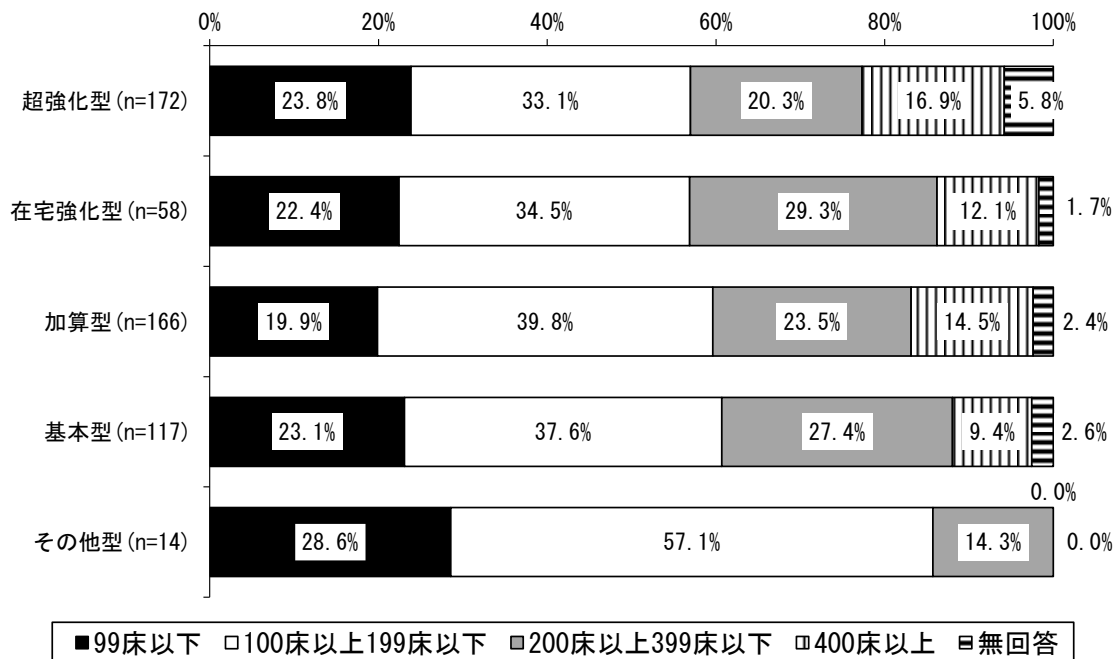
主たる協力病院の病床数は、介護老人保健施設では「100床以上199床以下」が37.0%、「200床以上399床以下」が23.7%であった。介護医療院では「99床以下」が37.3%、「100床以上199床以下」が29.9%であった。

図表 2-2-35 主たる協力病院の病床数
(介護老人保健施設票：問 9③ / 介護医療院票：問 9③)



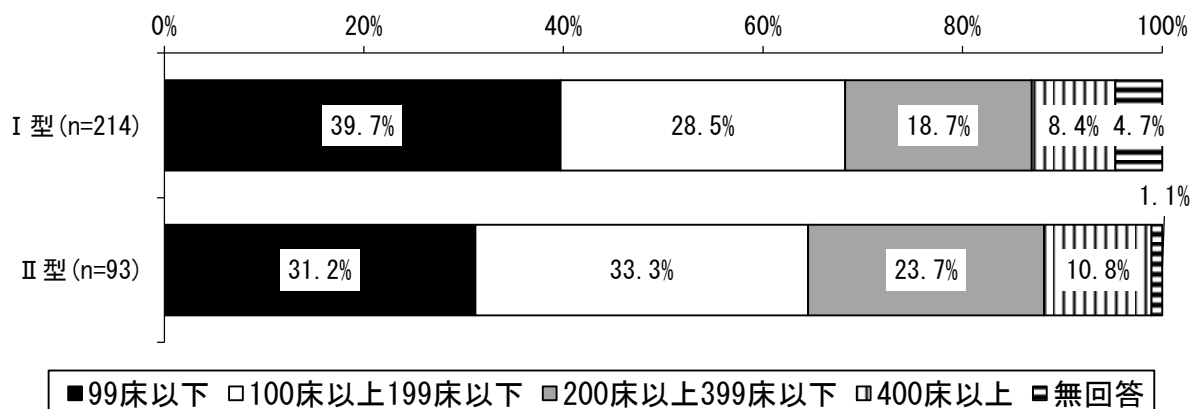
介護老人保健施設は、超強化型では「100床以上199床以下」が33.1%、「99床以下」が23.8%であった。在宅強化型では「100床以上199床以下」が34.5%、「200床以上399床以下」が29.3%であった。加算型では「100床以上199床以下」が39.8%、「200床以上399床以下」が23.5%であった。基本型では「100床以上199床以下」が37.6%、「200床以上399床以下」が27.4%であった。

図表 2-2-36 主たる協力病院の病床数（介護老人保健施設 施設類型別）（問 9③）



介護医療院は、Ⅰ型では「99床以下」が39.7%、「100床以上199床以下」が28.5%であった。Ⅱ型では「100床以上199床以下」が33.3%、「99床以下」が31.2%であった。

図表 2-2-37 主たる協力病院の病床数（介護医療院 類型別）（問 9③）

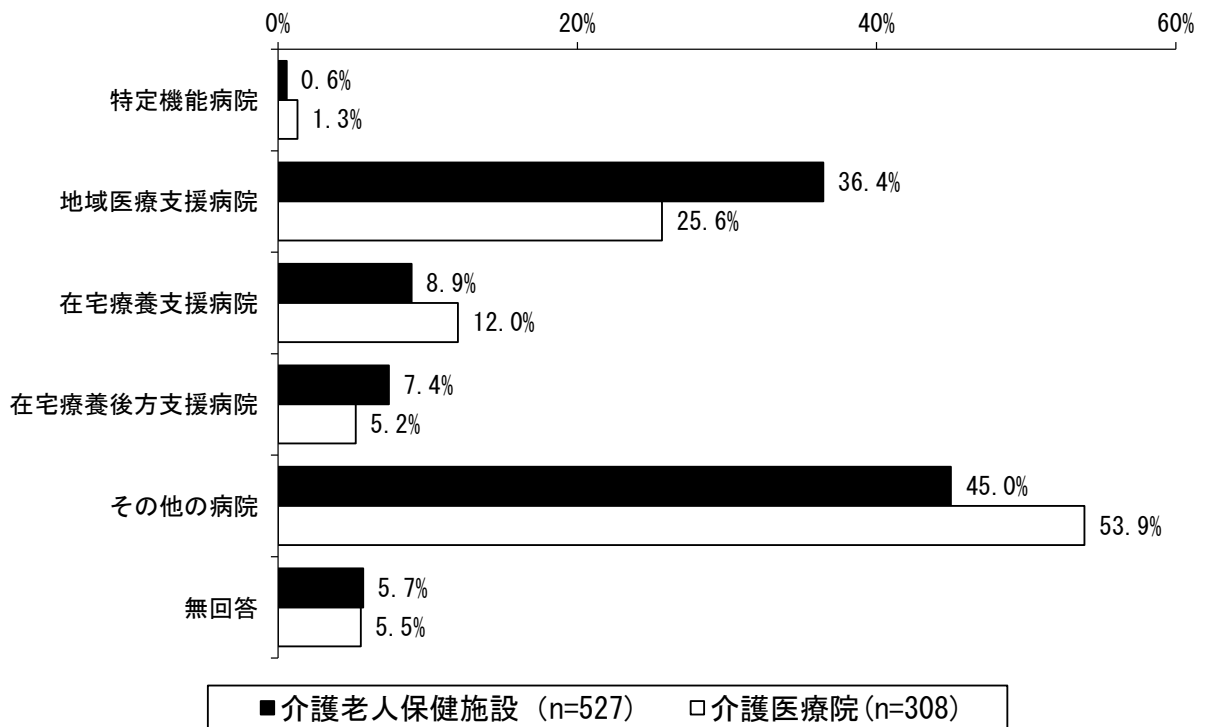


※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

④ 主たる協力病院の種別

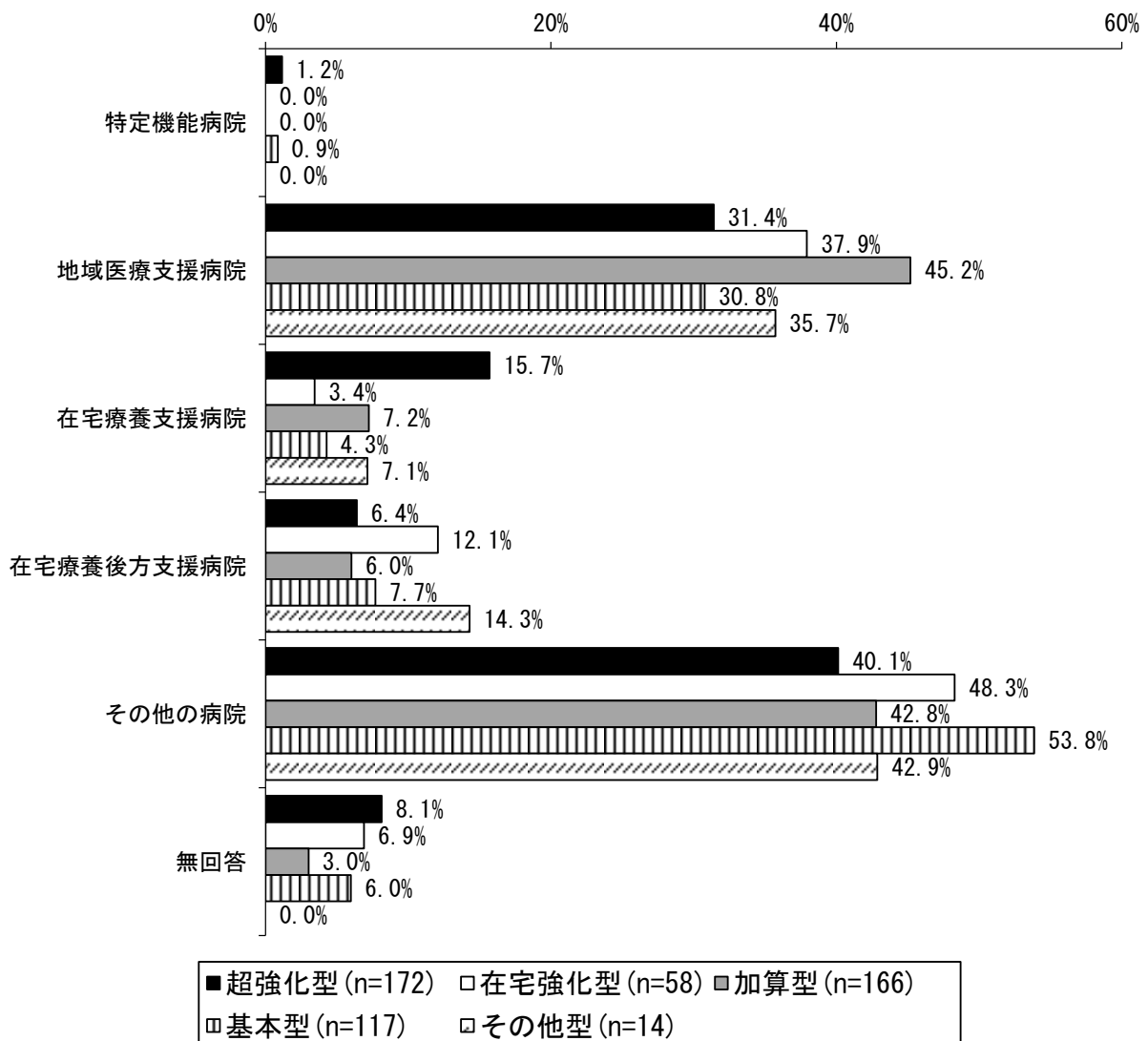
主たる協力病院の種別は、介護老人保健施設では「その他の病院」が45.0%、「地域医療支援病院」が36.4%であった。介護医療院では「その他の病院」が53.9%、「地域医療支援病院」が25.6%であった。

図表 2-2-38 主たる協力病院の種別（複数回答）
（介護老人保健施設票：問 9④／介護医療院票：問 9④）



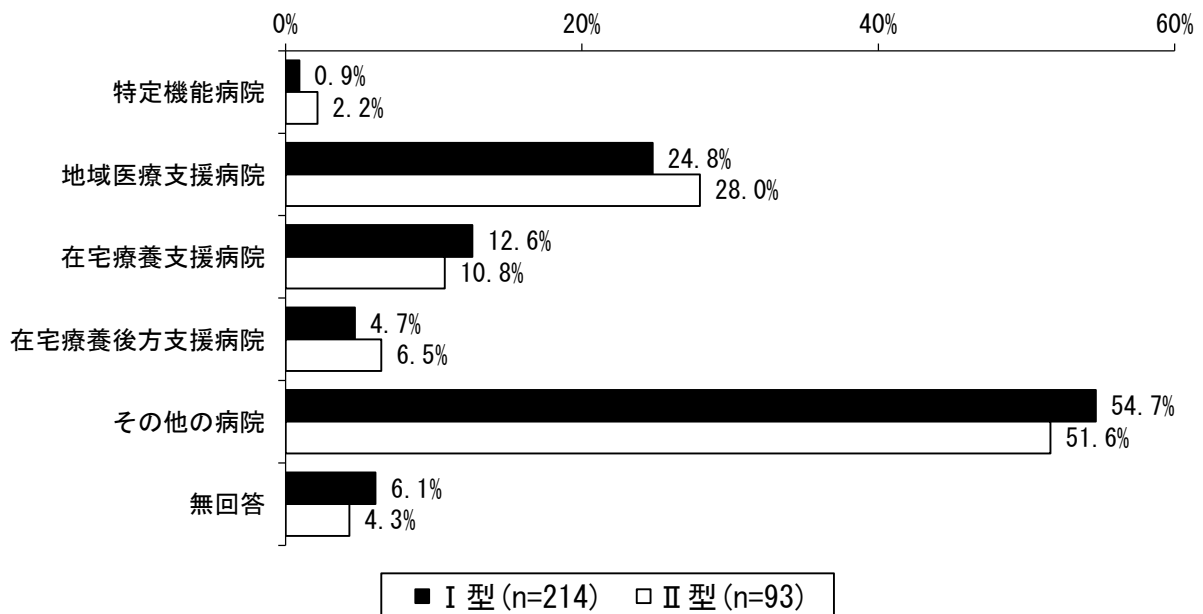
介護老人保健施設は、超強化型では「その他の病院」が 40.1%、「地域医療支援病院」が 31.4%であった。在宅強化型では「その他の病院」が 48.3%、「地域医療支援病院」が 37.9%であった。加算型では「地域医療支援病院」が 45.2%、「その他の病院」が 42.8%であった。基本型では「その他の病院」が 53.8%、「地域医療支援病院」が 30.8%であった。

図表 2-2-39 主たる協力病院の種別（介護老人保健施設 施設類型別）（複数回答）（問 9④）



介護医療院は、Ⅰ型では「その他の病院」が54.7%、「地域医療支援病院」が24.8%であった。Ⅱ型では「その他の病院」が51.6%、「地域医療支援病院」が28.0%であった。

図表 2-2-40 主たる協力病院の種別（介護医療院 類型別）（複数回答）（問 9④）

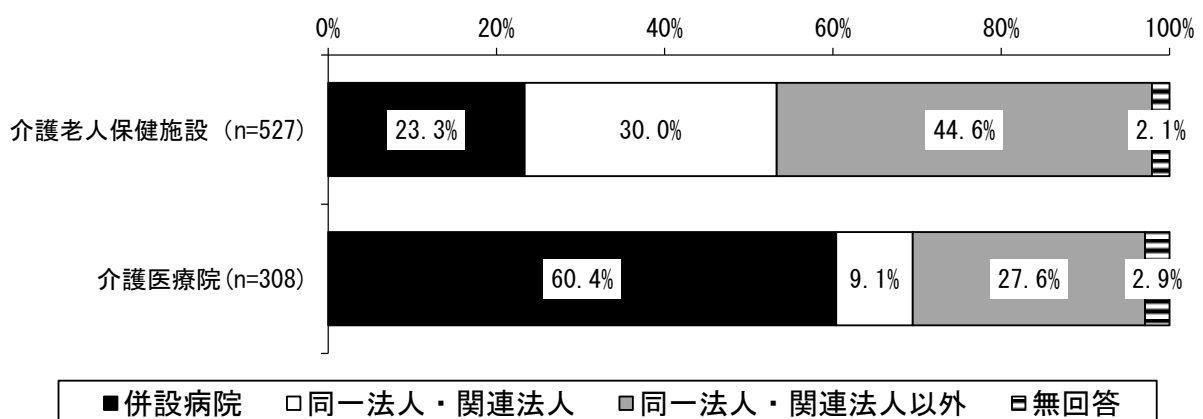


※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

⑤ 主たる協力病院と施設との関係

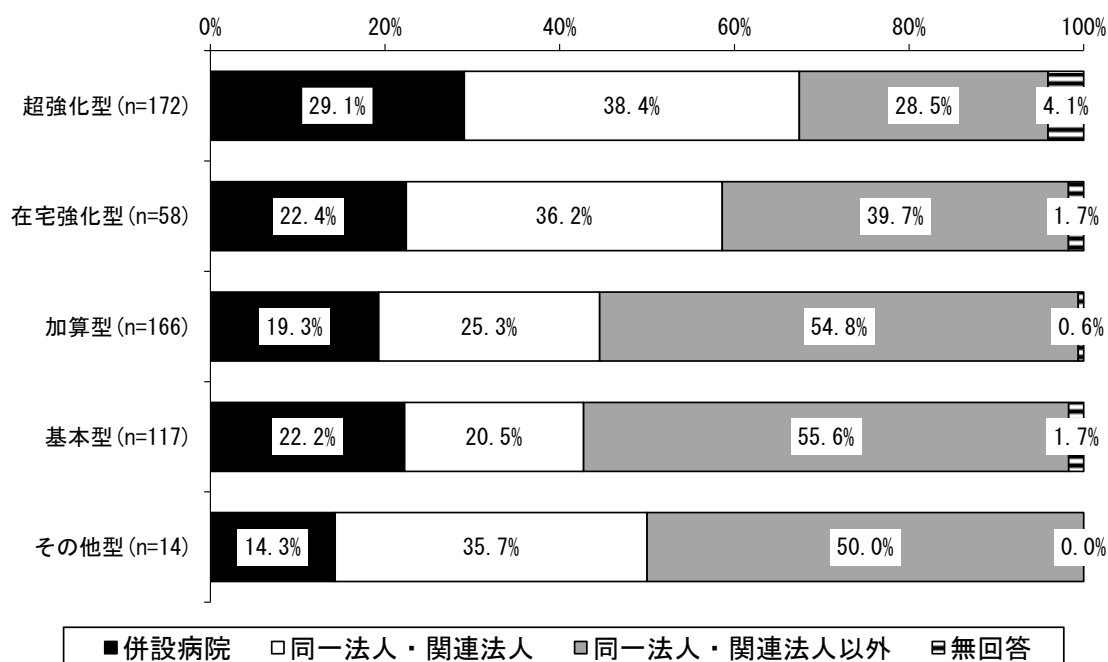
主たる協力病院と施設との関係は、介護老人保健施設では「同一法人・関連法人以外」が44.6%、「同一法人・関連法人」が30.0%であった。介護医療院では「併設病院」が60.4%、「同一法人・関連法人以外」が27.6%であった。

図表 2-2-41 主たる協力病院と施設との関係
（介護老人保健施設票：問 9⑤／介護医療院票：問 9⑤）



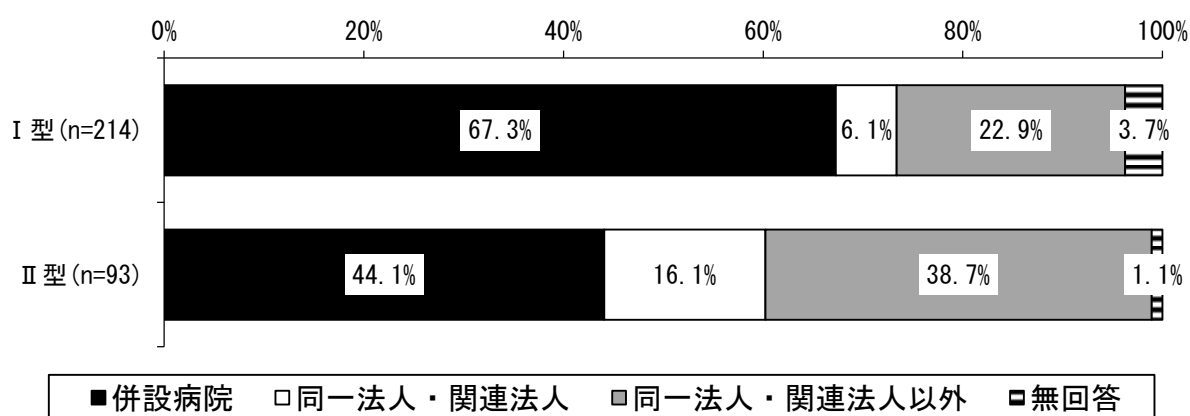
介護老人保健施設は、超強化型では「同一法人・関連法人」が 38.4%、「併設病院」が 29.1%であった。在宅強化型では「同一法人・関連法人以外」が 39.7%、「同一法人・関連法人」が 36.2%であった。加算型では「同一法人・関連法人以外」が 54.8%、「同一法人・関連法人」が 25.3%であった。基本型では「同一法人・関連法人以外」が 55.6%、「併設病院」が 22.2%であった。

図表 2-2-42 主たる協力病院と施設との関係（介護老人保健施設 施設類型別）（問 9⑤）



介護医療院は、Ⅰ型では「併設病院」が 67.3%、「同一法人・関連法人以外」が 22.9%であった。Ⅱ型では「併設病院」が 44.1%、「同一法人・関連法人以外」が 38.7%であった。

図表 2-2-43 主たる協力病院と施設との関係（介護医療院 類型別）（問 9⑤）



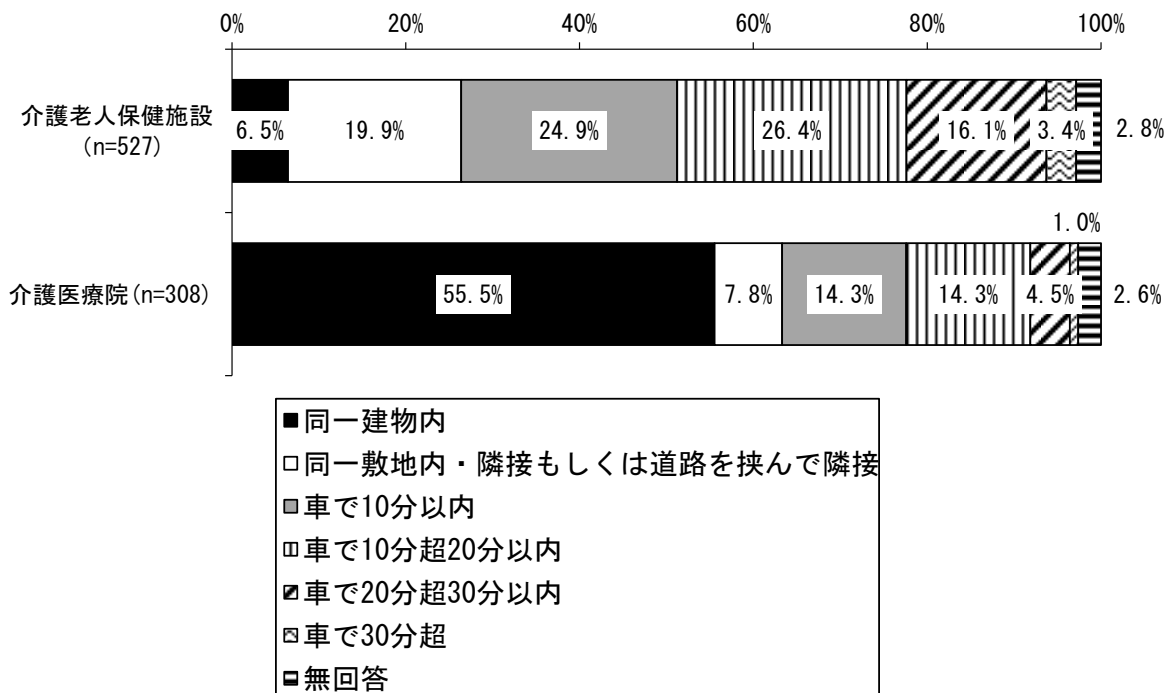
※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

⑥ 主たる協力病院の施設からの距離

主たる協力病院の施設からの距離は、介護老人保健施設では「車で10分超20分以内」が26.4%、「車で10分以内」が24.9%であった。介護医療院では「同一建物内」が55.5%、「車で10分以内」「車で10分超20分以内」がいずれも14.3%であった。

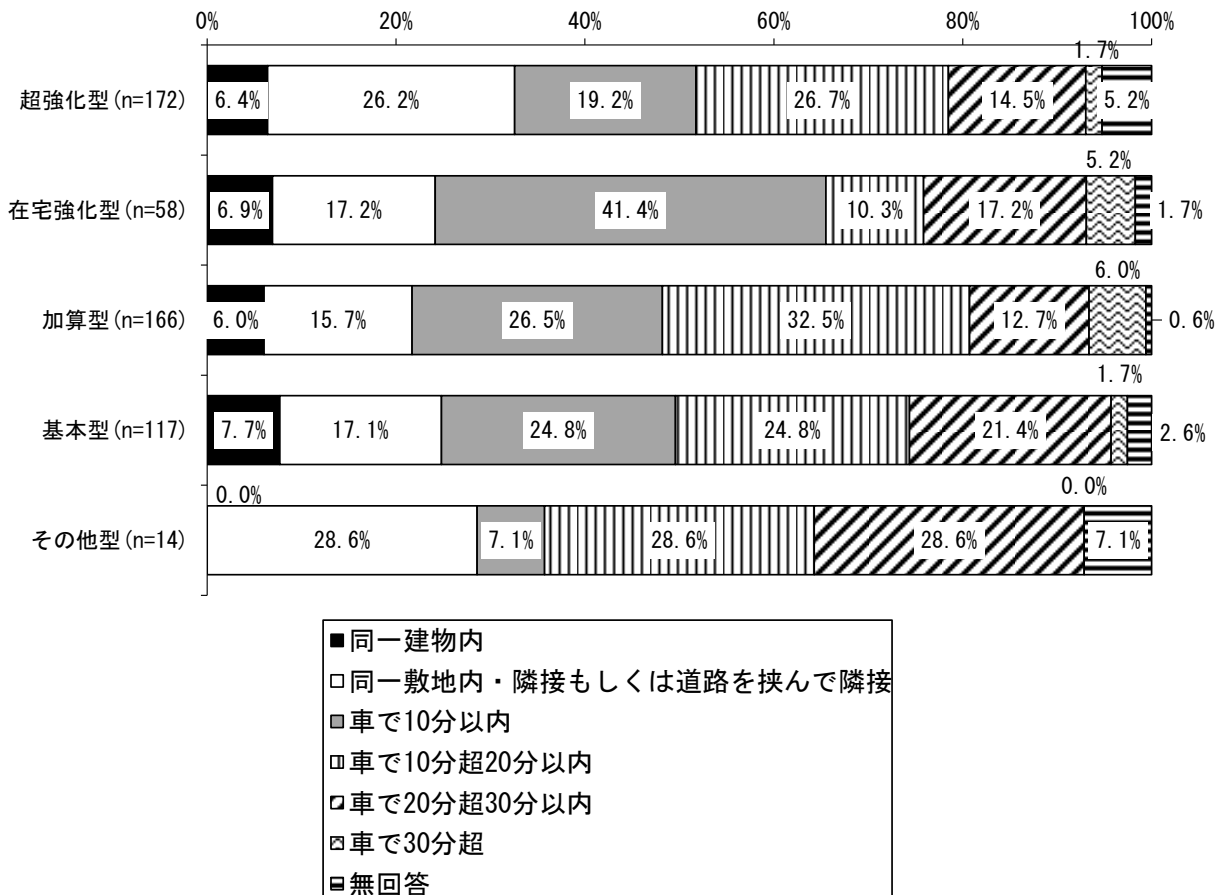
図表 2-2-44 主たる協力病院の施設からの距離

(介護老人保健施設票：問 9⑥／介護医療院票：問 9⑥)



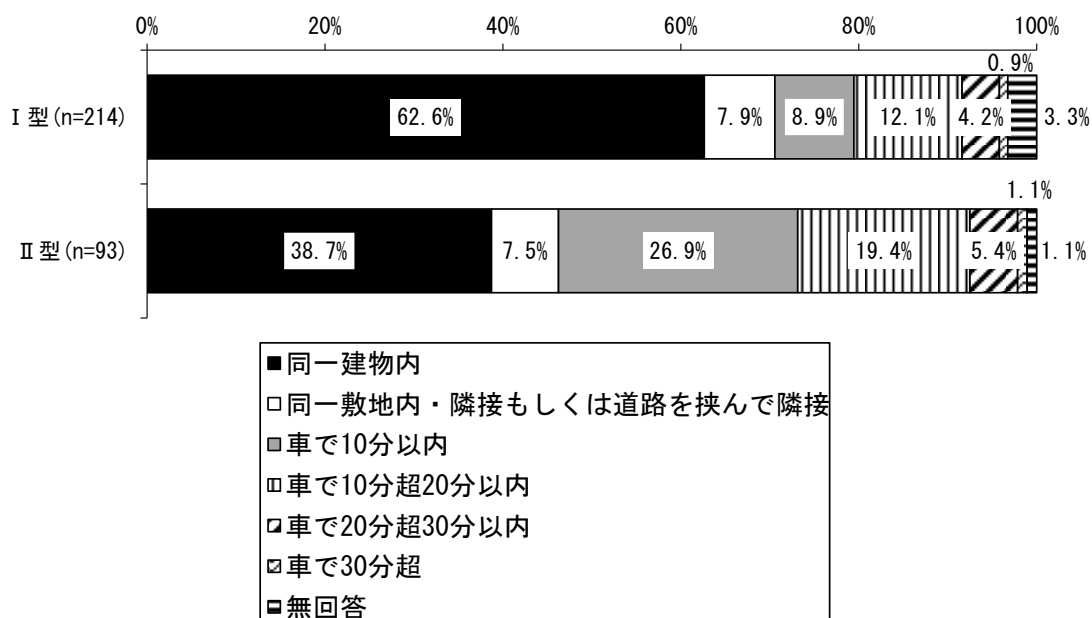
介護老人保健施設は、超強化型では「車で10分超20分以内」が26.7%、「同一敷地内・隣接もしくは道路を挟んで隣接」が26.2%であった。在宅強化型では「車で10分以内」が41.4%、「同一敷地内・隣接もしくは道路を挟んで隣接」「車で20分超30分以内」が17.2%であった。加算型では「車で10分超20分以内」が32.5%、「車で10分以内」が26.5%であった。基本型では「車で10分以内」「車で10分超20分以内」が24.8%であった。

図表 2-2-45 主たる協力病院の施設からの距離（介護老人保健施設 施設類型別）（問 9⑥）



介護医療院は、Ⅰ型では「同一建物内」が62.6%、「車で10分超20分以内」が12.1%であった。Ⅱ型では「同一建物内」が38.7%、「車で10分以内」が26.9%であった。

図表 2-2-46 主たる協力病院の施設からの距離（介護医療院 類型別）（問 9⑥）

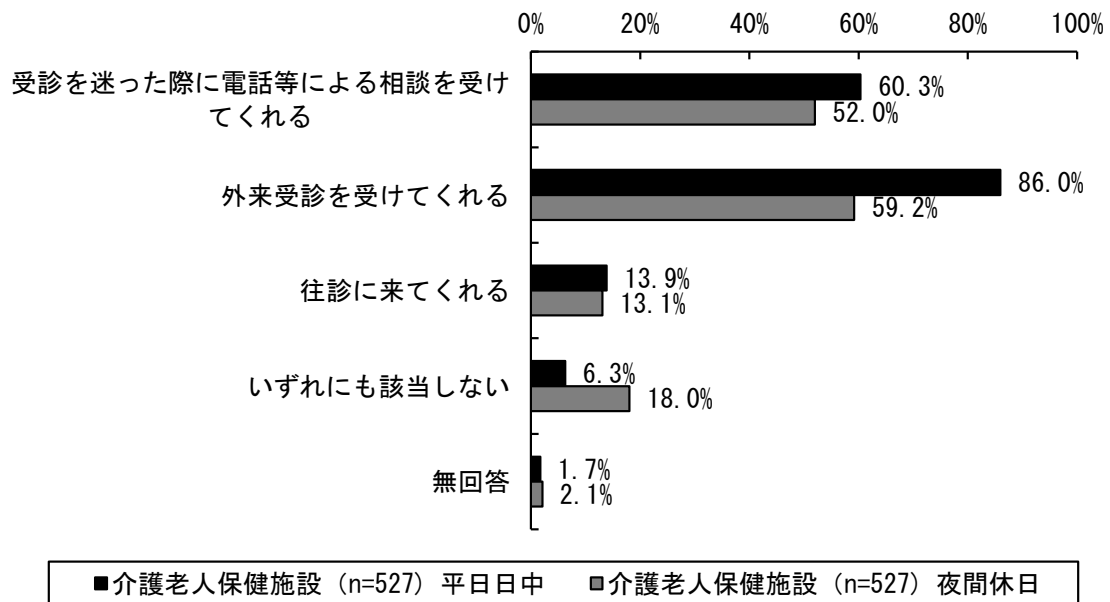


※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

⑦ 入所者の急変時における主たる協力病院の対応

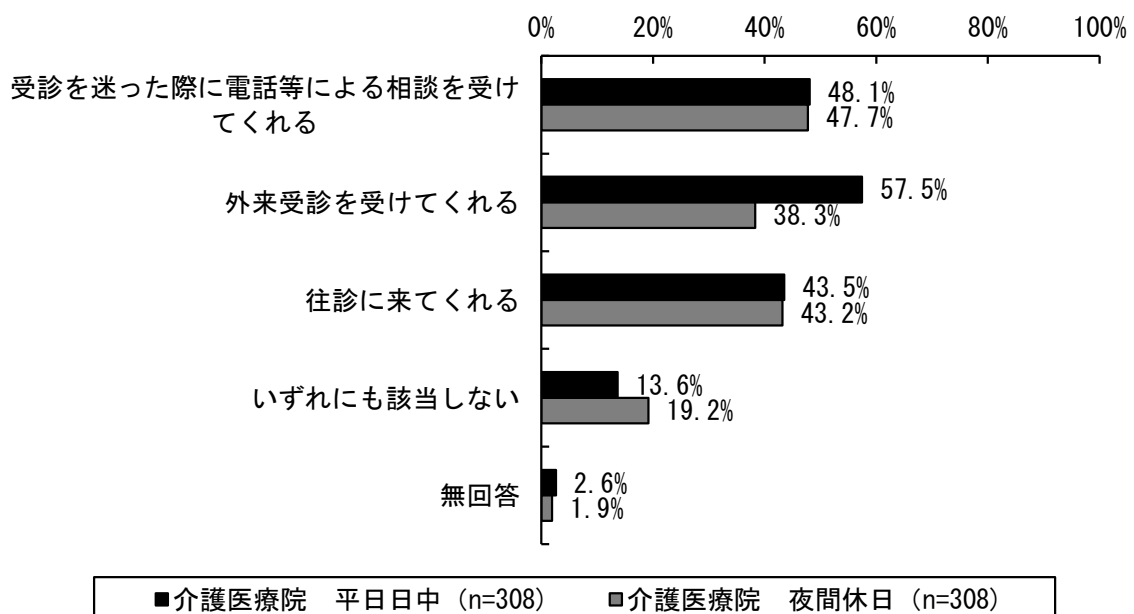
入所者の急変時における主たる協力病院の対応について「外来受診を受けてくれる」は介護老人保健施設の「平日日中」では 86.0%、「夜間休日」では 59.2%であった。

図表 2-2-47 入所者の急変時における主たる協力病院の対応（介護老人保健施設）
（複数回答）（問 9⑦）



入所者の急変時における主たる協力病院の対応について「外来受診を受けてくれる」は介護医療院の「平日日中」では 57.5%、「夜間休日」では 38.3%であった。

図表 2-2-48 入所者の急変時における主たる協力病院の対応（介護医療院）（複数回答）
（問 9⑦）



図表 2-2-49 入所者の急変時における主たる協力病院の対応

(介護老人保健施設 施設類型別) (複数回答) (問 9⑦)

		合計	受診を迷った際に電話等による相談を受けてくれる	外来受診を受けてくれる	往診に来てくれる	いずれにも該当しない	無回答
超強化型	平日日中	172 100.0%	97 56.4%	147 85.5%	25 14.5%	8 4.7%	8 4.7%
	夜間休日	172 100.0%	88 51.2%	104 60.5%	28 16.3%	25 14.5%	9 5.2%
在宅強化型	平日日中	58 100.0%	36 62.1%	52 89.7%	9 15.5%	2 3.4%	0 0.0%
	夜間休日	58 100.0%	30 51.7%	39 67.2%	7 12.1%	8 13.8%	0 0.0%
加算型	平日日中	166 100.0%	98 59.0%	143 86.1%	17 10.2%	15 9.0%	0 0.0%
	夜間休日	166 100.0%	80 48.2%	97 58.4%	13 7.8%	38 22.9%	1 0.6%
基本型	平日日中	117 100.0%	80 68.4%	101 86.3%	20 17.1%	6 5.1%	1 0.9%
	夜間休日	117 100.0%	71 60.7%	66 56.4%	20 17.1%	18 15.4%	1 0.9%
その他型	平日日中	14 100.0%	7 50.0%	10 71.4%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%
	夜間休日	14 100.0%	5 35.7%	6 42.9%	1 7.1%	6 42.9%	0 0.0%

図表 2-2-50 入所者の急変時における主たる協力病院の対応

(介護医療院 類型別) (複数回答) (問 9⑦)

		合計	受診を迷った際に電話等による相談を受けてくれる	外来受診を受けてくれる	往診に来てくれる	いずれにも該当しない	無回答
I 型	平日日中	214 100.0%	99 46.3%	114 53.3%	100 46.7%	30 14.0%	6 2.8%
	夜間休日	214 100.0%	98 45.8%	75 35.0%	96 44.9%	42 19.6%	5 2.3%
II 型	平日日中	93 100.0%	48 51.6%	62 66.7%	33 35.5%	12 12.9%	2 2.2%
	夜間休日	93 100.0%	48 51.6%	42 45.2%	36 38.7%	17 18.3%	1 1.1%

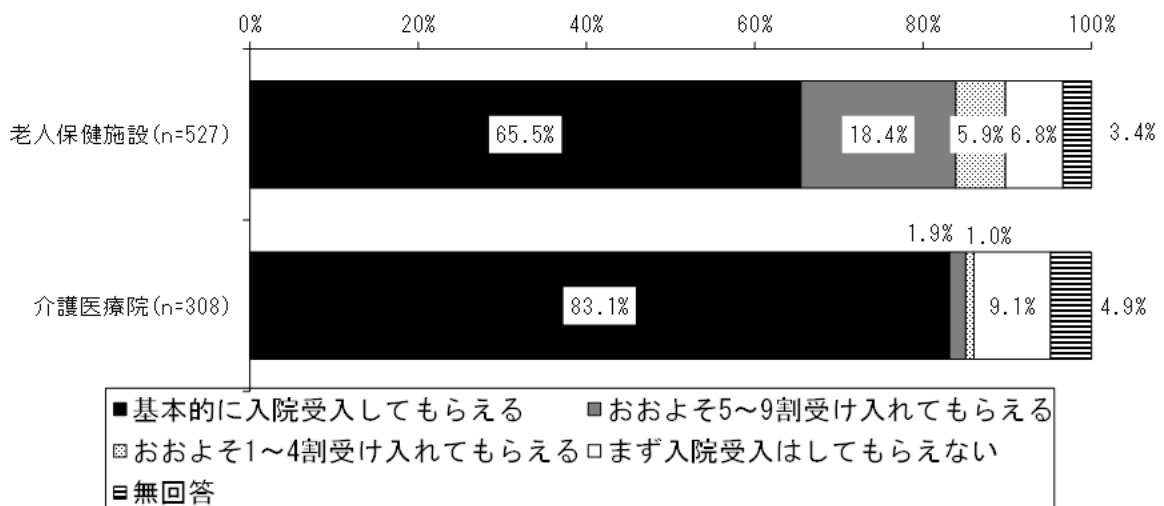
※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑧ 入所者の病状の急変時における主たる協力病院の入院受入

入所者の病状の急変時における主たる協力病院の入院受入は、介護老人保健施設では「基本的に入院受入してもらえらる」が 65.5%、「おおよそ 5～9 割受け入れてもらえらる」が 18.4%であった。介護医療院では「基本的に入院受入してもらえらる」が 83.1%、「まず入院受入はしてもらえらるない」が 9.1%であった。

図表 2-2-51 入所者の病状の急変時における主たる協力病院の入院受入

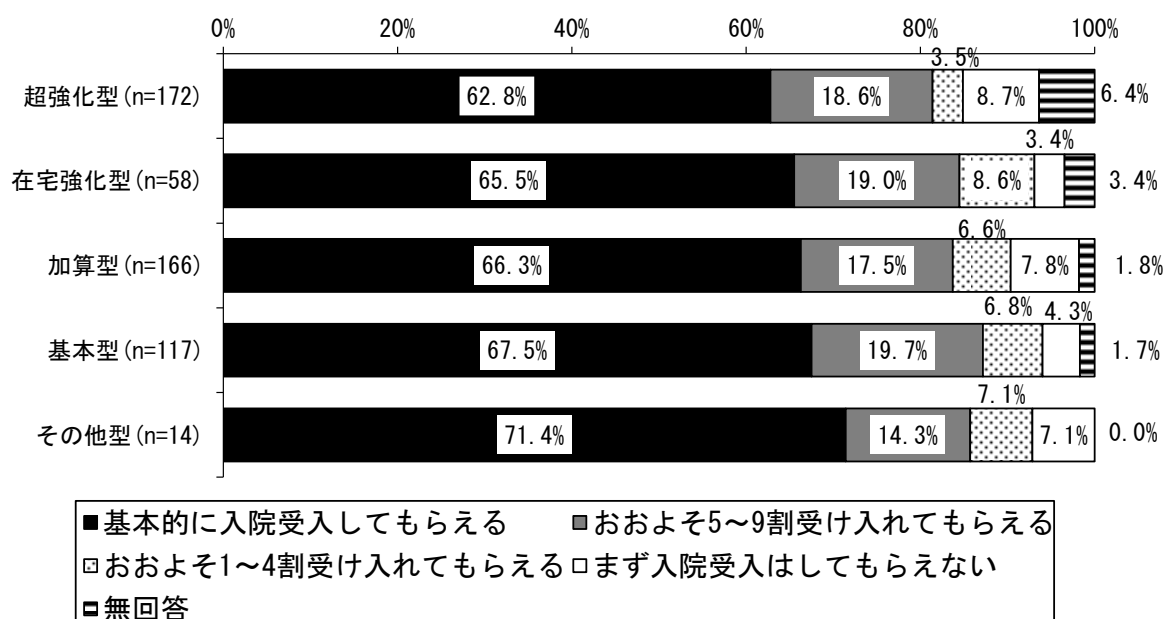
(介護老人保健施設票：問 9⑧)／介護医療院票：問 9⑧)



介護老人保健施設では、「基本的に入院受入してもらえらる」が超強化型では 62.8%、在宅強化型では 65.5%、加算型では 66.3%、基本型では 67.5%であった。

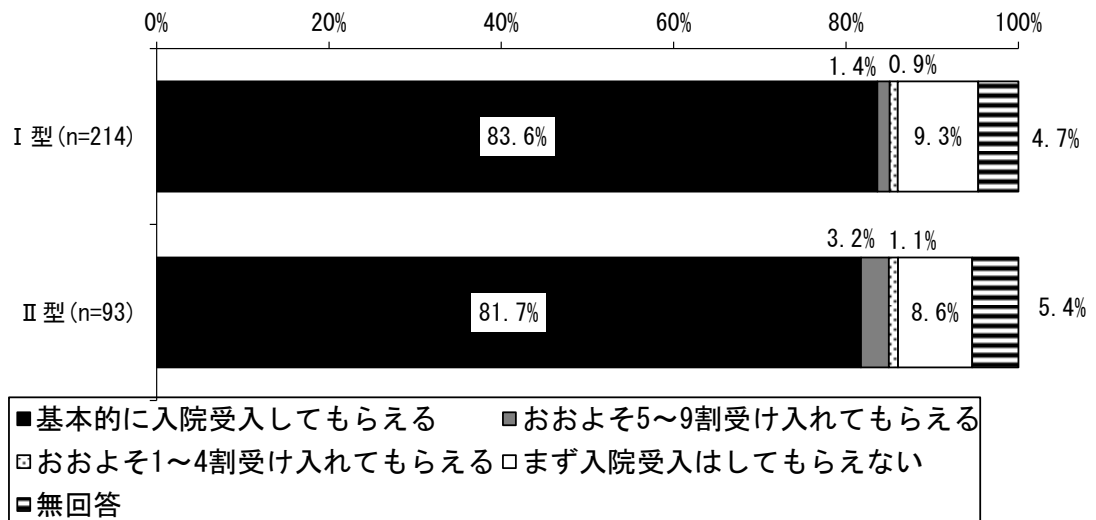
図表 2-2-52 入所者の病状の急変時における主たる協力病院の入院受入

(介護老人保健施設 施設類型別) (問 9⑧)



介護医療院では、「基本的に入院受入してもらえる」が I 型では 83.6%、II 型では 81.7%であった。

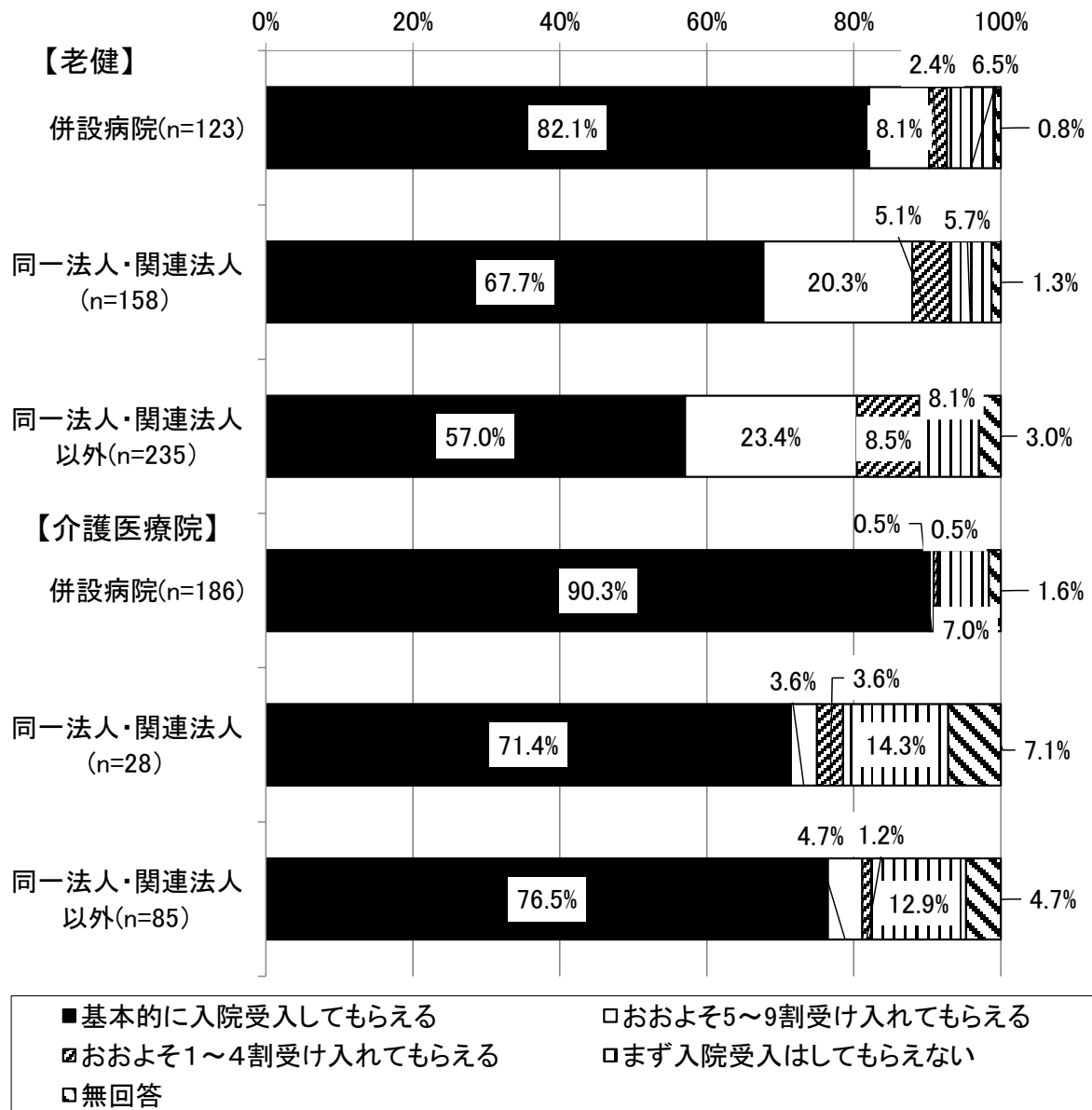
図表 2-2-53 入所者の病状の急変時における主たる協力病院の入院受入
(介護医療院 類型別) (問 9⑧)



※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

主たる協力病院との関係別にみると、「基本的に入院受入してもらえる」が介護老人保健施設では併設病院の場合に 82.1%、介護医療院では併設病院の場合に 90.3%であった。

図表 2-2-54 主たる協力病院との関係別入所者の急変時における主たる協力病院入院受入
(複数回答) (問 9⑦)

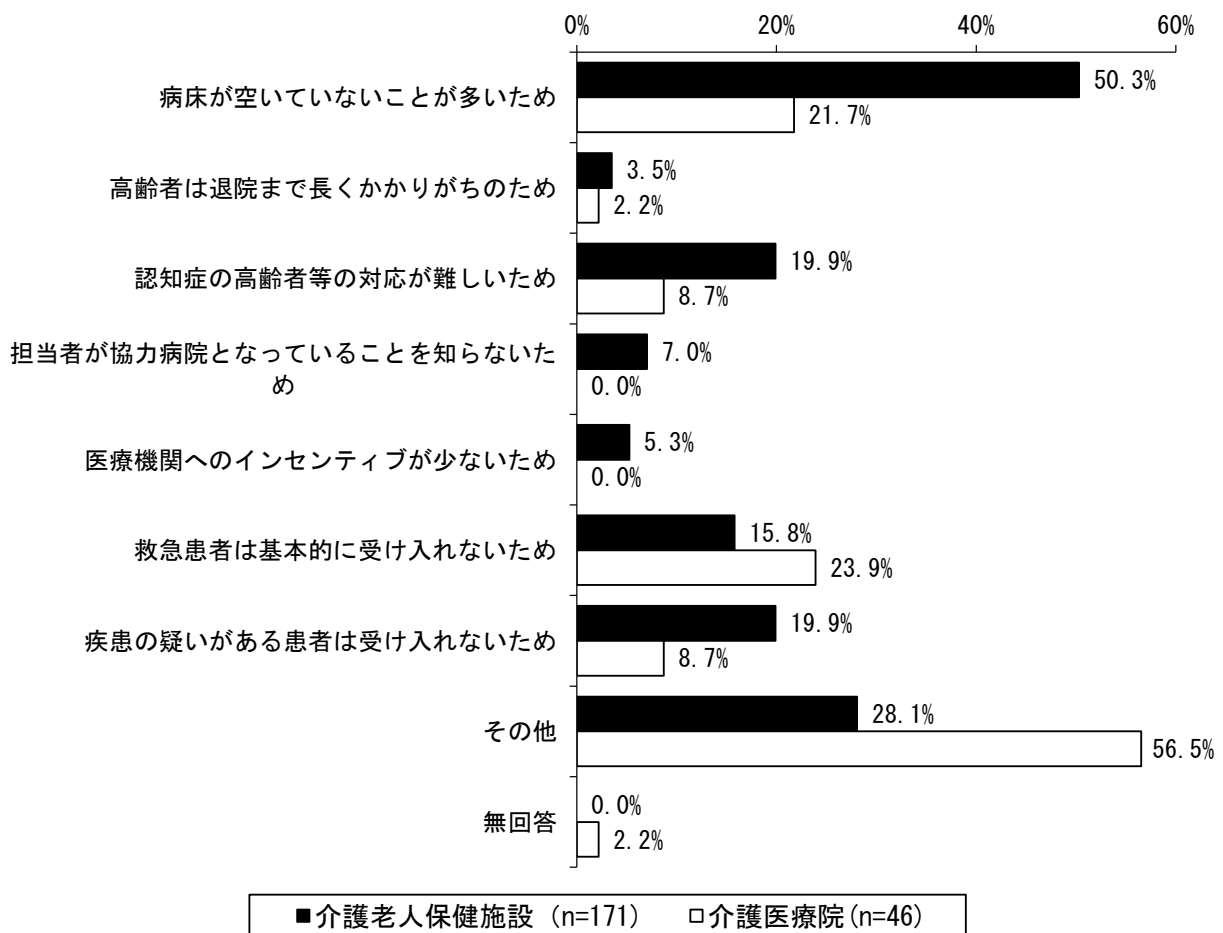


⑨ 入所者の病状の急変時に主たる協力病院で入院受入をしてもらえない理由

入所者の病状の急変時に主たる協力病院で入院受入をしてもらえない理由は、介護老人保健施設では「病床が空いていないことが多いため」が 50.3%、「認知症の高齢者等の対応が難しいため」「疾患の疑いがある患者は受け入れないため」がいずれも 19.9%であった。介護医療院では「救急患者は基本的に受け入れないため」が 23.9%、「病床が空いていないことが多いため」が 21.7%であった。

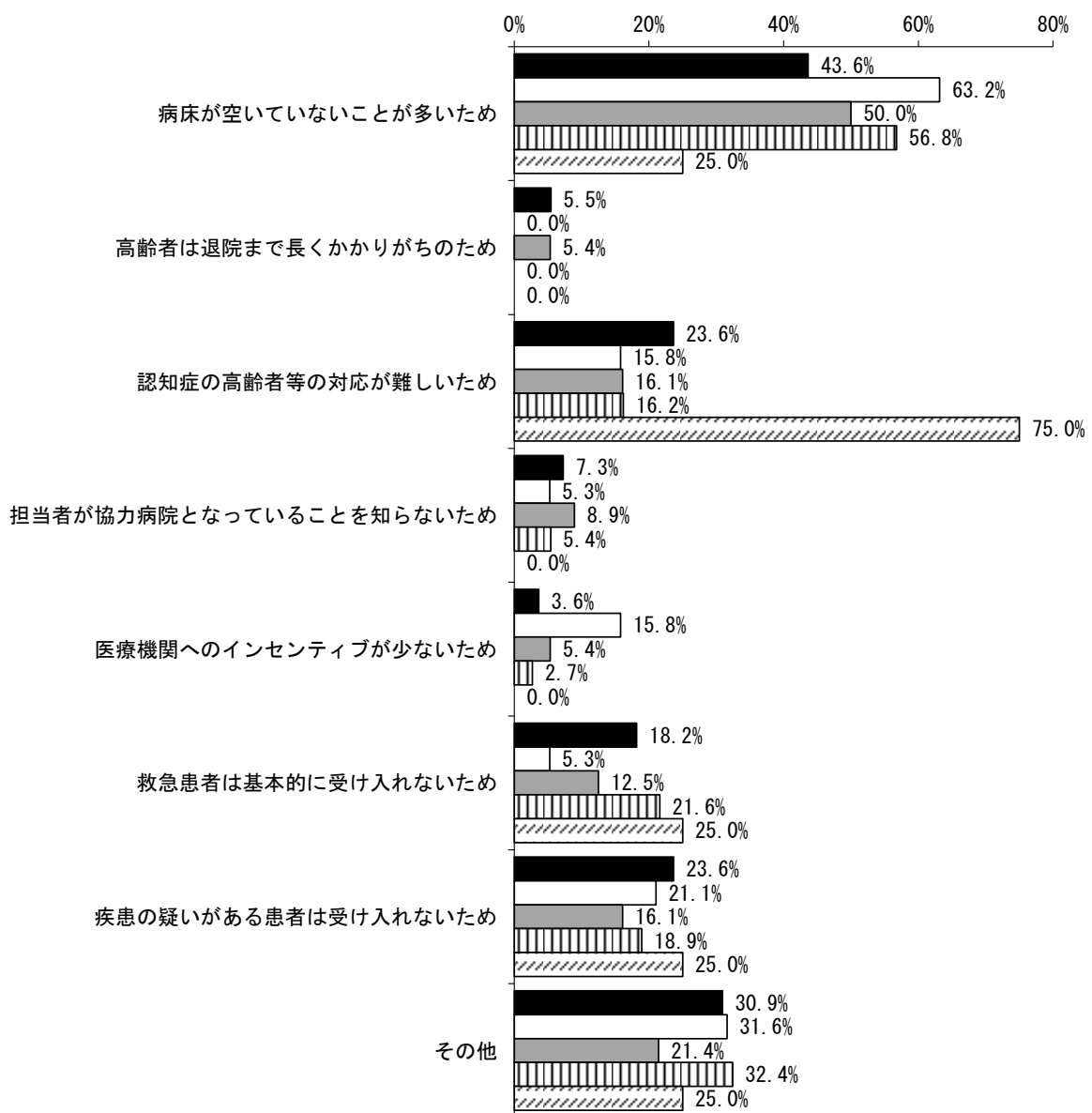
図表 2-2-55 主たる協力病院で入院受入をしてもらえない理由（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 9⑧／介護医療院票：問 9⑧）



介護老人保健施設は、超強化型では「病床が空いていないことが多いため」が 43.6%、「認知症の高齢者等の対応が難しいため」「疾患の疑いがある患者は受け入れられないため」がいずれも 23.6%であった。在宅強化型では「病床が空いていないことが多いため」が 63.2%、「疾患の疑いがある患者は受け入れられないため」が 21.1%であった。加算型では「病床が空いていないことが多いため」が 50.0%、「認知症の高齢者等の対応が難しいため」「疾患の疑いがある患者は受け入れられないため」がいずれも 16.1%であった。基本型では「病床が空いていないことが多いため」が 56.8%、「救急患者は基本的に受け入れられないため」が 21.6%であった。

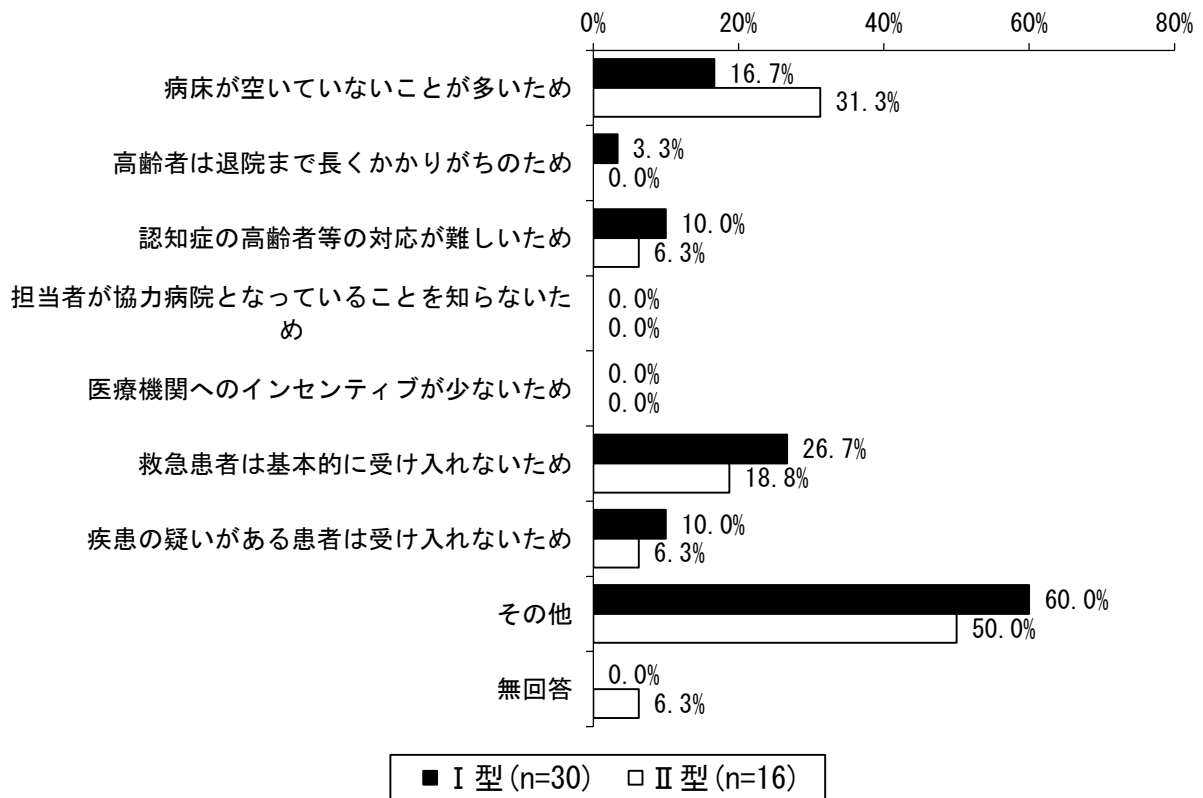
図表 2-2-56 入所者の病状の急変時に主たる協力病院で入院受入をしてもらえない理由
(複数回答)(介護老人保健施設 施設類型別)(問9⑧)



■超強化型 (n=55) □在宅強化型 (n=19) ▣加算型 (n=56) □基本型 (n=37) ▤その他型 (n=4)

介護医療院は、I型では「救急患者は基本的に受け入れないため」が26.7%、「病床が空いていないことが多いため」が16.7%であった。

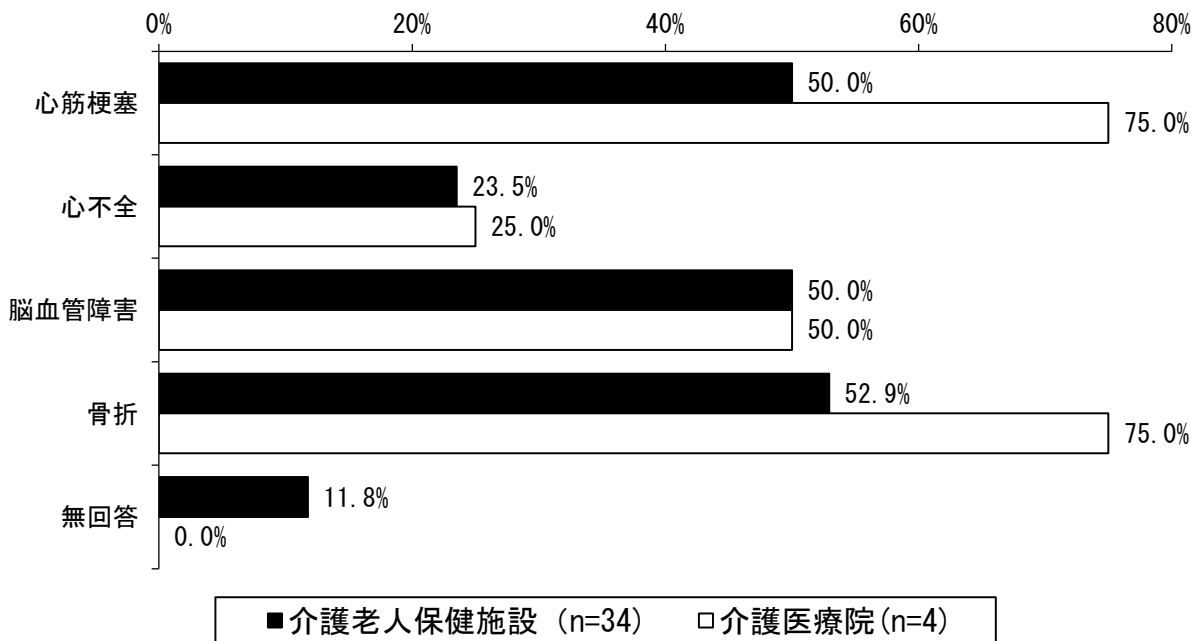
図表 2-2-57 入所者の病状の急変時に主たる協力病院で入院受入をしてもらえない理由
(複数回答)(介護医療院 類型別) 問9⑧



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く
 ※ II型は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

「疾患の疑いがある患者は受け入れないため」を挙げた施設での「疑いのある疾患」としては、介護老人保健施設では「骨折」が 52.9%、「心筋梗塞」「脳血管障害」が 50.0%であった。

図表 2-2-58 入院受入をしてもらえない理由としての疑いがある疾患（複数回答）
（介護老人保健施設票：問 9⑧／介護医療院票：問 9⑧）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

図表 2-2-59 入院受入をしてもらえない理由としての疑いがある疾患（複数回答）
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 9⑧）

	合計	心筋梗塞	心不全	脳血管障害	骨折	無回答
超強化型	13 100.0%	8 61.5%	3 23.1%	7 53.8%	6 46.2%	0 0.0%
在宅強化型	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%
加算型	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	4 44.4%	7 77.8%	1 11.1%
基本型	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	3 42.9%	2 28.6%	3 42.9%
その他型	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

図表 2-2-60 入院受入をしてもらえない理由としての疑いがある疾患（複数回答）

（介護医療院 類型別）（問 9⑧）

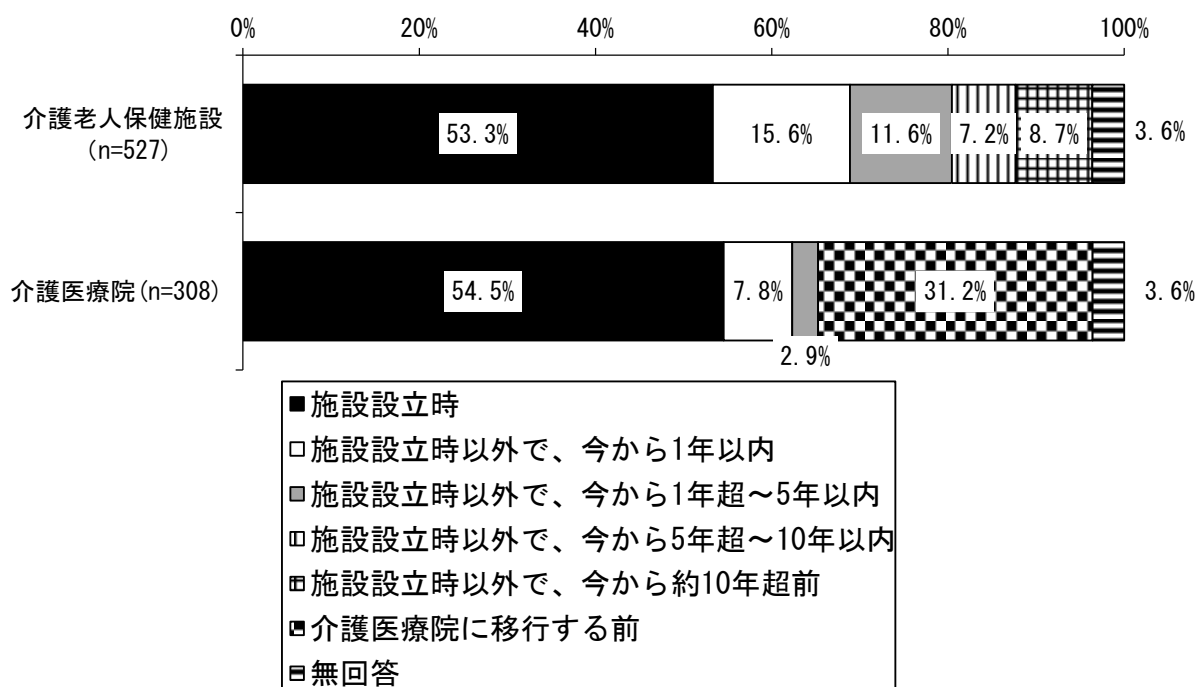
	合計	心筋梗塞	心不全	脳血管障害	骨折	無回答
全体	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	2 50.0%	3 75.0%	0 0.0%
I 型	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%
II 型	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く
 ※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

⑩ 入所者の入院や休日夜間等における対応等の取り決めに直近で主たる協力病院と確認した時期

入所者の入院や休日夜間等における対応等の取り決めに直近で主たる協力病院と確認した時期は、介護老人保健施設では「施設設立時」が 53.3%、「施設設立時以外で、今から 1 年以内」が 15.6%であった。介護医療院では「施設設立時」が 54.5%、「介護医療院に移行する前」が 31.2%であった。

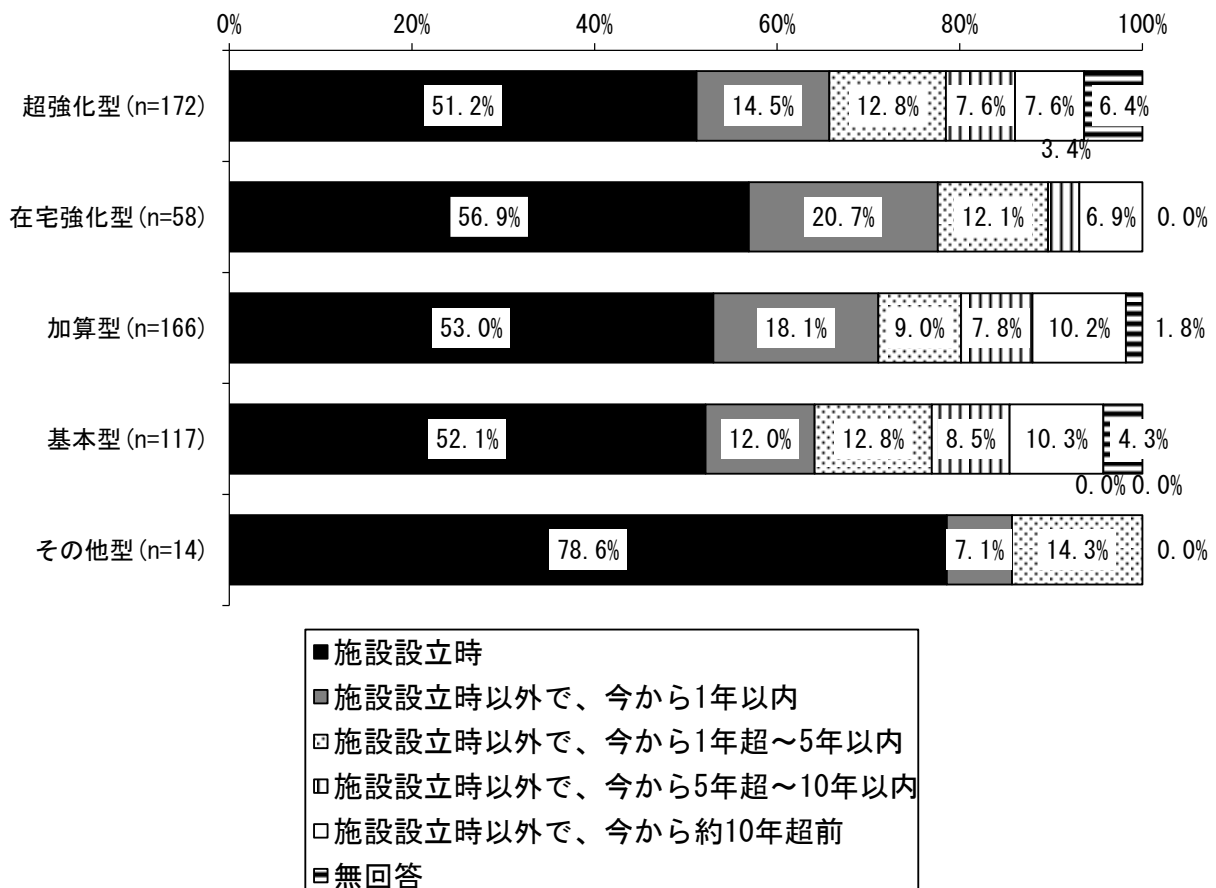
図表 2-2-61 入所者の入院・休日夜間等における対応等を主たる協力病院と確認した時期
 （介護老人保健施設票：問 9⑨／介護医療院票：問 9⑨）



（注）選択肢「施設設立時以外で、今から 5 年超～10 年以内」「施設設立時以外で、今から約 10 年超前」は介護老人保健施設票のみ。
 「介護医療院に移行する前」は介護医療院票のみ。

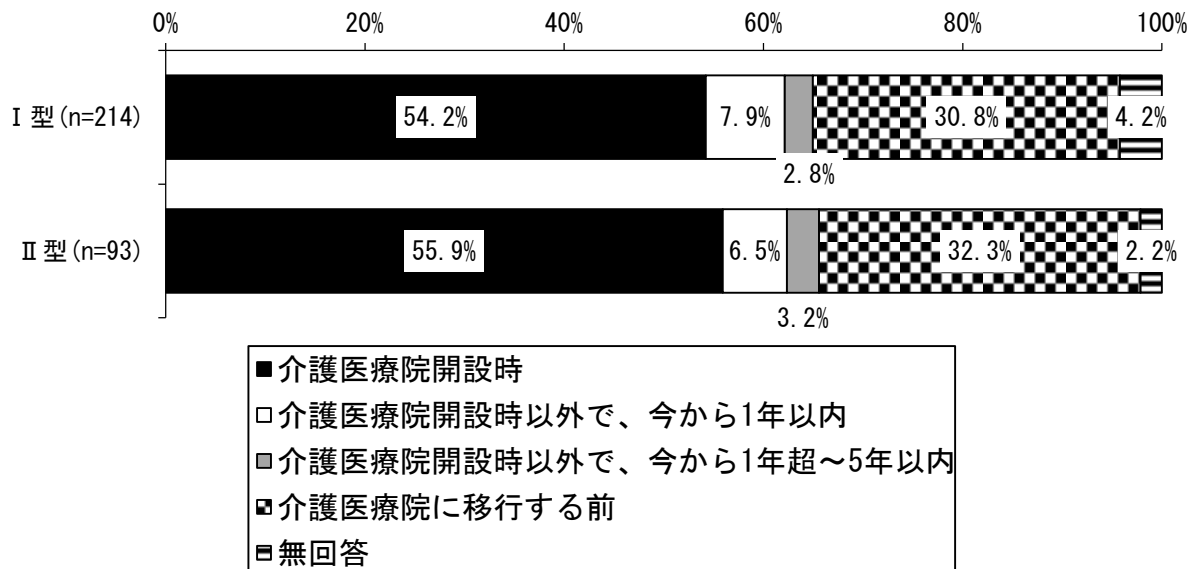
介護老人保健施設は、超強化型では「施設設立時」が51.2%、「施設設立時以外で、今から1年以内」が14.5%であった。在宅強化型では「施設設立時」が56.9%、「施設設立時以外で、今から1年以内」が20.7%であった。加算型では「施設設立時」が53.0%、「施設設立時以外で、今から1年以内」が18.1%であった。基本型では「施設設立時」が52.1%、「施設設立時以外で、今から1年超～5年以内」が12.8%であった。基本型では「施設設立時」が52.1%、「施設設立時以外で、今から1年超～5年以内」が12.8%であった。

図表 2-2-62 入所者の入院・休日夜間等における対応等を主たる協力病院と確認した時期
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 9⑨)



介護医療院は、Ⅰ型では「介護医療院開設時」が 54.2%、「介護医療院に移行する前」が 30.8%であった。Ⅱ型では「介護医療院開設時」が 55.9%、「介護医療院に移行する前」が 32.3%であった。

図表 2-2-63 入所者の入院・休日夜間等における対応等を主たる協力病院と確認した時期
(介護医療院 類型別) (問 9⑨)



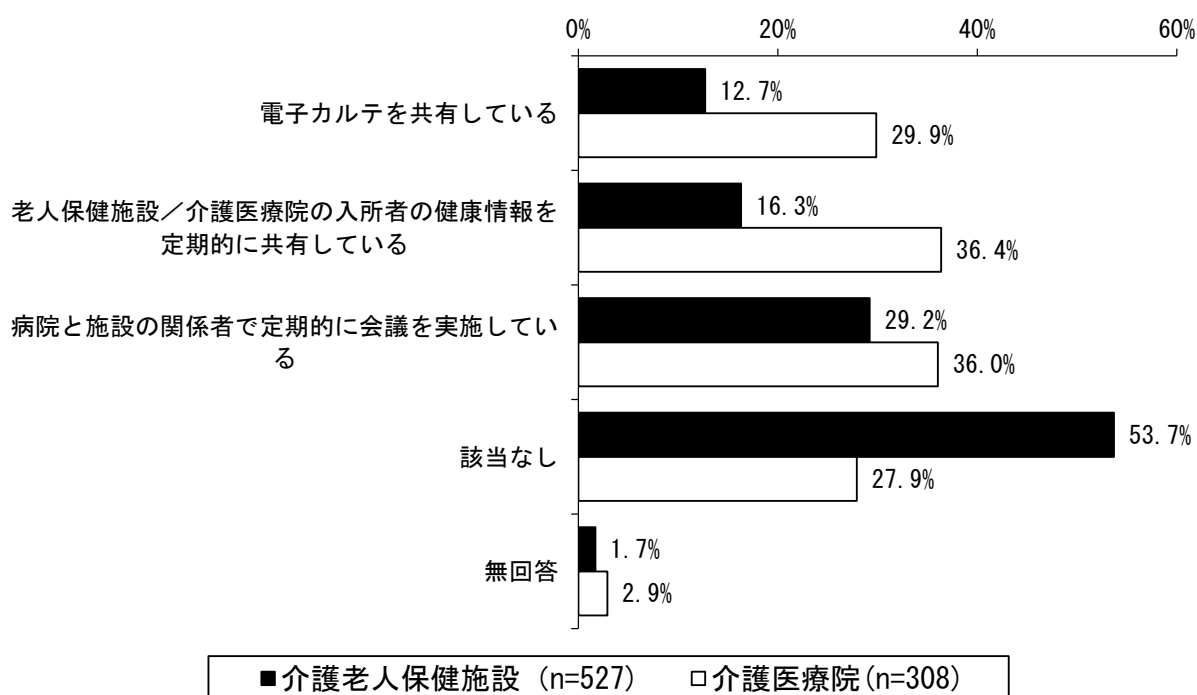
※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

⑪ 主たる協力病院との連携の状況

主たる協力病院との連携の状況は、介護老人保健施設では「該当なし」が 53.7%、「病院と施設の関係者で定期的に会議を実施している」が 29.2%であった。介護医療院では「介護医療院の入所者の健康情報を共有している」が 36.4%、「病院と施設の関係者で定期的に会議を実施している」が 36.0%であった。

図表 2-2-64 主たる協力病院との連携の状況（複数回答）

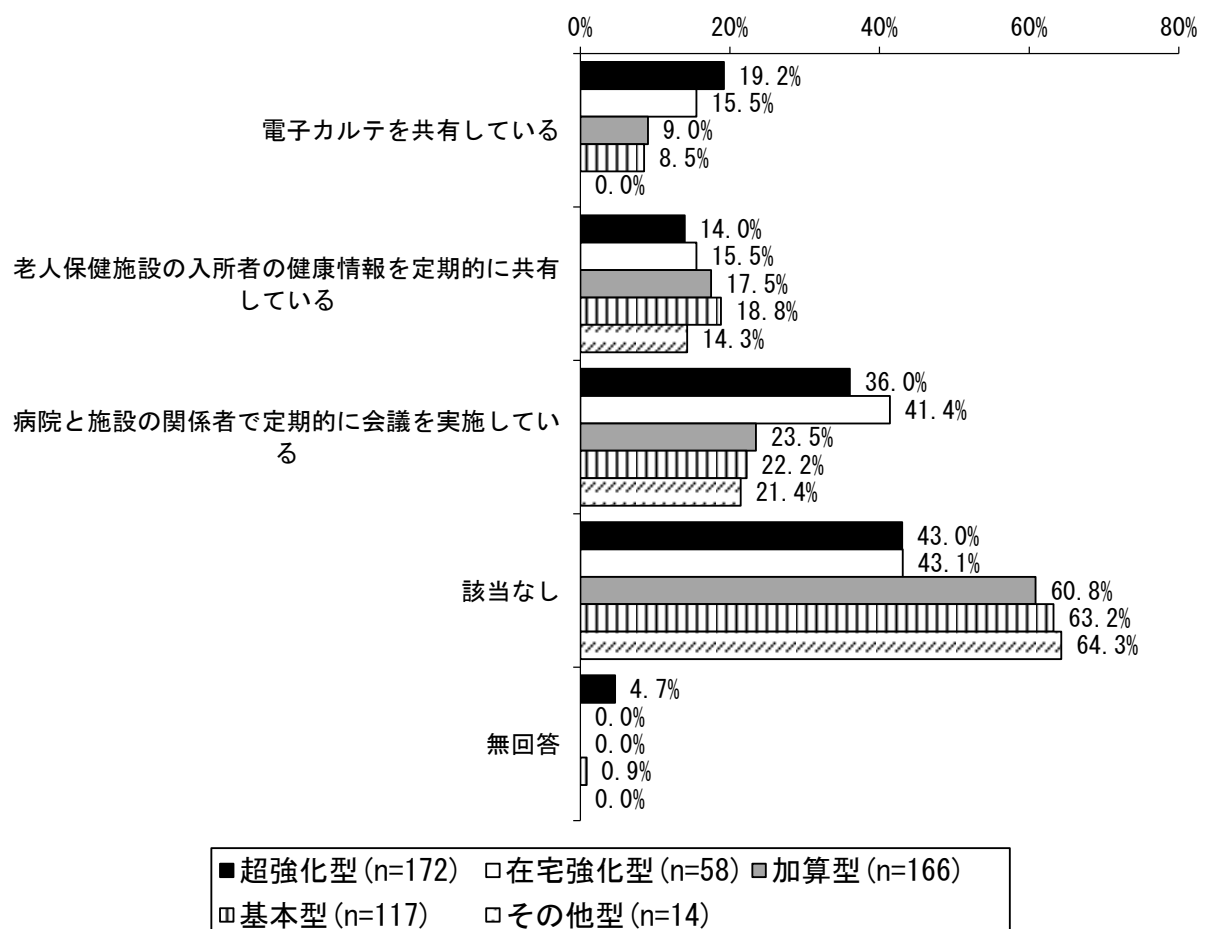
（介護老人保健施設票：問 9⑩／介護医療院票：問 9⑩）



（注）選択肢「老人保健施設／介護医療院の入所者の健康情報を定期的に共有している」は、介護老人保健施設では「老人保健施設の入所者の健康情報を定期的に共有している」、介護医療院では「介護医療院の入所者の健康情報を定期的に共有している」とした

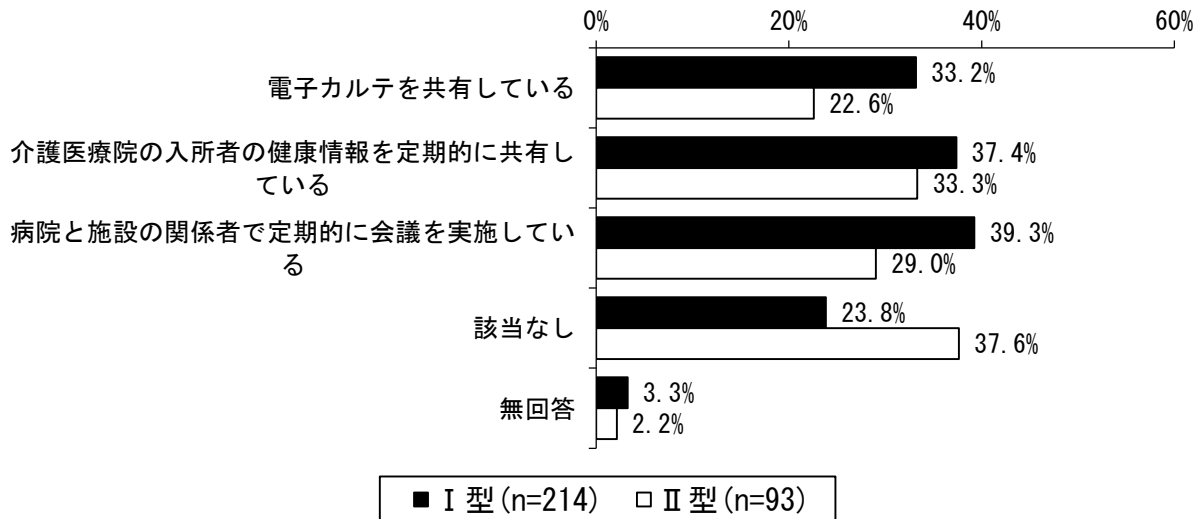
介護老人保健施設は、超強化型では「該当なし」が43.0%、「病院と施設の関係者で定期的に会議を実施している」が36.0%であった。在宅強化型では「該当なし」が43.1%、「病院と施設の関係者で定期的に会議を実施している」が41.4%であった。加算型では「該当なし」が60.8%、「病院と施設の関係者で定期的に会議を実施している」が23.5%であった。基本型では「該当なし」が63.2%、「病院と施設の関係者で定期的に会議を実施している」が22.2%であった。

図表 2-2-65 主たる協力病院との連携の状況（複数回答）（介護老人保健施設 施設類型別）
（問 9⑩）



介護医療院は、I型では「病院と施設の関係者で定期的に会議を実施している」が39.3%、「介護医療院の入所者の健康情報を定期的に共有している」が37.4%であった。II型では「該当なし」が37.6%、「介護医療院の入所者の健康情報を定期的に共有している」が33.3%であった。

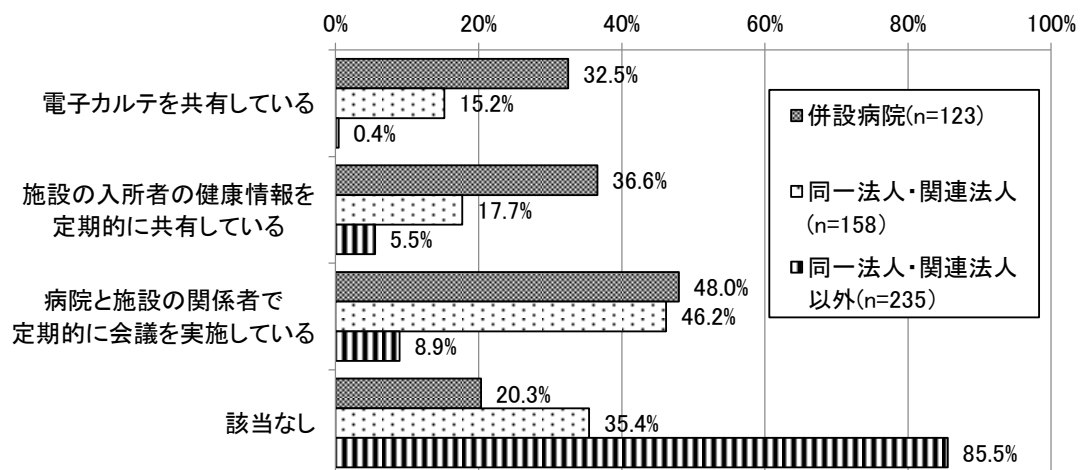
図表 2-2-66 主たる協力病院との連携の状況（複数回答）（介護医療院 類型別）（問 9⑩）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

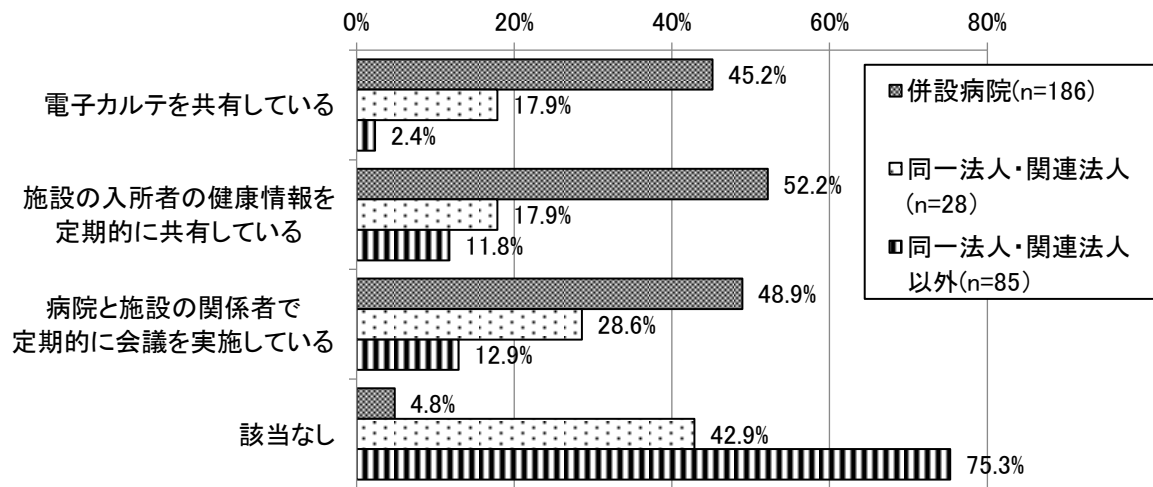
介護老人保健施設では、主たる協力病院が併設病院の場合、「病院と施設の関係者で定期的に会議を実施している」が48.0%、同一法人・関連法人以外の場合「該当なし」が85.5%であった。介護医療院では、主たる協力病院が併設病院の場合、「施設の入所者の健康情報を定期的に共有している」が52.2%、同一法人・関連法人以外の場合「該当なし」が75.3%であった。

図表 2-2-67 介護老人保健施設：主たる協力病院との関係別主たる協力病院との連携の状況（複数回答）（問 9⑩）



図表 2-2-68 介護医療院：主たる協力病院との関係別主たる協力病院との連携の状況

(複数回答) (問 9⑩)



⑫ 主たる協力病院の選定方法

主たる協力病院の選定方法は、介護老人保健施設では「同一法人・関連法人の病院である」が 52.8%、「過去の経緯は不明」が 21.4%であった。

介護医療院では「介護医療院移行前は一体であった病院である」が 56.5%、「同一法人・関連法人の病院である」が 13.3%であった。

図表 2-2-69 主たる協力病院の選定方法

(介護老人保健施設票：問 9⑪) / (介護医療院票：問 9⑪)

	合計	介護医療院移行前は一体であった病院である	同一法人・関連法人の病院である	知り合いの病院に依頼した	近くで介護保険施設の協力病院になるところは1か所しかない	地域の医師会に相談・依頼した
介護老人保健施設	527 100.0%		278 52.8%	24 4.6%	34 6.5%	13 2.5%
介護医療院	308 100.0%	174 56.5%	41 13.3%	24 7.8%	13 4.2%	8 2.6%

(続き)

	合計	所在地の市区町村に相談・依頼した	過去の経緯は不明	その他	無回答
介護老人保健施設	527 100.0%	6 1.1%	113 21.4%	46 8.7%	13 2.5%
介護医療院	308 100.0%	1 0.3%	16 5.2%	24 7.8%	7 2.3%

図表 2-2-70 主たる協力病院の選定方法（介護老人保健施設 施設類型別）（問 9⑩）

	合計	同一法人・ 関連法人の 病院である	知り合いの 病院に依頼 した	近くで介護 保険施設の 協力病院に なるところ は1か所し かない	地域の医師 会に相談・ 依頼した	所在地の市 区町村に相 談・依頼し た
超強化型	172 100.0%	116 67.4%	7 4.1%	4 2.3%	2 1.2%	1 0.6%
在宅強化 型	58 100.0%	35 60.3%	0 0.0%	6 10.3%	3 5.2%	2 3.4%
加算型	166 100.0%	69 41.6%	9 5.4%	14 8.4%	4 2.4%	3 1.8%
基本型	117 100.0%	51 43.6%	7 6.0%	7 6.0%	4 3.4%	0 0.0%
その他型	14 100.0%	7 50.0%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%

（続き）

	合計	過去の経緯 は不明	その他	無回答
超強化型	172 100.0%	22 12.8%	13 7.6%	7 4.1%
在宅強化 型	58 100.0%	8 13.8%	4 6.9%	0 0.0%
加算型	166 100.0%	48 28.9%	17 10.2%	2 1.2%
基本型	117 100.0%	33 28.2%	11 9.4%	4 3.4%
その他型	14 100.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%

図表 2-2-71 主たる協力病院の選定方法（介護医療院 類型別）（問 9⑩）

	合計	介護医療院 移行前は一 体であった 病院である	同一法人・ 関連法人の 病院である	知り合いの 病院に依頼 した	近くで介護 保険施設の 協力病院に なるところ は1か所し かない	地域の医師 会に相談・ 依頼した
I 型	214 100.0%	136 63.6%	23 10.7%	14 6.5%	7 3.3%	2 0.9%
II 型	93 100.0%	37 39.8%	18 19.4%	10 10.8%	6 6.5%	6 6.5%

（続き）

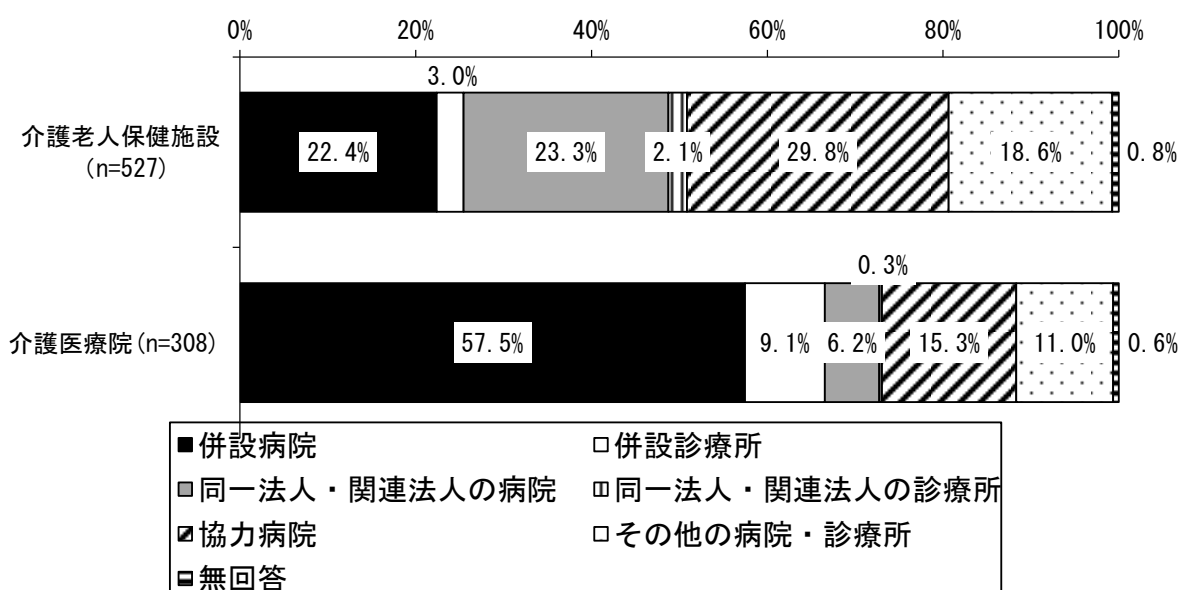
	合計	所在地の市 区町村に相 談・依頼し た	過去の経緯 は不明	その他	無回答
I 型	214 100.0%	1 0.5%	11 5.1%	14 6.5%	6 2.8%
II 型	93 100.0%	0 0.0%	5 5.4%	10 10.8%	1 1.1%

※ I 型・II 型ともに届出をしている1施設を除く

(11) 入所者が入院治療・検査が必要になった場合に主に転院する施設

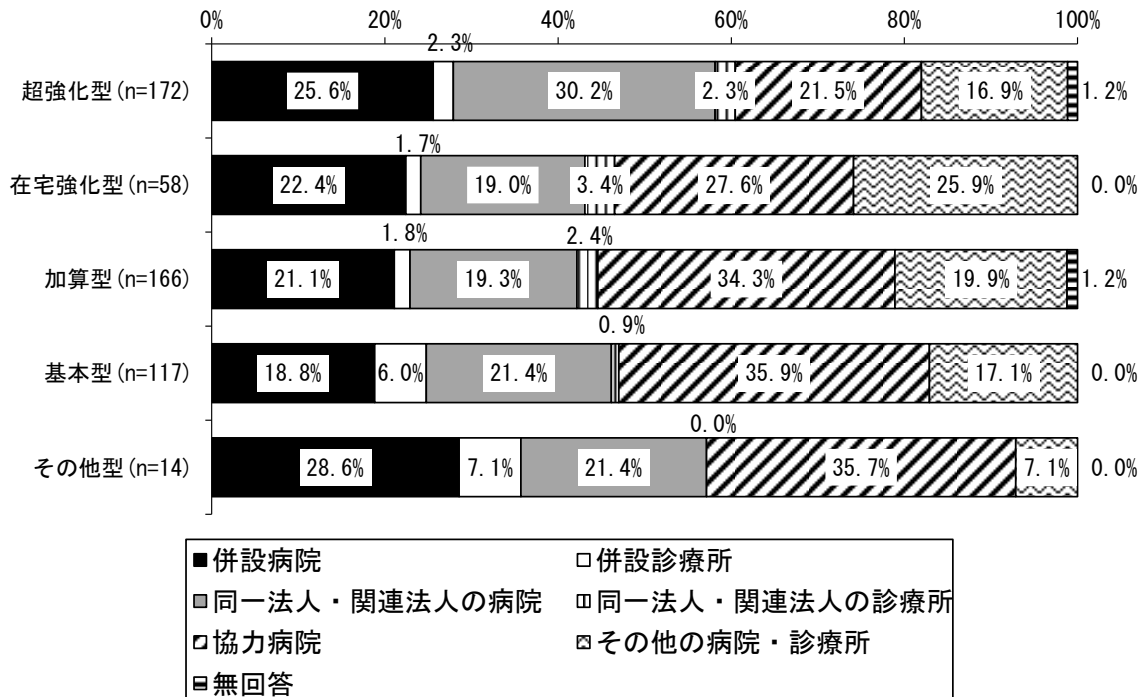
入所者が入院治療・検査が必要になった場合に主に転院する施設は、介護老人保健施設では「協力病院」が 29.8%、「同一法人・関連法人の病院」が 23.3%であった。介護医療院では「併設病院」が 57.5%、「協力病院」が 15.3%であった。

図表 2-2-72 入所者が入院治療・検査が必要になった場合に主に転院する施設
（介護老人保健施設票：問 10／介護医療院票：問 10）



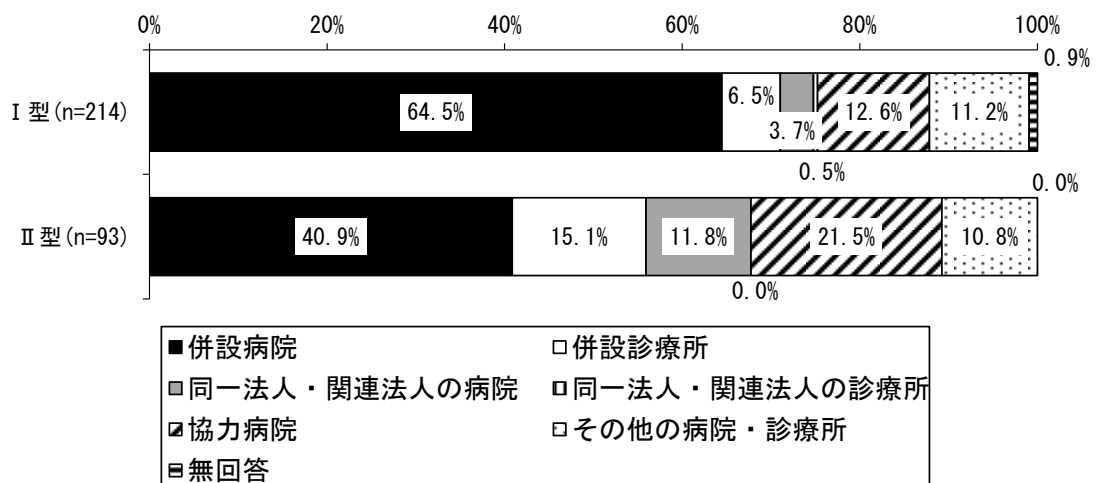
介護老人保健施設は、超強化型では「同一法人・関連法人の病院」が 30.2%、「併設病院」が 25.6%であった。在宅強化型では「協力病院」が 27.6%、「その他の病院・診療所」が 25.9%であった。加算型では「協力病院」が 34.3%、「併設病院」が 21.1%であった。基本型では「協力病院」が 35.9%、「同一法人・関連法人の病院」が 21.4%であった。

図表 2-2-73 入所者が入院治療・検査が必要になった場合に主に転院する施設
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 10)



介護医療院は、I型では「併設病院」が 64.5%、「協力病院」が 12.6%であった。II型では「併設病院」が 40.9%、「協力病院」が 21.5%であった。

図表 2-2-74 入所者が入院治療・検査が必要になった場合に主に転院する施設
(介護医療院 類型別) (問 10)



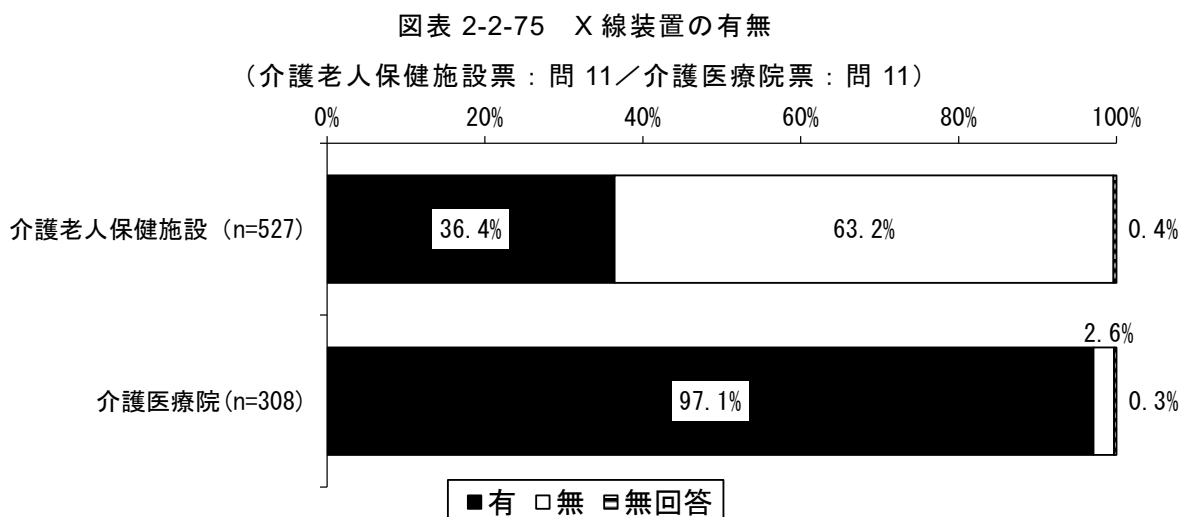
※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

2. 施設の設備

(1) X線装置

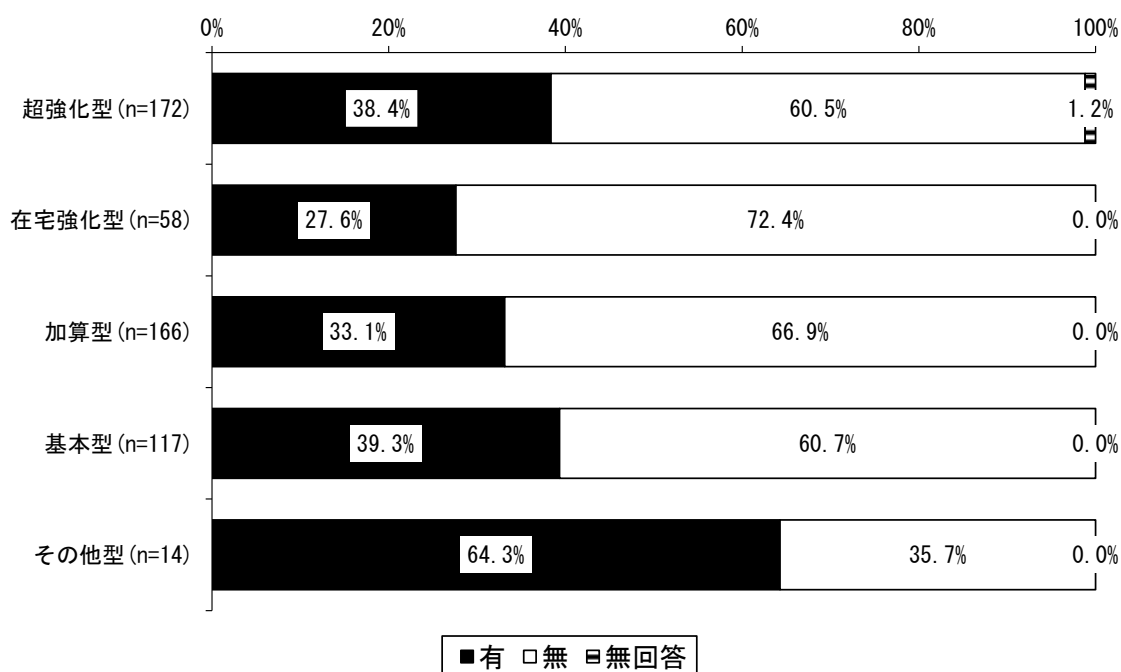
① X線装置の有無

X線装置の有無は介護老人保健施設では「有」が36.4%、「無」が63.2%であった。介護医療院では「有」が97.1%、「無」が2.6%であった。



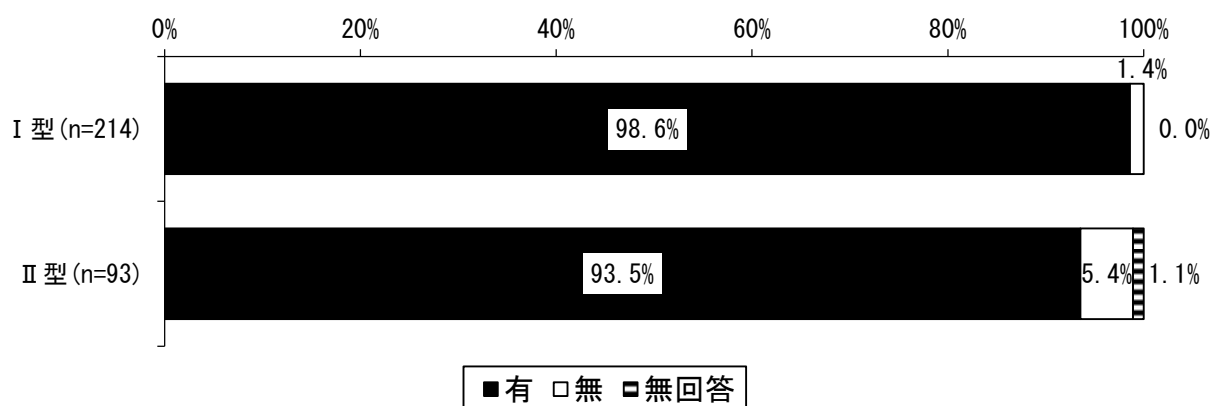
介護老人保健施設は、超強化型では「有」が38.4%、「無」が60.5%であった。在宅強化型では「有」が27.6%、「無」が72.4%であった。加算型では「有」が33.1%、「無」が66.9%であった。基本型では「有」が39.3%、「無」が60.7%であった。

図表 2-2-76 X線装置の有無（介護老人保健施設 施設類型別）（問11）



介護医療院は、I型では「有」が98.6%、「無」が1.4%であった。II型では「有」が93.5%、「無」が5.4%であった。

図表 2-2-77 X線装置の有無（介護医療院の類型別）（問 11）

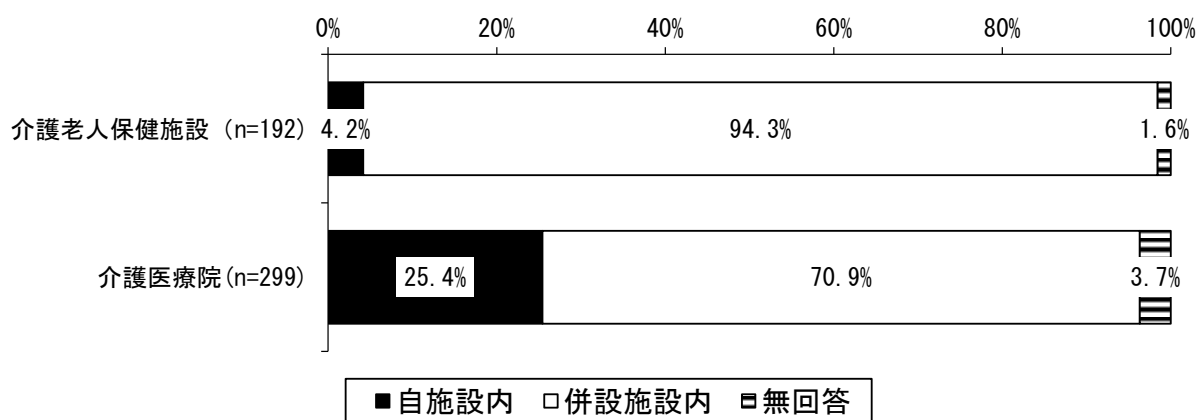


② X線装置の場所

X線装置の場所は、介護老人保健施設では「自施設内」が4.2%、「併設施設内」が94.3%であった。介護医療院では「自施設内」が25.4%、「併設施設内」が70.9%であった。

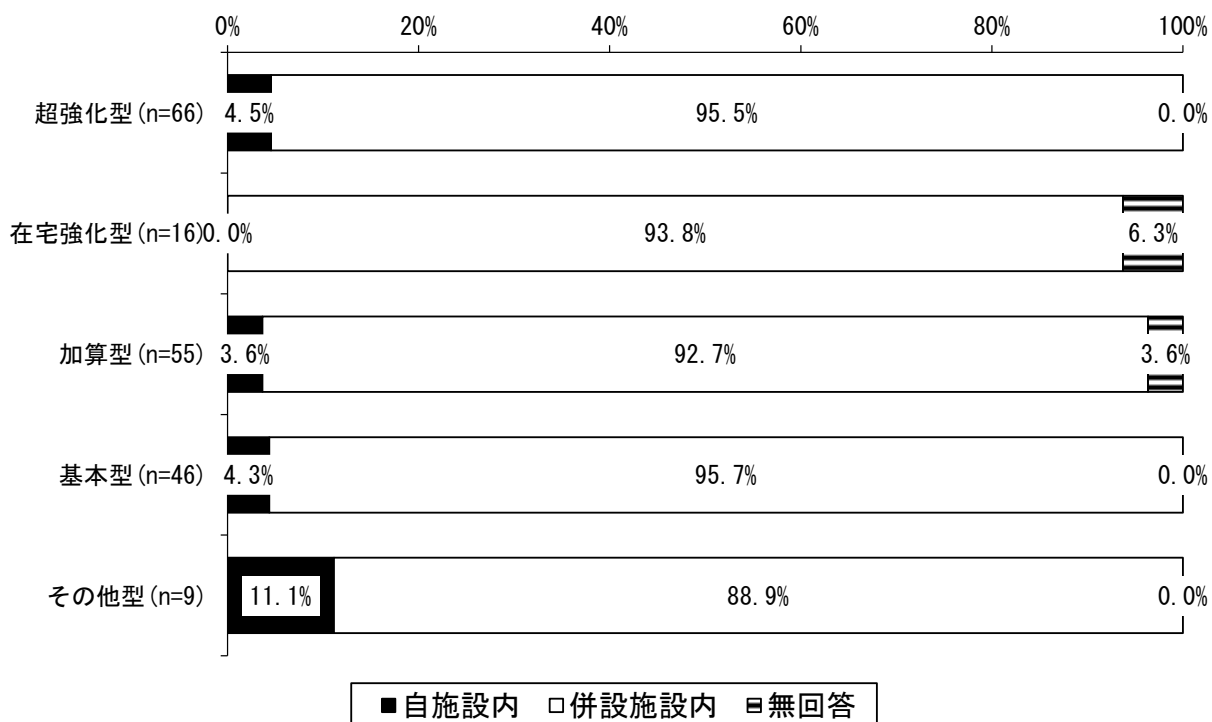
図表 2-2-78 X線装置の場所

（介護老人保健施設票：問 11／介護医療院票：問 11）



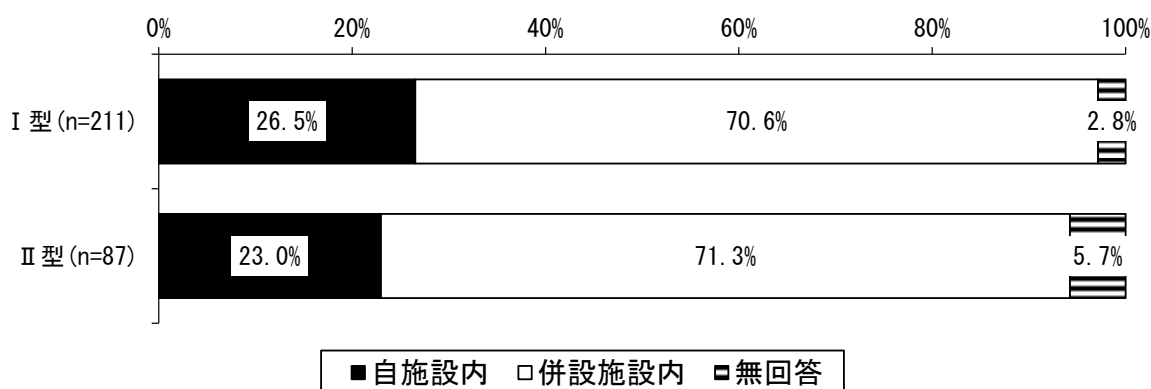
介護老人保健施設は、超強化型では「自施設内」が 4.5%、「併設施設内」が 95.5%であった。在宅強化型では「自施設内」が 0.0%、「併設施設内」が 93.8%であった。加算型では「自施設内」が 3.6%、「併設施設内」が 92.7%であった。基本型では「自施設内」が 4.3%、「併設施設内」が 95.7%であった。

図表 2-2-79 X線装置の場所（介護老人保健施設 施設類型別）（問 11）



介護医療院は、I型では「自施設内」が 26.5%、「併設施設内」が 70.6%であった。II型では「自施設内」が 23.0%、「併設施設内」が 71.3%であった。

図表 2-2-80 X線装置の場所（介護医療院 類型別）（問 11）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(2) 居室の部屋数と延べ床面積

介護老人保健施設の1人あたりの平均面積は、4人室が9.0㎡、3人室が10.2㎡、2人室が10.1㎡、従来型個室が15.2㎡、ユニット型が15.5㎡であった。

図表 2-2-81 療養室の部屋数と延べ床面積（介護老人保健施設）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	520	15.1	399	619.9	399	9.0
3人室	520	0.5	78	95.5	78	10.2
2人室	520	4.4	320	121.1	320	10.1
従来型個室	520	11.3	397	190.1	397	15.2
ユニット型	520	7.4	52	863.5	52	15.5

（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

図表 2-2-82 療養室の部屋数と延べ床面積（介護老人保健施設 超強化型）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	169	14.8	128	625.3	128	9.0
3人室	169	0.6	24	111.4	24	10.2
2人室	169	5.1	99	141.6	99	10.2
従来型個室	169	12.5	131	195.8	131	15.3
ユニット型	169	8.1	17	897.3	14	16.1

（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

図表 2-2-83 療養室の部屋数と延べ床面積（介護老人保健施設 在宅強化型）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	57	16.0	48	631.7	48	8.8
3人室	57	1.1	14	131.7	14	9.8
2人室	57	3.6	41	97.1	41	10.4
従来型個室	57	9.6	48	156.5	48	14.9
ユニット型	57	8.1	7	906.5	7	15.4

（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

図表 2-2-84 療養室の部屋数と延べ床面積（介護老人保健施設 加算型）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	164	16.0	132	614.9	132	9.0
3人室	164	0.3	22	61.8	22	10.0
2人室	164	4.4	109	114.0	109	10.0
従来型個室	164	12.1	124	215.7	124	15.4
ユニット型	164	4.5	11	602.3	11	14.3

（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

図表 2-2-85 療養室の部屋数と延べ床面積（介護老人保健施設 基本型）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	116	14.3	85	621.0	85	8.9
3人室	116	0.4	17	83.6	17	10.4
2人室	116	3.6	65	107.1	65	9.7
従来型個室	116	9.0	86	158.3	86	14.9
ユニット型	116	10.0	16	1,034.7	16	16.1

（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

図表 2-2-86 療養室の部屋数と延べ床面積（介護老人保健施設 その他型）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	14	10.9	6	504.5	6	8.8
3人室	14	0.6	1	149.0	1	12.4
2人室	14	5.3	6	230.5	6	10.8
従来型個室	14	11.6	8	244.8	8	15.1
ユニット型	14	7.6	1	120.0	1	12.0

（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

介護医療院の1人あたりの平均面積は、4人室が 8.3 ㎡、3人室が 8.9 ㎡、2人室が 9.5 ㎡、従来型個室が 13.9 ㎡、ユニット型が 14.3 ㎡であった。

図表 2-2-87 療養室の部屋数と延べ床面積（介護医療院）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	306	9.0	240	352.4	240	8.3
3人室	306	1.8	107	129.7	107	8.9
2人室	306	3.5	188	95.7	188	9.5
従来型個室	306	4.6	203	84.4	203	13.9
ユニット型	306	1.1	6	709.6	6	14.3

（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

図表 2-2-88 療養室の部屋数と延べ床面積（介護医療院 I 型）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	212	9.5	172	355.7	172	8.3
3人室	212	1.8	73	125.0	73	8.9
2人室	212	3.5	126	95.9	126	9.4
従来型個室	212	4.4	137	78.9	137	13.7
ユニット型	212	1.0	4	658.1	4	14.5

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

図表 2-2-89 療養室の部屋数と延べ床面積（介護医療院 II 型）（問 12）

	室数		延床面積（合計値）		1人あたり 平均面積	
	件数	平均値 （室）	件数	平均値 （㎡）	件数	（㎡）
4人室	93	7.8	67	332.1	67	8.2
3人室	93	1.9	34	139.7	34	8.9
2人室	93	3.3	62	95.2	62	9.8
従来型個室	93	5.0	65	87.9	65	13.8
ユニット型	93	1.3	2	812.5	2	13.9

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

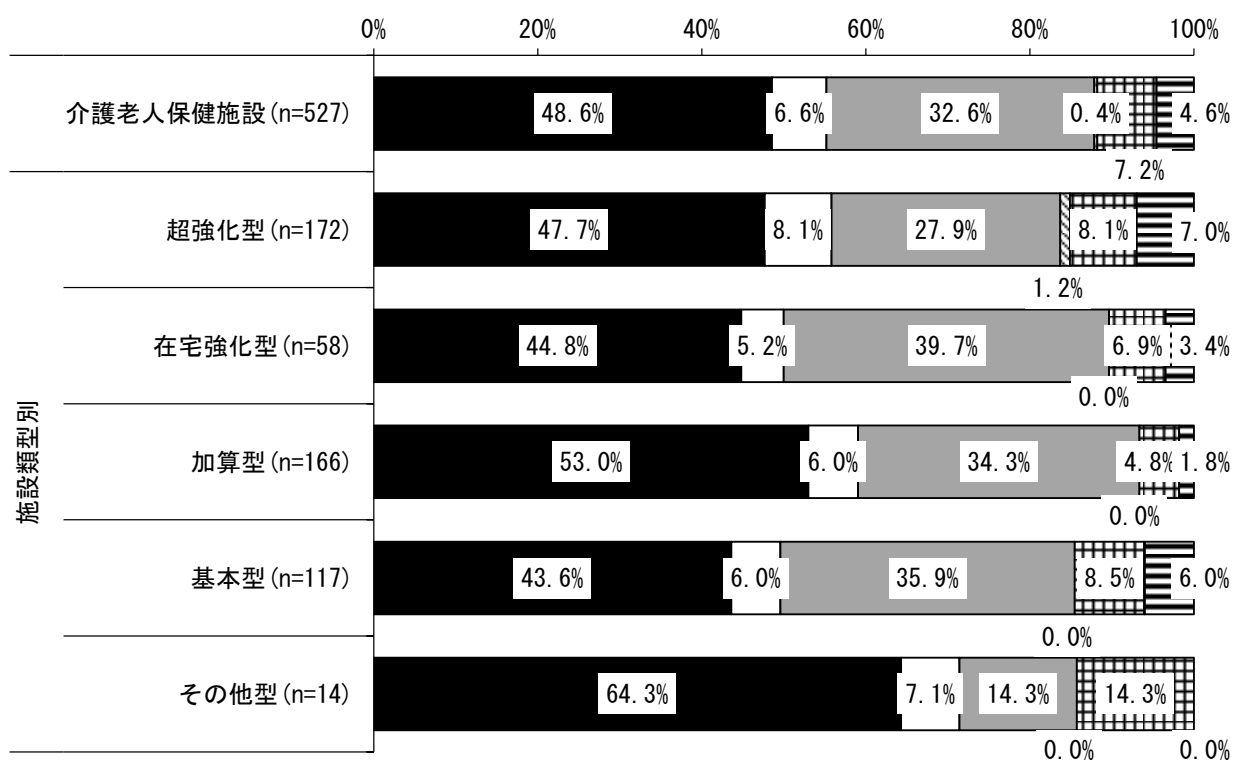
（注）ユニット型には「ユニット型個室」「ユニット型個室的多床室」の両方を含む

(3) 多床室のプライバシーの確保の状況（介護老人保健施設）

介護老人保健施設での多床室のプライバシーの確保の状況は、「全ての部屋について、室内を区分している」が 48.6%、「全部の部屋がカーテンのみで仕切られている」が 32.6%であった。

超強化型では「全ての部屋について、室内を区分している」が 47.7%、「全部の部屋がカーテンのみで仕切られている」が 27.9%であった。在宅強化型では「全ての部屋について、室内を区分している」が 44.8%、「全部の部屋がカーテンのみで仕切られている」が 39.7%であった。加算型では「全ての部屋について、室内を区分している」が 53.0%、「全部の部屋がカーテンのみで仕切られている」が 34.3%であった。基本型では「全ての部屋について、室内を区分している」が 43.6%、「全部の部屋がカーテンのみで仕切られている」が 35.9%であった。

図表 2-2-90 多床室のプライバシーの確保の状況（問 13）



- 全ての部屋について、室内を区分している
- 一部、カーテンのみで仕切られている部屋がある
- ▨ 全部の部屋がカーテンのみで仕切られている
- ▩ その他
- 多床室はない
- 無回答

3. 職員体制

(1) 施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）

介護老人保健施設の職員数は介護職員が平均 29.0 人、看護師が平均 6.5 人であった。

図表 2-2-91 2023 年 7 月 1 日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設）(n=517)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	1.1	0.4	1.0
歯科医師	0.0	0.0	0.0
歯科衛生士	0.1	0.3	0.0
薬剤師	0.3	0.3	0.3
看護師	6.5	3.4	6.0
准看護師	3.6	2.5	3.6
介護職員	29.0	11.2	28.0
うち、介護福祉士	21.4	10.0	21.0
理学療法士	2.7	2.0	2.1
作業療法士	1.7	1.3	1.5
言語聴覚士	0.4	0.6	0.1
栄養士	1.7	1.0	1.4
うち、管理栄養士	1.5	0.9	1.0
介護支援専門員	1.7	1.3	1.3
支援相談員	2.4	1.1	2.5
うち、社会福祉士	1.0	1.1	1.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.5	0.8	0.0

図表 2-2-92 2023 年 7 月 1 日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 超強化型）(n=169)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	1.1	0.4	1.0
歯科医師	0.0	0.0	0.0
歯科衛生士	0.2	0.4	0.0
薬剤師	0.3	0.3	0.3
看護師	7.5	3.5	7.1
准看護師	3.3	2.3	3.0
介護職員	31.4	10.6	30.2
うち、介護福祉士	24.1	9.9	23.4
理学療法士	3.6	2.1	3.0
作業療法士	2.1	1.2	2.0
言語聴覚士	0.7	0.6	0.7
栄養士	1.9	1.1	2.0
うち、管理栄養士	1.7	1.0	1.7
介護支援専門員	1.8	1.2	1.7
支援相談員	2.9	1.0	3.0
うち、社会福祉士	1.4	1.2	1.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.5	0.8	0.0

図表 2-2-93 2023年7月1日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 在宅強化型）(n=57)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	1.1	0.3	1.0
歯科医師	0.0	0.1	0.0
歯科衛生士	0.2	0.4	0.0
薬剤師	0.3	0.3	0.3
看護師	7.2	3.0	7.6
准看護師	3.2	2.4	3.0
介護職員	30.4	10.8	29.1
うち、介護福祉士	23.2	9.5	22.5
理学療法士	3.8	2.5	2.9
作業療法士	2.1	1.6	1.8
言語聴覚士	0.5	0.6	0.2
栄養士	1.7	0.7	1.8
うち、管理栄養士	1.5	0.7	1.4
介護支援専門員	1.7	1.1	1.2
支援相談員	2.6	0.9	2.8
うち、社会福祉士	1.0	1.0	1.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.5	0.8	0.0

図表 2-2-94 2023年7月1日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 加算型）(n=164)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	1.1	0.4	1.0
歯科医師	0.0	0.0	0.0
歯科衛生士	0.1	0.3	0.0
薬剤師	0.3	0.3	0.3
看護師	6.3	3.4	6.0
准看護師	3.9	2.4	3.8
介護職員	28.9	10.7	28.0
うち、介護福祉士	21.2	9.7	21.1
理学療法士	2.2	1.6	2.0
作業療法士	1.7	1.3	1.4
言語聴覚士	0.3	0.5	0.0
栄養士	1.7	1.1	1.1
うち、管理栄養士	1.4	0.9	1.0
介護支援専門員	1.7	1.7	1.4
支援相談員	2.4	1.0	2.5
うち、社会福祉士	1.0	1.0	1.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.6	0.9	0.0

図表 2-2-95 2023年7月1日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 基本型）(n=113)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	1.0	0.4	1.0
歯科医師	0.0		0.0
歯科衛生士	0.0	0.2	0.0
薬剤師	0.2	0.2	0.3
看護師	5.1	2.7	5.0
准看護師	4.0	2.7	4.0
介護職員	25.2	11.2	25.5
うち、介護福祉士	17.5	9.2	17.5
理学療法士	1.9	1.6	1.5
作業療法士	1.1	1.1	1.0
言語聴覚士	0.2	0.4	0.0
栄養士	1.3	0.8	1.0
うち、管理栄養士	1.1	0.6	1.0
介護支援専門員	1.4	0.7	1.0
支援相談員	1.9	1.0	2.0
うち、社会福祉士	0.6	0.7	0.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.4	0.7	0.0

図表 2-2-96 2023年7月1日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 その他型）(n=113)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	0.9	0.3	1.0
歯科医師	0.0		0.0
歯科衛生士	0.0		0.0
薬剤師	0.1	0.2	0.0
看護師	4.6	4.9	3.0
准看護師	3.8	2.7	4.2
介護職員	26.1	16.7	24.2
うち、介護福祉士	15.3	9.6	14.4
理学療法士	1.4	1.2	1.0
作業療法士	0.7	0.6	0.9
言語聴覚士	0.1	0.3	0.0
栄養士	1.5	0.7	1.0
うち、管理栄養士	1.3	0.6	1.0
介護支援専門員	1.3	0.6	1.0
支援相談員	1.4	0.7	1.0
うち、社会福祉士	0.3	0.5	0.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.4	0.6	0.0

介護医療院の職員数は介護職員が平均 14.8 人、看護師が平均 8.1 人であった。

図表 2-2-97 2023 年 7 月 1 日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院）(n=305)（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	1.7	1.5	1.1
歯科医師	0.0	0.1	0.0
歯科衛生士	0.1	0.4	0.0
薬剤師	0.7	0.9	0.5
看護師	8.1	6.5	6.8
准看護師	4.6	4.5	4.0
介護職員	14.8	11.4	12.5
うち、介護福祉士	9.6	7.9	8.0
理学療法士	1.5	1.7	1.0
作業療法士	0.8	1.3	0.2
言語聴覚士	0.4	0.8	0.0
栄養士	1.2	1.2	1.0
うち、管理栄養士	1.0	0.8	1.0
介護支援専門員	1.2	0.9	1.0
支援相談員	0.5	0.8	0.0
うち、社会福祉士	0.2	0.5	0.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.2	0.4	0.0

図表 2-2-98 2023 年 7 月 1 日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院 I 型）(n=212)（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	2.0	1.6	1.4
歯科医師	0.0	0.1	0.0
歯科衛生士	0.1	0.4	0.0
薬剤師	0.9	0.9	0.7
看護師	8.8	6.5	7.1
准看護師	4.5	3.5	4.0
介護職員	15.5	10.7	13.0
うち、介護福祉士	10.2	8.2	9.0
理学療法士	1.6	1.8	1.0
作業療法士	0.9	1.3	0.5
言語聴覚士	0.5	0.8	0.0
栄養士	1.3	1.2	1.0
うち、管理栄養士	1.0	0.9	1.0
介護支援専門員	1.2	0.7	1.0
支援相談員	0.5	0.7	0.0
うち、社会福祉士	0.3	0.5	0.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.2	0.4	0.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

図表 2-2-99 2023 年 7 月 1 日時点の施設（入所）の職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院 II 型）（n=92）（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
医師	1.1	0.9	1.0
歯科医師	0.0	0.1	0.0
歯科衛生士	0.1	0.4	0.0
薬剤師	0.5	0.9	0.3
看護師	6.5	6.2	5.0
准看護師	4.8	6.3	4.0
介護職員	13.2	12.9	10.9
うち、介護福祉士	8.0	7.0	6.3
理学療法士	1.1	1.2	1.0
作業療法士	0.6	1.2	0.0
言語聴覚士	0.3	0.6	0.0
栄養士	1.1	1.3	1.0
うち、管理栄養士	0.9	0.8	1.0
介護支援専門員	1.3	1.2	1.0
支援相談員	0.5	1.0	0.0
うち、社会福祉士	0.2	0.4	0.0
うち、介護支援専門員との兼務者	0.2	0.4	0.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(2) 施設（入所）の夜勤の配置数

介護老人保健施設の1日あたりの夜勤の配置数は看護師・准看護師が平均1.0人、介護職員が平均3.5人であった。

図表 2-2-100 2023年7月1日時点の施設（入所）の夜勤の配置数（1日あたりの人数）
（介護老人保健施設）（n=488）（問14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	1.0	0.4	1.0
介護職員	3.5	1.4	3.0

図表 2-2-101 2023年7月1日時点の施設（入所）の夜勤の配置数（1日あたりの人数）
（介護老人保健施設 施設類型別）（問14）

		平均値（人）	標準偏差	中央値
超強化型 (n=161)	看護師・准看護師	1.0	0.4	1.0
	介護職員	3.7	1.3	4.0
在宅強化 型(n=55)	看護師・准看護師	1.0	0.3	1.0
	介護職員	3.6	1.4	4.0
加算型 (n=147)	看護師・准看護師	1.0	0.4	1.0
	介護職員	3.6	1.4	4.0
基本型 (n=111)	看護師・准看護師	0.9	0.5	1.0
	介護職員	3.2	1.4	3.0
その他型 (n=12)	看護師・准看護師	0.8	0.4	1.0
	介護職員	2.8	1.5	3.0

介護医療院の1日あたりの夜勤の配置数は看護師・准看護師が平均1.4人、介護職員が平均1.6人であった。

図表 2-2-102 2023年7月1日時点の施設（入所）の夜勤の配置数（1日あたりの人数）
（介護医療院）（n=269）（問13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	1.4	0.7	1.0
介護職員	1.6	1.2	1.0

図表 2-2-103 2023年7月1日時点の施設（入所）の夜勤の配置数（1日あたりの人数）
（介護医療院 類型別）（問13）

		平均値（人）	標準偏差	中央値
I型 (n=185)	看護師・准看護師	1.5	0.7	1.0
	介護職員	1.7	1.2	1.5
II型 (n=84)	看護師・准看護師	1.3	0.8	1.0
	介護職員	1.3	1.1	1.0

※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(3) 通所リハの職員数（常勤換算の配置数）

介護老人保健施設の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）は、介護職員が平均 7.4 人、理学療法士が平均 1.7 人であった。

図表 2-2-104 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設）(n=444)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	1.1	1.0	1.0
介護職員	7.4	4.3	6.6
うち、介護福祉士	5.2	3.7	4.9
理学療法士	1.7	1.5	1.3
作業療法士	1.0	1.0	1.0
言語聴覚士	0.2	0.3	0.0

図表 2-2-105 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 超強化型）(n=154)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	1.4	1.0	1.3
介護職員	9.0	5.1	8.4
うち、介護福祉士	6.6	4.2	6.0
理学療法士	2.2	1.7	2.0
作業療法士	1.2	0.9	1.0
言語聴覚士	0.2	0.3	0.0

図表 2-2-106 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 在宅強化型）(n=54)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	1.2	1.0	1.0
介護職員	7.0	3.5	6.5
うち、介護福祉士	4.6	3.3	4.0
理学療法士	1.6	1.3	1.1
作業療法士	1.0	0.9	1.0
言語聴覚士	0.2	0.3	0.0

図表 2-2-107 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 加算型）(n=142)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	1.0	1.1	1.0
介護職員	6.9	3.7	6.1
うち、介護福祉士	4.9	3.2	4.0
理学療法士	1.7	1.4	1.3
作業療法士	1.0	1.1	0.7
言語聴覚士	0.1	0.3	0.0

図表 2-2-108 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 基本型）(n=86)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	0.8	0.9	0.8
介護職員	5.5	3.0	5.0
うち、介護福祉士	3.9	2.5	4.0
理学療法士	1.2	1.0	1.0
作業療法士	0.5	0.6	0.3
言語聴覚士	0.1	0.2	0.0

図表 2-2-109 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 その他型）(n=8)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	0.8	0.8	0.8
介護職員	6.8	4.9	4.5
うち、介護福祉士	3.7	5.0	2.1
理学療法士	1.0	1.3	0.8
作業療法士	0.9	1.3	0.4
言語聴覚士	0.0		0.0

介護医療院の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）は、介護職員が平均 4.6 人、理学療法士が平均 1.1 人であった。

図表 2-2-110 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院）(n=43)（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	0.9	1.4	0.5
介護職員	4.6	3.9	5.2
うち、介護福祉士	3.0	2.6	3.0
理学療法士	1.1	1.1	1.0
作業療法士	0.6	0.8	0.1
言語聴覚士	0.1	0.4	0.0

図表 2-2-111 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院 I 型）(n=29)（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	1.1	1.6	1.0
介護職員	4.7	4.4	5.0
うち、介護福祉士	2.8	2.8	2.8
理学療法士	0.9	1.2	0.5
作業療法士	0.5	0.7	0.0
言語聴覚士	0.1	0.5	0.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

図表 2-2-112 2023 年 7 月 1 日時点の通所リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院 II 型）（n=14）（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
看護師・准看護師	0.6	0.8	0.1
介護職員	4.6	2.6	5.2
うち、介護福祉士	3.4	2.3	3.1
理学療法士	1.4	1.1	1.1
作業療法士	0.8	0.9	0.8
言語聴覚士	0.1	0.3	0.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(4) 訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）

介護老人保健施設の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）は、理学療法士が平均 1.0 人、作業療法士が平均 0.5 人であった¹。

図表 2-2-113 2023 年 7 月 1 日時点の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設）（n=199）（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
理学療法士	1.0	1.3	0.6
作業療法士	0.5	0.9	0.1
言語聴覚士	0.1	0.4	0.0

図表 2-2-114 2023 年 7 月 1 日時点の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 超強化型）（n=98）（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
理学療法士	1.1	1.2	0.8
作業療法士	0.6	1.0	0.2
言語聴覚士	0.1	0.3	0.0

図表 2-2-115 2023 年 7 月 1 日時点の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 在宅強化型）（n=29）（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
理学療法士	0.8	0.8	0.5
作業療法士	0.5	0.8	0.1
言語聴覚士	0.0	0.1	0.0

図表 2-2-116 2023 年 7 月 1 日時点の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 加算型）（n=58）（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
理学療法士	1.0	1.7	0.5
作業療法士	0.5	0.9	0.1
言語聴覚士	0.2	0.6	0.0

¹ その他型は集計対象施設が 1 であるため、集計表を省略した。

図表 2-2-117 2023 年 7 月 1 日時点の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護老人保健施設 基本型）(n=13)（問 14）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
理学療法士	1.0	1.4	0.5
作業療法士	0.3	0.3	0.1
言語聴覚士	0.1	0.1	0.0

介護医療院の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）は、理学療法士が平均 0.9 人、作業療法士が平均 0.4 人であった。

図表 2-2-118 2023 年 7 月 1 日時点の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院）(n=25)（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
理学療法士	0.9	0.9	1.0
作業療法士	0.4	0.6	0.0
言語聴覚士	0.1	0.3	0.0

図表 2-2-119 2023 年 7 月 1 日時点の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院 I 型）(n=21)（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
理学療法士	0.9	1.0	1.0
作業療法士	0.4	0.7	0.0
言語聴覚士	0.1	0.3	0.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

図表 2-2-120 2023 年 7 月 1 日時点の訪問リハの職員数（常勤換算の配置数）
（介護医療院 II 型）(n=4)（問 13）

	平均値（人）	標準偏差	中央値
理学療法士	0.4	0.4	0.3
作業療法士	0.3	0.3	0.3
言語聴覚士	0.0	0.1	0.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

4. 入所者の状況

(1) 要介護度別の入所者数

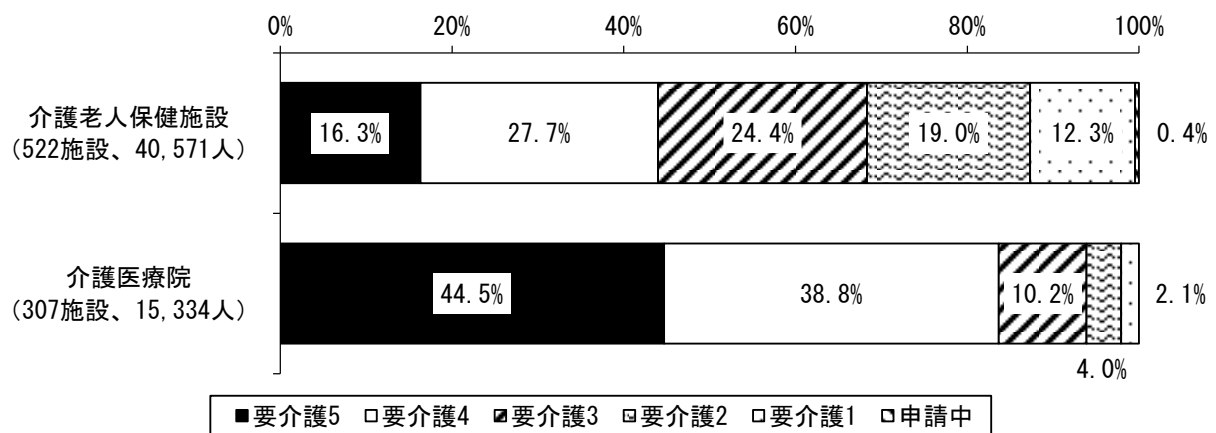
介護老人保健施設の要介護度別入所者割合は、「要介護5」が16.3%、「要介護4」が27.7%、「要介護3」が24.4%、「要介護2」が19.0%、「要介護1」が12.3%であった。

介護医療院の要介護度別入所者割合は、「要介護5」が44.5%、「要介護4」が38.8%、「要介護3」が10.2%、「要介護2」が4.0%、「要介護1」が2.1%であった。

平均要介護度は、介護老人保健施設全体が3.16、超強化型が3.22、在宅強化型が3.16、加算型が3.15、基本型が3.08、その他が3.08であった。介護医療院では、全体が4.21、I型が4.28、II型が3.94であった。

図表 2-2-121 要介護度別入所者割合

(介護老人保健施設票：問 16／介護医療院票：問 15)



図表 2-2-122 要介護度別入所者割合（介護老人保健施設 施設類型別）（問 16）

	合計 (人)	要介護 5		要介護 4		要介護 3	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護老人保健施設	40,571	6,625	16.3%	11,239	27.7%	9,885	24.4%
超強化型	13,478	2,359	17.5%	3,889	28.9%	3,228	24.0%
在宅強化型	4,600	716	15.6%	1,356	29.5%	1,103	24.0%
加算型	13,295	2,156	16.2%	3,618	27.2%	3,293	24.8%
基本型	8,240	1,238	15.0%	2,140	26.0%	2,026	24.6%
その他型	958	156	16.3%	236	24.6%	235	24.5%

(続き)

	合計 (人)	要介護 2		要介護 1		申請中	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護老人保健施設	40,571	7,701	19.0%	4,973	12.3%	148	0.4%
超強化型	13,478	2,391	17.7%	1,533	11.4%	78	0.6%
在宅強化型	4,600	840	18.3%	565	12.3%	20	0.4%
加算型	13,295	2,581	19.4%	1,613	12.1%	34	0.3%
基本型	8,240	1,694	20.6%	1,128	13.7%	14	0.2%
その他型	958	195	20.4%	134	14.0%	2	0.2%

図表 2-2-123 要介護度別入所者割合（介護医療院 類型別）（問 15）

	合計 (人)	要介護 5		要介護 4		要介護 3	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護医療院	15,234	6,821	44.5%	5,953	38.8%	1,559	10.2%
I 型	11,065	5,270	47.6%	4,415	39.9%	881	8.0%
II 型	4,169	1,538	36.9%	1,521	36.5%	630	15.1%

(続き)

	合計 (人)	要介護 2		要介護 1		申請中	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護医療院	15,234	617	4.0%	315	2.1%	69	0.4%
I 型	11,065	302	2.7%	137	1.2%	60	0.5%
II 型	4,169	299	7.2%	172	4.1%	9	0.2%

※類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(2) 入所者数（2023年6月30日24時時点）（実人数）

2023年6月30日24時時点の介護老人保健施設の入所者数（実人数）は平均77.6人、であった。

図表 2-2-124 入所者数（実人数）（介護老人保健施設）（問 15）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	526	77.6	26.9	80.5
超強化型	171	79.4	24.1	80.0
在宅強化型	58	79.1	26.4	84.5
加算型	166	80.6	26.9	82.0
基本型	117	71.0	29.9	76.0
その他型	14	68.4	27.5	72.5

2023年6月30日24時時点の介護医療院の入所者数（実人数）は平均49.9人であった。

図表 2-2-125 入所者数（実人数）（介護医療院）（問 14）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護医療院	308	49.9	43.3	40.5
I型	214	51.9	37.3	41.5
II型	93	44.8	54.5	36.0

※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

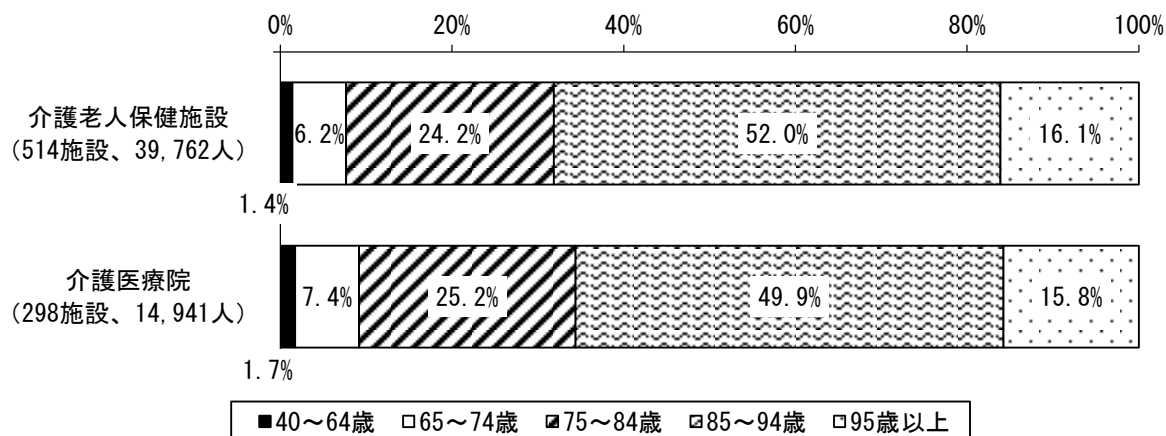
(3) 年齢階級別の入所者数

介護老人保健施設の年齢階級別入所者割合は、「40～64歳」が1.4%、「65～74歳」が6.2%、「75～84歳」が24.2%、「85～94歳」が52.0%、「95歳以上」が16.1%であった。

介護医療院の年齢階級別入所者割合は、「40～64歳」が1.7%、「65～74歳」が7.4%、「75～84歳」が25.2%、「85～94歳」が49.9%、「95歳以上」が15.8%であった。

図表 2-2-126 年齢階級別入所者割合

（介護老人保健施設票：問 16／介護医療院票：問 15）



図表 2-2-127 年齢階級入所者割合（介護老人保健施設 施設類型別）（問 16）

	合計 (人)	40～64 歳		65～74 歳		75～84 歳	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
全体	39,762	558	1.4%	2,482	6.2%	9,628	24.2%
超強化型	13,373	212	1.6%	851	6.4%	3,388	25.3%
在宅強化型	4,537	75	1.7%	299	6.6%	1,074	23.7%
加算型	12,902	155	1.2%	768	6.0%	3,071	23.8%
基本型	7,992	104	1.3%	497	6.2%	1,890	23.6%
その他型	958	12	1.3%	67	7.0%	205	21.4%

(続き)

	合計 (人)	85～94 歳		95 歳以上	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
全体	39,762	20,684	52.0%	6,410	16.1%
超強化型	13,373	6,912	51.7%	2,010	15.0%
在宅強化型	4,537	2,318	51.1%	771	17.0%
加算型	12,902	6,752	52.3%	2,156	16.7%
基本型	7,992	4,175	52.2%	1,326	16.6%
その他型	958	527	55.0%	147	15.3%

図表 2-2-128 年齢階級入所者割合（介護医療院 類型別）（問 15）

	合計 (人)	40～64 歳		65～74 歳		75～84 歳	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
全体	14,941	255	1.7%	1,113	7.4%	3,768	25.2%
I 型	10,817	192	1.8%	768	7.1%	2,723	25.2%
II 型	4,024	63	1.6%	345	8.6%	1,027	25.5%

(続き)

	合計 (人)	85～94 歳		95 歳以上	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
全体	14,941	7,450	49.9%	2,355	15.8%
I 型	10,817	5,441	50.3%	1,693	15.7%
II 型	4,024	1,947	48.4%	642	16.0%

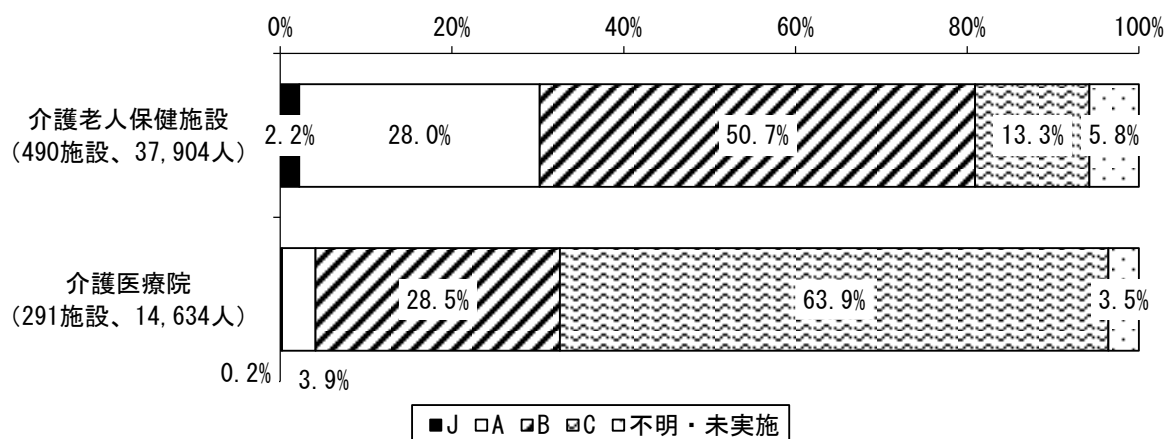
※類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(4) 障害高齢者の日常生活自立度別の入所者数

介護老人保健施設の障害高齢者の日常生活自立度別入所者割合は、「J」が2.2%、「A」が28.0%、「B」が50.7%、「C」が13.3%、「不明・未実施」が5.8%であった。

介護医療院の障害高齢者の日常生活自立度別入所者割合は、「J」が0.2%、「A」が3.9%、「B」が28.5%、「C」が63.9%、「不明・未実施」が3.5%であった。

図表 2-2-129 障害高齢者の日常生活自立度別入所者割合
(介護老人保健施設票：問 16/介護医療院票：問 15)



図表 2-2-130 障害高齢者の日常生活自立度別入所者割合
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 16)

	合計 (人)	J		A		B	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護老人保健施設	37,904	840	2.2%	10,616	28.0%	19,222	50.7%
超強化型	12,946	283	2.2%	3,628	28.0%	6,563	50.7%
在宅強化型	4,345	118	2.7%	1,134	26.1%	2,272	52.3%
加算型	12,448	245	2.0%	3,404	27.3%	6,532	52.5%
基本型	7,275	152	2.1%	2,152	29.6%	3,513	48.3%
その他型	890	42	4.7%	298	33.5%	342	38.4%

(続き)

	合計 (人)	C		不明・未実施	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護老人保健施設	37,904	5,042	13.3%	2,184	5.8%
超強化型	12,946	1,875	14.5%	597	4.6%
在宅強化型	4,345	540	12.4%	281	6.5%
加算型	12,448	1,671	13.4%	596	4.8%
基本型	7,275	866	11.9%	592	8.1%
その他型	890	90	10.1%	118	13.3%

図表 2-2-131 障害高齢者の日常生活自立度別入所者割合（介護医療院 類型別）（問 15）

	合計 (人)	J		A		B	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護医療院	14,634	31	0.2%	569	3.9%	4,165	28.5%
I 型	10,614	10	0.1%	235	2.2%	2,752	25.9%
II 型	3,920	10	0.3%	309	7.9%	1,371	35.0%

(続き)

	合計 (人)	C		不明・未実施	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護医療院	14,634	9,352	63.9%	517	3.5%
I 型	10,614	7,149	67.4%	468	4.4%
II 型	3,920	2,181	55.6%	49	1.3%

※類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

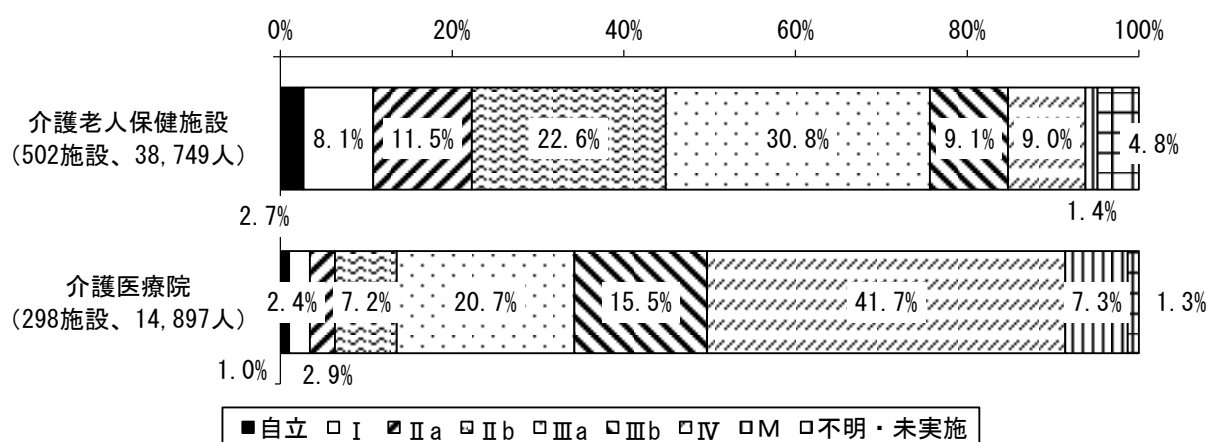
(5) 認知症高齢者の日常生活自立度別の入所者数

介護老人保健施設の認知症高齢者の日常生活自立度別入所者割合は、「自立」が 2.7%、「I」が 8.1%、「II a」が 11.5%、「II b」が 22.6%、「III a」が 30.8%、「III b」が 9.1%、「IV」が 9.0%、「M」が 1.4%、「不明・未実施」が 4.8%であった。

介護医療院の認知症高齢者の日常生活自立度別入所者割合は、「自立」が 1.0%、「I」が 2.4%、「II a」が 2.9%、「II b」が 7.2%、「III a」が 20.7%、「III b」が 15.5%、「IV」が 41.7%、「M」が 7.3%、「不明・未実施」が 1.3%であった。

図表 2-2-132 認知症高齢者の日常生活自立度別入所者割合

(介護老人保健施設票：問 16／介護医療院票：問 15)



図表 2-2-133 認知症高齢者の日常生活自立度別入所者割合

(介護老人保健施設 施設類型別) (問 16)

	合計 (人)	自立		I		II a	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護老人保健施設	38,749	1,048	2.7%	3,137	8.1%	4,461	11.5%
超強化型	13,267	359	2.7%	1,075	8.1%	1,525	11.5%
在宅強化型	4,500	204	4.5%	384	8.5%	492	10.9%
加算型	12,618	286	2.3%	1,022	8.1%	1,561	12.4%
基本型	7,422	174	2.3%	594	8.0%	756	10.2%
その他型	942	25	2.7%	62	6.6%	127	13.5%

(続き)

	合計 (人)	II b		III a		III b	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護老人保健施設	38,749	8,740	22.6%	11,929	30.8%	3,531	9.1%
超強化型	13,267	3,005	22.7%	4,071	30.7%	1,270	9.6%
在宅強化型	4,500	1,082	24.0%	1,387	30.8%	359	8.0%
加算型	12,618	2,910	23.1%	3,907	31.0%	1,062	8.4%
基本型	7,422	1,543	20.8%	2,306	31.1%	750	10.1%
その他型	942	200	21.2%	258	27.4%	90	9.6%

(続き)

	合計 (人)	IV		M		不明・未実施	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護老人保健施設	38,749	3,491	9.0%	541	1.4%	1,871	4.8%
超強化型	13,267	1,190	9.0%	200	1.5%	572	4.3%
在宅強化型	4,500	367	8.2%	28	0.6%	197	4.4%
加算型	12,618	1,136	9.0%	201	1.6%	533	4.2%
基本型	7,422	748	10.1%	97	1.3%	454	6.1%
その他型	942	50	5.3%	15	1.6%	115	12.2%

図表 2-2-134 認知症高齢者の日常生活自立度別入所者割合（介護医療院 類型別）（問 15）

	合計 (人)	自立		I		II a	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護医療院	14,897	154	1.0%	359	2.4%	436	2.9%
I 型	10,666	82	0.8%	198	1.9%	254	2.4%
II 型	4,131	50	1.2%	141	3.4%	163	3.9%

(続き)

	合計 (人)	II b		III a		III b	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護医療院	14,897	1073	7.2%	3079	20.7%	2,305	15.5%
I 型	10,666	597	5.6%	1,879	17.6%	1,828	17.1%
II 型	4,131	466	11.3%	1,191	28.8%	466	11.3%

(続き)

	合計 (人)	IV		M		不明・未実施	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%	人数 (人)	%
介護医療院	14,797	6,217	41.7%	1,082	7.3%	193	1.3%
I 型	10,666	4,764	44.7%	892	8.4%	172	1.6%
II 型	4,131	1,448	35.1%	185	4.5%	21	0.5%

※類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

5. 新規入所者・退所者の状況

(1) 新規入所者数・退所者数

介護老人保健施設の2023年4月～6月の3か月間の「新規入所者数」は平均で22.9人であった。入所元の内訳は、「病院（介護療養型医療施設を除く）」が55.3%（平均12.6人）であった。「退所者数」の平均は23.9人であった。退所先の内訳は「本人の家（賃貸、家族の家を含む）」が34.5%（平均8.2人）、「病院（介護療養型医療施設を除く）」が32.6%（平均7.8人）であった。

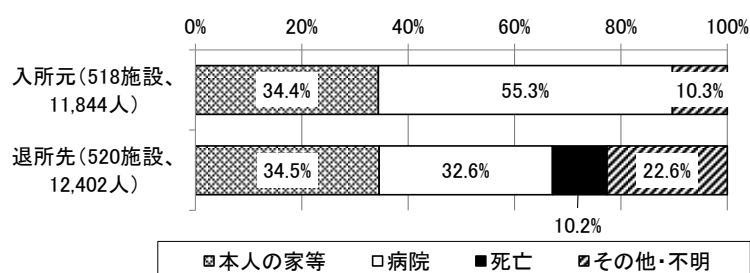
図表 2-2-135 新規入所者・退所者数割合（介護老人保健施設）（問 17）

		新規入所者 (回答数 518)		退所者 (回答数 520)	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		11,844	100.0%	12,402	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	4,071	34.4%	4,283	34.5%
	居住系サービス等※	444	3.7%	1,090	8.8%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	6,550	55.3%	4,044	32.6%
	i) 一般病床 ※ ii) ・ iii) ・ iv) を除く	3,779	57.7%	3,016	74.6%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	656	10.0%	13	0.3%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	555	8.5%	121	3.0%
	iv) 障害者施設等病棟	17	0.3%	8	0.2%
	v) 療養病床 ※ ii) ・ iii) を除く	249	3.8%	127	3.1%
	vi) 精神病床	248	3.8%	132	3.3%
	vii) その他・不明	1,046	16.0%	627	15.5%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	124	1.0%	82	0.7%
	介護療養型医療施設	11	0.1%	9	0.1%
	介護医療院	24	0.2%	39	0.3%
	他の介護老人保健施設	176	1.5%	154	1.2%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	98	0.8%	1,215	9.8%
死亡			1,269	10.2%	
その他	301	2.5%	156	1.3%	
内訳不明	45	0.4%	61	0.5%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）のi)～vii)の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-2-136 新規入所者・退所者数割合（介護老人保健施設）（問 17）



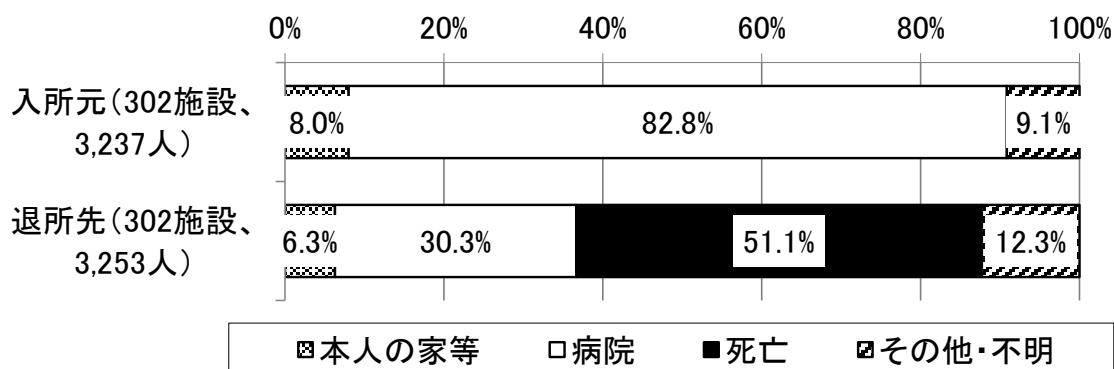
介護医療院の2023年4月～6月の3か月間の「新規入所者数」は平均で11.0人であった。入所元の内訳は、「病院（介護療養型医療施設を除く）」が82.8%（平均9.1人）であった。「退所者数」の平均は10.8人であった。退所先の内訳は「死亡」が51.1%（平均5.5人）、「病院（介護療養型医療施設を除く）」が30.3%（平均3.3人）であった。

図表 2-2-137 新規入所者・退所者数割合（介護医療院）（問16）

	新規入所者 (回答数 302)		退所者 (回答数 302)		
	人数 (人)	%	人数 (人)	%	
合計人数	3,327	100.0%	3,253	100.0%	
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	267	8.0%	205	6.3%
	居住系サービス等※	53	1.6%	71	2.2%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	2,756	82.8%	987	30.3%
	i) 一般病床 ※ ii)・iii)・iv) を除く	1,227	44.5%	605	61.3%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	194	7.0%	4	0.4%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	641	23.3%	110	11.1%
	iv) 障害者施設等病棟	117	4.2%	42	4.3%
	v) 療養病床 ※ ii)・iii) を除く	416	15.1%	155	15.7%
	vi) 精神病床	40	1.5%	33	3.3%
	vii) その他・不明	121	4.4%	38	3.9%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	16	0.5%	10	0.3%
	介護療養型医療施設	23	0.7%	8	0.2%
	他の介護医療院	19	0.6%	10	0.3%
	介護老人保健施設	128	3.8%	142	4.4%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	29	0.9%	139	4.3%
	死亡			1,661	51.1%
	その他	23	0.7%	15	0.5%
内訳不明	13	0.4%	5	0.2%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
 ※病院（介護療養型医療施設を除く）のi)～vii)の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-2-138 新規入所者・退所者数割合（介護医療院）（問17）



図表 2-2-139 新規入所者・退所者数割合（介護老人保健施設 超強化型）（問 17）

		新規入所者 (回答数 167)		退所者 (回答数 168)	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		5,290	100.0%	5,494	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	2,149	40.6%	2,333	42.5%
	居住系サービス等※	251	4.7%	647	11.8%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	2,592	49.0%	1,326	24.1%
	i) 一般病床 ※ ii)・iii)・iv) を 除く	1,418	54.7%	1,010	76.2%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	306	11.8%	2	0.2%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	259	10.0%	50	3.8%
	iv) 障害者施設等病棟	12	0.5%	8	0.6%
	v) 療養病床 ※ ii)・iii) を除く	85	3.3%	28	2.1%
	vi) 精神病床	68	2.6%	30	2.3%
	vii) その他・不明	444	17.1%	198	14.9%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	71	1.3%	41	0.7%
	介護療養型医療施設	4	0.1%	4	0.1%
	介護医療院	5	0.1%	18	0.3%
	他の介護老人保健施設	42	0.8%	48	0.9%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	24	0.5%	492	9.0%
死亡			514	9.4%	
その他	137	2.6%	59	1.1%	
内訳不明	15	0.3%	12	0.2%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の i)～vii)の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-2-140 新規入所者・退所者数割合（介護老人保健施設 在宅強化型）（問 17）

		新規入所者 (回答数 57)		退所者 (回答数 58)	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		1,644	100.0%	1,804	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	633	38.5%	698	38.7%
	居住系サービス等※	47	2.9%	150	8.3%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	813	49.5%	485	26.9%
	i) 一般病床 ※ ii)・iii)・iv) を 除く	562	69.1%	426	87.8%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	60	7.4%	1	0.2%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	93	11.4%	19	3.9%
	iv) 障害者施設等病棟	0	0.0%	0	0.0%
	v) 療養病床 ※ ii)・iii) を除く	35	4.3%	7	1.4%
	vi) 精神病床	22	2.7%	17	3.5%
	vii) その他・不明	41	5.0%	15	3.1%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	9	0.5%	6	0.3%
	介護療養型医療施設	2	0.1%	0	0.0%
	介護医療院	0	0.0%	4	0.2%
	他の介護老人保健施設	20	1.2%	25	1.4%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	47	2.9%	208	11.5%
	死亡			163	9.0%
その他	43	2.6%	17	0.9%	
内訳不明	30	1.8%	48	2.7%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の i)～vii)の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-2-141 新規入所者・退所者数割合（介護老人保健施設 加算型）（問 17）

		新規入所者 (回答数 165)		退所者 (回答数 166)	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		3,161	100.0%	3,310	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	892	28.2%	945	28.5%
	居住系サービス等※	86	2.7%	204	6.2%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	1,955	61.8%	1,288	38.9%
	i) 一般病床 ※ ii)・iii)・iv) を 除く	1,135	58.1%	926	71.9%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	185	9.5%	7	0.5%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	124	6.3%	27	2.1%
	iv) 障害者施設等病棟	4	0.2%	0	0.0%
	v) 療養病床 ※ ii)・iii) を除く	80	4.1%	54	4.2%
	vi) 精神病床	88	4.5%	50	3.9%
	vii) その他・不明	339	17.3%	224	17.4%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	31	1.0%	24	0.7%
	介護療養型医療施設	1	0.0%	4	0.1%
	介護医療院	17	0.5%	13	0.4%
	他の介護老人保健施設	62	2.0%	51	1.5%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	18	0.6%	336	10.2%
死亡			384	11.6%	
その他	99	3.1%	60	1.8%	
内訳不明	0	0.0%	1	0.0%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の i)～vii)の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-2-142 新規入所者・退所者数割合（介護老人保健施設 基本型）（問 17）

		新規入所者 (回答数 115)		退所者 (回答数 115)	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		1,623	100.0%	1,664	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	361	22.2%	293	17.6%
	居住系サービス等※	59	3.6%	78	4.7%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	1,108	68.3%	887	53.3%
	i) 一般病床 ※ ii)・iii)・iv) を除く	612	55.2%	614	69.2%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	97	8.8%	3	0.3%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	75	6.8%	22	2.5%
	iv) 障害者施設等病棟	1	0.1%	0	0.0%
	v) 療養病床 ※ ii)・iii) を除く	44	4.0%	31	3.5%
	vi) 精神病床	61	5.5%	32	3.6%
	vii) その他・不明	218	19.7%	185	20.9%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	13	0.8%	10	0.6%
	介護療養型医療施設	4	0.2%	1	0.1%
	介護医療院	2	0.1%	4	0.2%
	他の介護老人保健施設	49	3.0%	29	1.7%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	9	0.6%	172	10.3%
死亡			170	10.2%	
その他	18	1.1%	20	1.2%	
内訳不明	0	0.0%	0	0.0%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の i)～vii)の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-2-143 新規入所者・退所者数割合（介護老人保健施設 その他型）（問 17）

		新規入所者 (回答数 14)		退所者 (回答数 13)	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		126	100.0%	130	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	36	28.6%	14	10.8%
	居住系サービス等※	1	0.8%	11	8.5%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	82	65.1%	58	44.6%
	i) 一般病床 ※ ii)・iii)・iv) を 除く	52	63.4%	40	69.0%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	8	9.8%	0	0.0%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	4	4.9%	3	5.2%
	iv) 障害者施設等病棟	0	0.0%	0	0.0%
	v) 療養病床 ※ ii)・iii) を除く	5	6.1%	7	12.1%
	vi) 精神病床	9	11.0%	3	5.2%
	vii) その他・不明	4	4.9%	5	8.6%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	0	0.0%	1	0.8%
	介護療養型医療施設	0	0.0%	0	0.0%
	介護医療院	0	0.0%	0	0.0%
	他の介護老人保健施設	3	2.4%	1	0.8%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	0	0.0%	7	5.4%
	死亡			38	29.2%
その他	4	3.2%	0	0.0%	
内訳不明	0	0.0%	0	0.0%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の i)～vii)の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-2-144 新規入所者・退所者数割合（介護医療院 I 型）（問 16）

		新規入所者 (回答数 209)		退所者 (回答数 209)	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		2,412	100.0%	2,428	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	191	7.9%	173	7.1%
	居住系サービス等※	39	1.6%	60	2.5%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	2,031	84.2%	654	26.9%
	i) 一般病床 ※ ii)・iii)・iv) を 除く	955	47.0%	399	61.0%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	134	6.6%	3	0.5%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	461	22.7%	76	11.6%
	iv) 障害者施設等病棟	85	4.2%	7	1.1%
	v) 療養病床 ※ ii)・iii) を除く	269	13.2%	115	17.6%
	vi) 精神病床	30	1.5%	17	2.6%
	vii) その他・不明	97	4.8%	37	5.7%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	6	0.2%	3	0.1%
	介護療養型医療施設	21	0.9%	8	0.3%
	他の介護医療院	10	0.4%	9	0.4%
	介護老人保健施設	58	2.4%	103	4.2%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	24	1.0%	99	4.1%
死亡			1,301	53.6%	
その他	19	0.8%	13	0.5%	
内訳不明	13	0.5%	5	0.2%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の i)～vii) の構成比は「病院」に対する構成比である。

※I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

図表 2-2-145 新規入所者・退所者数割合（介護医療院 II 型）（問 16）

		新規入所者 (回答数 92)		退所者 (回答数 92)	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		909	100.0%	819	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族の家を含む）	76	8.4%	32	3.9%
	居住系サービス等※	14	1.5%	11	1.3%
	病院（介護療養型医療施設を除く） （以下、内訳）	719	79.1%	333	40.7%
	i) 一般病床 ※ ii)・iii)・iv) を 除く	272	37.8%	206	61.9%
	ii) 回復期リハビリテーション病棟	60	8.3%	1	0.3%
	iii) 地域包括ケア病棟（病床）	180	25.0%	34	10.2%
	iv) 障害者施設等病棟	32	4.5%	35	10.5%
	v) 療養病床 ※ ii)・iii) を除く	147	20.4%	40	12.0%
	vi) 精神病床	10	1.4%	16	4.8%
	vii) その他・不明	18	2.5%	1	0.3%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	10	1.1%	7	0.9%
	介護療養型医療施設	2	0.2%	0	0.0%
	他の介護医療院	9	1.0%	1	0.1%
	介護老人保健施設	70	7.7%	39	4.8%
	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	5	0.6%	40	4.9%
	死亡			354	43.2%
その他	4	0.4%	2	0.2%	
内訳不明	0	0.0%	0	0.0%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の i)～vii)の構成比は「病院」に対する構成比である。

※I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

6. 在宅復帰・在宅療養支援等指標（介護老人保健施設）

(1) 2023年6月末時点における在宅復帰・在宅療養支援等指標

① 在宅復帰率（前6か月間）

在宅復帰率（前6か月間）の平均は40.0%であった。超強化型では56.8%、在宅強化型では46.7%、加算型では36.4%、基本型では18.9%であった。

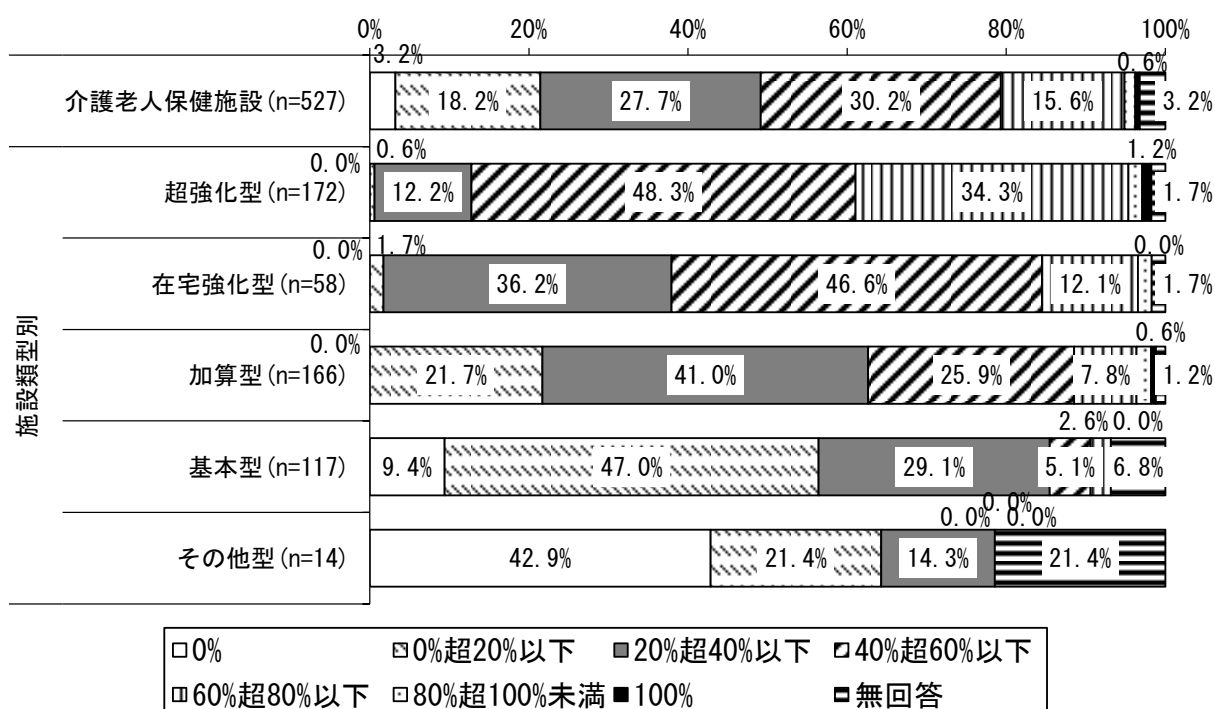
図表 2-2-146 在宅復帰率（前6か月間）（問 18 1）

	回答数	平均値 (%)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	510	40.0	21.7	40.0
超強化型	169	56.8	13.6	57.1
在宅強化型	57	46.7	14.9	45.1
加算型	164	36.4	18.6	34.2
基本型	109	18.9	15.7	16.0
その他型	11	7.8	11.7	0.0

在宅復帰率は、「40%超 60%以下」が30.2%、「20%超 40%以下」が27.7%であった。

施設類型別では、超強化型は「40%超 60%以下」が48.3%、「60%超 80%以下」が34.3%であった。在宅強化型では「40%超 60%以下」が46.6%、「20%超 40%以下」が36.2%であった。加算型では「20%超 40%以下」が41.0%、「40%超 60%以下」が25.9%であった。基本型では「0%超 20%以下」が47.0%、「20%超 40%以下」が29.1%であった。

図表 2-2-147 在宅復帰率（前6か月間）（問 18 1）



② ベッド回転率（前3か月間）

ベッド回転率（前3か月間）の平均は10.3%であった。超強化型では13.9%、在宅強化型では11.1%、加算型では8.8%、基本型では7.3%であった。

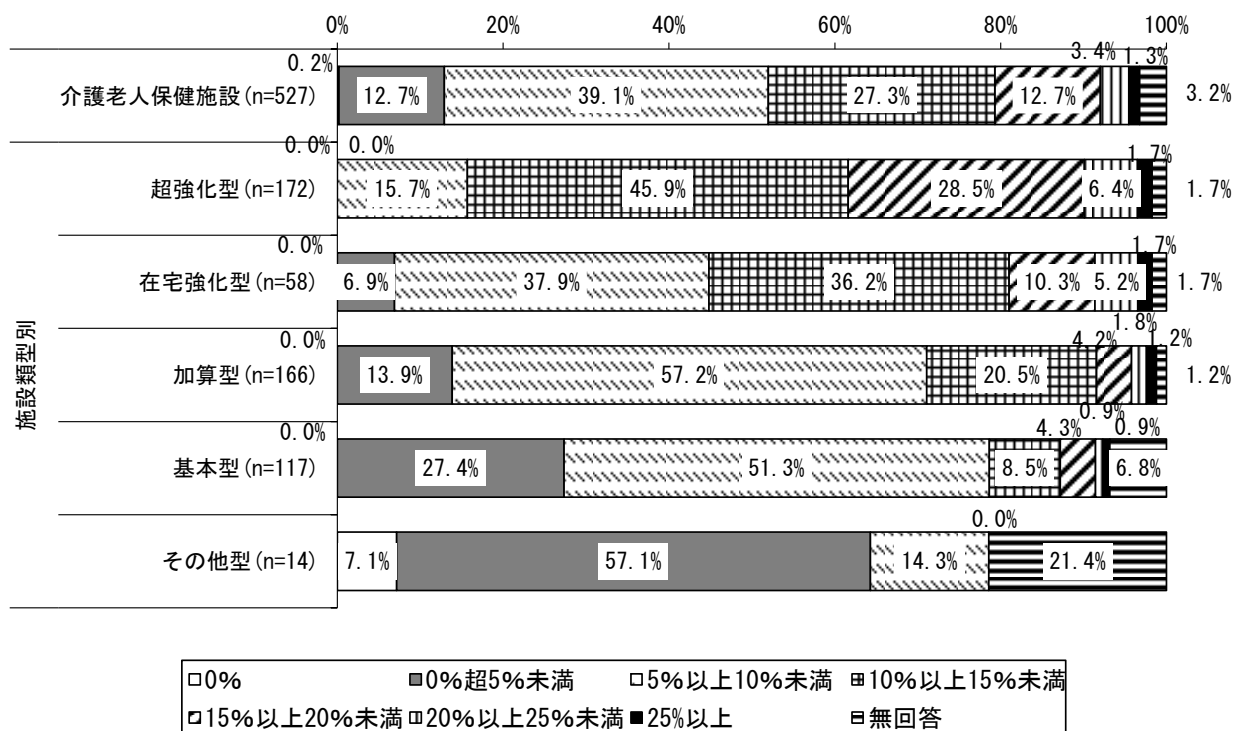
図表 2-2-148 ベッド回転率（前3か月間）（問182）

	回答数	平均値 (%)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	510	10.3	5.3	9.4
超強化型	169	13.9	4.3	13.3
在宅強化型	57	11.1	5.3	10.3
加算型	164	8.8	4.4	7.6
基本型	109	7.3	4.4	6.7
その他型	11	3.0	1.8	2.3

ベッド回転率は、「5%以上10%未満」が39.1%、「10%以上15%未満」が27.3%であった。

施設類型別では、超強化型は「10%以上15%未満」が45.9%、「15%以上20%未満」が28.5%であった。在宅強化型では「5%以上10%未満」が37.9%、「10%以上15%未満」が36.2%であった。加算型では「5%以上10%未満」が57.2%、「10%以上15%未満」が20.5%であった。基本型では「5%以上10%未満」が51.3%、「0%超5%未満」が27.4%であった。

図表 2-2-149 ベッド回転率（前3か月間）（問182）



③ 入所前後訪問指導割合（前3か月間）

入所前後訪問指導割合（前3か月間）の平均は42.0%であった。超強化型では48.9%、在宅強化型では47.9%、加算型では40.2%、基本型では34.5%であった。

図表 2-2-150 入所前後訪問指導割合（前3か月間）（施設類型別）（問183）

	回答数	平均値（%）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	511	42.0	25.7	40.9
超強化型	169	48.9	19.4	45.5
在宅強化型	57	47.9	18.9	46.2
加算型	165	40.2	23.9	36.8
基本型	109	34.5	34.3	28.9
その他型	11	8.3	20.8	0.0

入所前後訪問指導割合は、「30%以上 40%未満」が20.7%、「40%以上 50%未満」が15.4%、「50%以上 60%未満」が14.2%であった。

施設類型別では、超強化型は「30%以上 40%未満」が29.1%、「40%以上 50%未満」が22.1%であった。在宅強化型では「40%以上 50%未満」が31.0%、「50%以上 60%未満」が17.2%であった。加算型では「30%以上 40%未満」が25.9%、「20%以上 30%未満」「40%以上 50%未満」「50%以上 60%未満」がいずれも11.4%であった。基本型では「0%」が32.5%、「50%以上 60%未満」が9.4%であった。

図表 2-2-151 入所前後訪問指導割合（前3か月間）（問183）

	合計	0%	0%超 10%未 満	10%以 上 20% 未満	20%以 上 30% 未満	30%以 上 40% 未満	40%以 上 50% 未満
介護老人保健施設	527 100.00%	63 12.0%	8 1.5%	28 5.3%	35 6.6%	109 20.7%	81 15.4%
超強化型	172 100.00%	2 1.2%	2 1.2%	2 1.2%	4 2.3%	50 29.1%	38 22.1%
在宅強化型	58 100.00%	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	4 6.9%	9 15.5%	18 31.0%
加算型	166 100.00%	13 7.8%	1 0.6%	18 10.8%	19 11.4%	43 25.9%	19 11.4%
基本型	117 100.00%	38 32.5%	4 3.4%	7 6.0%	7 6.0%	7 6.0%	6 5.1%
その他型	14 100.00%	9 64.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%

(続き)

	合計	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上 100%未満	100%
介護老人保健施設	527 100.0%	75 14.2%	35 6.6%	29 5.5%	22 4.2%	7 1.3%	19 3.6%
超強化型	172 100.0%	35 20.3%	13 7.6%	8 4.7%	6 3.5%	2 1.2%	7 4.1%
在宅強化型	58 100.0%	10 17.2%	6 10.3%	4 6.9%	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%
加算型	166 100.0%	19 11.4%	10 6.0%	9 5.4%	9 5.4%	1 0.6%	4 2.4%
基本型	117 100.0%	11 9.4%	5 4.3%	8 6.8%	6 5.1%	3 2.6%	7 6.0%
その他型	14 100.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(続き)

	合計	無回答
介護老人保健施設	527 100.0%	16 3.0%
超強化型	172 100.0%	3 1.7%
在宅強化型	58 100.0%	1 1.7%
加算型	166 100.0%	1 0.6%
基本型	117 100.0%	8 6.80%
その他型	14 100.0%	3 21.4%

④ 退所前後訪問指導割合（前3か月間）

退所前後訪問指導割合（前3か月間）の平均は65.5%であった。超強化型では69.5%、在宅強化型では69.7%、加算型では73.8%、基本型では49.7%であった。

図表 2-2-152 退所前後訪問指導割合（前3か月間）（施設類型別）（問 18 4）

	回答数	平均値（%）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	510	65.5	33.3	70.5
超強化型	168	69.5	22.8	68.3
在宅強化型	57	69.7	20.7	71.0
加算型	164	73.8	30.9	83.8
基本型	110	49.7	44.4	50.0
その他型	11	15.6	35.3	0.0

退所前後訪問指導割合は、「100%」が29.0%、「50%以上 60%未満」が11.4%、「0%」が10.8%であった。

施設類型別では、超強化型は「100%」が18.6%、「50%以上 60%未満」が16.9%であった。在宅強化型では「80%以上 90%未満」が20.7%、「60%以上 70%未満」が19.0%であった。加算型では「100%」が44.0%、「50%以上 60%未満」が9.6%であった。基本型では「100%」が34.2%、「0%」が33.3%であった。

図表 2-2-153 退所前後訪問指導割合（前3か月間）（問 18 4）

	合計	0%	0%超 10%未 満	10%以 上 20% 未満	20%以 上 30% 未満	30%以 上 40% 未満	40%以 上 50% 未満
介護老人保健施設	527	57	3	10	11	24	29
	100.0%	10.8%	0.6%	1.9%	2.1%	4.6%	5.5%
超強化型	172	1	0	0	3	14	17
	100.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.7%	8.1%	9.9%
在宅強化型	58	1	0	0	0	2	5
	100.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	8.6%
加算型	166	7	2	6	4	6	7
	100.0%	4.2%	1.2%	3.6%	2.4%	3.6%	4.2%
基本型	117	39	1	4	4	2	0
	100.0%	33.3%	0.9%	3.4%	3.4%	1.7%	0.0%
その他型	14	9	0	0	0	0	0
	100.0%	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(続き)

	合計	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上 100%未満	100%
介護老人保健施設	527 100.0%	60 11.4%	54 10.2%	41 7.8%	50 9.5%	18 3.4%	153 29.0%
超強化型	172 100.0%	29 16.9%	22 12.8%	17 9.9%	22 12.8%	11 6.4%	32 18.6%
在宅強化型	58 100.0%	8 13.8%	11 19.0%	9 15.5%	12 20.7%	2 3.4%	7 12.1%
加算型	166 100.0%	16 9.6%	12 7.2%	13 7.8%	13 7.8%	5 3.0%	73 44.0%
基本型	117 100.0%	7 6.0%	9 7.7%	1 0.9%	3 2.6%	0 0.0%	40 34.2%
その他型	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%

(続き)

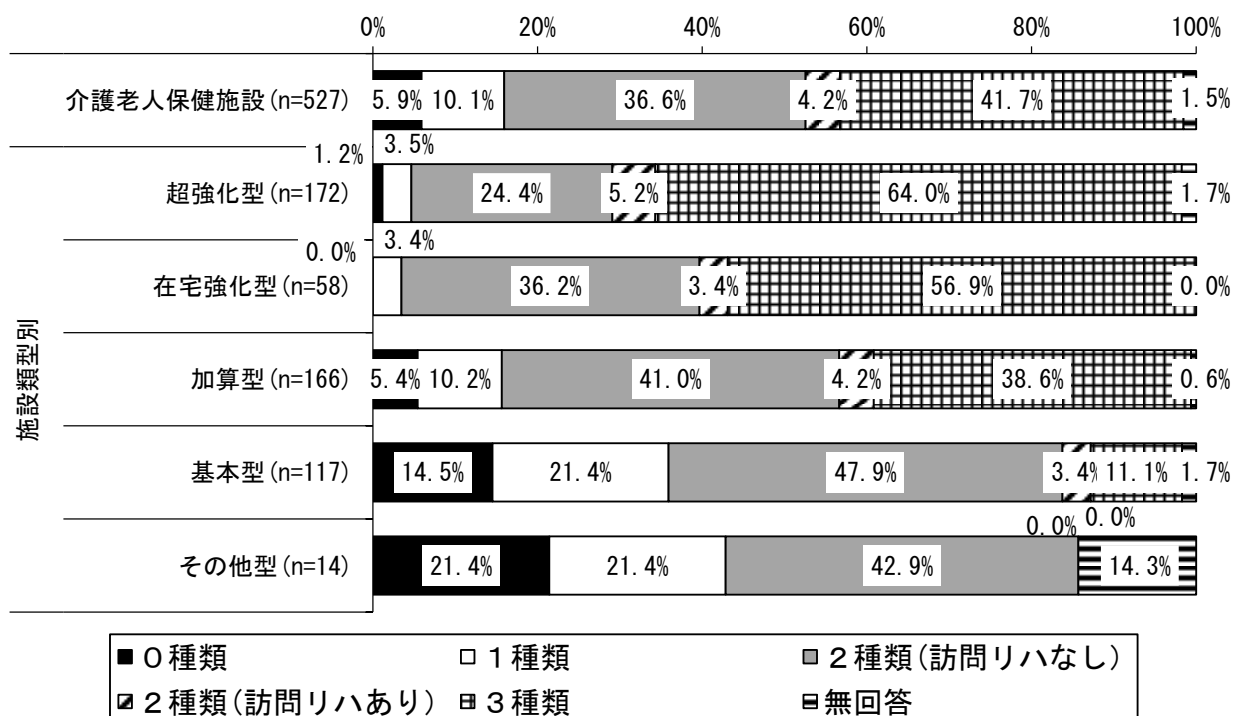
	合計	無回答
介護老人保健施設	527 100.0%	17 3.2%
超強化型	172 100.0%	4 2.3%
在宅強化型	58 100.0%	1 1.7%
加算型	166 100.0%	2 1.2%
基本型	117 100.0%	7 6.0%
その他型	14 100.0%	3 21.4%

⑤ 居宅サービスの実施種類数

居宅サービスの実施種類数は、「3種類」が41.7%、「2種類（訪問リハなし）」が36.6%であった。

施設類型別では、超強化型は「3種類」が64.0%、「2種類（訪問リハなし）」が24.4%であった。在宅強化型では「3種類」が56.9%、「2種類（訪問リハなし）」が36.2%であった。加算型では「2種類（訪問リハなし）」が41.0%、「3種類」が38.6%であった。基本型では「2種類（訪問リハなし）」が47.9%、「1種類」が21.4%であった。

図表 2-2-154 居宅サービスの実施種類数（施設類型別）（問 18 5）



⑥ リハビリ専門職の配置割合（前3か月間）

リハビリ専門職の配置割合は平均 5.2 人であった。超強化型では 6.7 人、在宅強化型では 5.9 人、加算型では 4.6 人、基本型では 3.8 人であった。

図表 2-2-155 リハビリ専門職の配置割合（前3か月間）（問 18 6）

	回答数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	496	5.2	2.7	5.0
超強化型	163	6.7	1.8	6.4
在宅強化型	56	5.9	2.1	5.8
加算型	160	4.6	2.3	4.1
基本型	109	3.8	3.3	3.1
その他型	8	2.6	1.5	2.0

リハビリ専門職の配置割合は、「3人以上4人未満」が19.5%、「5人以上6人未満」が18.0%、「6人以上7人未満」が15.6%であった。

施設類型別では、超強化型は「6人以上7人未満」が27.3%、「5人以上6人未満」が25.0%であった。在宅強化型では「5人以上6人未満」が37.9%、「6人以上7人未満」が24.1%であった。加算型では「3人以上4人未満」が34.3%、「4人以上5人未満」が22.3%であった。基本型では「3人以上4人未満」が28.2%、「2人以上3人未満」が23.1%であった。

図表 2-2-156 リハビリ専門職の配置割合（前3か月間）（施設類型別）（問186）

	合計	1人未満	1人以上 2人未満	2人以上 3人未満	3人以上 4人未満	4人以上 5人未満	5人以上 6人未満
介護老人保健施設	527 100.0%	1 0.2%	19 3.6%	44 8.3%	103 19.5%	63 12.0%	95 18.0%
超強化型	172 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 4.1%	7 4.1%	43 25.0%
在宅強化型	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	6 10.3%	4 6.9%	22 37.9%
加算型	166 100.0%	0 0.0%	4 2.4%	12 7.2%	57 34.3%	37 22.3%	21 12.7%
基本型	117 100.0%	1 0.9%	13 11.1%	27 23.1%	33 28.2%	14 12.0%	8 6.8%
その他型	14 100.0%	0 0.0%	2 14.3%	4 28.6%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%

（続き）

	合計	6人以上 7人未満	7人以上 8人未満	8人以上 9人未満	9人以上 10人未満	10人以上	無回答
介護老人保健施設	527 100.0%	82 15.6%	34 6.5%	26 4.9%	15 2.8%	14 2.7%	31 5.9%
超強化型	172 100.0%	47 27.3%	22 12.8%	17 9.9%	13 7.6%	7 4.1%	9 5.2%
在宅強化型	58 100.0%	14 24.1%	5 8.6%	3 5.2%	0 0.0%	1 1.7%	2 3.4%
加算型	166 100.0%	13 7.8%	6 3.6%	5 3.0%	1 0.6%	4 2.4%	6 3.6%
基本型	117 100.0%	8 6.8%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	2 1.7%	8 6.8%
その他型	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 42.9%

⑦ 支援相談員の配置割合（前3か月間）

支援相談員の配置割合は平均 3.2 人であった。超強化型では 3.7 人、在宅強化型では 3.4 人、加算型では 2.9 人、基本型では 2.6 人であった。

図表 2-2-157 支援相談員の配置割合（前3か月間）（問 187）

	回答数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	500	3.2	1.7	3.1
超強化型	164	3.7	2.3	3.5
在宅強化型	56	3.4	1.1	3.3
加算型	162	2.9	1.0	3.0
基本型	110	2.6	1.6	2.3
その他型	8	1.4	0.4	1.4

支援相談員の配置割合は、「3人以上4人未満」が 37.0%、「2人以上3人未満」が 27.1% であった。

施設類型別では、超強化型は「3人以上4人未満」が 44.2%、「4人以上5人未満」が 20.9%であった。在宅強化型では「3人以上4人未満」が 44.8%、「2人以上3人未満」が 31.0%であった。加算型では「3人以上4人未満」が 39.8%、「2人以上3人未満」が 35.5%であった。基本型では「2人以上3人未満」が 33.3%、「1人以上2人未満」が 23.9% であった。

図表 2-2-158 支援相談員の配置割合（前3か月間）（施設類型別）（問 187）

	合計	0人	0人超1人未満	1人以上2人未満	2人以上3人未満	3人以上4人未満	4人以上5人未満
介護老人保健施設	527	1	1	62	143	195	62
	100.0%	0.2%	0.2%	11.8%	27.1%	37.0%	11.8%
超強化型	172	0	0	7	26	76	36
	100.0%	0.0%	0.0%	4.1%	15.1%	44.2%	20.9%
在宅強化型	58	0	0	1	18	26	5
	100.0%	0.0%	0.0%	1.7%	31.0%	44.8%	8.6%
加算型	166	0	0	19	59	66	13
	100.0%	0.0%	0.0%	11.4%	35.5%	39.8%	7.8%
基本型	117	1	1	28	39	27	8
	100.0%	0.9%	0.9%	23.9%	33.3%	23.1%	6.8%
その他型	14	0	0	7	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	7.1%	0.0%	0.0%

(続き)

	合計	5人以上 6人未満	6人以上 7人未満	7人以上 8人未満	8人以上	無回答
介護老人保健施設	527 100.0%	25 4.7%	6 1.1%	1 0.2%	4 0.8%	27 5.1%
超強化型	172 100.0%	14 8.1%	3 1.7%	1 0.6%	1 0.6%	8 4.7%
在宅強化型	58 100.0%	5 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	2 3.4%
加算型	166 100.0%	3 1.8%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.4%
基本型	117 100.0%	3 2.6%	1 0.9%	0 0.0%	2 1.7%	7 6.0%
その他型	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 42.9%

⑧ 要介護4または5の割合（前3か月間）

要介護4または5の割合(前3か月間)の平均は43.6%であった。超強化型では46.5%、在宅強化型では44.3%、加算型では42.7%、基本型では40.7%であった。

図表 2-2-159 要介護4または5の割合（前3か月間）（問188）

	回答数	平均値 (%)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	511	43.6	11.6	43.3
超強化型	167	46.5	9.5	47.0
在宅強化型	57	44.3	9.7	46.0
加算型	162	42.7	11.9	41.1
基本型	114	40.7	13.8	40.8
その他型	11	40.2	10.5	41.0

要介護4または5の割合は、「40%以上50%未満」が34.9%、「50%以上60%未満」が21.3%であった。

施設類型別では、超強化型は「40%以上50%未満」が45.9%、「50%以上60%未満」が26.7%であった。在宅強化型では「40%以上50%未満」が37.9%、「50%以上60%未満」が27.6%であった。加算型では「40%以上50%未満」が27.7%、「35%以上40%未満」が21.7%であった。基本型では「40%以上50%未満」が27.4%、「20%以上30%未満」が17.1%であった。

図表 2-2-160 要介護4または5の割合（前3か月間）（施設類型別）（問188）

	合計	10%未 満	10%以 上 20% 未満	20%以 上 30% 未満	30%以 上 35% 未満	35%以 上 40% 未満	40%以 上 50% 未満
介護老人保健施設	527 100.0%	0 0.0%	11 2.1%	51 9.7%	43 8.2%	72 13.7%	184 34.9%
超強化型	172 100.0%	0 0.0%	2 1.2%	5 2.9%	8 4.7%	17 9.9%	79 45.9%
在宅強化型	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 10.3%	3 5.2%	8 13.8%	22 37.9%
加算型	166 100.0%	0 0.0%	2 1.2%	19 11.4%	14 8.4%	36 21.7%	46 27.7%
基本型	117 100.0%	0 0.0%	7 6.0%	20 17.1%	15 12.8%	11 9.4%	32 27.4%
その他型	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%	5 35.7%

（続き）

	合計	50%以 上 60% 未満	60%以 上 70% 未満	70%以 上 80% 未満	80%以 上 90% 未満	90%以 上 100% 未満	100%
介護老人保健施設	527 100.0%	112 21.3%	33 6.3%	1 0.2%	4 0.8%	0 0.0%	0 0.0%
超強化型	172 100.0%	46 26.7%	8 4.7%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%
在宅強化型	58 100.0%	16 27.6%	2 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
加算型	166 100.0%	32 19.3%	12 7.2%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%
基本型	117 100.0%	17 14.5%	10 8.5%	0 0.0%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
その他型	14 100.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（続き）

	合計	無回答
介護老人保健施設	527 100.0%	16 3.0%
超強化型	172 100.0%	5 2.9%
在宅強化型	58 100.0%	1 1.7%
加算型	166 100.0%	4 2.4%
基本型	117 100.0%	3 2.6%
その他型	14 100.0%	3 21.4%

⑨ 喀痰吸引の実施割合（前3か月間）

喀痰吸引の実施割合（前3か月間）の平均は6.8%であった。超強化型では9.2%、在宅強化型では7.5%、加算型では5.8%、基本型では4.9%であった。

図表 2-2-161 喀痰吸引の実施割合（前3か月間）（問189）

	回答数	平均値（%）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	503	6.8	6.8	5.5
超強化型	166	9.2	7.0	8.2
在宅強化型	57	7.5	6.2	6.2
加算型	160	5.8	6.0	5.0
基本型	109	4.9	7.0	1.7
その他型	11	0.6	1.2	0.0

喀痰吸引の実施割合は、「0%」が24.3%、「5%以上10%未満」が23.7%であった。

施設類型別では、超強化型は「10%以上15%未満」が26.2%、「5%以上10%未満」が24.4%であった。在宅強化型では「5%以上10%未満」が31.0%、「0%超5%未満」が22.4%であった。加算型では「0%」が28.9%、「5%以上10%未満」が27.1%であった。基本型では「0%」が35.0%、「0%超5%未満」が23.1%であった。

図表 2-2-162 喀痰吸引の実施割合（前3か月間）（施設類型別）（問189）

	合計	0%	0%超 5%未満	5%以上 10%未 満	10%以 上15% 未満	15%以 上20% 未満	20%以 上25% 未満
介護老人保健施設	527 100.0%	128 24.3%	96 18.2%	125 23.7%	94 17.8%	40 7.6%	15 2.8%
超強化型	172 100.0%	23 13.4%	24 14.0%	42 24.4%	45 26.2%	22 12.8%	8 4.7%
在宅強化型	58 100.0%	8 13.8%	13 22.4%	18 31.0%	10 17.2%	5 8.6%	3 5.2%
加算型	166 100.0%	48 28.9%	29 17.5%	45 27.1%	27 16.3%	8 4.8%	2 1.2%
基本型	117 100.0%	41 35.0%	27 23.1%	20 17.1%	12 10.3%	5 4.3%	2 1.7%
その他型	14 100.0%	8 57.1%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(続き)

	合計	25%以上 30%未満	30%以上	無回答
介護老人保健施設	527 100.0%	1 0.2%	4 0.8%	24 4.6%
超強化型	172 100.0%	0 0.0%	2 1.2%	6 3.5%
在宅強化型	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
加算型	166 100.0%	1 0.6%	0 0.0%	6 3.6%
基本型	117 100.0%	0 0.0%	2 1.7%	8 6.8%
その他型	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%

⑩ 経管栄養の実施割合（前3か月間）

経管栄養の実施割合（前3か月間）の平均は4.7%であった。超強化型では6.2%、在宅強化型では3.9%、加算型では4.3%、基本型では3.9%であった。

図表 2-2-163 経管栄養の実施割合（前3か月間）（問 18 10）

	件数	平均値 (%)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	504	4.7	4.8	4
超強化型	167	6.2	5.2	5.5
在宅強化型	57	3.9	3.4	3.3
加算型	161	4.3	4.8	3.1
基本型	108	3.9	4.5	2.7
その他型	11	0.6	1.8	0

経管栄養の実施割合は、「0%超5%未満」が31.3%、「5%以上10%未満」が27.7%、「0%」が23.5%であった。

施設類型別では、超強化型は「5%以上10%未満」が35.5%、「0%超5%未満」が26.7%であった。在宅強化型では「0%超5%未満」が46.6%、「5%以上10%未満」が27.6%であった。加算型では「0%超5%未満」が31.3%、「5%以上10%未満」が28.3%であった。基本型では「0%超5%未満」が33.3%、「0%」が29.1%であった。

図表 2-2-164 経管栄養の実施割合（前3か月間）（施設類型別）（問 18 10）

	合計	0%	0%超 5%未満	5%以上 10%未 満	10%以 上15% 未満	15%以 上20% 未満	20%以 上25% 未満
介護老人保健施設	527 100.0%	124 23.5%	165 31.3%	146 27.7%	58 11.0%	4 0.8%	5 0.9%
超強化型	172 100.0%	26 15.1%	46 26.7%	61 35.5%	29 16.9%	2 1.2%	2 1.2%
在宅強化型	58 100.0%	10 17.2%	27 46.6%	16 27.6%	4 6.9%	0 0.0%	0 0.0%
加算型	166 100.0%	45 27.1%	52 31.3%	47 28.3%	13 7.8%	1 0.6%	2 1.2%
基本型	117 100.0%	34 29.1%	39 33.3%	21 17.9%	12 10.3%	1 0.9%	1 0.9%
その他型	14 100.0%	9 64.3%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(続き)

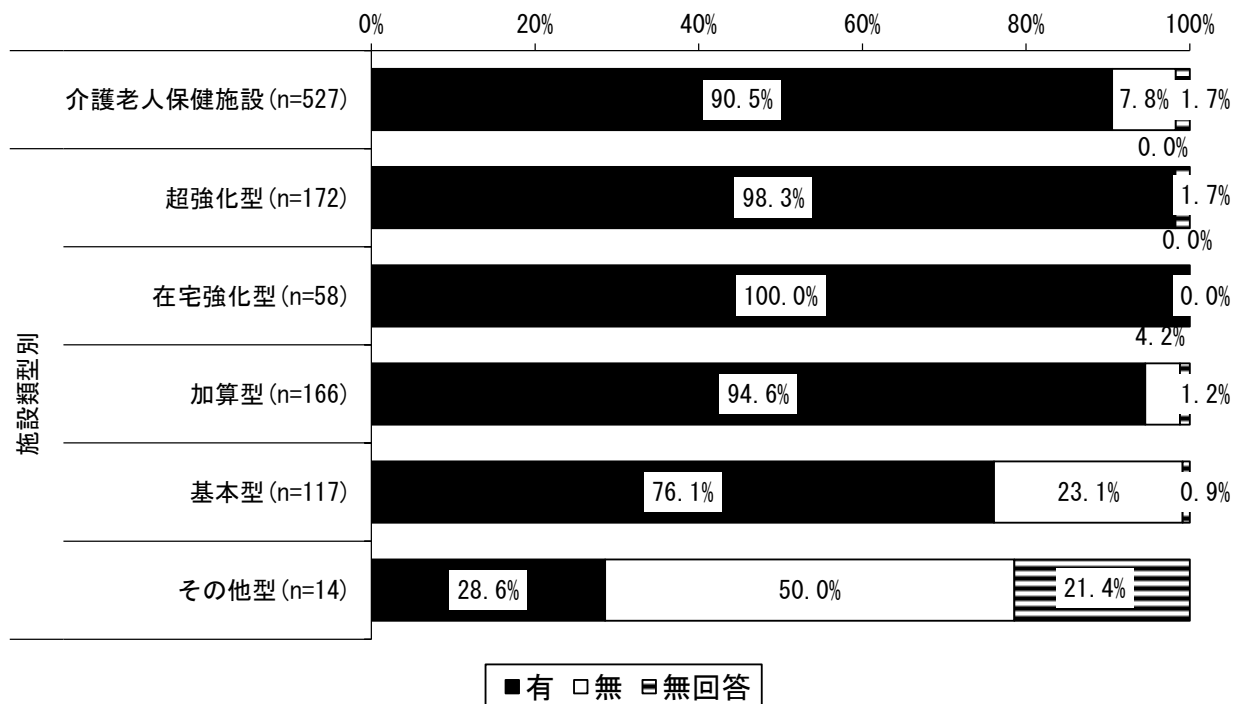
	合計	25%以 上30% 未満	30%以 上	無回答
介護老人保健施設	527 100.0%	1 0.2%	1 0.2%	23 4.4%
超強化型	172 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	5 2.9%
在宅強化型	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
加算型	166 100.0%	1 0.6%	0 0.0%	5 3.0%
基本型	117 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 7.7%
その他型	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%

⑪ 退所時指導等の実施（退所時指導及び退所後の状況確認）

退所時指導等の実施（退所時指導及び退所後の状況確認）は、「有」が90.5%、「無」が7.8%であった。

施設類型別では、超強化型では「有」が98.3%、「無」が0.0%であった。在宅強化型では「有」が100.0%であった。加算型では「有」が94.6%、「無」が4.2%であった。基本型では「有」が76.1%、「無」が23.1%であった。

図表 2-2-165 退所時指導等の実施（退所時指導及び退所後の状況確認）（問 18 11）

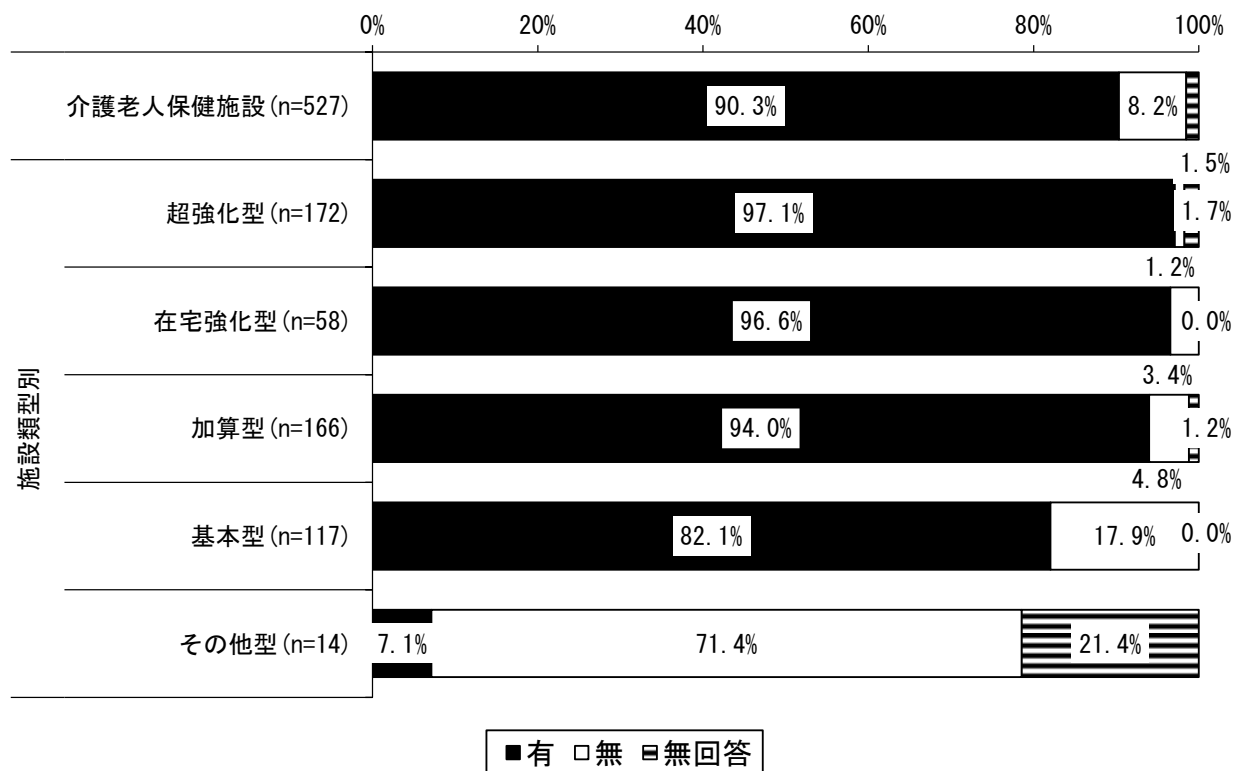


⑫ リハビリテーションマネジメント

リハビリテーションマネジメントは、「有」が90.3%、「無」が8.2%であった。

施設類型別にみると、超強化型では「有」が97.1%、「無」が1.2%であった。在宅強化型では「有」が96.6%、「無」が3.4%であった。加算型では「有」が94.0%、「無」が4.8%であった。基本型では「有」が82.1%、「無」が17.9%であった。

図表 2-2-166 リハビリテーションマネジメント（問 18 13）

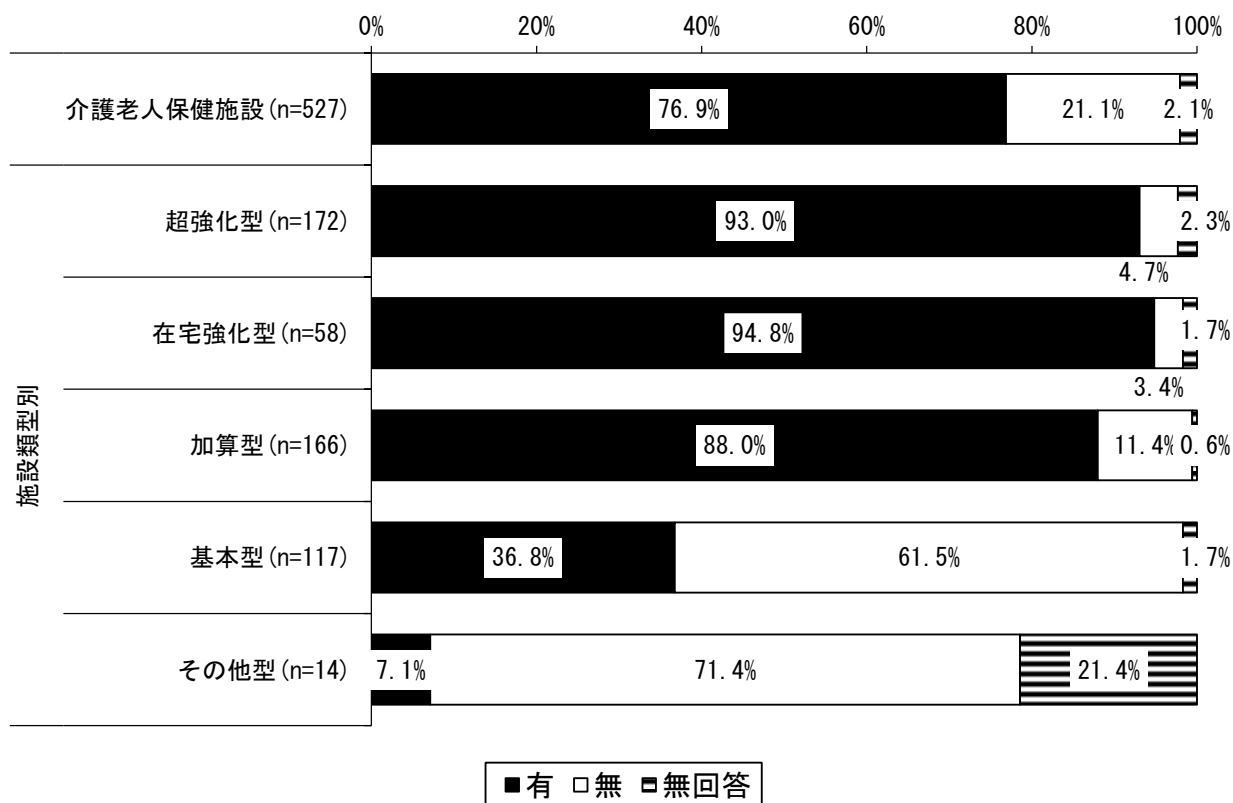


⑬ 地域貢献活動

地域貢献活動は、「有」が 76.9%、「無」が 21.1%であった。

施設類型別では、超強化型は「有」が 93.0%、「無」が 4.7%であった。在宅強化型では「有」が 94.8%、「無」が 3.4%であった。加算型では「有」が 88.0%、「無」が 11.4%であった。基本型では「有」が 36.8%、「無」が 61.5%であった。

図表 2-2-167 地域貢献活動（施設類型別）（問 18 13）



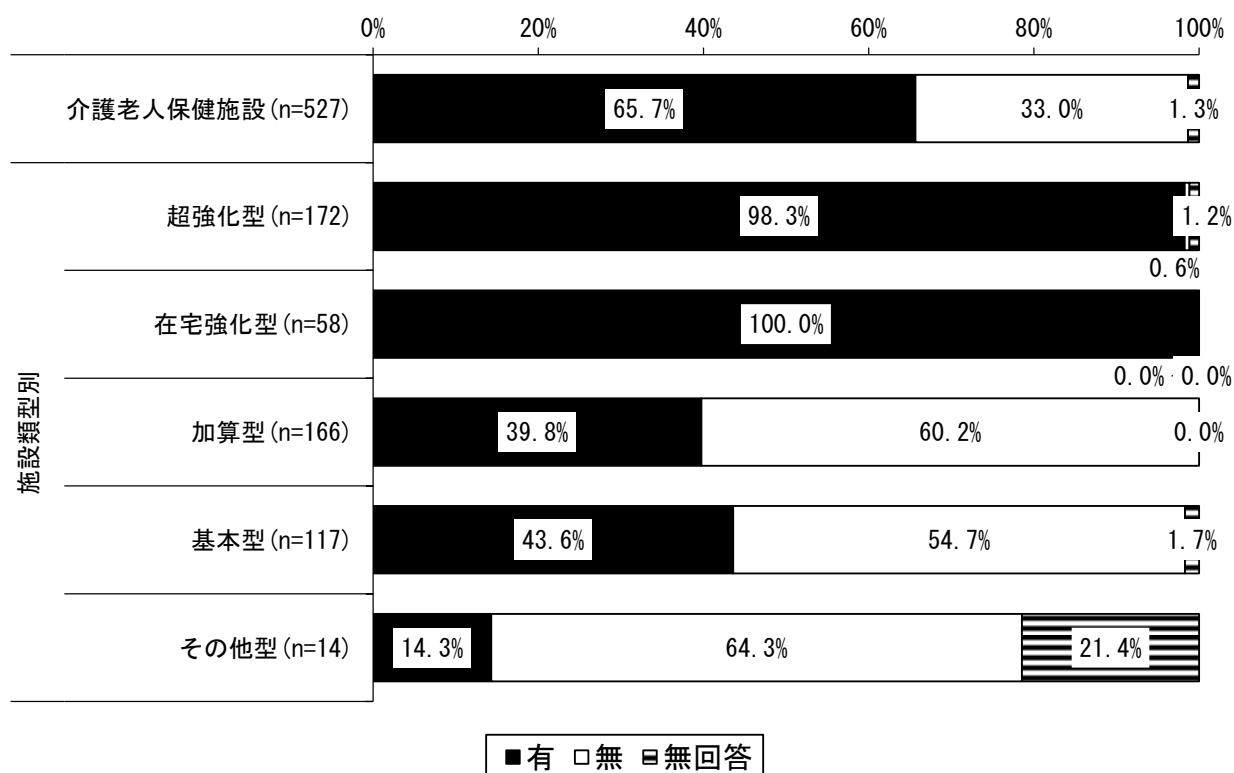
⑭ 充実したリハビリテーション（PT・OT・STによる個別リハ20分程度を週3回以上）

充実したリハビリテーションは、「有」が65.7%、「無」が33.0%であった。

施設類型別では、超強化型は「有」が98.3%、「無」が0.6%であった。在宅強化型では「有」が100.0%であった。加算型では「有」が39.8%、「無」が60.2%であった。基本型では「有」が43.6%、「無」が54.7%であった。

図表 2-2-168 充実したリハビリテーション

(PT・OT・STによる個別リハ20分程度を週3回以上) (施設類型別) (問 18 14)



7. 介護医療院に係る届出内容

(1) I型介護医療院

① 入所者等の数（実人数）（前3か月間）

入所者等の数は、平均 59.3 人であった。

図表 2-2-169 入所者等の数（実人数）（前3か月間）（問 17 1）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
I 型	114	59.3	41.8	49.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

② 重篤な身体疾患を有する者の数（実人数）（前3か月間）

重篤な身体疾患を有する者の数は平均 12.2 人であった。

図表 2-2-170 重篤な身体疾患を有する者の数（実人数）（前3か月間）（問 17 2）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
I 型	110	12.2	20.0	4.4

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

③ 身体合併症を有する認知症高齢者の数（実人数）（前3か月間）

身体合併症を有する認知症高齢者の数は平均 165.8 人であった。

図表 2-2-171 身体合併症を有する認知症高齢者の数（実人数）（前3か月間）（問 17 3）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
I 型	113	165.8	767.4	32.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

④ 喀痰吸引を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）

喀痰吸引を実施した入所者等の総数は平均 79.5 人であった。

図表 2-2-172 喀痰吸引を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）（問 17 4）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
I 型	117	79.5	348.4	18.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑤ 経管栄養を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）

経管栄養を実施した入所者等の総数は平均 76.2 人であった。

図表 2-2-173 経管栄養を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）（問 17 5）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
I 型	116	76.2	277.1	21.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑥ インスリン注射を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）

インスリン注射を実施した入所者等の総数の平均は、8.7人であった。

図表 2-2-174 インスリン注射を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）

（問 17 6）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
I 型	116	8.7	47.3	2.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑦ 入所者延べ日数（前3か月間）

入所者延べ日数の平均は 4,818.9 日であった。

図表 2-2-175 入所者延べ日数（前3か月間）（問 17 7）

	件数	平均値（日）	標準偏差	中央値
I 型	181	4,818.9	3428.2	3,809.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑧ ターミナルケアの対象者延べ日数（前3か月間）

ターミナルケアの対象者延べ日数は、平均 999.7 日であった。

図表 2-2-176 ターミナルケア対象者延べ日数（前3か月間）（問 17 8）

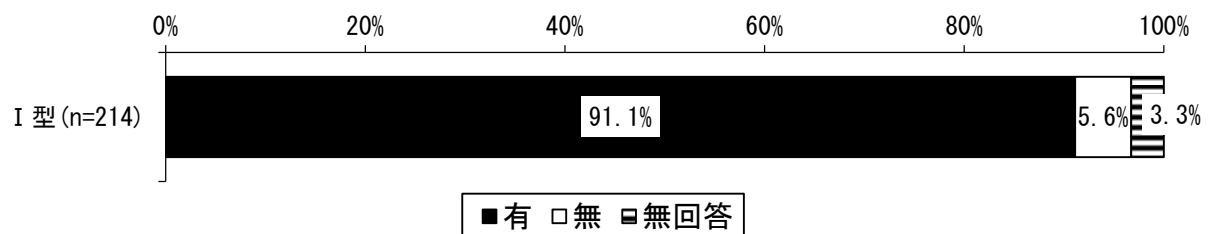
	件数	平均値（日）	標準偏差	中央値
I 型	181	999.7	1,396.3	566.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑨ 生活機能を維持改善するリハビリテーションの実施

生活機能を維持改善するリハビリテーションの実施の有無は、「有」が 91.1%、「無」が 5.6%であった。

図表 2-2-177 生活機能を維持改善するリハビリテーションの実施（問 17 9）

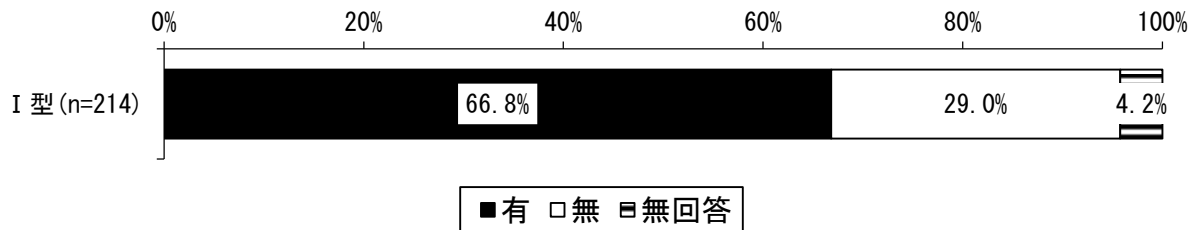


※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑩ 地域に貢献する活動の実施

地域に貢献する活動の実施の有無は、「有」が 66.8%、「無」が 29.0%であった。

図表 2-2-178 地域に貢献する活動の実施 (問 17 10))



※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(2) II 型介護医療院

① 入所者等の数 (実人数) (前 3 か月間)

入所者等の数は平均 3.4 人であった。

図表 2-2-179 入所者等の数 (実人数) (前 3 か月間) (問 17 1))

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
II 型	60	3.4	8.7	1.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

② 日常生活自立度のランク M に該当する入所者等の数 (実人数) (前 3 か月間)

日常生活自立度のランク M に該当する入所者の数は、平均 3.4 人であった。

図表 2-2-180 日常生活自立度のランク M に該当する入所者等の数 (実人数) (前 3 か月間) (問 17 2))

	件数	平均	標準偏差	中央値
II 型	64	3.4	8.7	1.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

③ 日常生活自立度のランク IV に該当する入所者等の数 (実人数) (前 3 か月間)

日常生活自立度ランク IV に該当する入所者等の数は、平均 39.5 人であった。

図表 2-2-181 日常生活自立度のランク IV に該当する入所者等の数 (実人数) (前 3 か月間) (問 17 3))

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
II 型	63	39.5	28.7	35.0

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

④ 喀痰吸引を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）

喀痰吸引を実施した入所者等の総数は、平均 9.4 人であった。

図表 2-2-182 喀痰吸引を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）（問 17 4）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
Ⅱ型	61	9.4	10.3	6.0

※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

⑤ 経管栄養を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）

経管栄養を実施した入所者等の総数は、平均 12.1 人であった。

図表 2-2-183 経管栄養を実施した入所者等の総数（実人数）（前3か月間）（問 17 5）

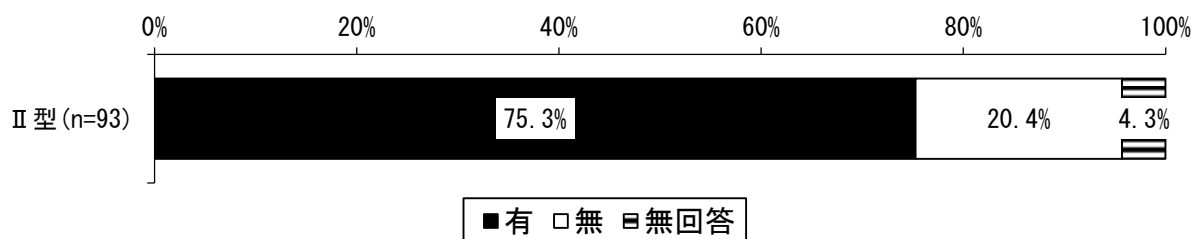
	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
Ⅱ型	62	12.1	12.6	8.0

※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

⑥ ターミナルケアの実施体制

ターミナルケアの実施体制は、「有」が 75.3%、「無」が 20.4%であった。

図表 2-2-184 ターミナルケアの実施体制（問 17 6）



※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

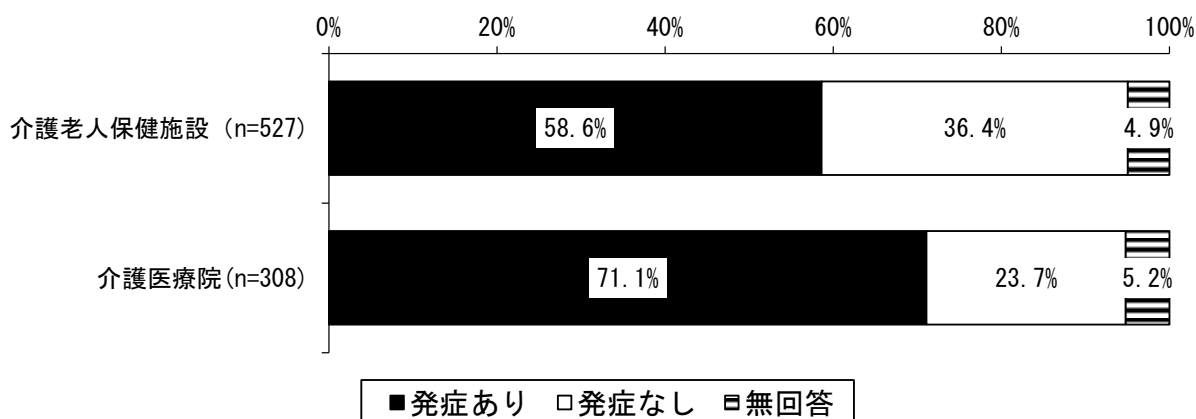
8. 入所者の医療等の必要性、提供内容等

(1) 肺炎

① 発症の有無

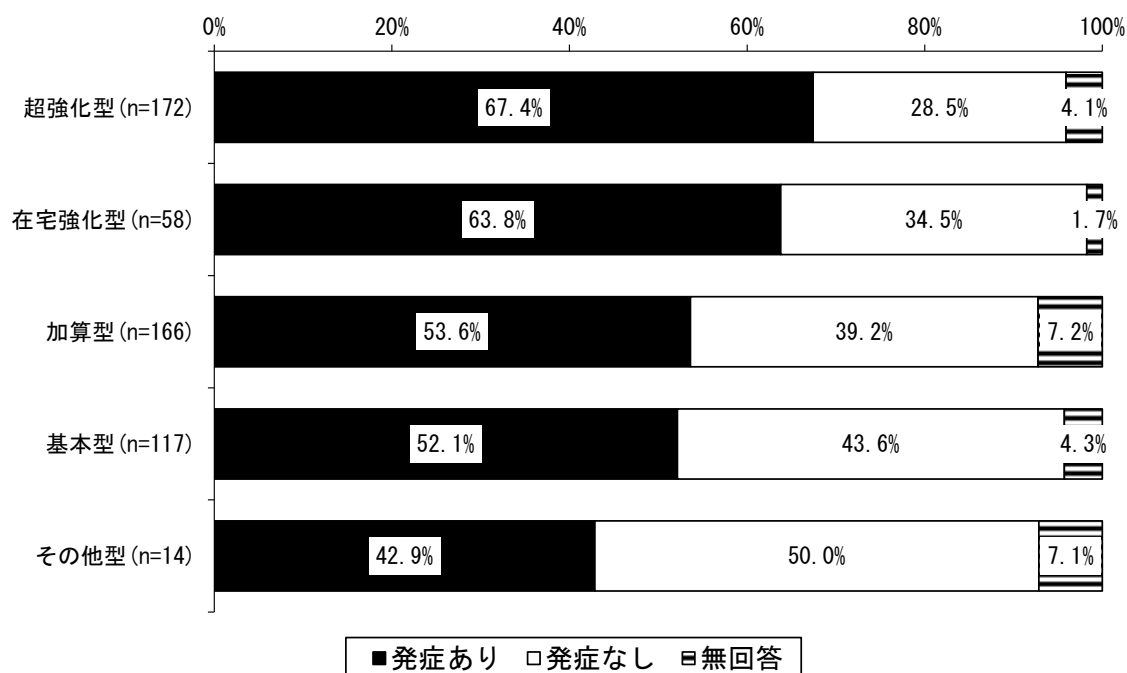
肺炎の発症の有無は、介護老人保健施設では「発症あり」が 58.6%、「発症なし」が 36.4%であった。介護医療院では「発症あり」が 71.1%、「発症なし」が 23.7%であった。

図表 2-2-185 肺炎の発症の有無（介護老人保健施設票：問 19①／介護医療院票：問 18①）



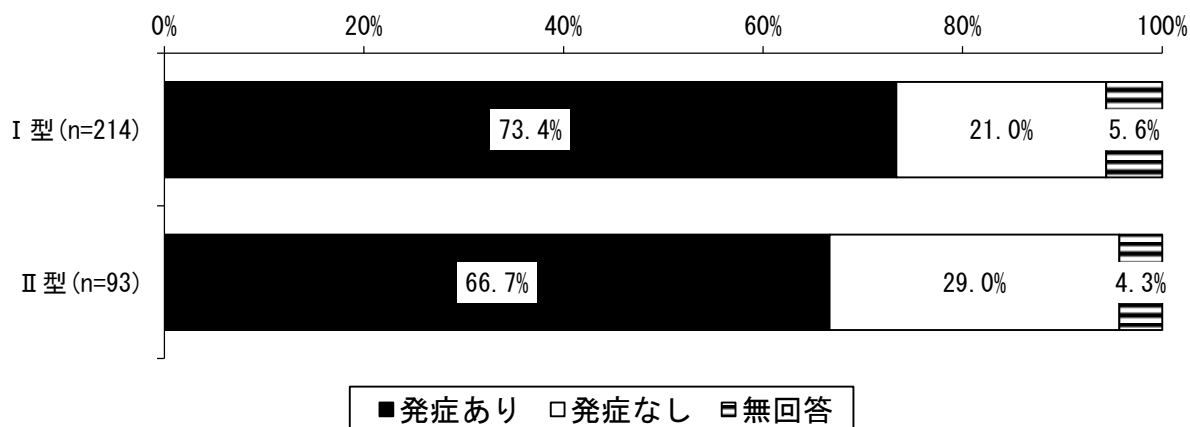
介護老人保健施設は、超強化型では「発症あり」が 67.4%、「発症なし」が 28.5%であった。在宅強化型では「発症あり」が 63.8%、「発症なし」が 34.5%であった。加算型では「発症あり」が 53.6%、「発症なし」が 39.2%であった。基本型では「発症あり」が 52.1%、「発症なし」が 43.6%であった。

図表 2-2-186 肺炎の発症の有無（介護老人保健施設 施設類型部別）（問 19①）



介護医療院は、I型では「発症あり」が73.4%、「発症なし」が21.0%であった。II型では「発症あり」が66.7%、「発症なし」が29.0%であった。

図表 2-2-187 肺炎の発症の有無
(介護医療院 類型別) (問 18①)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

② 発症人数

肺炎の発症人数は、介護老人保健施設では平均 3.8 人、介護医療院では平均 4.8 人であった。

図表 2-2-188 肺炎の発症人数
(介護老人保健施設票：問 19①/介護医療院票：問 18①)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	307	3.8	3.9	3.0
超強化型	114	4.6	4.9	3.0
在宅強化型	37	3.7	4.0	2.0
加算型	89	3.5	3.0	3.0
基本型	61	3.1	3.0	2.0
その他型	6	2.0	0.9	2.0
介護医療院	216	4.8	4.5	3.0
I型	154	5.2	4.6	4.0
II型	62	3.8	4.1	2.5

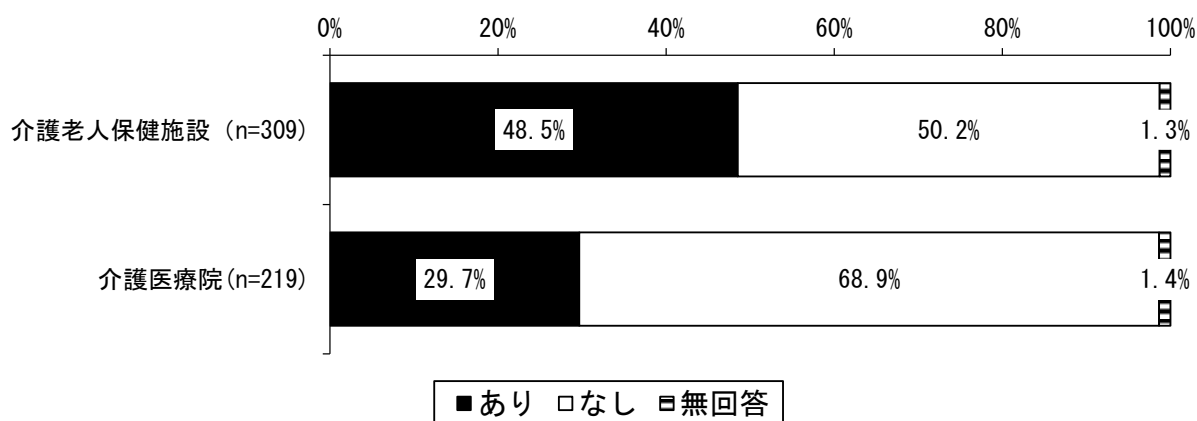
※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

③ 発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

肺炎発症者のうち医療機関へ転院した人数は、介護老人保健施設では「あり」が 48.5%、「なし」が 50.2%であった。介護医療院では「あり」が 29.7%、「なし」が 68.9%であった。

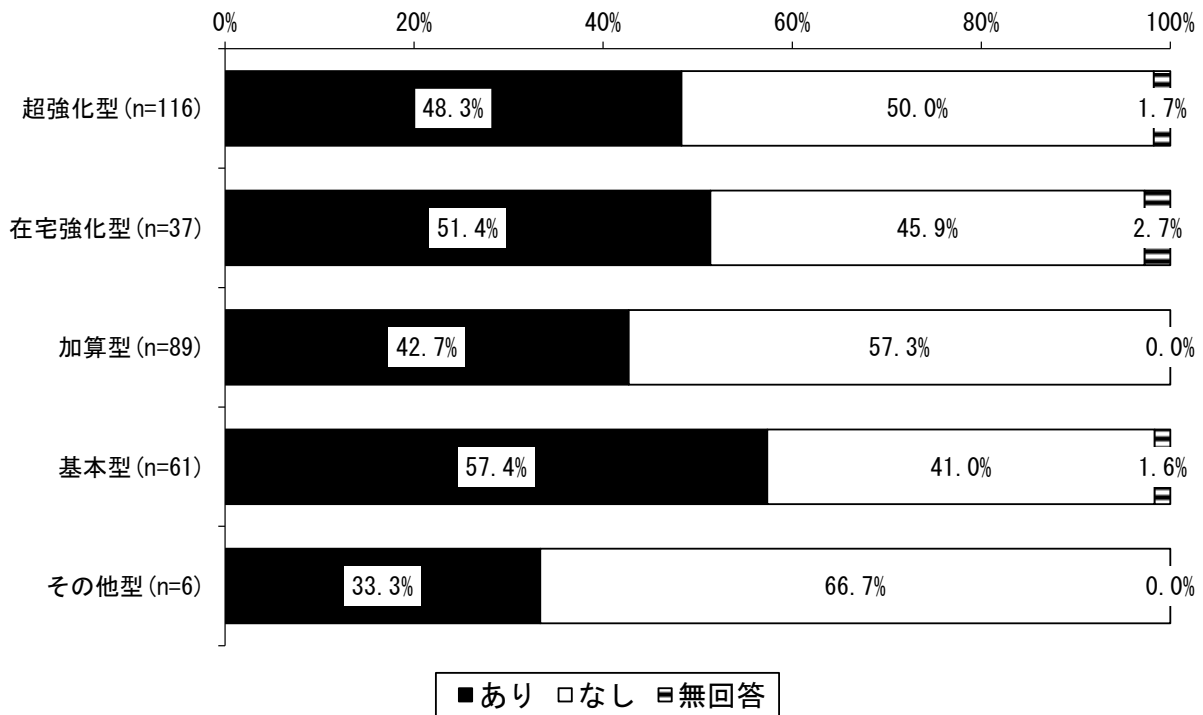
図表 2-2-189 肺炎発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

(介護老人保健施設票：問 19①／介護医療院票：問 18①)



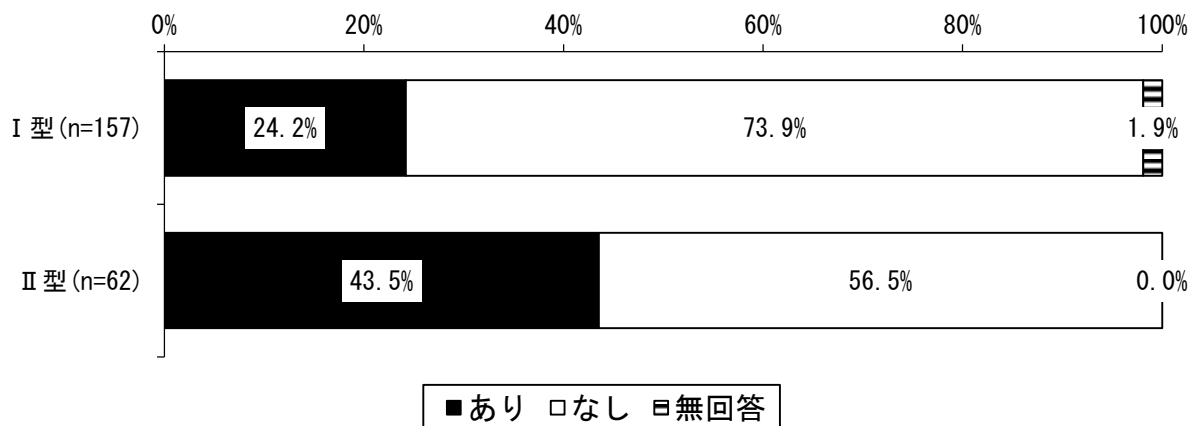
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が48.3%、「なし」が50.0%であった。在宅強化型では「あり」が51.4%、「なし」が45.9%であった。加算型では「あり」が42.7%、「なし」が57.3%であった。基本型では「あり」が57.4%、「なし」が41.0%であった。

図表 2-2-190 肺炎発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護老人保健 施設類型部別) (問 19①)



介護医療院は、I型では「あり」が24.2%、「なし」が73.9%であった。II型では「あり」が43.5%、「なし」が56.5%であった。

図表 2-2-191 肺炎発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護医療院 類型別) (問 18①)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

④ 発症者のうち医療機関へ転院した人数

肺炎発症者のうち医療機関へ転院した人数は、介護老人保健施設、介護医療院ともに平均 1.0 人であった。

図表 2-2-192 肺炎発症者のうち医療機関へ転院した人数

(介護老人保健施設票：問 19①／介護医療院票：問 18①)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	305	1.0	1.6	0.0
超強化型	114	1.1	1.8	0.0
在宅強化型	36	1.1	1.6	1.0
加算型	89	0.9	1.3	0.0
基本型	60	1.2	1.5	1.0
その他型	6	0.8	1.3	0.0
介護医療院	216	1.0	2.1	0.0
I 型	154	0.8	2.0	0.0
II 型	62	1.3	2.4	0.0

※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

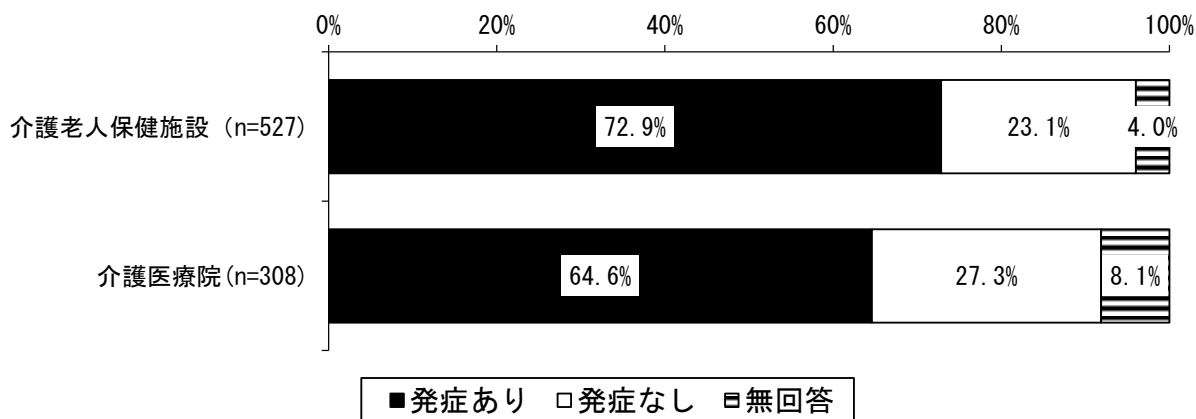
(2) 尿路感染症

① 発症の有無

尿路感染症の発症の有無は、介護老人保健施設では「発症あり」が 72.9%、「発症なし」が 23.1%であった。介護医療院では「発症あり」が 64.6%、「発症なし」が 27.3%であった。

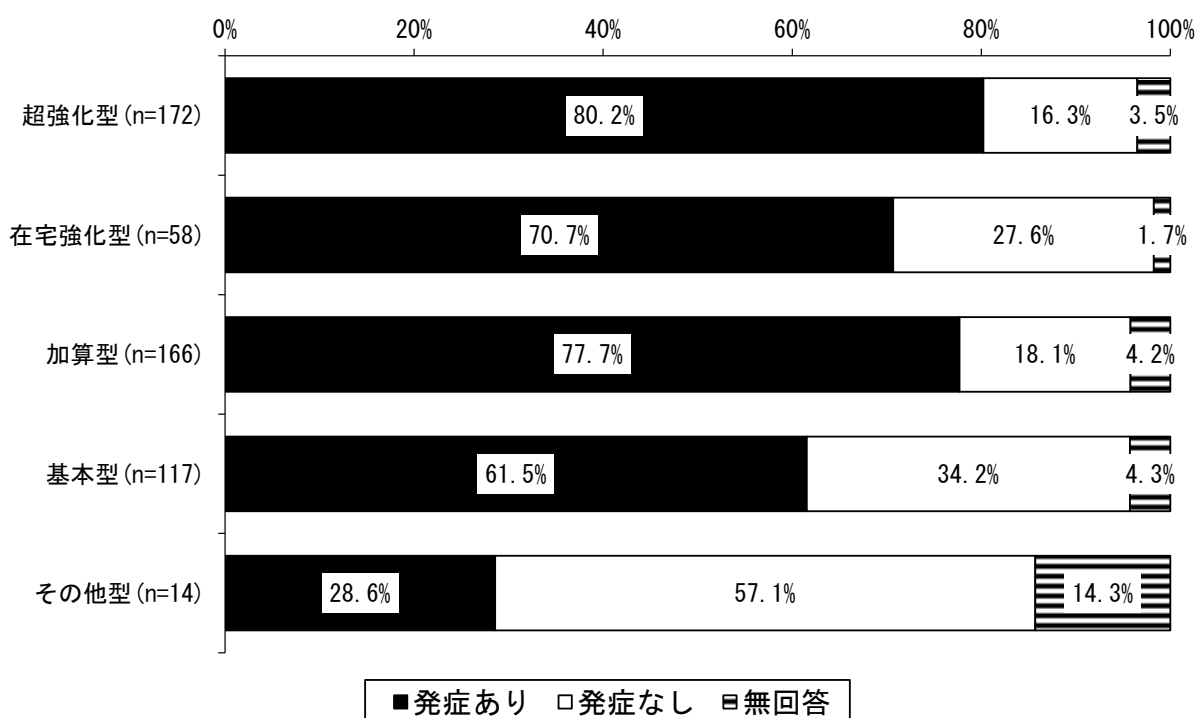
図表 2-2-193 尿路感染症の発症の有無

(介護老人保健施設票：問 19②／介護医療院票：問 18②)



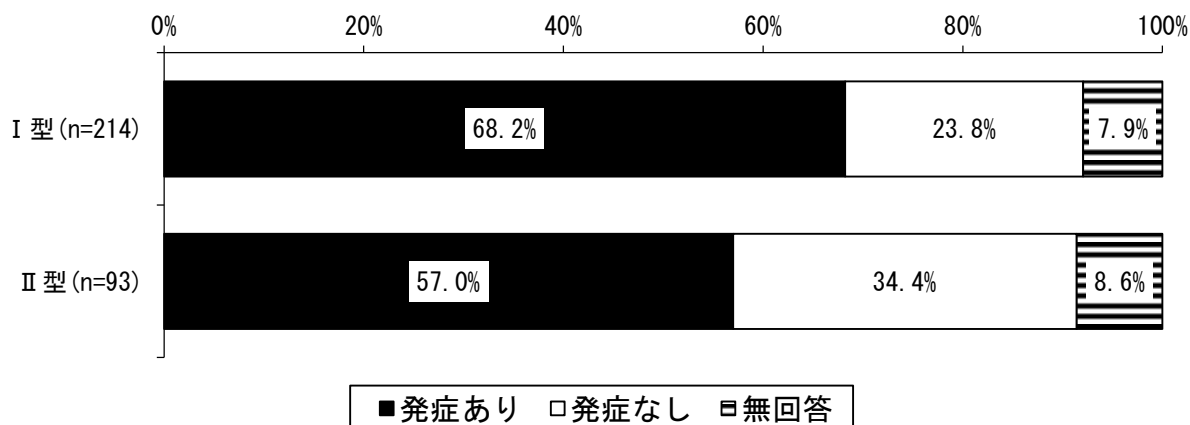
介護老人保健施設は、超強化型では「発症あり」が 80.2%、「発症なし」が 16.3%であった。在宅強化型では「発症あり」が 70.7%、「発症なし」が 27.6%であった。加算型では「発症あり」が 77.7%、「発症なし」が 18.1%であった。基本型では「発症あり」が 61.5%、「発症なし」が 34.2%であった。

図表 2-2-194 尿路感染症の発症の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 19②)



介護医療院は、I型では「発症あり」が 68.2%、「発症なし」が 23.8%であった。II型では「発症あり」が 57.0%、「発症なし」が 34.4%であった。

図表 2-2-195 尿路感染症の発症の有無
(介護医療院 類型別) (問 18②)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

② 発症人数

尿路感染症の発症人数は、介護老人保健施設では平均 7.1 人、介護医療院では平均 4.2 人であった。

図表 2-2-196 尿路感染症の発症人数

(介護老人保健施設票：問 19②)／介護医療院票：問 18②)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	381	7.1	7.3	5.0
超強化型	136	8.4	7.9	7.0
在宅強化型	41	5.9	6.4	3.0
加算型	128	7.0	7.0	5.0
基本型	72	5.5	6.7	3.0
その他型	4	3.3	3.3	2.0
介護医療院	195	4.2	4.8	3.0
I 型	145	4.7	5.3	3.0
II 型	50	2.7	2.3	2.0

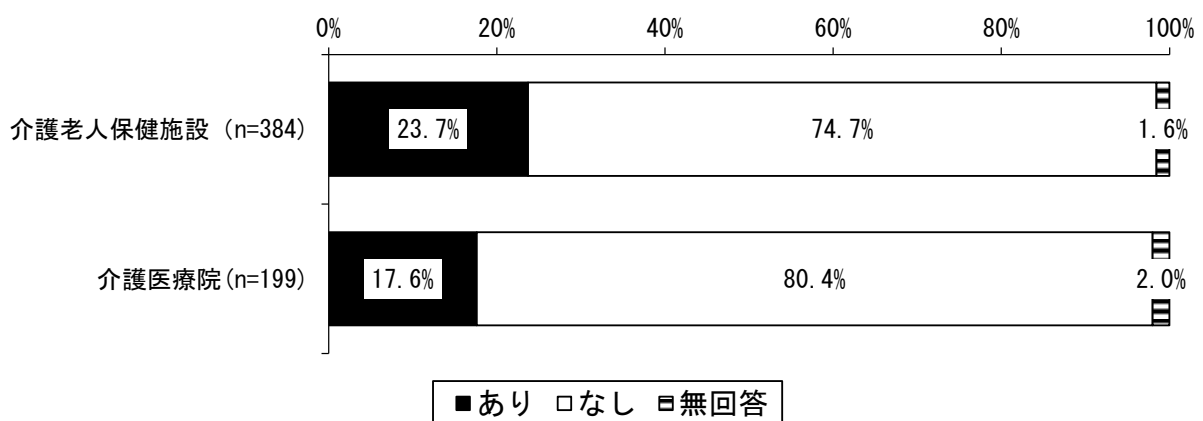
※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

③ 発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

尿路感染症発症者のうち医療機関へ転院した人の有無は、介護老人保健施設では「あり」が 23.7%、「なし」が 74.7%であった。介護医療院では「あり」が 17.6%、「なし」が 80.4%であった。

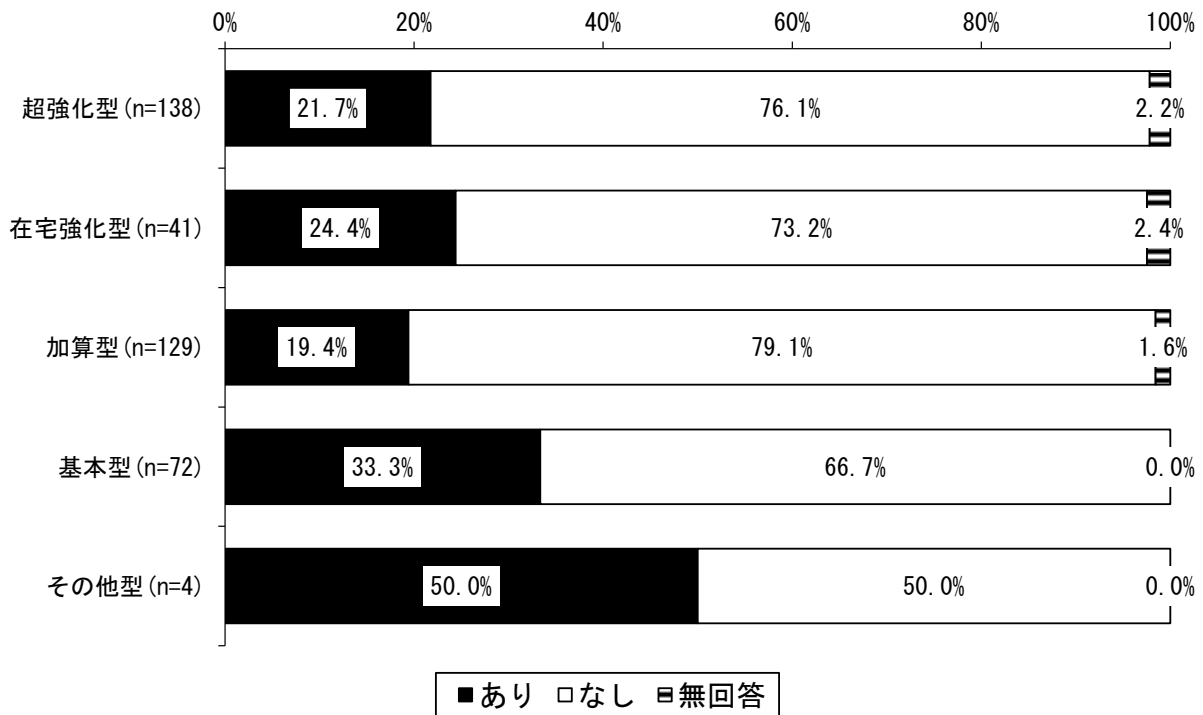
図表 2-2-197 尿路感染症発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

(介護老人保健施設票：問 19②)／介護医療院票：問 18②)



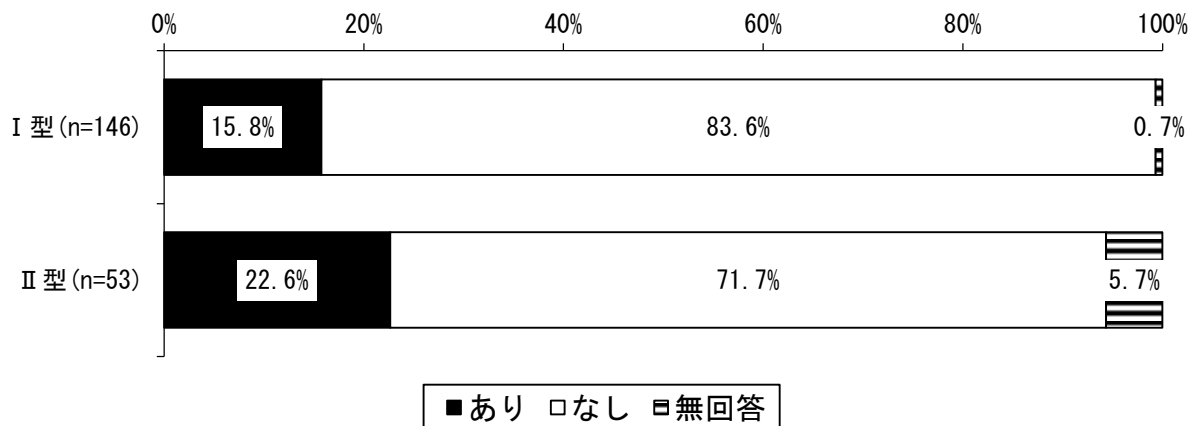
介護老人保健施設は、超強化型が「あり」が 21.7%、「なし」が 76.1%であった。在宅強化型では「あり」が 24.4%、「なし」が 73.2%であった。加算型では「あり」が 19.4%、「なし」が 79.1%であった。基本型では「あり」が 33.3%、「なし」が 66.7%であった。

図表 2-2-198 尿路感染症発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 19②)



介護医療院は、I型では「あり」が 15.8%、「なし」が 83.6%であった。II型では「あり」が 22.6%、「なし」が 71.7%であった。

図表 2-2-199 尿路感染症発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護医療院 類型別) (問 18②)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

④ 発症者のうち医療機関へ転院した人数

尿路感染症発症者のうち医療機関へ転院した人数は、介護老人保健施設では、平均 0.3 人、介護医療院では平均 0.4 人であった。

図表 2-2-200 尿路感染症発症者のうち医療機関へ転院した人数

(介護老人保健施設票：問 19②／介護医療院票：問 18②)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	378	0.3	0.6	0.0
超強化型	135	0.3	0.7	0.0
在宅強化型	40	0.3	0.7	0.0
加算型	127	0.3	0.6	0.0
基本型	72	0.4	0.7	0.0
その他型	4	0.5	0.6	0.5
介護医療院	195	0.4	1.1	0.0
I 型	145	0.4	1.1	0.0
II 型	50	0.4	0.9	0.0

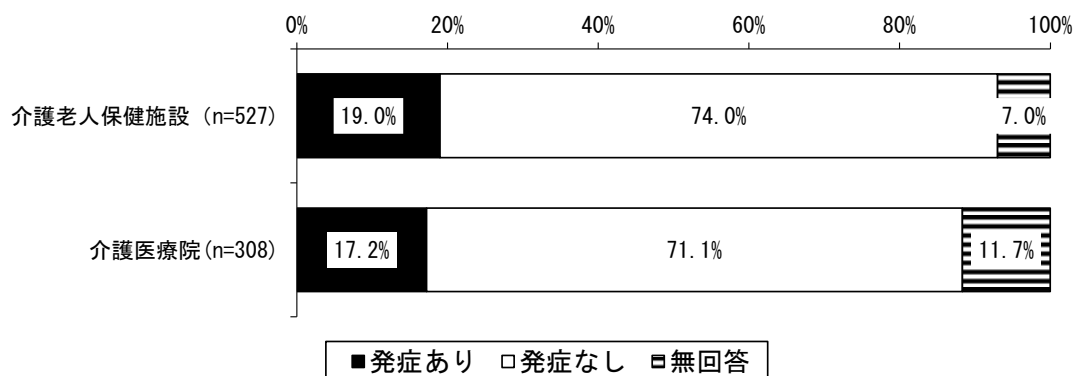
※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(3) 带状疱疹

① 発症の有無

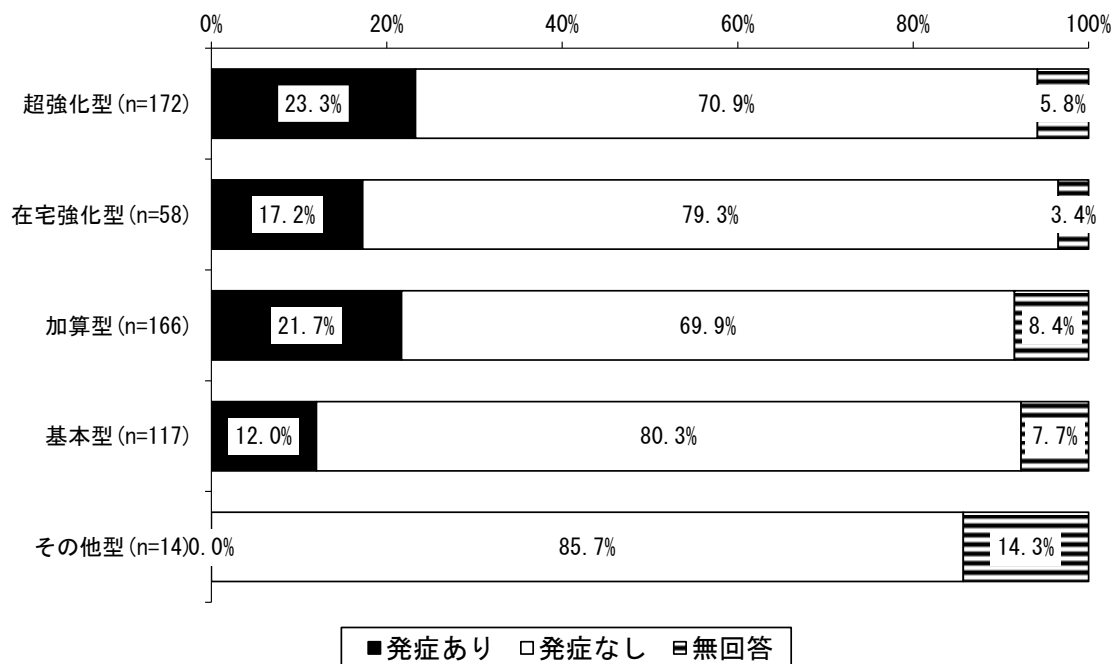
带状疱疹の発症の有無は、介護老人保健施設では「発症あり」が 19.0%、「発症なし」が 74.0%であった。介護医療院では「発症あり」が 17.2%、「発症なし」が 71.1%であった。

図表 2-2-201 带状疱疹の発症の有無
(介護老人保健施設票：問 19③／介護医療院票：問 18③)



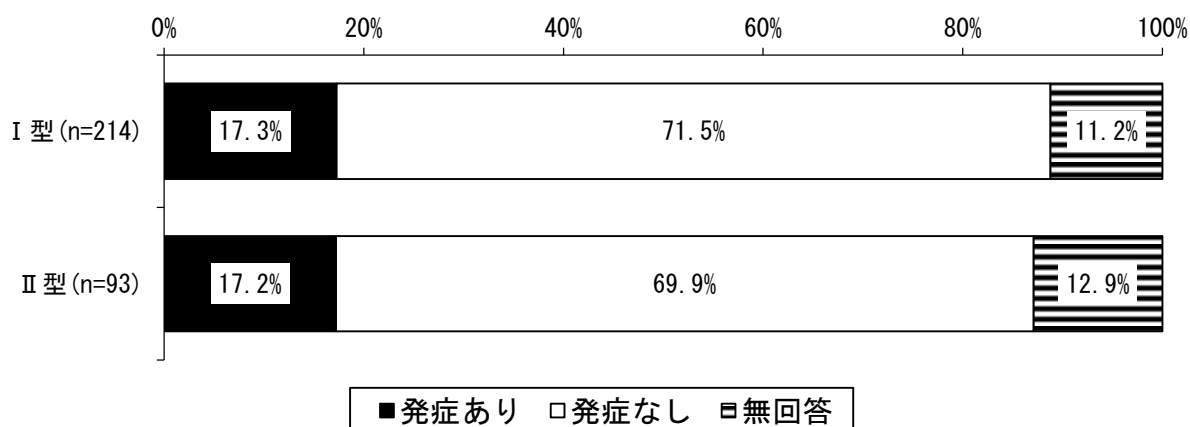
介護老人保健施設は、超強化型では「発症あり」が 23.3%、「発症なし」が 70.9%であった。在宅強化型では「発症あり」が 17.2%、「発症なし」が 79.3%であった。加算型では「発症あり」が 21.7%、「発症なし」が 69.9%であった。基本型では「発症あり」が 12.0%、「発症なし」が 80.3%であった。

図表 2-2-202 带状疱疹の発症の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 19③)



介護医療院は、Ⅰ型では「発症あり」が17.3%、「発症なし」が71.5%であった。Ⅱ型では「発症あり」が17.2%、「発症なし」が69.9%であった。

図表 2-2-203 带状疱疹の発症の有無
(介護医療院 類型別) (問 18③)



※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

② 発症人数

带状疱疹の発症人数は、介護老人保健施設は平均1.5人、介護医療院は平均1.6人となった。

図表 2-2-204 带状疱疹の発症人数
(介護老人保健施設票：問 19③) / 介護医療院票：問 18③)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	98	1.5	0.8	1.0
超強化型	38	1.6	0.9	1.0
在宅強化型	10	1.7	1.3	1.0
加算型	36	1.4	0.7	1.0
基本型	14	1.4	0.6	1.0
その他型	0	-	-	-
介護医療院	51	1.6	0.8	1.0
Ⅰ型	36	1.7	0.9	1.0
Ⅱ型	15	1.5	0.7	1.0

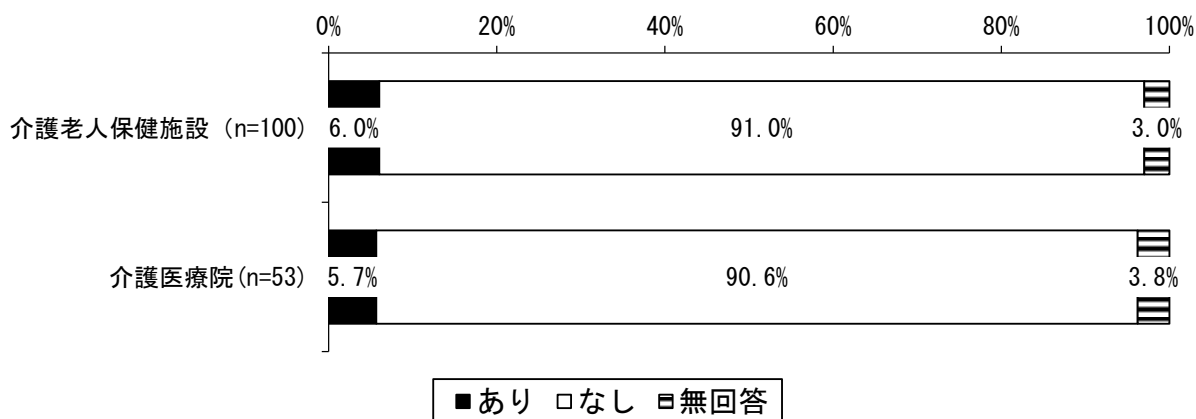
※介護医療院の類型別はⅠ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

※介護老人保健施設のその他型は件数が0件のため、以降のグラフでの表示は割愛した

③ 発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

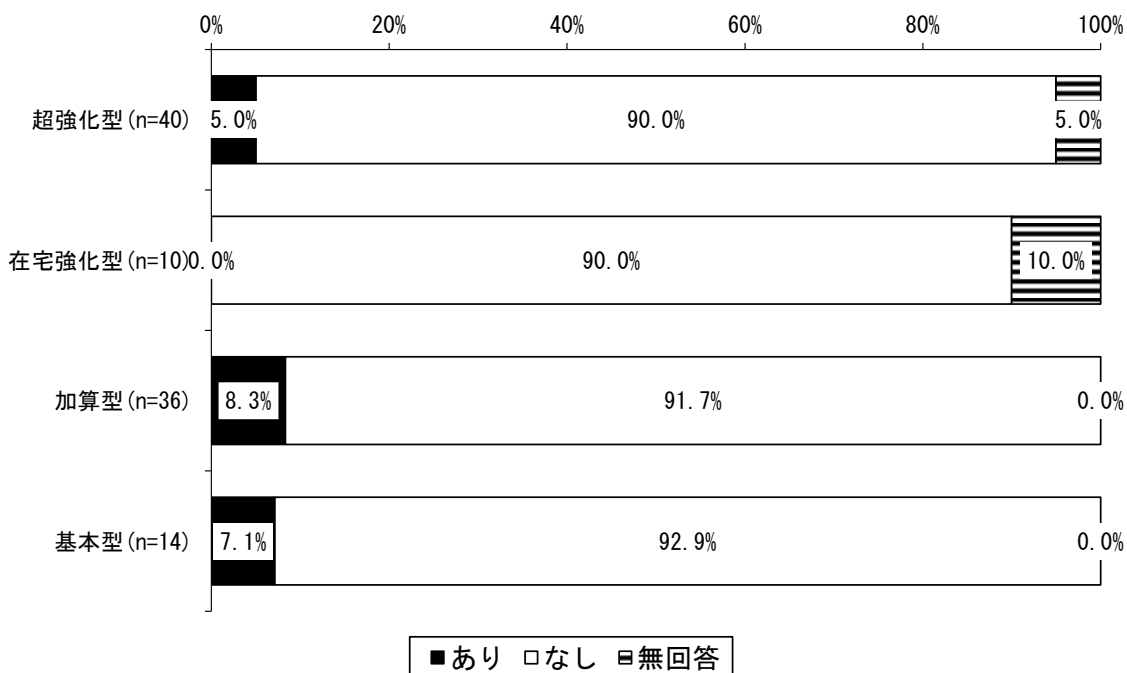
带状疱疹発症者のうち医療機関へ転院した人の有無は、介護老人保健施設では「あり」が6.0%、「なし」が91.0%であった。介護医療院では「あり」が5.7%、「なし」が90.6%であった。

図表 2-2-205 带状疱疹発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護老人保健施設票：問 19③/介護医療院票：問 18③)



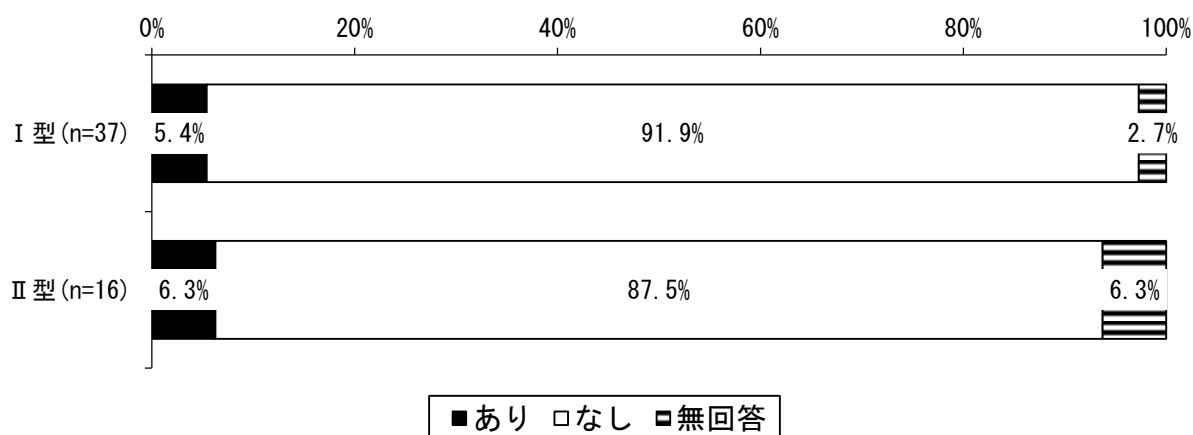
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が5.0%、「なし」が90.0%であった。在宅強化型では「あり」が0.0%、「なし」が90.0%であった。加算型では「あり」が8.3%、「なし」が91.7%であった。基本型では「あり」が7.1%、「なし」が92.9%であった。

図表 2-2-206 带状疱疹発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 19③)



介護医療院は、I型では「あり」が5.4%、「なし」が91.9%であった。II型では「あり」が6.3%、「なし」が87.5%であった。

図表 2-2-207 带状疱疹発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護医療院 類型別) (問 18③)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

④ 発症者のうち医療機関へ転院した人数

带状疱疹発症者のうち医療機関へ転院した人数は、介護老人保健施設、介護医療院ともに平均0.1人であった。

図表 2-2-208 带状疱疹発症者のうち医療機関へ転院した人数
(介護老人保健施設票：問 19③ / 介護医療院票：問 18③)

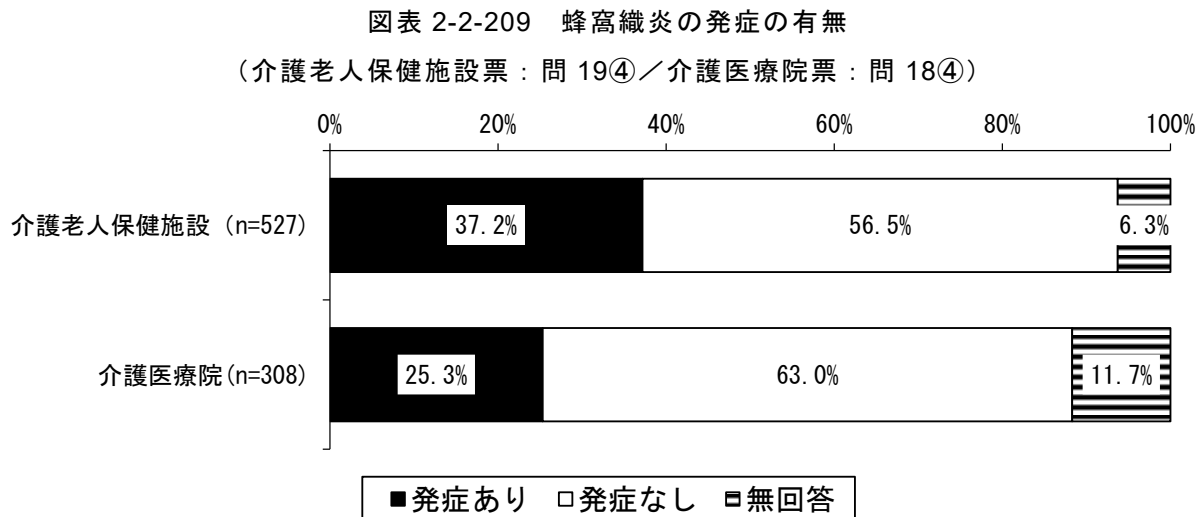
	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	97	0.1	0.4	0.0
超強化型	38	0.1	0.2	0.0
在宅強化型	9	0.0		0.0
加算型	36	0.1	0.3	0.0
基本型	14	0.2	0.8	0.0
介護医療院	51	0.1	0.2	0.0
I型	36	0.1	0.2	0.0
II型	15	0.1	0.3	0.0

※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(4) 蜂窩織炎の発症の有無

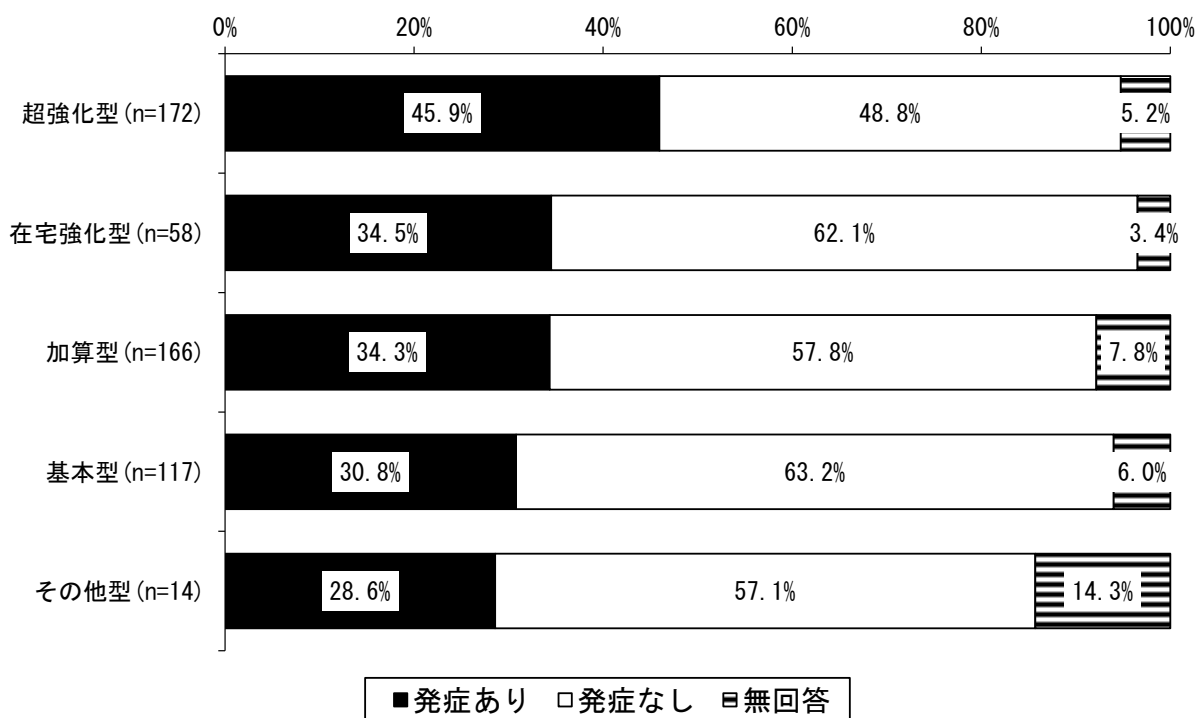
① 発症の有無

蜂窩織炎の発症の有無は、介護老人保健施設では「発症あり」が 37.2%、「発症なし」が 56.5%であった。介護医療院では「発症あり」が 25.3%、「発症なし」が 63.0%であった。



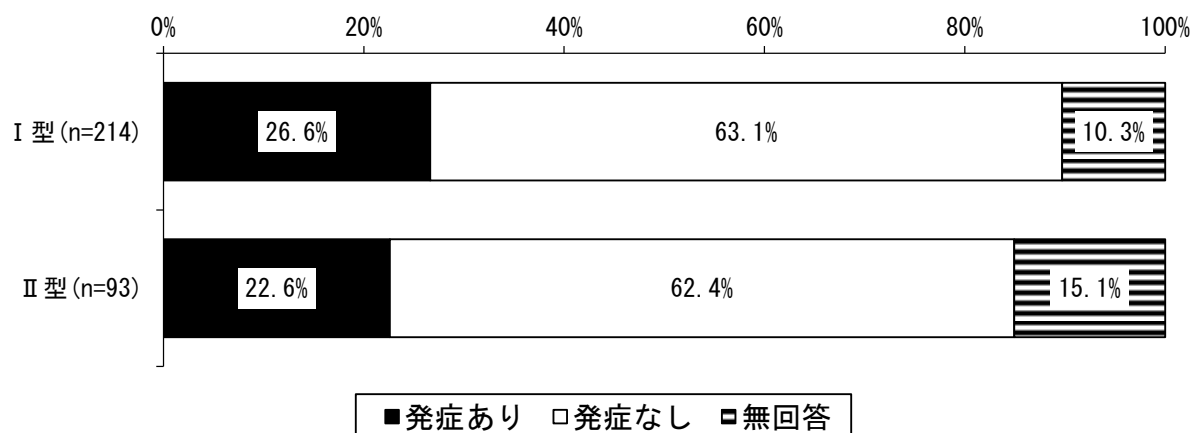
介護老人保健施設は、超強化型では「発症あり」が45.9%、「発症なし」が48.8%であった。在宅強化型では「発症あり」が34.5%、「発症なし」が62.1%であった。加算型では「発症あり」が34.3%、「発症なし」が57.8%であった。基本型では「発症あり」が30.8%、「発症なし」が63.2%であった。

図表 2-2-210 蜂窩織炎の発症の有無（介護老人保健施設 施設類型別）（問 19④）



介護医療院は、I型では「発症あり」が26.6%、「発症なし」が63.1%であった。II型では「発症あり」が22.6%、「発症なし」が62.4%であった。

図表 2-2-211 蜂窩織炎の発症の有無（介護医療院 類型別）（問 18④）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

② 発症人数

蜂窩織炎の発症人数は、介護老人保健施設は、平均 2.1 人、介護医療院は平均 1.8 人となった。

図表 2-2-212 蜂窩織炎の発症人数

(介護老人保健施設票：問 19④／介護医療院票：問 18④)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	194	2.1	1.6	2.0
超強化型	77	2.4	1.4	2.0
在宅強化型	20	1.5	1.0	1.0
加算型	57	2.0	1.6	1.0
基本型	36	2.2	2.0	1.0
その他型	4	1.3	0.5	1.0
介護医療院	77	1.8	1.2	1.0
I 型	56	1.8	1.3	1.0
II 型	21	1.6	0.9	1.0

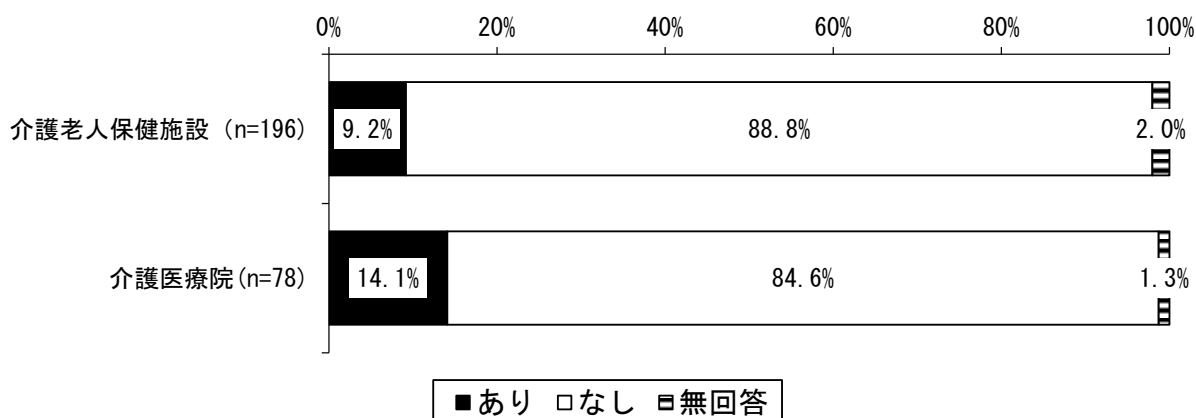
※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

③ 発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

蜂窩織炎発症者のうち医療機関へ転院した人の有無は、介護老人保健施設では「あり」が 9.2%、「なし」が 88.8%であった。介護医療院では「あり」が 14.1%、「なし」が 84.6%であった。

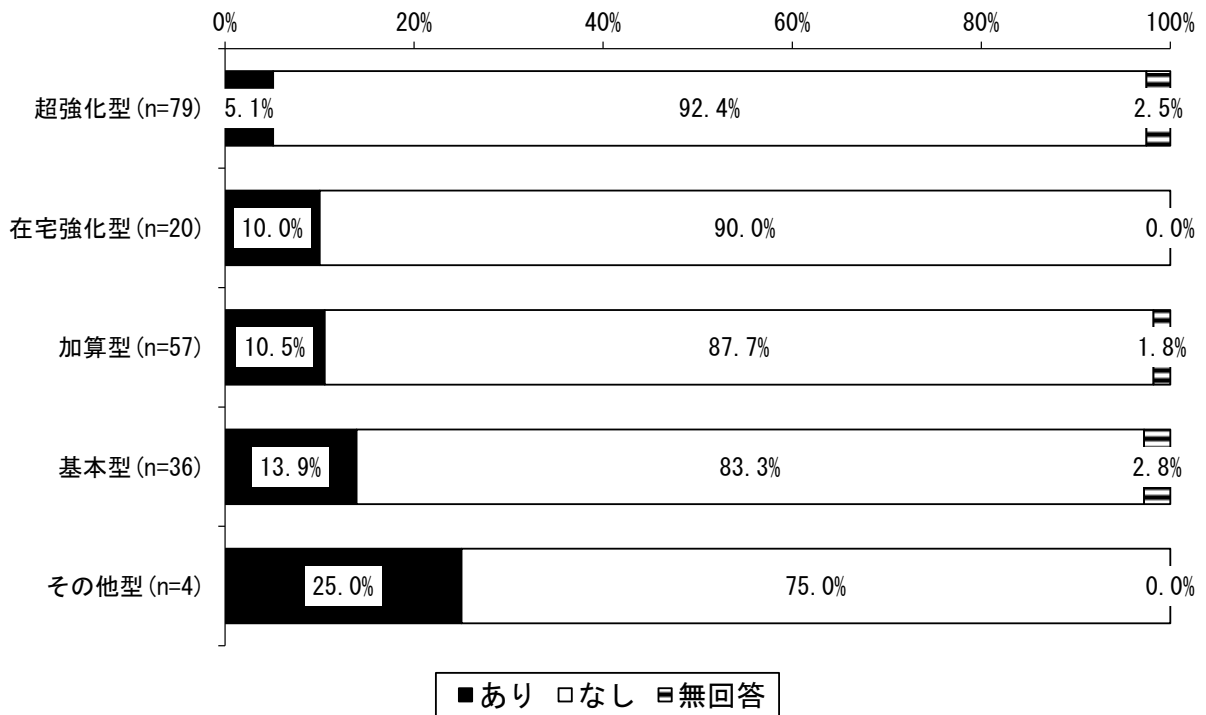
図表 2-2-213 蜂窩織炎発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

(介護老人保健施設票：問 19④／介護医療院票：問 18④)



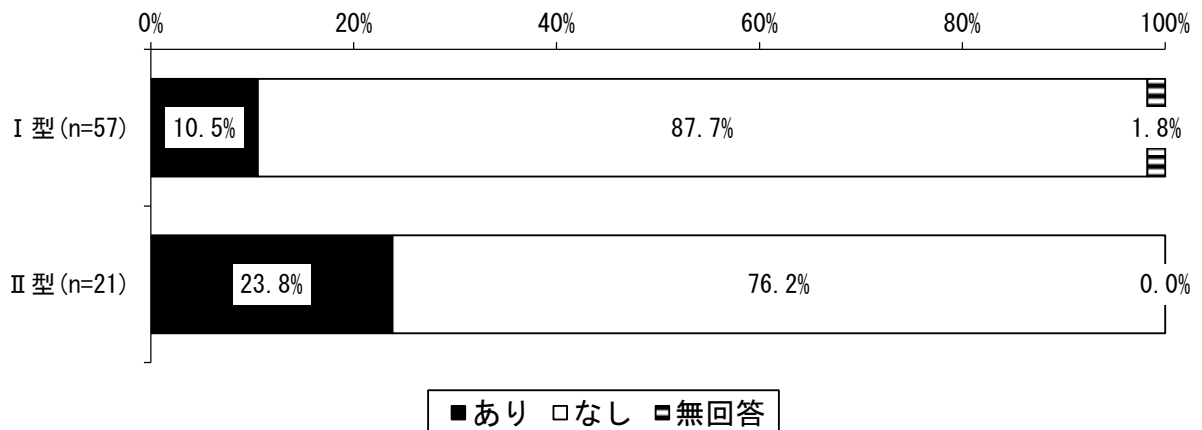
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が 5.1%、「なし」が 92.4%であった。在宅強化型では「あり」が 10.0%、「なし」が 90.0%であった。加算型では「あり」が 10.5%、「なし」が 87.7%であった。基本型では「あり」が 13.9%、「なし」が 83.3%であった。

図表 2-2-214 蜂窩織炎発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 19④)



介護医療院は、I型では「あり」が 10.5%、「なし」が 87.7%であった。II型では「あり」が 23.8%、「なし」が 76.2%であった。

図表 2-2-215 蜂窩織炎発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護医療院 類型別) (問 18④)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

④ 発症者のうち医療機関へ転院した人数

蜂窩織炎発症者のうち医療機関へ転院した人数は、介護老人保健施設は平均 0.1 人、介護医療院は平均 0.2 人であった。

図表 2-2-216 蜂窩織炎発症者のうち医療機関へ転院した人数

(介護老人保健施設票：問 19④／介護医療院票：問 18④)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	192	0.1	0.3	0.0
超強化型	77	0.1	0.2	0.0
在宅強化型	20	0.1	0.3	0.0
加算型	56	0.1	0.3	0.0
基本型	35	0.2	0.5	0.0
その他型	4	0.3	0.5	0.0
介護医療院	77	0.2	0.5	0.0
I 型	56	0.2	0.6	0.0
II 型	21	0.2	0.4	0.0

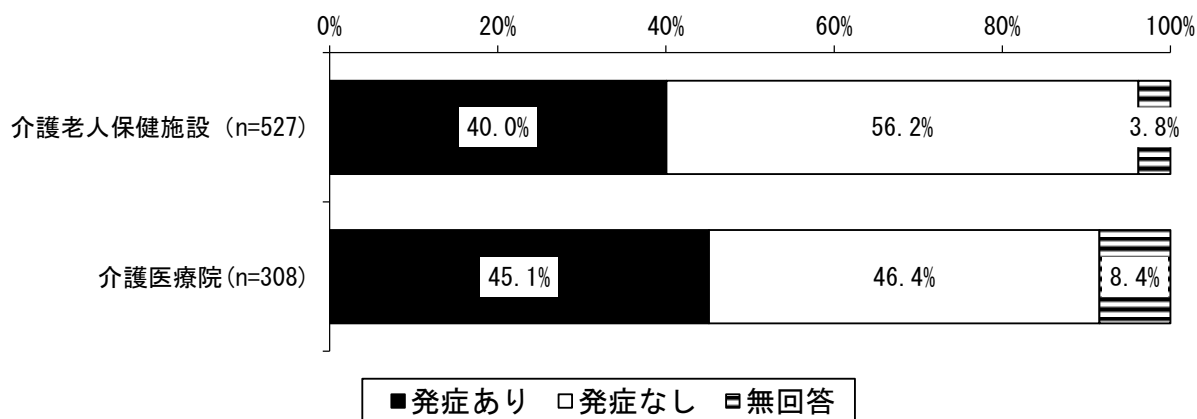
※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(5) 心不全（慢性心不全の増悪）の発症の有無

① 発症の有無

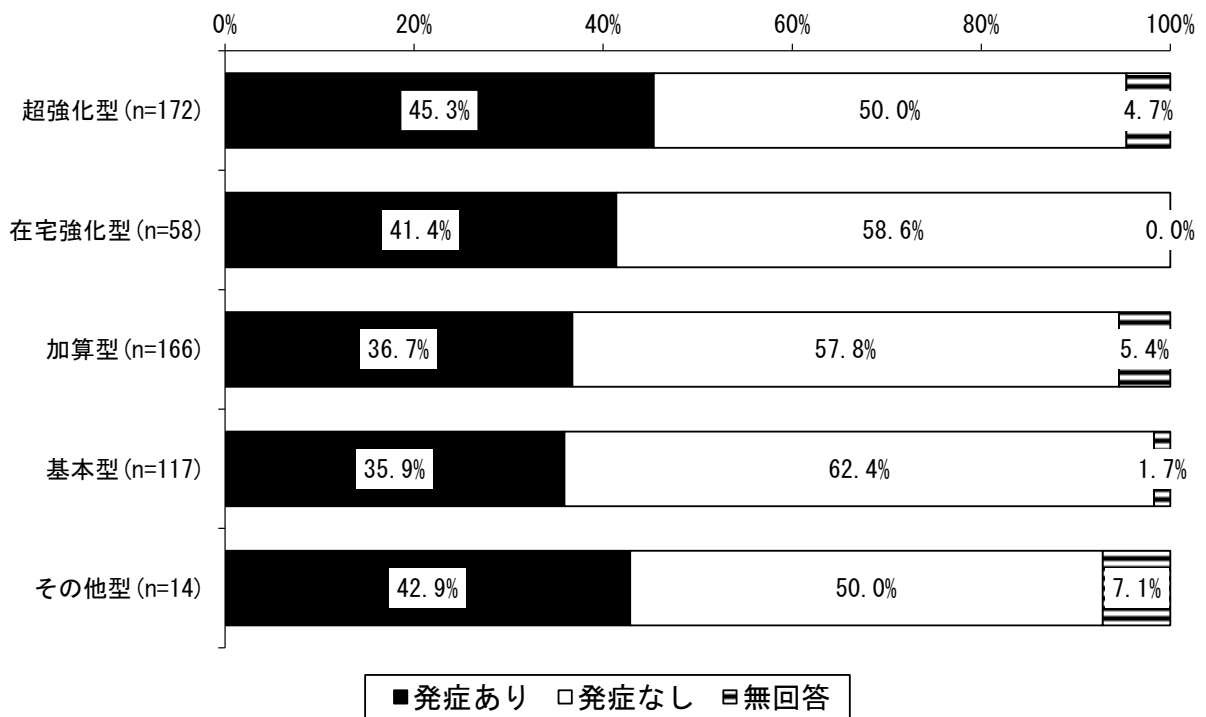
心不全（慢性心不全の増悪）の発症の有無は、介護老人保健施設では「発症あり」が40.0%、「発症なし」が56.2%であった。介護医療院では「発症あり」が45.1%、「発症なし」が46.4%であった。

図表 2-2-217 心不全（慢性心不全の増悪）の発症の有無
(介護老人保健施設票：問 20/介護医療院票：問 18⑤)



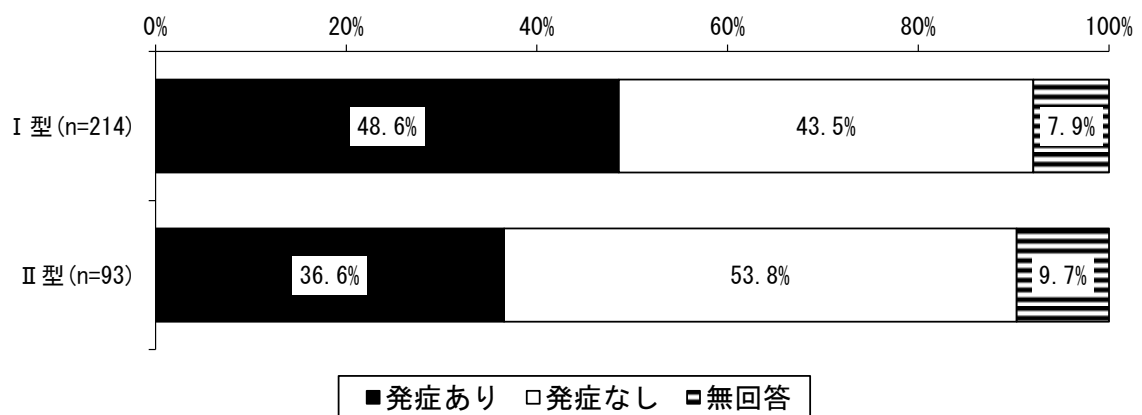
介護老人保健施設は、超強化型では「発症あり」が45.3%、「発症なし」が50.0%であった。在宅強化型では「発症あり」が41.4%、「発症なし」が58.6%であった。加算型では「発症あり」が36.7%、「発症なし」が57.8%であった。基本型では「発症あり」が35.9%、「発症なし」が62.4%であった。

図表 2-2-218 心不全（慢性心不全の増悪）の発症の有無
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 20）



介護医療院は、I型では「発症あり」が48.6%、「発症なし」が43.5%であった。II型では「発症あり」が36.6%、「発症なし」が53.8%であった。

図表 2-2-219 心不全（慢性心不全の増悪）の発症の有無（介護医療院 類型別）（問 18⑤）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

② 発症人数

心不全（慢性心不全の増悪）発症者の人数は、介護老人保健施設は平均 2.3 人、介護医療院は平均 2.4 人であった。

図表 2-2-220 心不全（慢性心不全の増悪）を発症した人数

（介護老人保健施設票：問 20／介護医療院票：問 18⑤）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	209	2.3	2.6	2.0
超強化型	76	2.4	3.2	1.5
在宅強化型	24	2.5	2.3	2.0
加算型	61	2.3	2.0	2.0
基本型	42	1.8	1.4	1.0
その他型	6	3.8	6.0	1.5
介護医療院	138	2.4	2.3	2.0
I 型	103	2.6	2.3	2.0
II 型	34	2.1	2.4	1.0

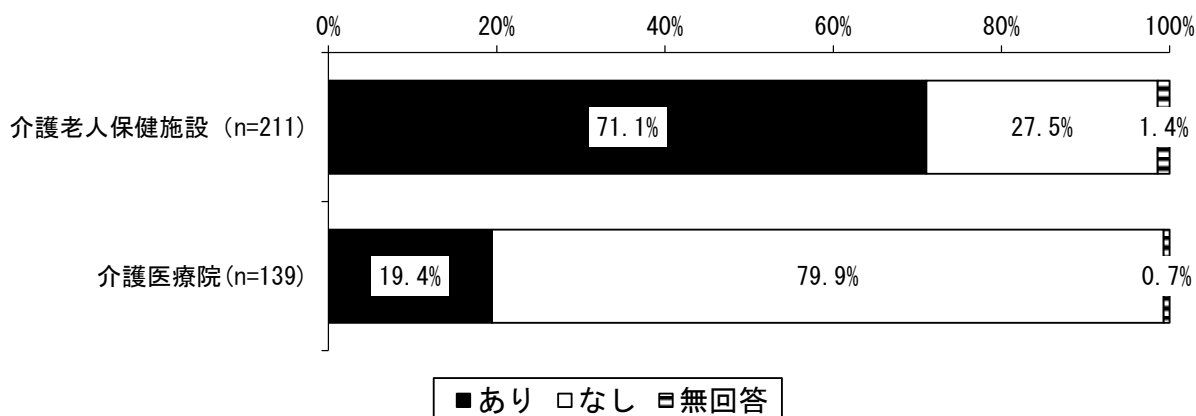
※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

③ 発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

心不全（慢性心不全の増悪）発症者のうち医療機関へ転院した人の有無は、介護老人保健施設では「あり」が 71.1%、「なし」が 27.5%であった。介護医療院では「あり」が 19.4%、「なし」が 79.9%であった。

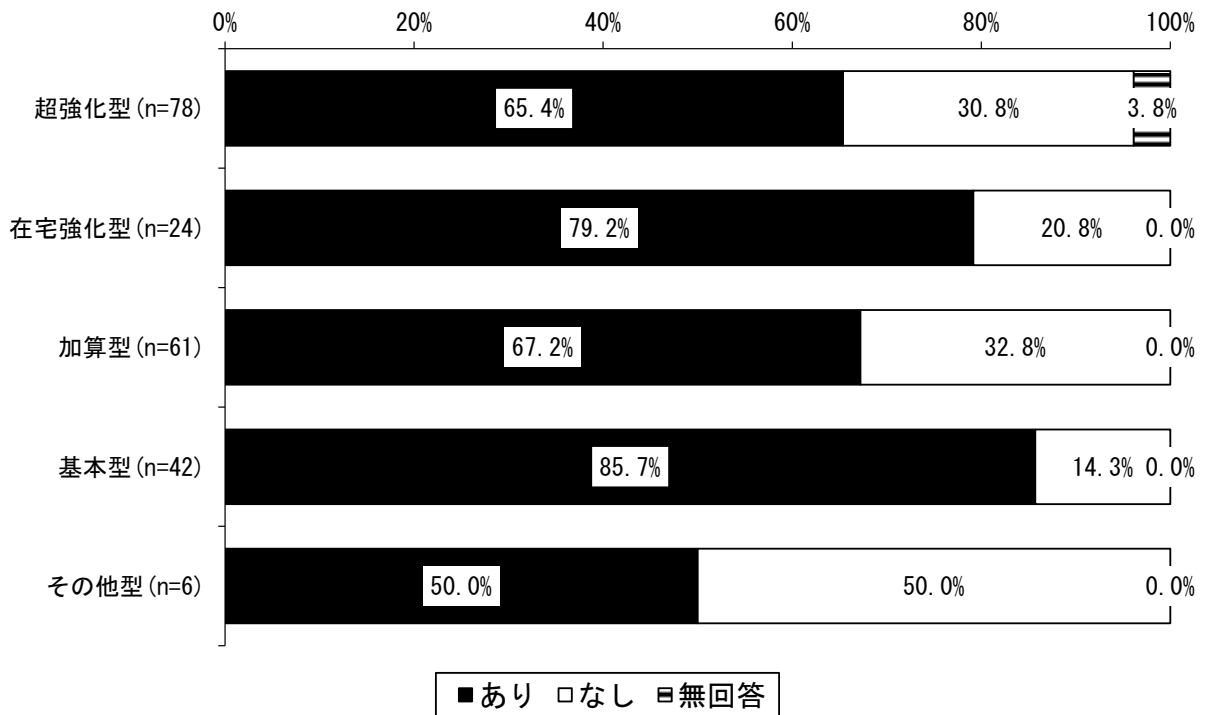
図表 2-2-221 心不全（慢性心不全の増悪）発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

（介護老人保健施設票：問 20／介護医療院票：問 18⑤）



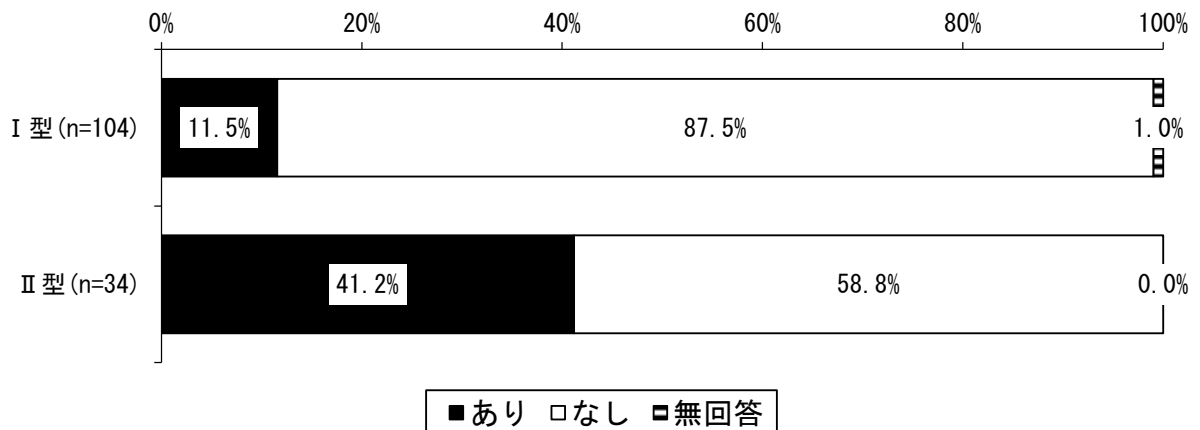
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が 65.4%、「なし」が 30.8%であった。在宅強化型では「あり」が 79.2%、「なし」が 20.8%であった。加算型では「あり」が 67.2%、「なし」が 32.8%であった。基本型では「あり」が 85.7%、「なし」が 14.3%であった。

図表 2-2-222 心不全（慢性心不全の増悪）発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 20）



介護医療院は、I型では「あり」が 11.5%、「なし」が 87.5%であった。II型では「あり」が 41.2%、「なし」が 58.8%であった。

図表 2-2-223 心不全（慢性心不全の増悪）発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
（介護医療院 類型別）（問 18⑤）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

④ 発症者のうち医療機関へ転院した人数

心不全（慢性心不全の増悪）発症者のうち医療機関へ転院した人数は、介護老人保健施設は平均 1.2 人、介護医療院は平均 0.3 人であった。

図表 2-2-224 心不全（慢性心不全の増悪）発症者のうち医療機関へ転院した人数

（介護老人保健施設票：問 20／介護医療院票：問 18⑤）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	208	1.2	1.1	1.0
超強化型	75	1.0	1.1	1.0
在宅強化型	24	1.5	1.2	1.0
加算型	61	1.2	1.2	1.0
基本型	42	1.3	0.9	1.0
その他型	6	0.8	1.0	0.5
介護医療院	138	0.3	1.2	0.0
I 型	103	0.1	0.5	0.0
II 型	34	0.9	2.3	0.0

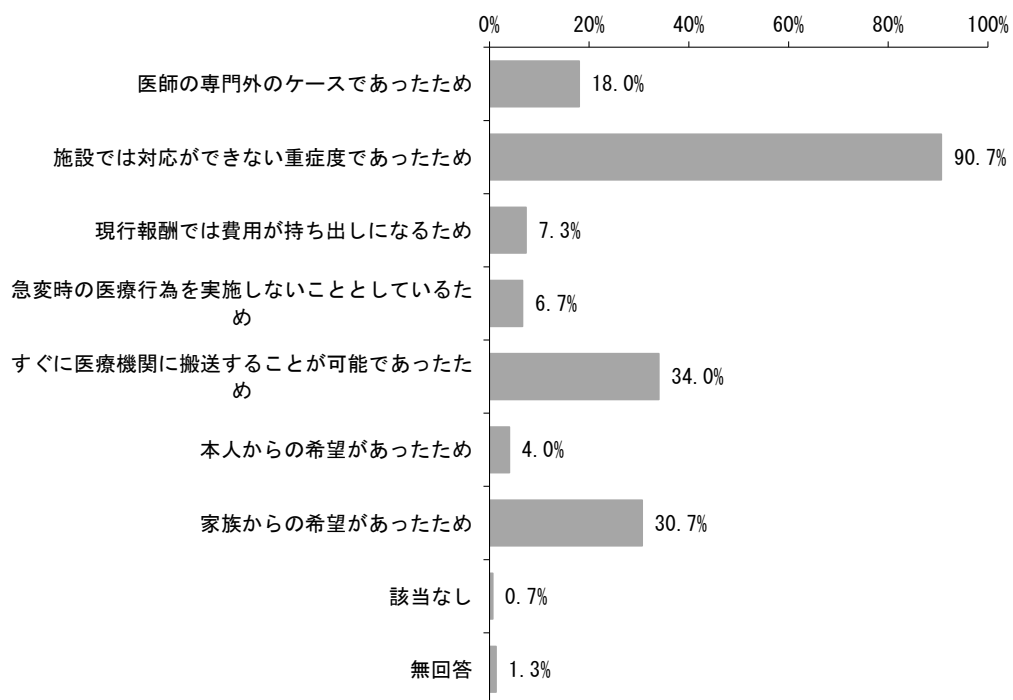
※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑤ 心不全（慢性心不全の増悪）発症者が医療機関に転院することになった理由（介護老人保健施設）

心不全（慢性心不全の増悪）発症者が医療機関に転院することになった理由は、「施設では対応ができない重症度であったため」が 90.7%、「すぐに医療機関に搬送することが可能であったため」が 34.0%、「家族からの希望があったため」が 30.7%であった。

図表 2-2-225 心不全（慢性心不全の増悪）発症者が医療機関に転院することになった理由

（複数回答）（介護老人保健施設）（問 20）（n=150）



施設類型別では、超強化型では「施設では対応ができない重症度であったため」が90.2%、「すぐに医療機関に搬送することが可能であったため」が31.4%であった。在宅強化型では「施設では対応ができない重症度であったため」が94.7%、「すぐに医療機関に搬送することが可能であったため」が31.6%であった。加算型では「施設では対応ができない重症度であったため」が92.7%、「家族からの希望があったため」が34.1%であった。基本型では「施設では対応ができない重症度であったため」が86.1%、「すぐに医療機関に搬送することが可能であったため」が47.2%であった。

図表 2-2-226 心不全（慢性心不全の増悪）発症者が医療機関に転院することになった理由
（複数回答）（介護老人保健施設 施設類型別）（問 20）

	合計	医師の専門外のケースであったため	施設では対応ができない重症度であったため	現行報酬では費用が持ち出しになるため	急変時の医療行為を実施しないこととしているため	すぐに医療機関に搬送することが可能であったため
介護老人保健施設	150 100.0%	27 18.0%	136 90.7%	11 7.3%	10 6.7%	51 34.0%
超強化型	51 100.0%	10 19.6%	46 90.2%	6 11.8%	2 3.9%	16 31.4%
在宅強化型	19 100.0%	3 15.8%	18 94.7%	1 5.3%	3 15.8%	6 31.6%
加算型	41 100.0%	6 14.6%	38 92.7%	2 4.9%	3 7.3%	12 29.3%
基本型	36 100.0%	7 19.4%	31 86.1%	2 5.6%	2 5.6%	17 47.2%
その他型	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（続き）

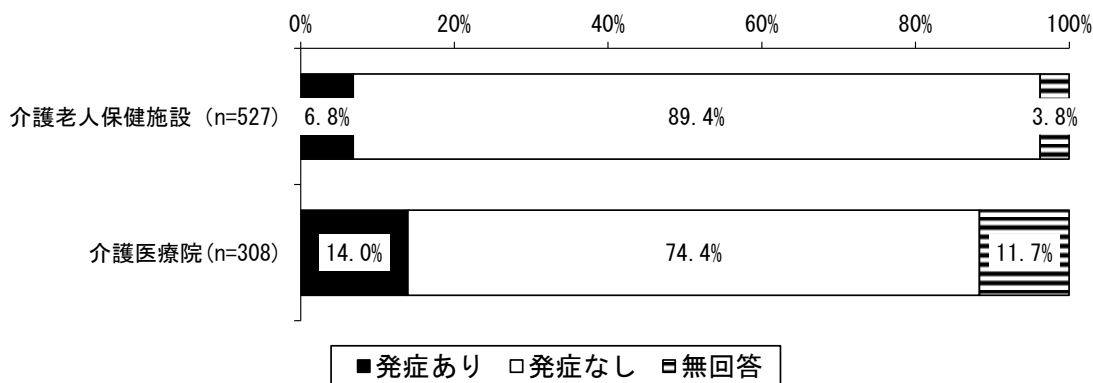
	合計	本人からの希望があったため	家族からの希望があったため	該当なし	無回答
介護老人保健施設	150 100.0%	6 4.0%	46 30.7%	1 0.7%	2 1.3%
超強化型	51 100.0%	4 7.8%	15 29.4%	0 0.0%	0 0.0%
在宅強化型	19 100.0%	1 5.3%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%
加算型	41 100.0%	0 0.0%	14 34.1%	0 0.0%	2 4.9%
基本型	36 100.0%	1 2.8%	11 30.6%	1 2.8%	0 0.0%
その他型	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

(6) 慢性気管支炎の急性増悪の発症の有無

① 発症の有無

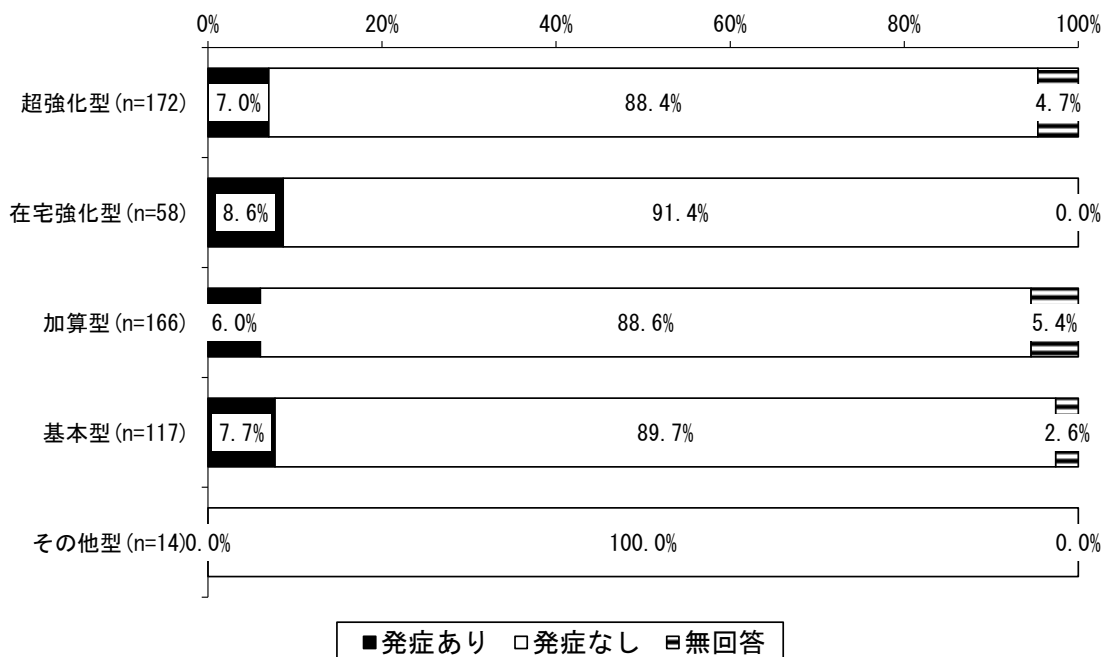
慢性気管支炎の急性増悪の発症の有無は、介護老人保健施設では「発症あり」が 6.8%、「発症なし」が 89.4%であった。介護医療院では「発症あり」が 14.0%、「発症なし」が 74.4%であった。

図表 2-2-227 慢性気管支炎の急性増悪の発症の有無
(介護老人保健施設票：問 21/介護医療院票：問 18⑥)



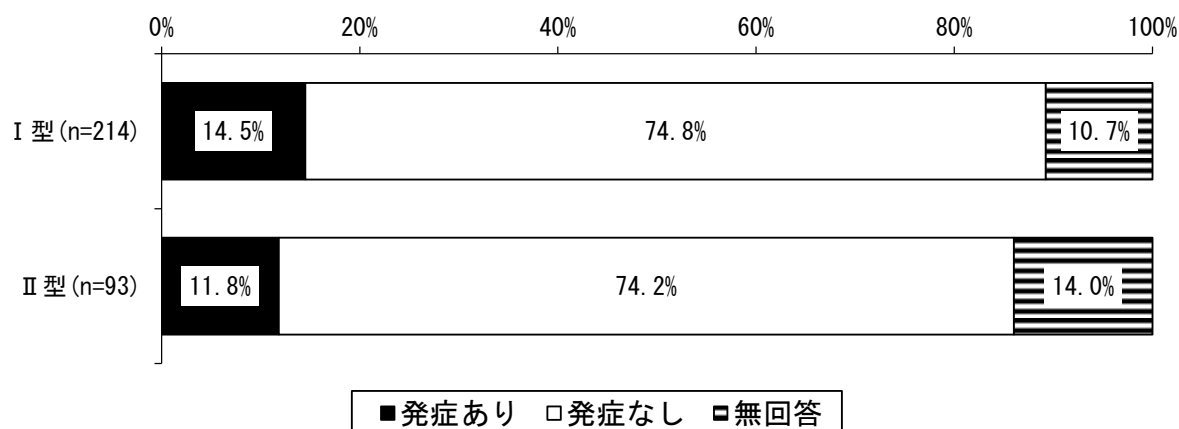
介護老人保健施設は、超強化型では「発症あり」が 7.0%、「発症なし」が 88.4%であった。在宅強化型では「発症あり」が 8.6%、「発症なし」が 91.4%であった。加算型では「発症あり」が 6.0%、「発症なし」が 88.6%であった。基本型では「発症あり」が 7.7%、「発症なし」が 89.7%であった。

図表 2-2-228 慢性気管支炎の急性増悪の発症の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 21)



介護医療院は、Ⅰ型では「発症あり」が14.5%、「発症なし」が74.8%であった。Ⅱ型では「発症あり」が11.8%、「発症なし」が74.2%であった。

図表 2-2-229 慢性気管支炎の急性増悪の発症の有無
(介護医療院 類型別) (問 18⑥)



※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

② 発症人数

慢性気管支炎の急性増悪の発症人数は、介護老人保健施設は平均2.0人、介護医療院は平均1.9人であった。

図表 2-2-230 慢性気管支炎の急性増悪の発症人数
(介護老人保健施設票：問 21 / 介護医療院票：問 18⑥)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	35	2.0	1.8	1.0
超強化型	11	2.0	1.8	1.0
在宅強化型	5	1.4	0.5	1.0
加算型	10	1.8	1.2	1.0
基本型	9	2.6	2.8	1.0
その他型	0	-	-	-
介護医療院	40	1.9	1.2	1.0
Ⅰ型	29	1.8	1.2	1.0
Ⅱ型	10	2.0	1.4	1.0

※介護医療院の類型別はⅠ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

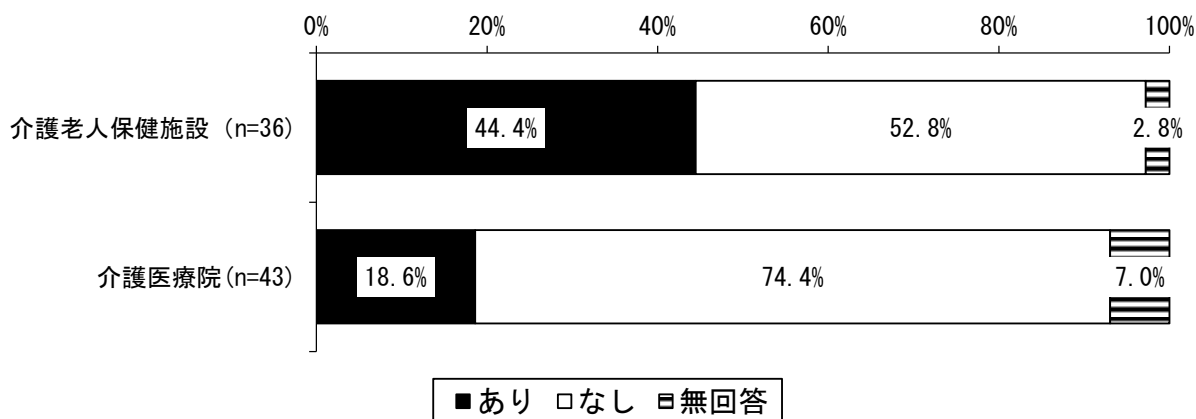
※介護老人保健施設の施設類型別及び介護医療院の類型別は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

※介護老人保健施設のその他型は件数が0件のため以降の表示は割愛した。

③ 発症者のうち医療機関へ転院した人の有無

慢性気管支炎の急性増悪発症者のうち医療機関へ転院した人の有無は、介護老人保健施設では「あり」が44.4%、「なし」が52.8%であった。介護医療院では「あり」が18.6%、「なし」が74.4%であった。

図表 2-2-231 慢性気管支炎の急性増悪発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護老人保健施設票：問 21/介護医療院票：問 18⑥)



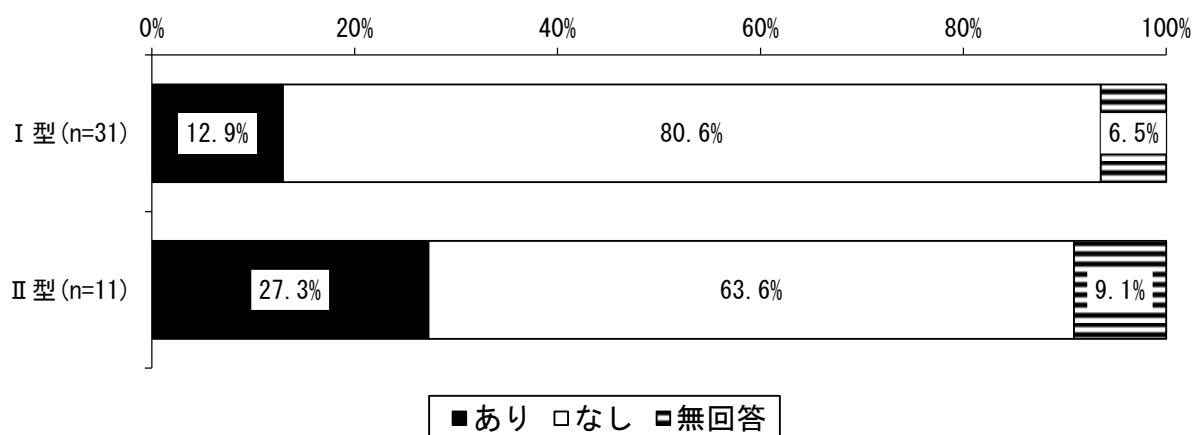
図表 2-2-232 慢性気管支炎の急性増悪発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 21)

	合計	あり	なし	無回答
超強化型	12 100.0%	4 33.3%	7 58.3%	1 8.3%
在宅強化型	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%
加算型	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%	0 0.0%
基本型	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

介護医療院の類型別での発症者のうち医療機関へ転院した人の有無は、I型では「あり」が12.9%、「なし」が80.6%であった。

図表 2-2-233 慢性気管支炎の急性増悪発症者のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護医療院 類型別) (問 18⑥)



※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

④ 発症者のうち医療機関へ転院した人数

慢性気管支炎の急性増悪発症者のうち医療機関へ転院した人数は、介護老人保健施設は平均 0.7 人、介護医療院は平均 0.3 人であった。

図表 2-2-234 慢性気管支炎の急性増悪発症者のうち医療機関へ転院した人数
(介護老人保健施設票：問 21 / 介護医療院票：問 18⑥)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	35	0.7	1.0	0.0
超強化型	11	0.5	0.7	0.0
在宅強化型	5	0.4	0.5	0.0
加算型	10	1.0	1.2	1.0
基本型	9	0.9	1.3	0.0
介護医療院	40	0.3	0.6	0.0
I 型	29	0.2	0.5	0.0
II 型	10	0.4	0.7	0.0

※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

※介護老人保健施設の施設類型別及び介護医療院の類型別は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

⑤ 慢性気管支炎の急性増悪発症者が医療機関に転院することになった理由（介護老人保健施設）

慢性気管支炎の急性増悪発症者が医療機関に転院することになった理由は、「施設では対応ができない重症度であったため」が 93.8%（15 件）、「すぐに医療機関に搬送することが可能であったため」が 37.5%（6 件）であった。

図表 2-2-235 慢性気管支炎の急性増悪発症者が医療機関に転院することになった理由
（複数回答）（介護老人保健施設）（問 21）

	合計	医師の専門外のケースであったため	施設では対応ができない重症度であったため	現行報酬では費用が持ち出しになるため	急変時の医療行為を実施しないこととしているため	すぐに医療機関に搬送することが可能であったため
介護老人保健施設	16 100.0%	3 18.8%	15 93.8%	1 6.3%	0 0.0%	6 37.5%
超強化型	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
在宅強化型	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
加算型	6 100.0%	2 33.3%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%
基本型	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%

（続き）

	合計	本人からの希望があったため	家族からの希望があったため	該当なし	無回答
介護老人保健施設	16 100.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
超強化型	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
在宅強化型	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
加算型	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本型	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

(7) 傷病発症者が医療機関に転院することになった理由（介護医療院）

傷病発症者が転院することになった理由は、「施設では対応ができない重症度であったため」が 70.9%、「家族からの希望があったため」が 44.2%、「すぐに医療機関に搬送することが可能であったため」が 31.4%であった。

類型別では、Ⅰ型では「施設では対応ができない重症度であったため」が 67.9%、「家族からの希望があったため」が 39.6%であった。Ⅱ型では「施設では対応ができない重症度であったため」が 75.0%、「家族からの希望があったため」が 53.1%であった。

図表 2-2-236 傷病発症者が医療機関に転院することになった理由
（複数回答）（介護医療院）（問 18）

	合計	医師の専門外のケースであったため	施設では対応ができない重症度であったため	現行報酬では費用が持ち出しになるため	急変時の医療行為を実施しないこととしているため	すぐに医療機関に搬送することが可能であったため
介護医療院	86 100.0%	16 18.6%	61 70.9%	20 23.3%	8 9.3%	27 31.4%
Ⅰ型	53 100.0%	6 11.3%	36 67.9%	12 22.6%	4 7.5%	15 28.3%
Ⅱ型	32 100.0%	10 31.3%	24 75.0%	8 25.0%	4 12.5%	12 37.5%

（続き）

	合計	本人からの希望があったため	家族からの希望があったため	該当なし	無回答
介護医療院	85 100.0%	1 1.2%	38 44.2%	1 1.2%	6 7.0%
Ⅰ型	53 100.0%	0 0.0%	21 39.6%	0 0.0%	4 7.5%
Ⅱ型	32 100.0%	1 3.1%	17 53.1%	1 3.1%	2 6.3%

※類型別はⅠ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

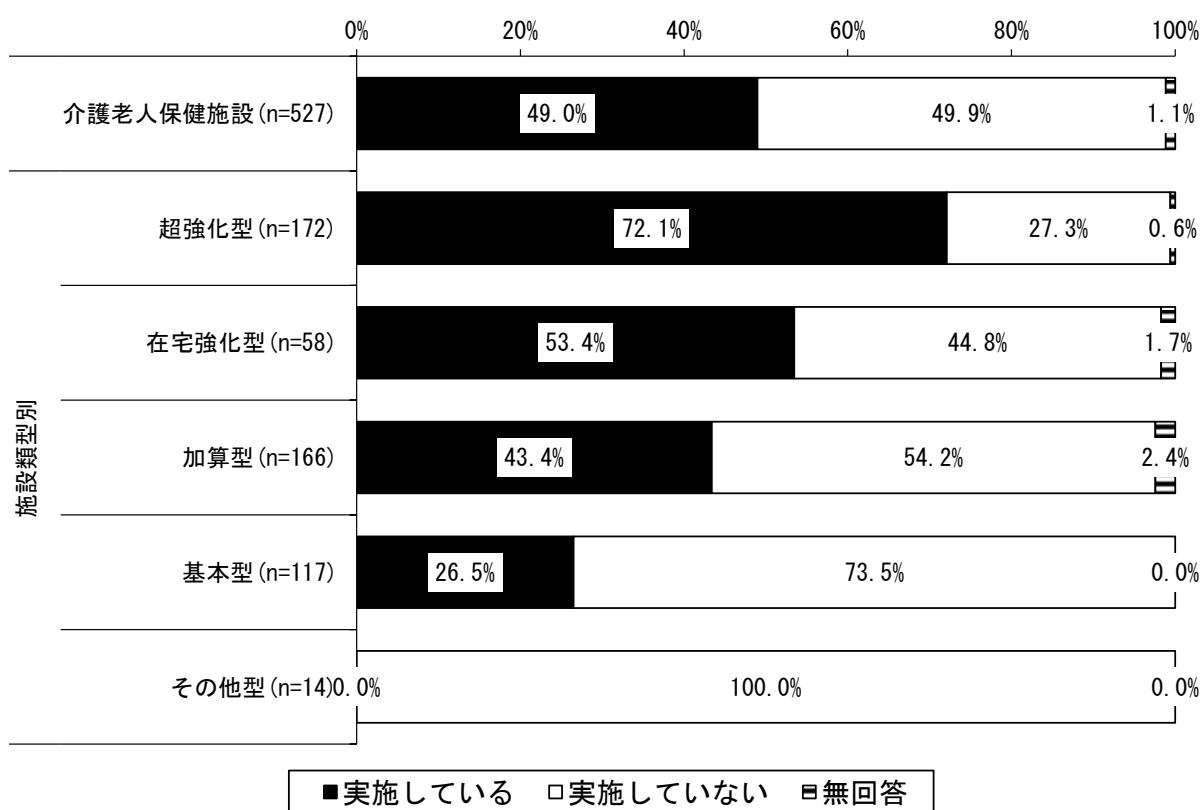
(8) 認知症短期集中リハビリテーションの実施状況（介護老人保健施設）

① 認知症短期集中リハビリテーション実施の有無

認知症短期集中リハビリテーションの実施の有無は、「実施している」が 49.0%、「実施していない」が 49.9%であった。

施設類型別は、超強化型では「実施している」が 72.1%、「実施していない」が 27.3%であった。在宅強化型では「実施している」が 53.4%、「実施していない」が 44.8%であった。加算型では「実施している」が 43.4%、「実施していない」が 54.2%であった。基本型では「実施している」が 26.5%、「実施していない」が 73.5%であった。

図表 2-2-237 認知症短期集中リハビリテーション実施の有無
（介護老人保健施設）（問 22）



② 認知症短期集中リハビリテーション実施の対象数

認知症短期集中リハビリテーション実施の対象者数は、平均 14.1 人であった。施設類型別では超強化型は平均 18.0 人、在宅強化型は平均 14.2 人、加算型は平均 10.2 人、基本型は平均 7.7 人であった。

図表 2-2-238 認知症短期集中リハビリテーション実施の対象数
(介護老人保健施設) (問 22)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	221	14.1	12.1	12.0
超強化型	106	18.0	13.4	16.0
在宅強化型	28	14.2	15.5	10.0
加算型	60	10.2	6.6	10.0
基本型	27	7.7	5.9	7.0
その他型	0	-	-	-

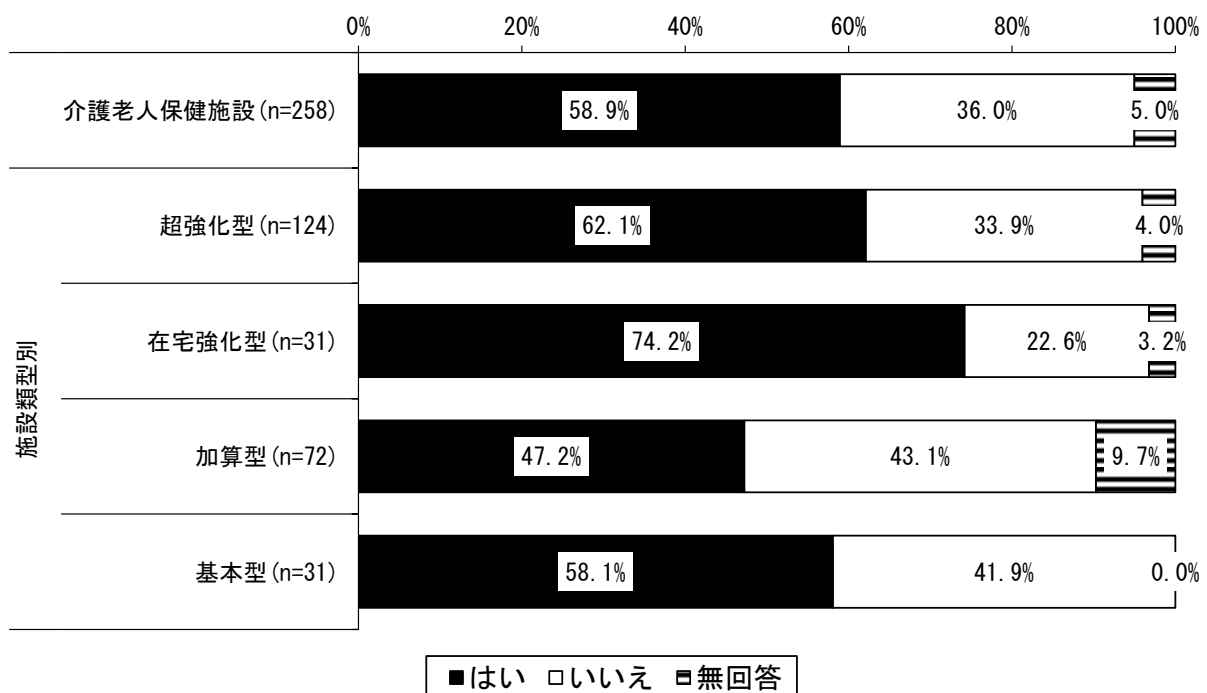
※介護老人保健施設のその他型は件数が 0 件のため、以降のグラフでの表示は割愛した

③ 施設内での職員研修の実施状況

施設内での職員研修を実施しているかは、「はい」が 58.9%、「いいえ」が 36.0%であった。

施設類型別にみると、施設内で職員向けの研修を実施しているかは、超強化型では「はい」が 62.1%、「いいえ」が 33.9%であった。在宅強化型では「はい」が 74.2%、「いいえ」が 22.6%であった。加算型では「はい」が 47.2%、「いいえ」が 43.1%であった。基本型では「はい」が 58.1%、「いいえ」が 41.9%であった。

図表 2-2-239 施設内での職員研修を実施しているか (介護老人保健施設) (問 22①)

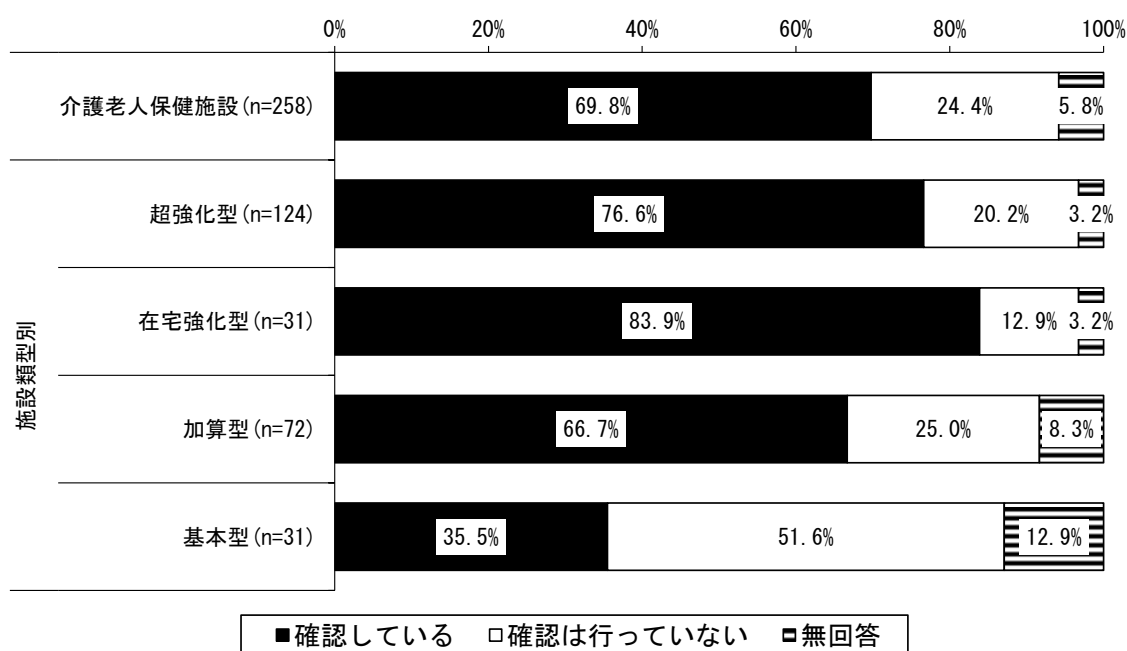


④ 認知症リハを実施するために自宅の状況の確認の有無

認知症リハを実施するために自宅の状況の確認の有無は、「確認している」が 69.8%、「確認は行っていない」が 24.4%であった。

施設類型別は、超強化型では「確認している」が 76.6%、「確認は行っていない」が 20.2%であった。在宅強化型では「確認している」が 83.9%、「確認は行っていない」が 12.9%であった。加算型では「確認している」が 66.7%、「確認は行っていない」が 25.0%であった。基本型では「確認している」が 35.5%、「確認は行っていない」が 51.6%であった。

図表 2-2-240 認知症リハを実施するために自宅の状況の確認の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 22②)



⑤ 認知症リハを実施するために自宅の状況の確認の有無

認知症リハを実施するために自宅の状況を確認している対象者数の平均は、8.7 人、人数ベースの割合は 42.3%であった。

施設類型別では、超強化型は 10.3 人、在宅強化型は 8.4 人、加算型は 6.7 人、基本型は 5.2 人であった。

図表 2-2-241 認知症リハを実施するために自宅の状況を確認している対象者数
(介護老人保健施設) (問 22②)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	150	8.7	7.8	7
超強化型	76	10.3	9.2	7
在宅強化型	23	8.4	6.7	8
加算型	41	6.7	4.9	6
基本型	10	5.2	4.0	3.5

図表 2-2-242 (認知症リハを実施している場合) 認知症リハを実施するために
自宅の状況を確認している人数(介護老人保健施設)(問 22②)(n=218)

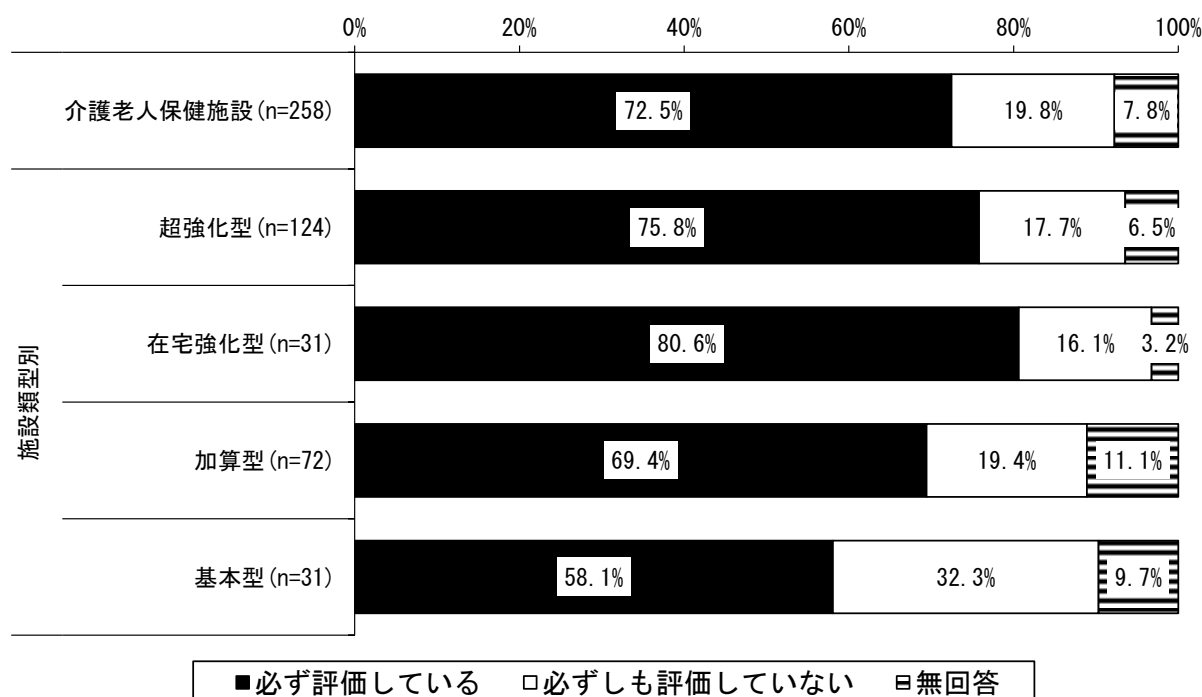
	人数	割合
認知症短期集中リハビリテーション対象者数	3,073	(100%)
自宅の状況を確認した対象者数	1,300	42.3%

⑥ 認知症短期集中リハビリテーションの算定終了後の認知機能等の評価の実施状況

認知症短期集中リハビリテーションの算定終了後の評価の実施は、「必ず評価している」が72.5%、「必ずしも評価していない」が19.8%であった。

施設類型別は、超強化型では「必ず評価している」が75.8%、「必ずしも評価していない」が17.7%であった。在宅強化型では「必ず評価している」が80.6%、「必ずしも評価していない」が16.1%であった。加算型では「必ず評価している」が69.4%、「必ずしも評価していない」が19.4%であった。基本型では「必ず評価している」が58.1%、「必ずしも評価していない」が32.3%であった。

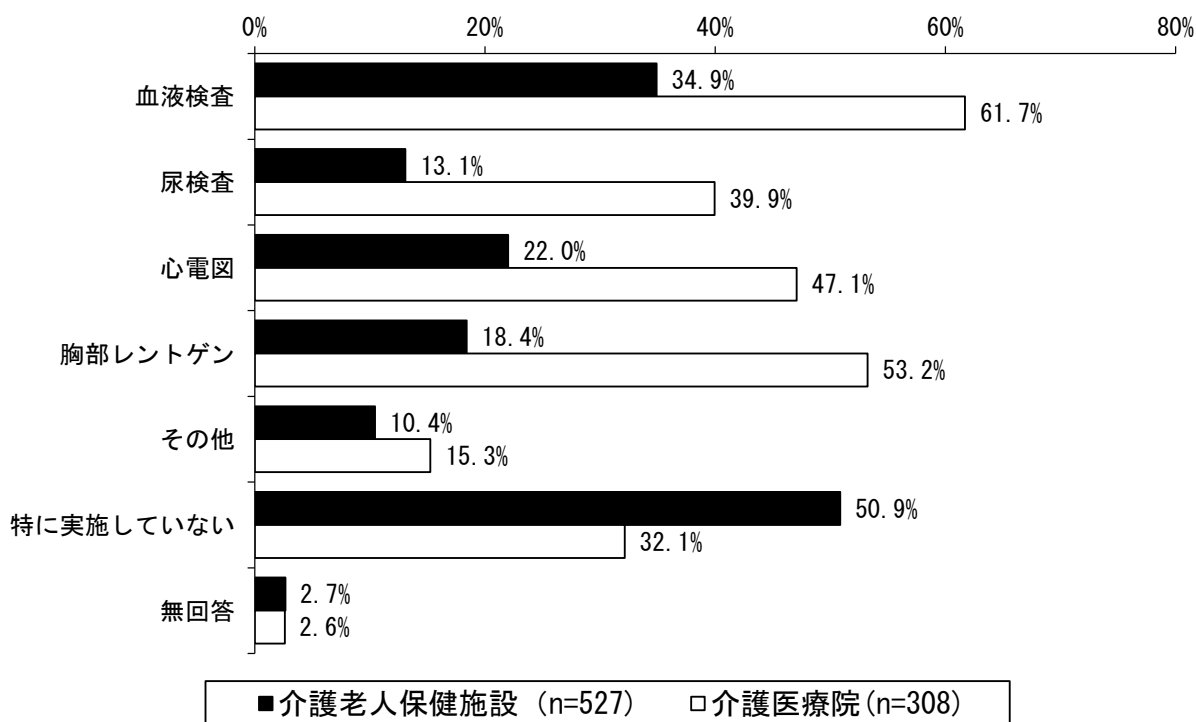
図表 2-2-243 認知症短期集中リハビリテーションの算定終了後の認知機能等の評価の
実施状況(介護老人保健施設 施設類型別)(問 22③)



(9) 基本的に入所後すぐに実施する検査

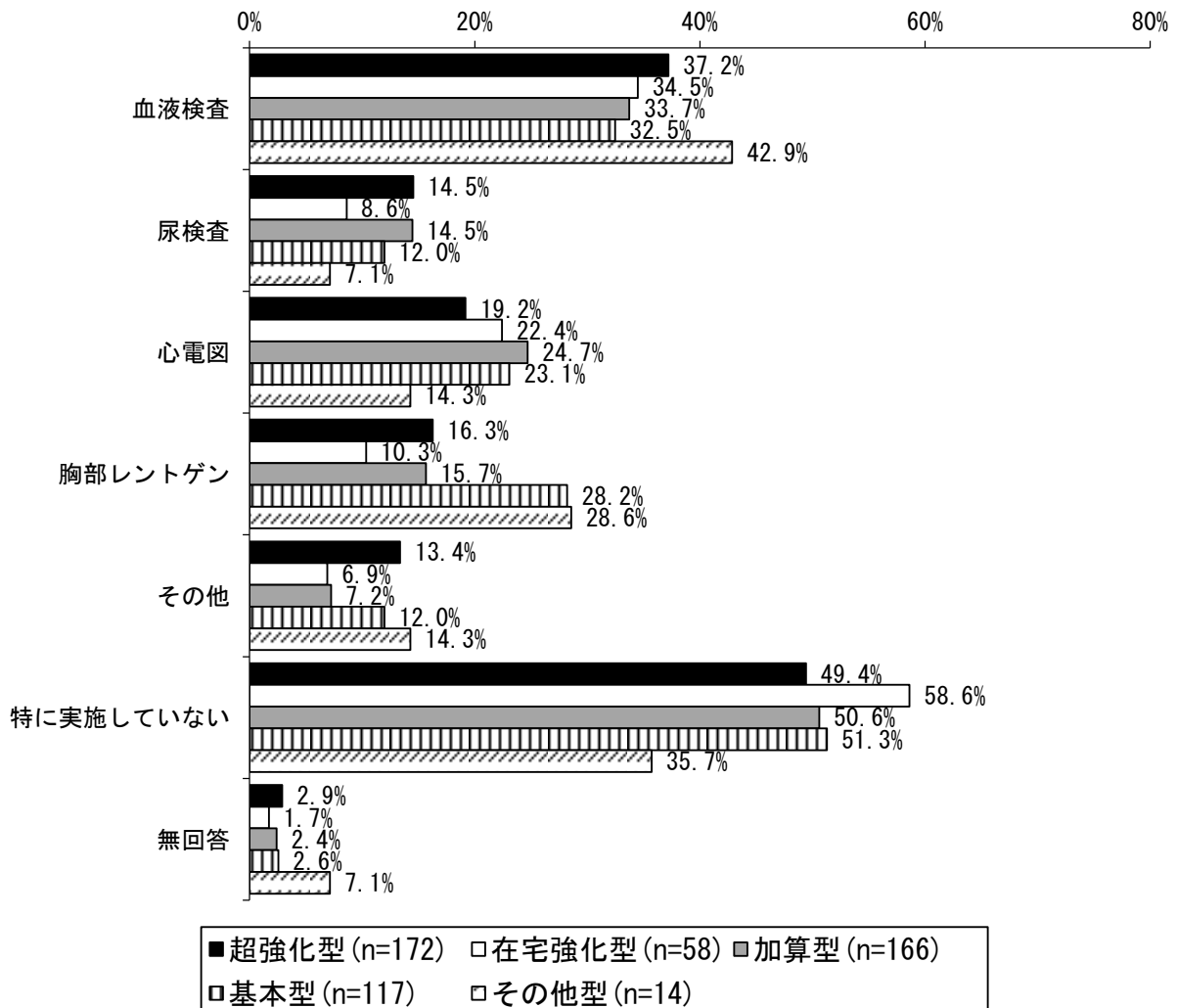
基本的に入所後すぐに実施する検査は、介護老人保健施設では「特に実施していない」が50.9%、「血液検査」が34.9%であった。介護医療院では「血液検査」が61.7%、「胸部レントゲン」が53.2%であった。

図表 2-2-244 基本的に入所後すぐに実施する検査（複数回答）
（介護老人保健施設票：問 23／介護医療院票：問 19）



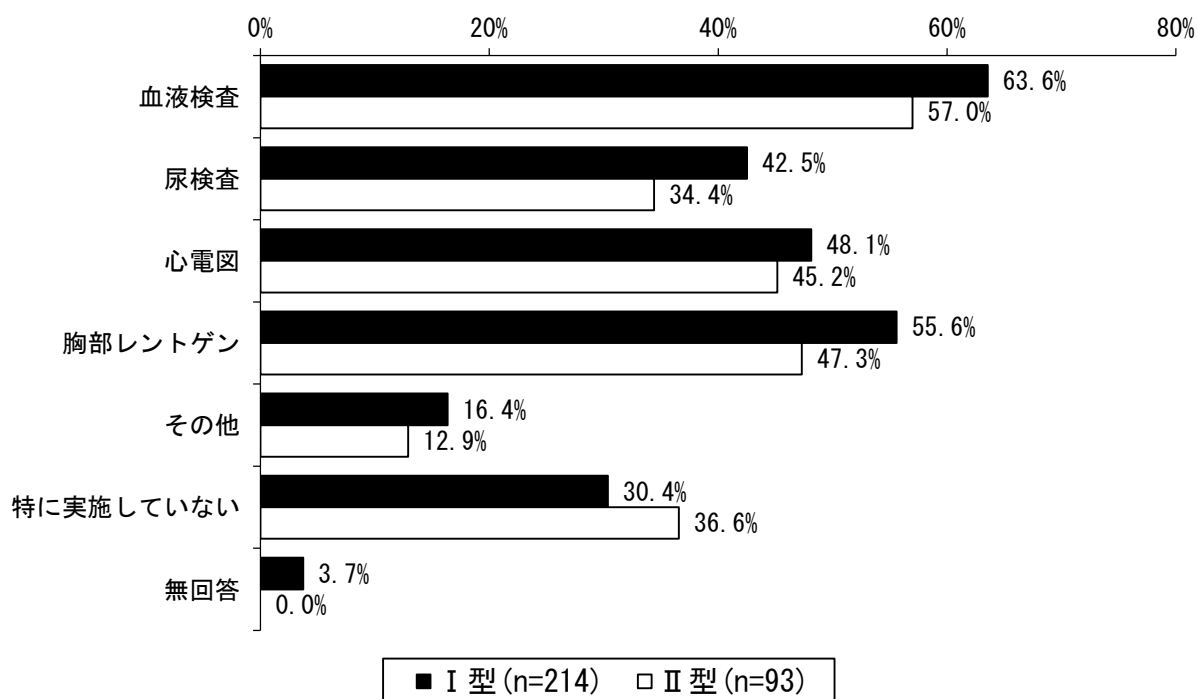
介護老人保健施設は、超強化型では「特に実施していない」が49.4%、「血液検査」が37.2%であった。在宅強化型では「特に実施していない」が58.6%、「血液検査」が34.5%であった。加算型では「特に実施していない」が50.6%、「血液検査」が33.7%であった。基本型では「特に実施していない」が51.3%、「血液検査」が32.5%であった。

図表 2-2-245 基本的に入所後すぐに実施する検査（複数回答）
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 23）



介護医療院は、I型では「血液検査」が63.6%、「胸部レントゲン」が55.6%であった。
II型では「血液検査」が57.0%、「胸部レントゲン」が47.3%であった。

図表 2-2-246 基本的に入所後すぐに実施する検査（複数回答）
（介護医療院 類型別）（問 19）

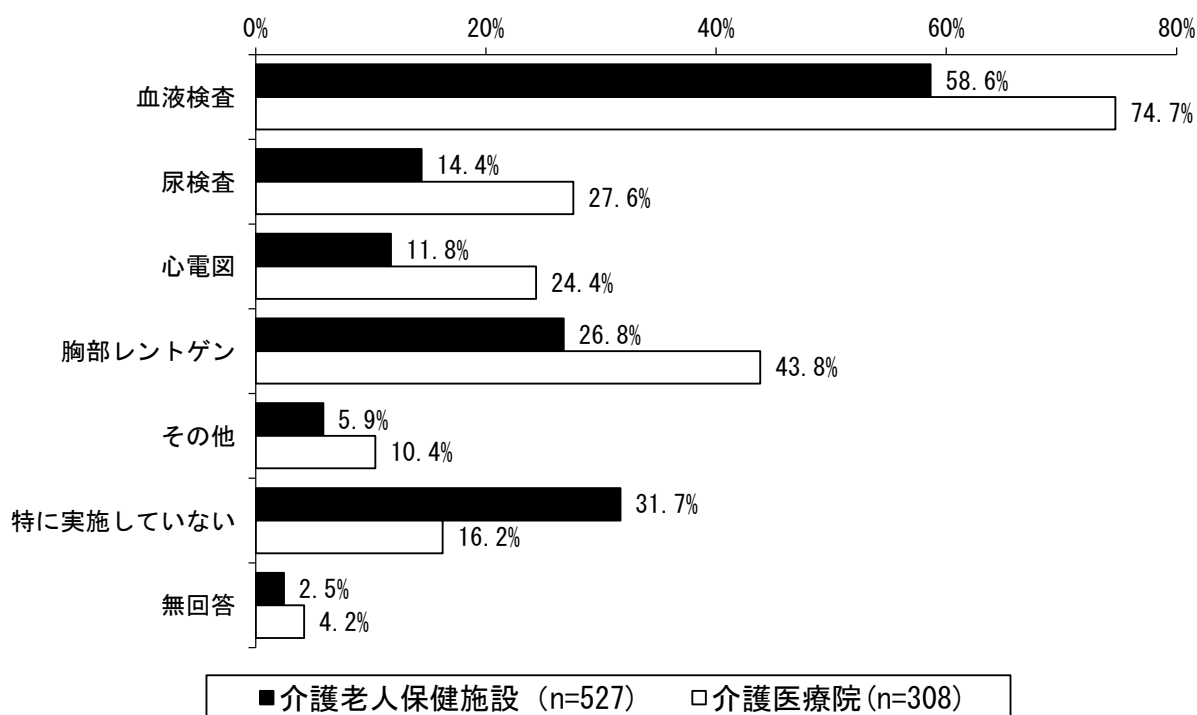


※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(10) 入所後に、定期的に実施している検査

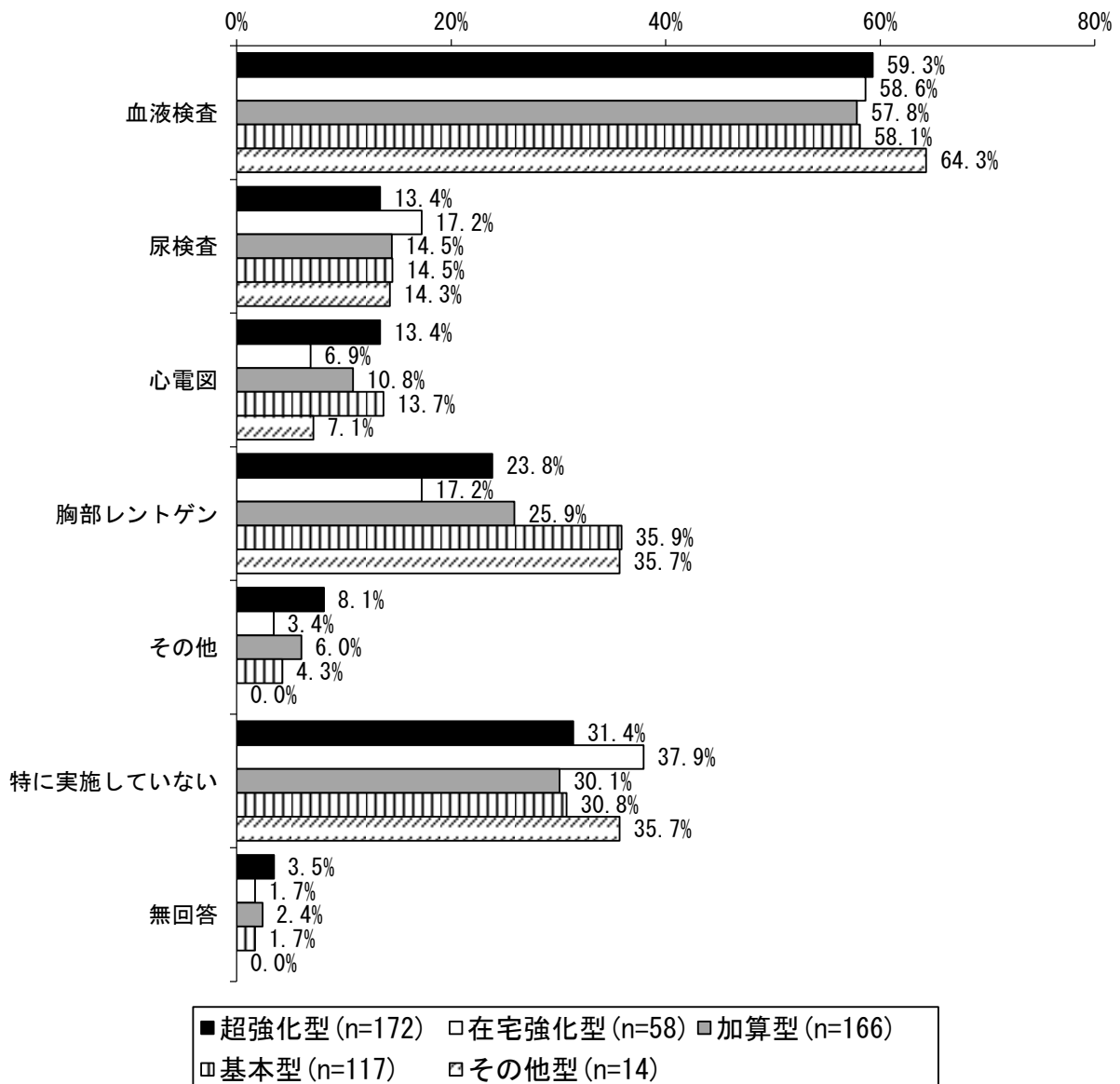
入所後に、定期的に実施している検査は、介護老人保健施設では「血液検査」が 58.6%、「特に実施していない」が 31.7%であった。介護医療院では「血液検査」が 74.7%、「胸部レントゲン」が 43.8%であった。

図表 2-2-247 入所後に、定期的に実施している検査（複数回答）
（介護老人保健施設票：問 24／介護医療院票：問 20）



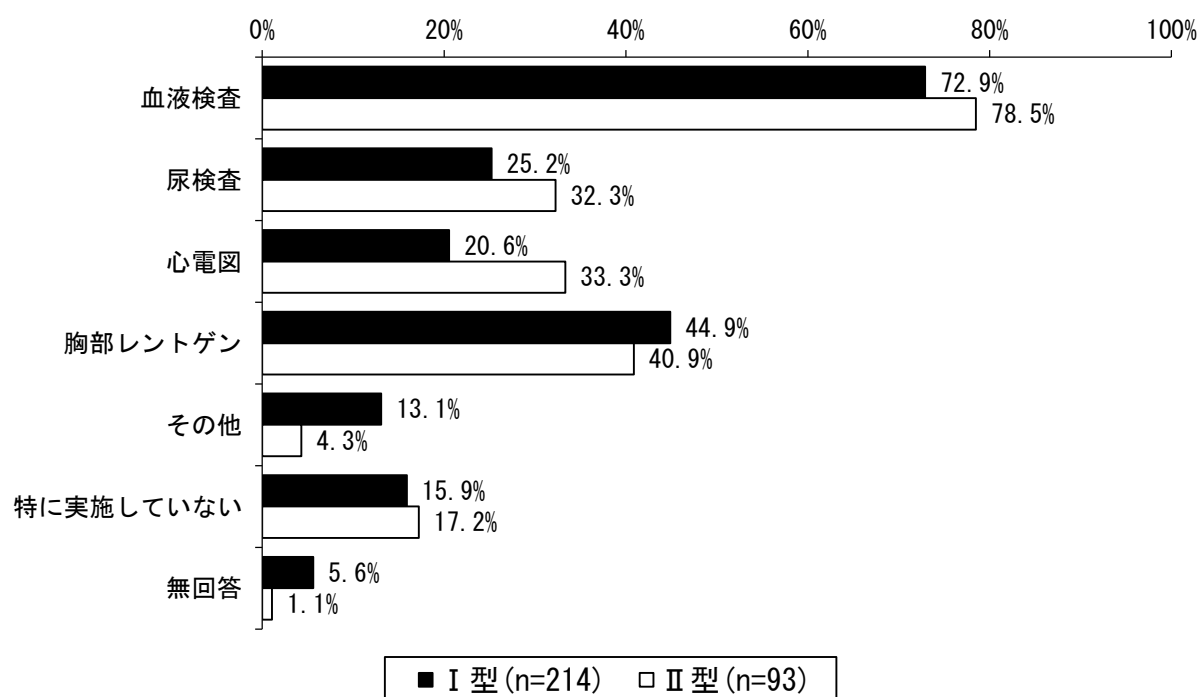
介護老人保健施設は、超強化型では「血液検査」が59.3%、「特に実施していない」が31.4%であった。在宅強化型では「血液検査」が58.6%、「特に実施していない」が37.9%であった。加算型では「血液検査」が57.8%、「特に実施していない」が30.1%であった。基本型では「血液検査」が58.1%、「胸部レントゲン」が35.9%であった。その他型では「血液検査」が64.3%、「胸部レントゲン」が35.7%であった。

図表 2-2-248 入所後に、定期的実施している検査（複数回答）
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 24）



介護医療院は、I型では「血液検査」が72.9%、「胸部レントゲン」が44.9%であった。
II型では「血液検査」が78.5%、「胸部レントゲン」が40.9%であった。

図表 2-2-249 入所後に、定期的実施している検査（複数回答）
（介護医療院 類型別）（問 20）



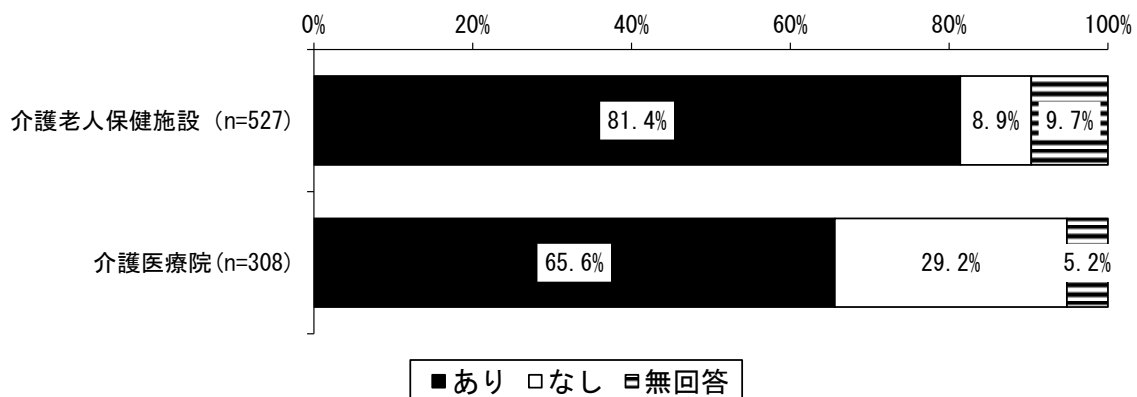
※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(11) これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生・対応状況

① これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生の有無

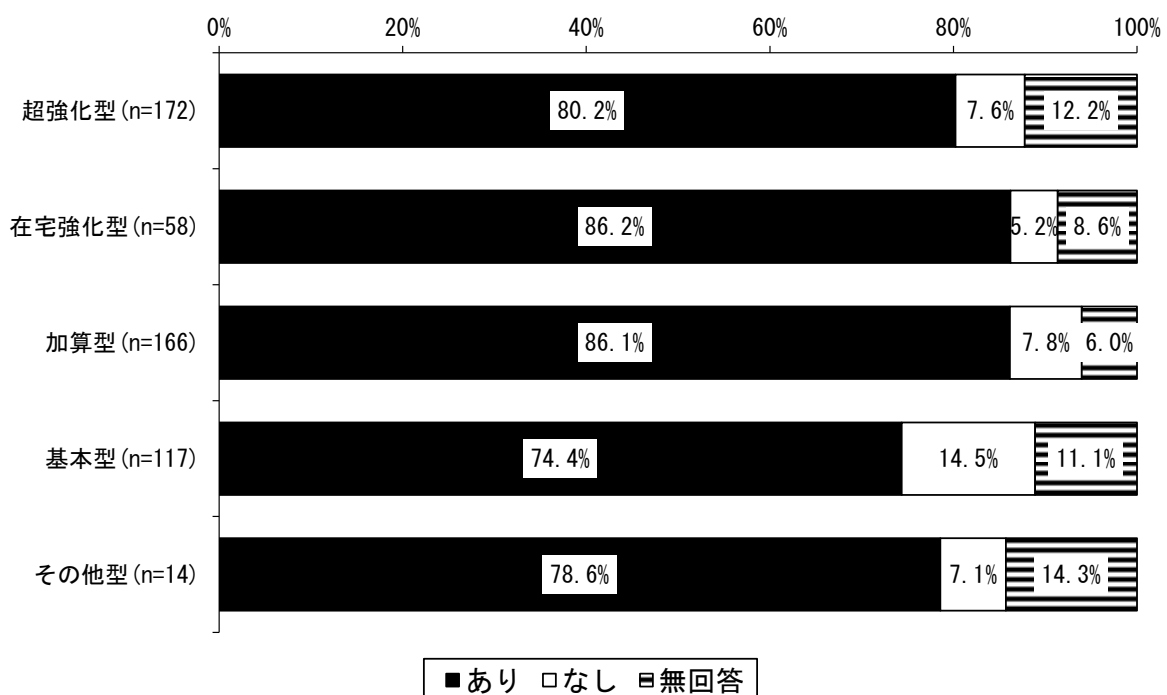
これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生の有無は、介護老人保健施設では「あり」が81.4%、「なし」が8.9%であった。介護医療院では「あり」が65.6%、「なし」が29.2%であった。

図表 2-2-250 これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生の有無
(介護老人保健施設票：問 25/介護医療院票：問 21)



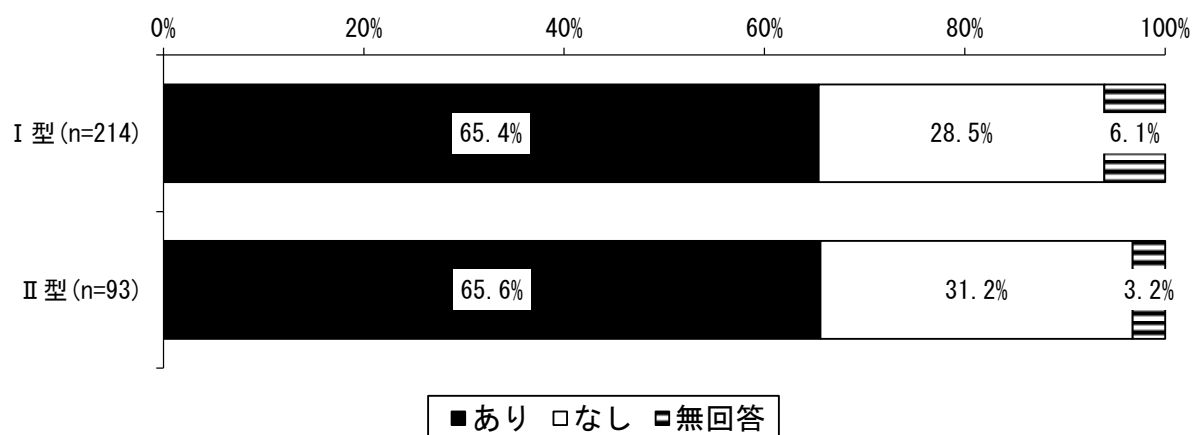
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が80.2%、「なし」が7.6%であった。在宅強化型では「あり」が86.2%、「なし」が5.2%であった。加算型では「あり」が86.1%、「なし」が7.8%であった。基本型では「あり」が74.4%、「なし」が14.5%であった。

図表 2-2-251 これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 25)



介護医療院は、I型では「あり」が65.4%、「なし」が28.5%であった。II型では「あり」が65.6%、「なし」が31.2%であった。

図表 2-2-252 これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生の有無
(介護医療院 類型別) (問 21)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

② これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生の人数

これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生人数は、介護老人保健施設は平均36.0人、介護医療院は平均13.8人であった。

図表 2-2-253 これまでの新型コロナウイルス感染症の施設内での発生の人数
(介護老人保健施設票：問 25 / 介護医療院票：問 21)

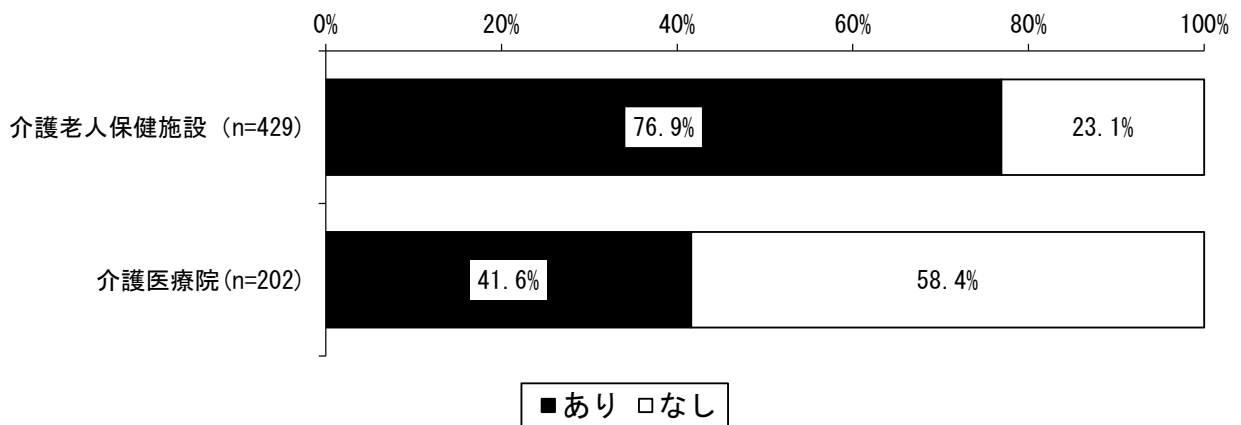
	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	476	36.0	28.9	33.0
超強化型	151	37.6	28.5	35.0
在宅強化型	53	42.9	32.2	45.0
加算型	156	36.4	27.8	33.0
基本型	104	30.5	28.9	23.0
その他型	12	29.8	26.2	34.5
介護医療院	292	13.8	19.7	6.0
I型	201	14.2	18.0	6.0
II型	90	13.2	23.2	4.5

※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

③ 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合の病院等への搬送の有無

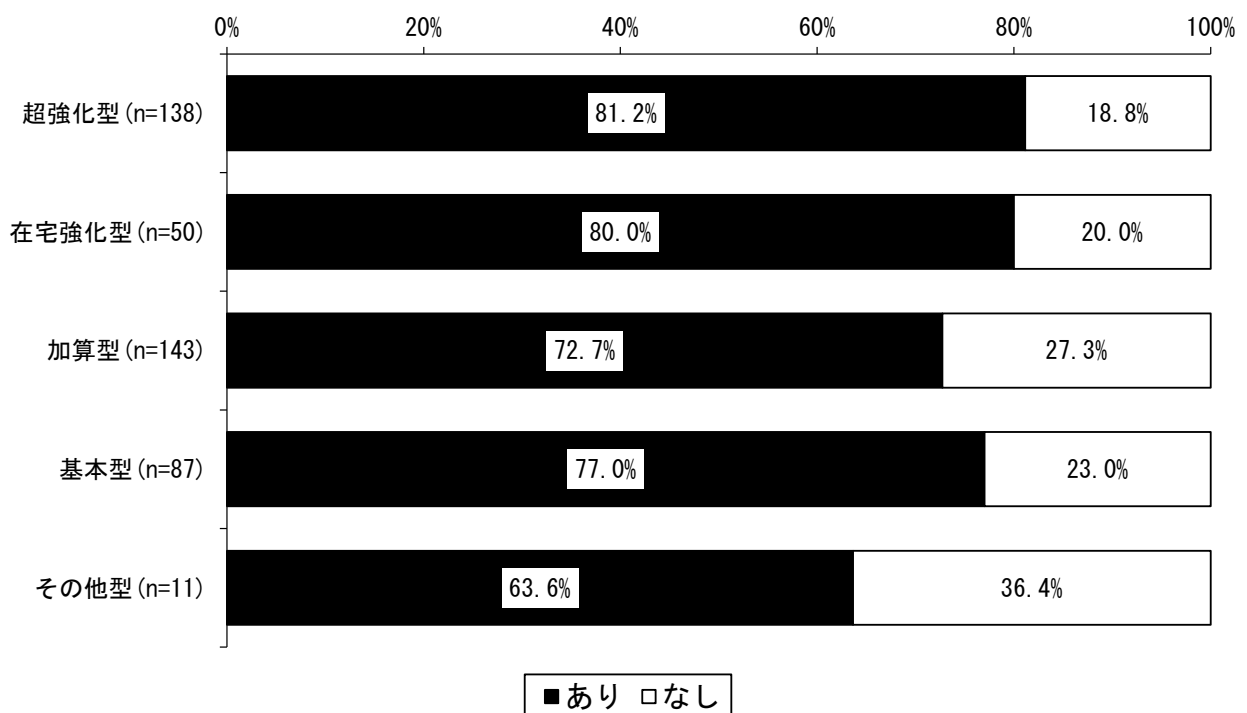
新型コロナウイルス感染症が施設内で発生した施設において、病院等への搬送の有無は、介護老人保健施設では「あり」が76.9%、「なし」が23.1%であった。介護医療院では「あり」が41.6%、「なし」が58.4%であった。

図表 2-2-254 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合)
病院等への搬送の有無 (介護老人保健施設票：問 25①/介護医療院票：問 21①)



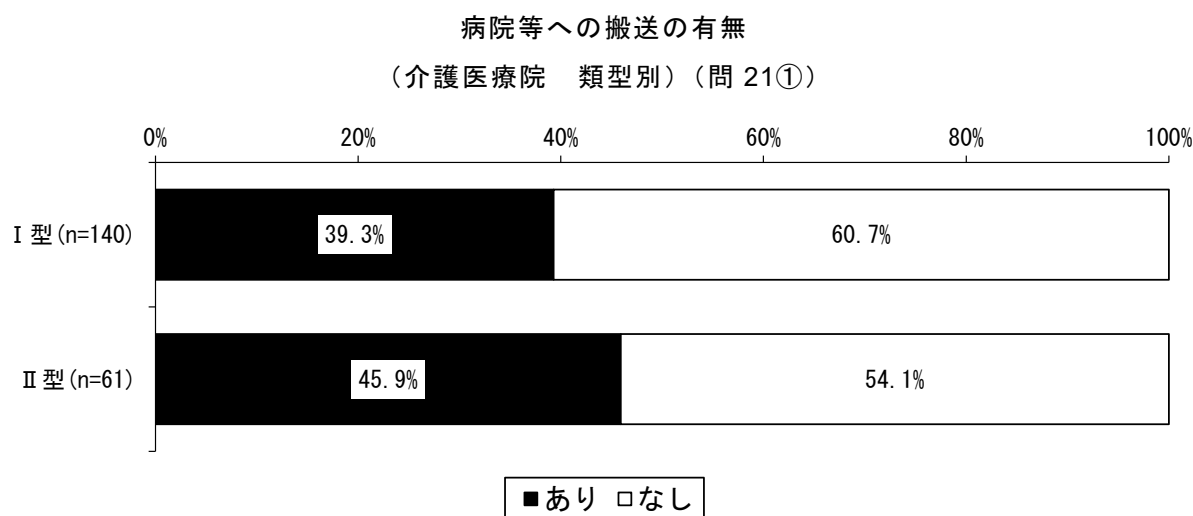
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が81.2%であった。在宅強化型では「あり」が80.0%、加算型では72.7%、基本型では77.0%であった。

図表 2-2-255 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合)
病院等への搬送の有無 (介護老人保健施設 施設類型別) (問 25①)



介護医療院は、I型では「なし」が60.7%、「あり」が39.3%であった。II型では「なし」が54.1%、「あり」が45.9%であった。

図表 2-2-256 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合)

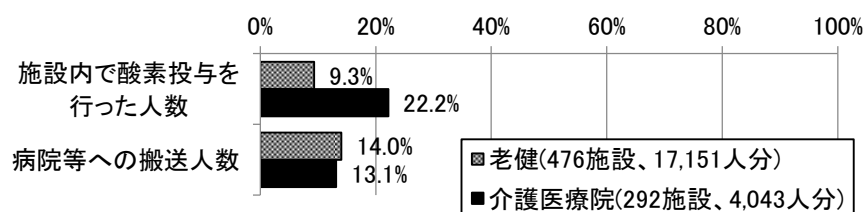


※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

図表 2-2-257 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合)

施設内での発生人数別病院等への搬送の有無

		施設内での発生人数	施設内で酸素投与を行った人数	病院等への搬送人数	うち、協力病院への搬送人数
老健 (n=476)	人数	17,151	1,533	2,308	954
	割合	(100%)	9.3%	14.0%	(41.3%)
介護医療院 (n=292)	人数	4,043	874	517	422
	割合	(100%)	22.2%	13.1%	(81.6%)



④ 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者の病院等への搬送人数

新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者であって、病院等へ搬送した人数は、介護老人保健施設は平均 4.8 人、介護医療院は平均 1.8 人であった。

図表 2-2-258 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者の病院等への搬送人数

(介護老人保健施設票：問 25①／介護医療院票：問 21①)

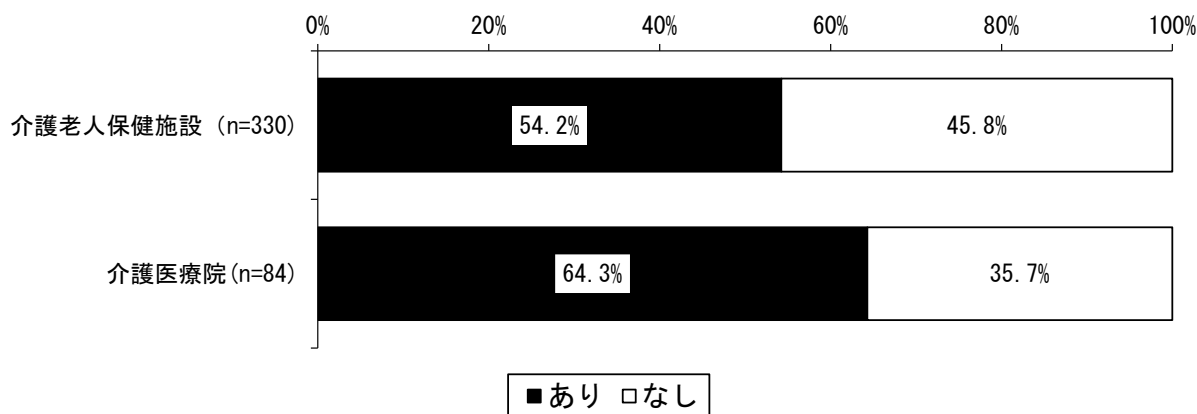
	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	476	4.8	7.6	2.0
超強化型	151	5.3	8.8	2.0
在宅強化型	53	6.3	8.4	3.0
加算型	156	4.5	6.5	2.0
基本型	104	4.2	7.2	1.0
その他型	12	2.2	2.8	1.0
介護医療院	292	1.8	5.2	0.0
I 型	201	2.0	5.9	0.0
II 型	90	1.3	3.3	0.0

※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑤ 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者のうち、病院等への搬送ありの場合、協力病院への搬送の有無

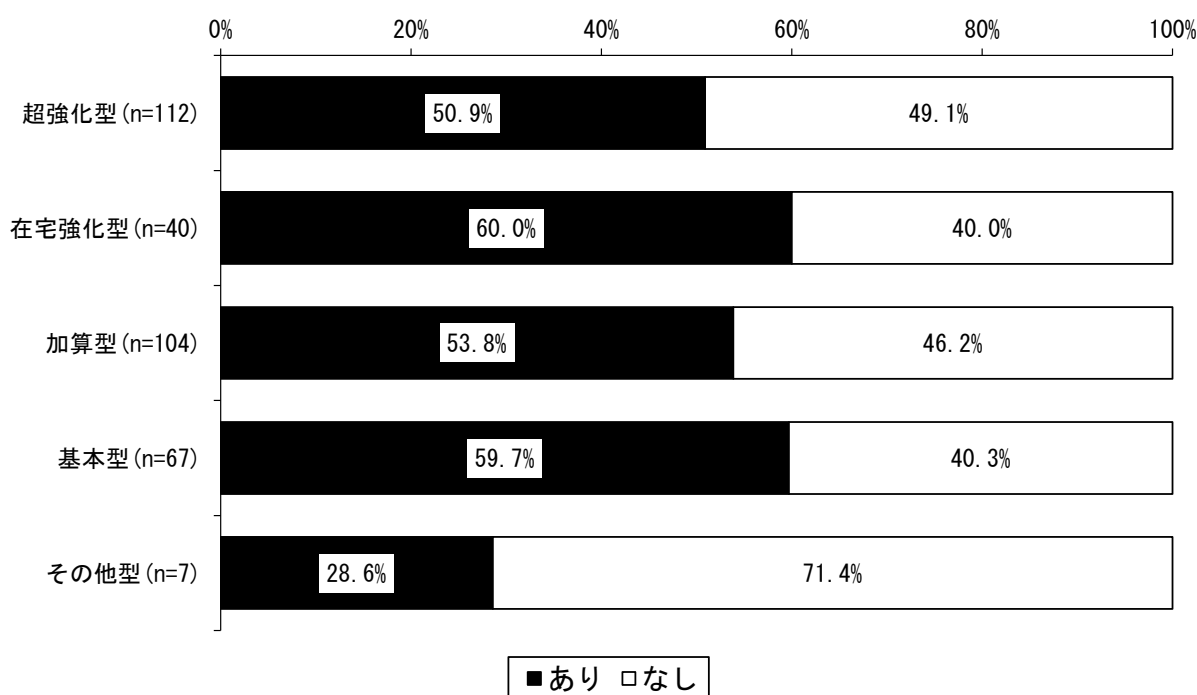
新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者で病院等への搬送した者が1人以上あった施設において、協力病院への搬送の有無をみたところ、介護老人保健施設では「あり」が54.2%であった。介護医療院では「あり」が64.3%であった。

図表 2-2-259 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者の病院等への搬送有の場合) 協力病院への搬送の有無 (介護老人保健施設票：問 25①/介護医療院票：問 21①)



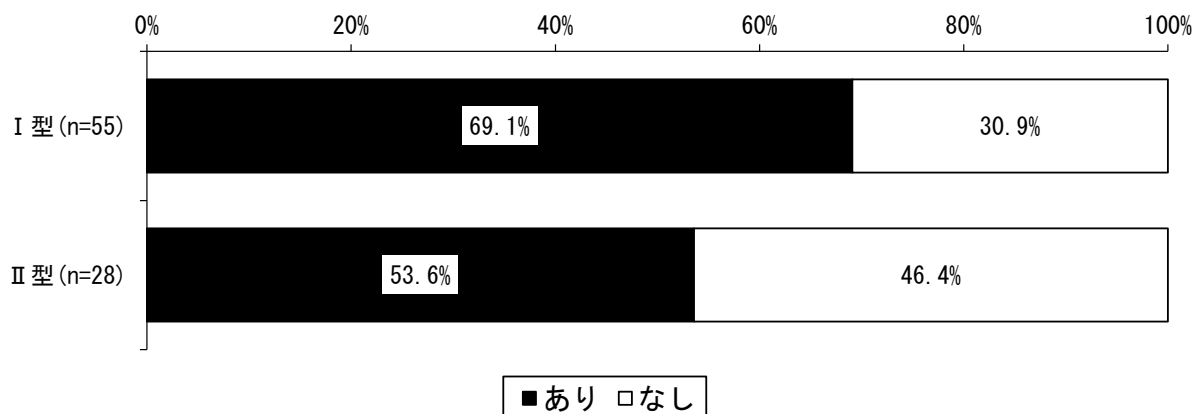
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が50.9%、在宅強化型では60.0%、加算型では53.8%、基本型では59.7%であった。

図表 2-2-260 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者の病院等への搬送有の場合) 協力病院への搬送の有無 (介護老人保健施設 施設類型別) (問 25①)



介護医療院は、I型では「あり」が69.1%、II型では53.6%であった。

図表 2-2-261 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者の病院等への搬送有の場合)
協力病院への搬送の有無
(介護医療院 類型別) (問 21①)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

⑥ 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者で、協力病院への搬送人数

新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者で協力病院への搬送人数は、介護老人保健施設は平均 2.0 人、介護医療院は平均 1.4 人であった。

図表 2-2-262 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者で、病院等への搬送者のうち
協力病院への搬送人数

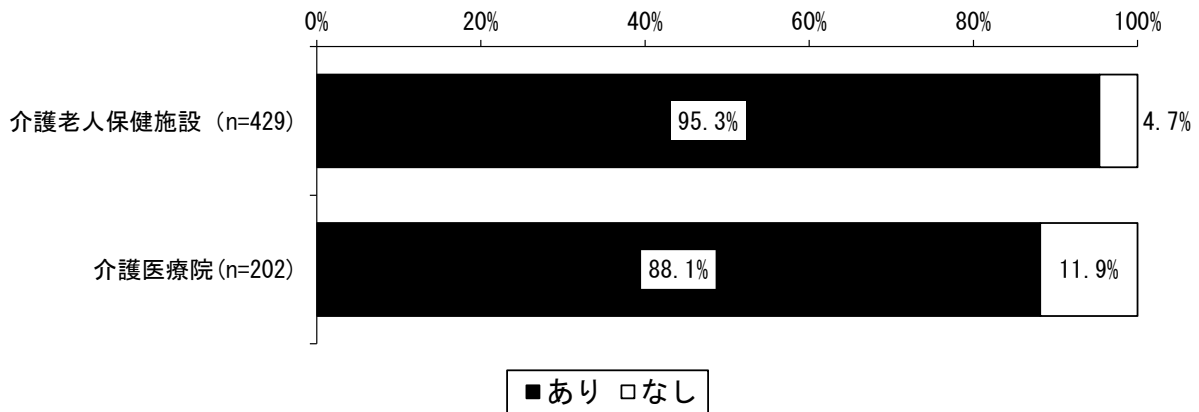
(介護老人保健施設票：問 25①/介護医療院票：問 21①)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	476	2.0	4.9	0.0
超強化型	151	2.3	5.5	0.0
在宅強化型	53	3.2	7.3	0.0
加算型	156	1.5	3.1	0.0
基本型	104	1.9	4.8	0.0
その他型	12	0.2	0.4	0.0
介護医療院	292	1.4	5.1	0.0
I型	201	1.7	5.8	0.0
II型	90	0.8	3.1	0.0

※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

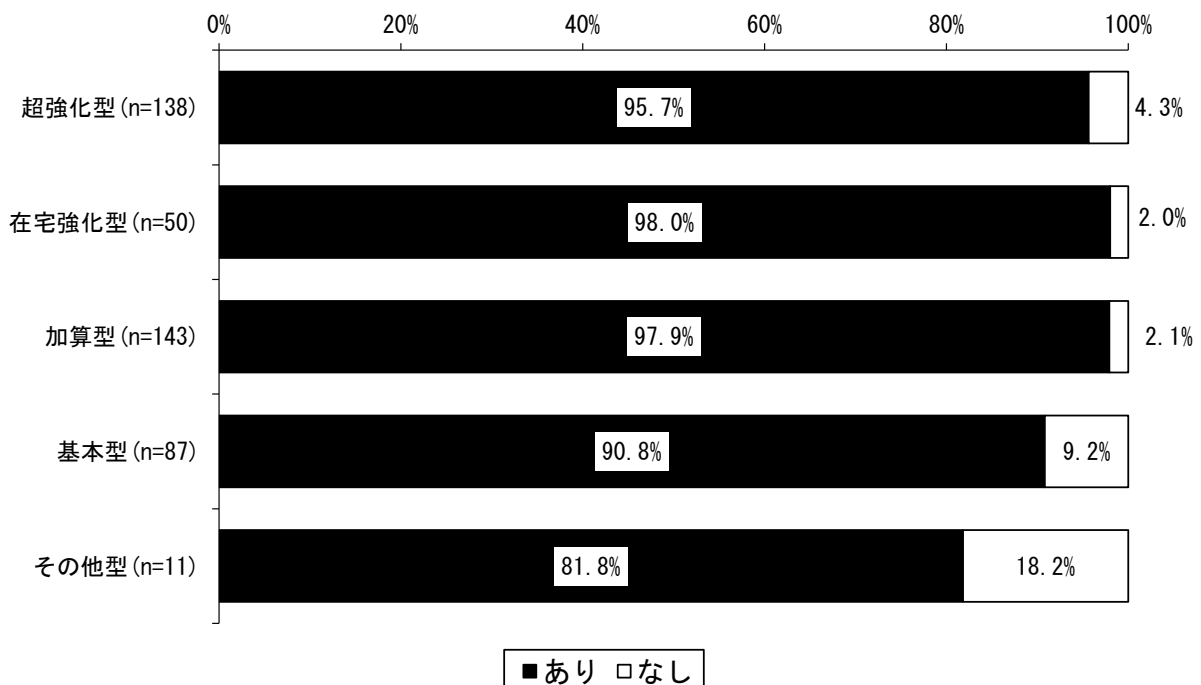
⑦ 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合、施設内での療養者の有無
 新型コロナウイルス感染症が施設内で発生した施設において、施設内での療養者は、
 介護老人保健施設では「あり」が 95.3%、介護医療院では 88.1%であった。

図表 2-2-263 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合)
 施設内での療養者の有無 (介護老人保健施設票：問 25②/介護医療院票：問 21②)



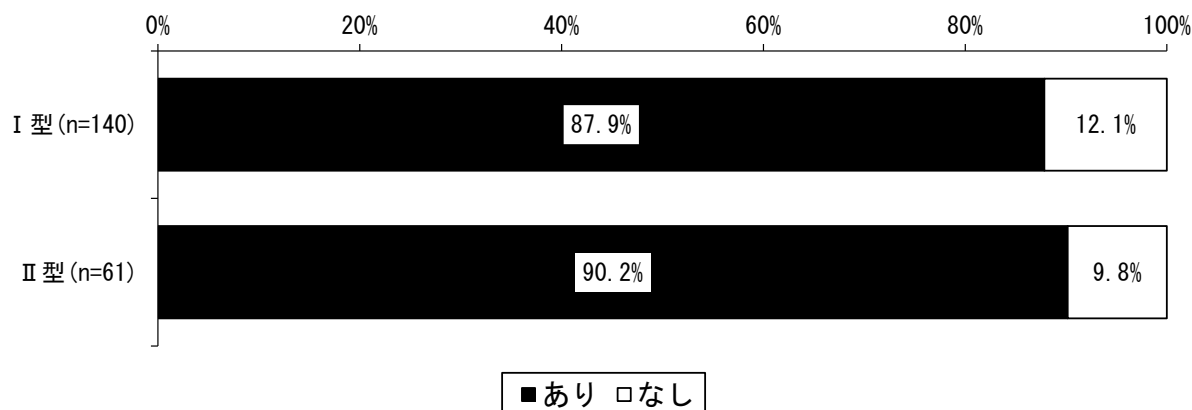
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が 95.7%、在宅強化型では 98.0%、加算型では 97.9%、基本型では 90.8%であった。

図表 2-2-264 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合)
 施設内での療養者の有無 (介護老人保健施設 施設類型別) (問 25②)



介護医療院は、I型では「あり」が87.9%、II型では90.2%であった。

図表 2-2-265 (新型コロナウイルス感染症の施設内での発生ありの場合)
施設内での療養者の有無
(介護医療院 類型別) (問 21①)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

⑧ 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者で、施設内での療養者数

新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者で、施設内での療養者数は、介護老人保健施設は平均 31.2 人、介護医療院は平均 12.1 人であった。

図表 2-2-266 新型コロナウイルス感染症の施設内での発生者で、施設内での療養者数
(介護老人保健施設票：問 25②) / 介護医療院票：問 21②)

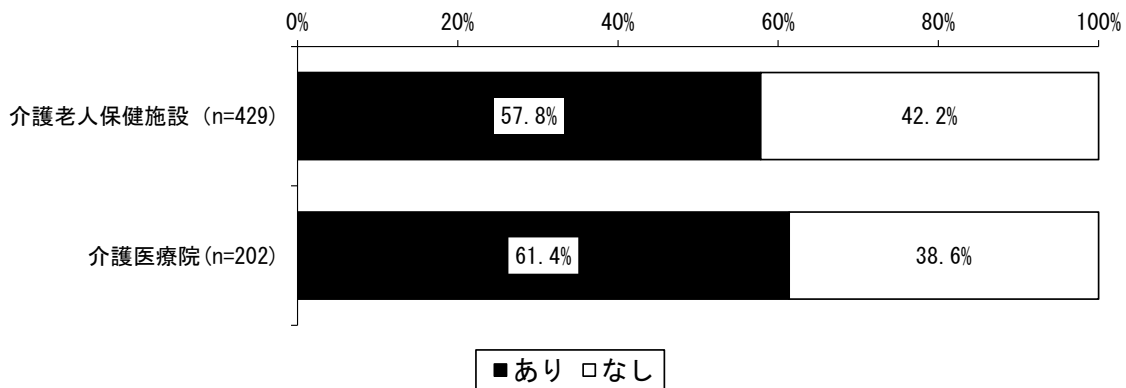
	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	476	31.2	26.1	29.0
超強化型	151	32.2	25.9	29.0
在宅強化型	53	36.5	28.1	38.0
加算型	156	31.9	25.7	29.5
基本型	104	26.3	25.7	20.0
その他型	12	27.6	25.1	34.0
介護医療院	292	12.1	19.1	3.0
I型	201	12.2	17.5	3.0
II型	90	11.9	22.5	3.0

※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

⑨ 新型コロナウイルス感染症発生者に施設内で酸素投与を行った（中等症Ⅱ以上）人の有無

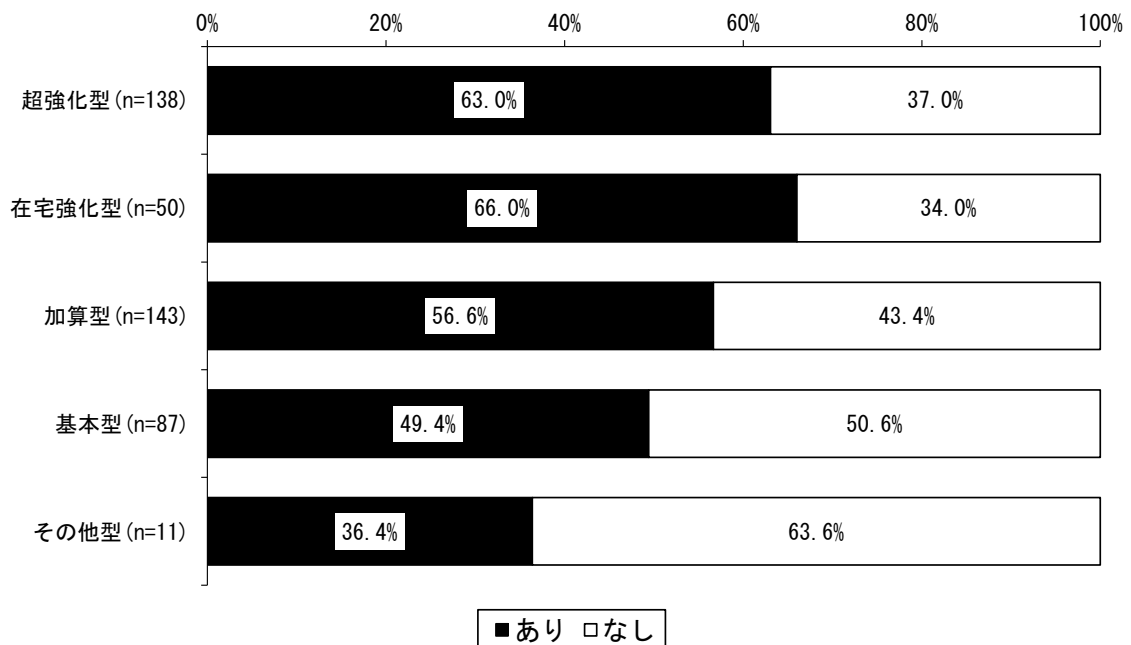
新型コロナウイルス感染症発生者に施設内で酸素投与を行った人の有無は、介護老人保健施設では「あり」が 57.8%、「なし」が 42.2%であった。介護医療院では「あり」が 61.4%、「なし」が 38.6%であった。

図表 2-2-267 新型コロナウイルス感染症発生者に施設内で酸素投与を行った（中等症Ⅱ以上）人の有無（介護老人保健施設票：問 26／介護医療院票：問 22）



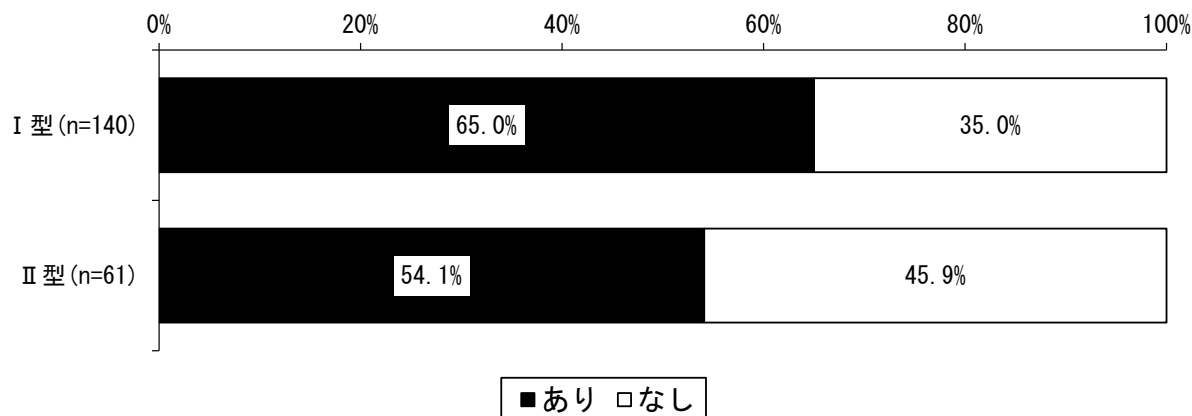
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が 63.0%、「なし」が 37.0%であった。在宅強化型では「あり」が 66.0%、「なし」が 34.0%であった。加算型では「あり」が 56.6%、「なし」が 43.4%であった。基本型では「あり」が 49.4%、「なし」が 50.6%であった。

図表 2-2-268 新型コロナウイルス感染症発生者に施設内で酸素投与を行った（中等症Ⅱ以上）人の有無（介護老人保健施設 施設類型別）（問 26）



介護医療院は、I型では「あり」が65.0%、「なし」が35.0%であった。II型では「あり」が54.1%、「なし」が45.9%であった。

図表 2-2-269 新型コロナウイルス感染症発生者に施設内で酸素投与を行った
(中等症Ⅱ以上)人の有無(介護医療院 類型別)(問 22)



※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑩ 新型コロナウイルス感染症発生者に施設内で酸素投与を行った(中等症Ⅱ以上)人数

新型コロナウイルス感染症発生者に施設内で酸素投与を行った(中等症Ⅱ以上)人数は、介護老人保健施設は、平均 3.6 人、介護医療院は、平均 4.3 人であった。

図表 2-2-270 新型コロナウイルス感染症発生者に施設内で酸素投与を行った
(中等症Ⅱ以上)人数

(介護老人保健施設票：問 26/介護医療院票：問 22)

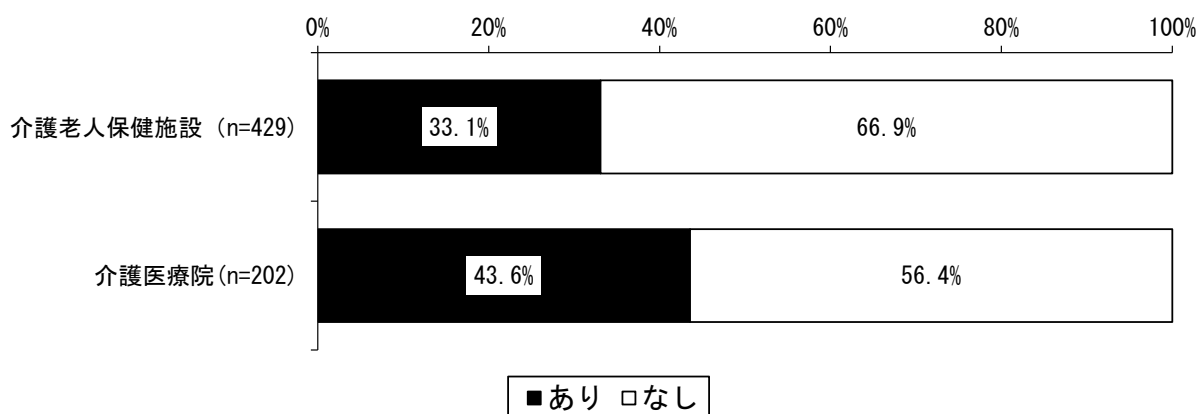
	件数	平均値(人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	429	3.6	8.9	1.0
超強化型	138	4.0	11.4	2.0
在宅強化型	50	4.3	4.8	3.0
加算型	143	2.9	4.9	1.0
基本型	87	3.8	11.3	0.0
その他型	11	1.5	3.0	0.0
介護医療院	202	4.3	9.6	1.0
I 型	140	4.3	8.0	1.0
II 型	61	4.4	12.7	1.0

※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

⑪ 施設内で酸素投与を行った人のうち、施設内で療養を終えた人（死亡を含む）の有無

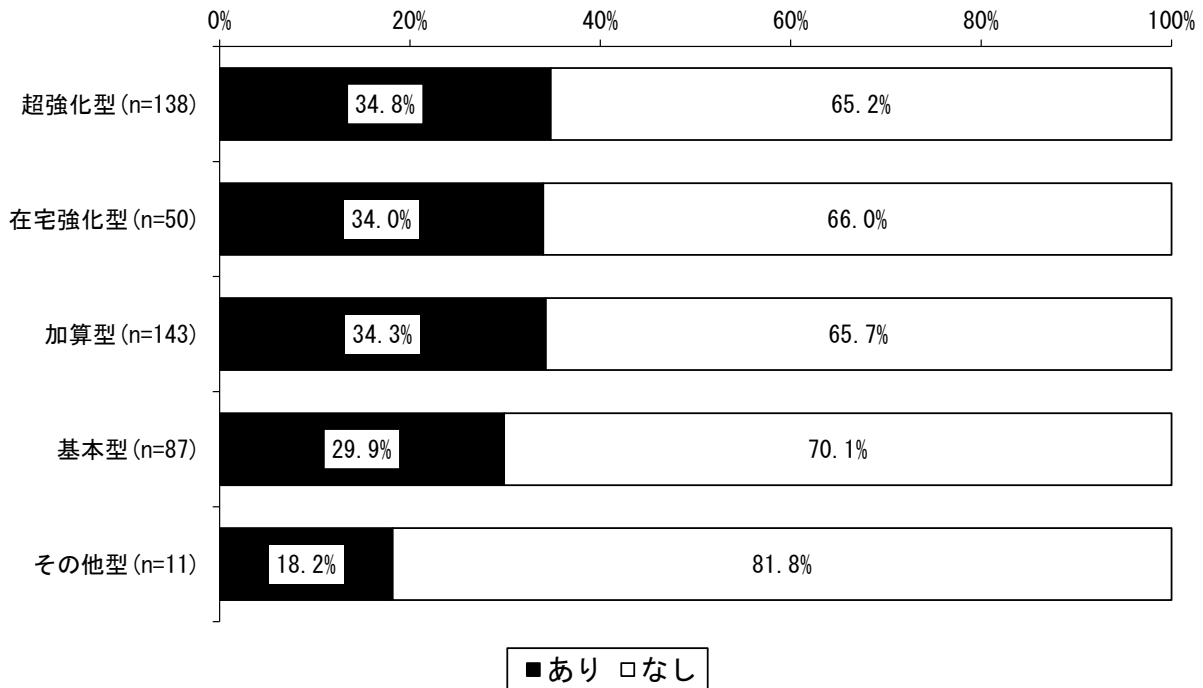
施設内で酸素投与を行った人のうち、施設内で療養を終えた人（死亡を含む）の有無は、介護老人保健施設では「あり」が 33.1%、「なし」が 66.9%であった。介護医療院では「あり」が 43.6%、「なし」が 56.4%であった。

図表 2-2-271 施設内で酸素投与を行った人のうち、施設内で療養を終えた人の有無
(介護老人保健施設票：問 26/介護医療院票：問 22)



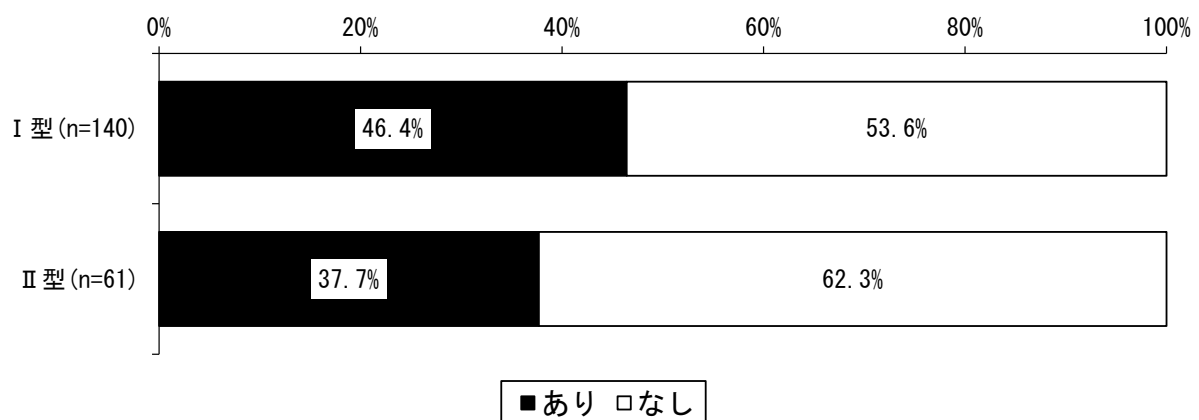
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が 34.8%、「なし」が 65.2%であった。在宅強化型では「あり」が 34.0%、「なし」が 66.0%であった。加算型では「あり」が 34.3%、「なし」が 65.7%であった。基本型では「あり」が 29.9%、「なし」が 70.1%であった。

図表 2-2-272 施設内で酸素投与を行った人のうち、施設内で療養を終えた人の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 26)



介護医療院は、I型では「なし」が 53.6%、「あり」が 46.4%であった。II型では「なし」が 62.3%、「あり」が 37.7%であった。

図表 2-2-273 施設内で酸素投与を行った人のうち、施設内で療養を終えた人の有無
(介護医療院 類型別) (問 22)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

⑫ 施設内で酸素投与を行った人のうち、施設内で療養を終えた人数（死亡を含む）

施設内で酸素投与を行った人のうち、施設内で療養を終えた人数（死亡を含む）は、介護老人保健施設は平均 1.9 人、介護医療院は平均 2.9 人であった。

図表 2-2-274 施設内で酸素投与を行った人のうち、施設内で療養を終えた人数
（死亡を含む）

（介護老人保健施設票：問 26／介護医療院票：問 22）

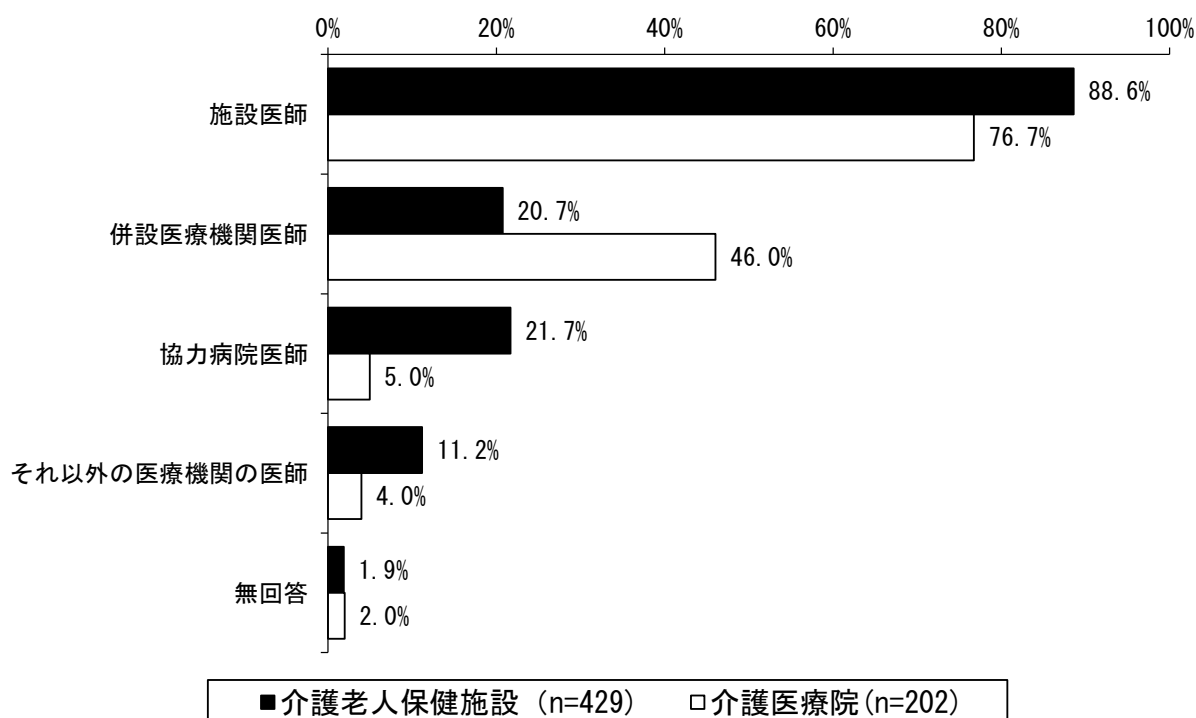
	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	429	1.9	8.0	0.0
超強化型	138	2.4	11.0	0.0
在宅強化型	50	1.8	3.1	0.0
加算型	143	1.4	3.1	0.0
基本型	87	1.9	10.4	0.0
その他型	11	1.1	3.0	0.0
介護医療院	202	2.9	9.0	0.0
Ⅰ型	140	2.9	7.2	0.0
Ⅱ型	61	3.0	12.4	0.0

※介護医療院の類型別はⅠ型・Ⅱ型ともに届出をしている 1 施設を除く

⑬ 誰が新型コロナウイルスに感染した患者を診察したか

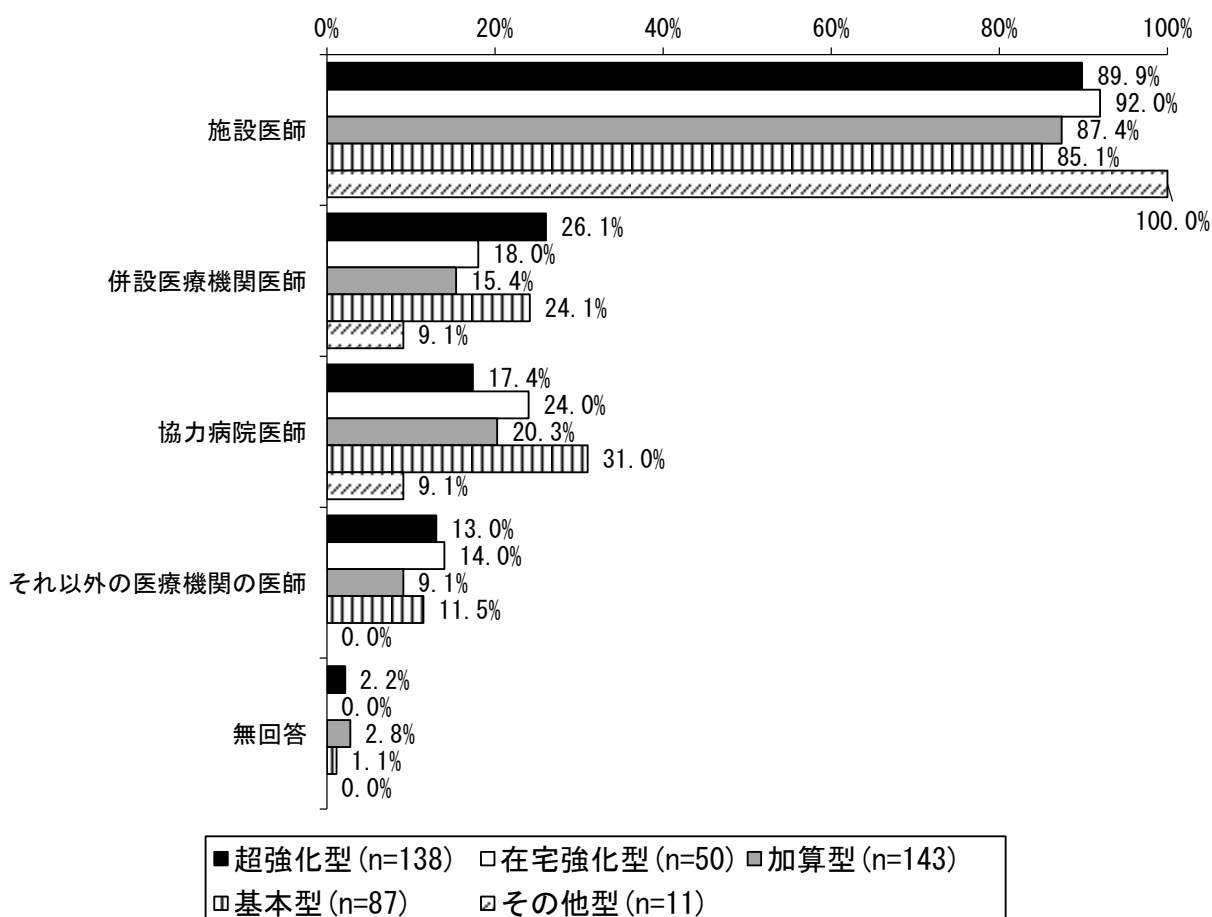
誰が新型コロナウイルスに感染した患者を診察したかは、介護老人保健施設では「施設医師」が 88.6%、「協力病院医師」が 21.7%であった。介護医療院では「施設医師」が 76.7%、「併設医療機関医師」が 46.0%であった。

図表 2-2-275 誰が新型コロナウイルスに感染した患者を診察したか（複数回答）
（介護老人保健施設票：問 27／介護医療院票：問 23）



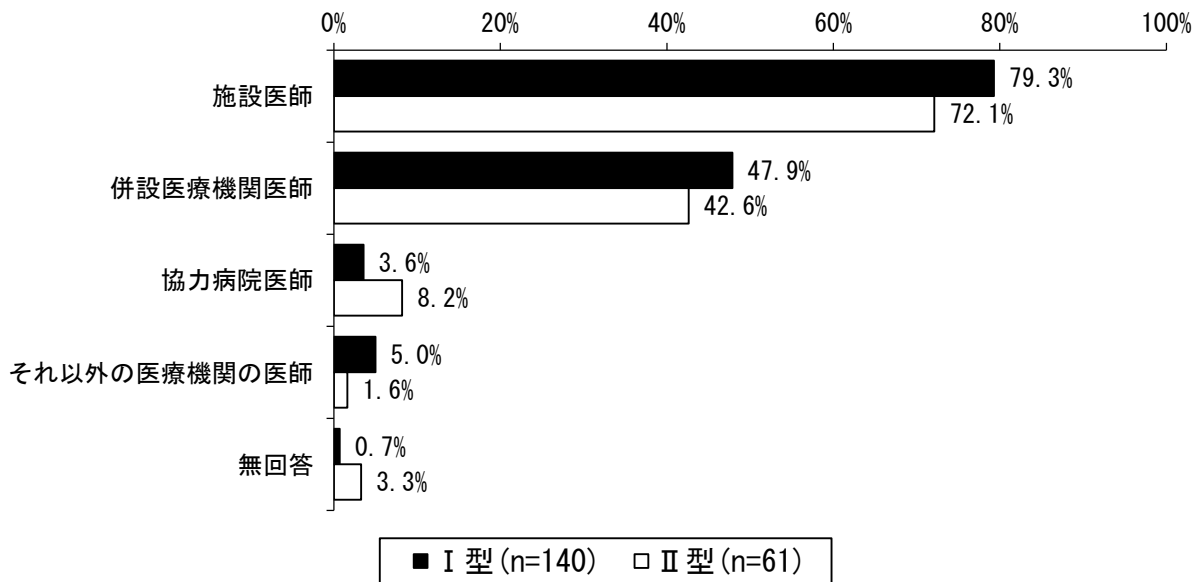
介護老人保健施設は、超強化型では「施設医師」が 89.9%、「併設医療機関医師」が 26.1%であった。在宅強化型では「施設医師」が 92.0%、「協力病院医師」が 24.0%であった。加算型では「施設医師」が 87.4%、「協力病院医師」が 20.3%であった。基本型では「施設医師」が 85.1%、「協力病院医師」が 31.0%であった。

図表 2-2-276 誰が新型コロナウイルスに感染した患者を診察したか（複数回答）
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 27）



介護医療院は、Ⅰ型では「施設医師」が79.3%、「併設医療機関医師」が47.9%であった。Ⅱ型では「施設医師」が72.1%、「併設医療機関医師」が42.6%であった。

図表 2-2-277 誰が新型コロナウイルスに感染した患者を診察したか（複数回答）
（介護医療院 類型別）（問 23）



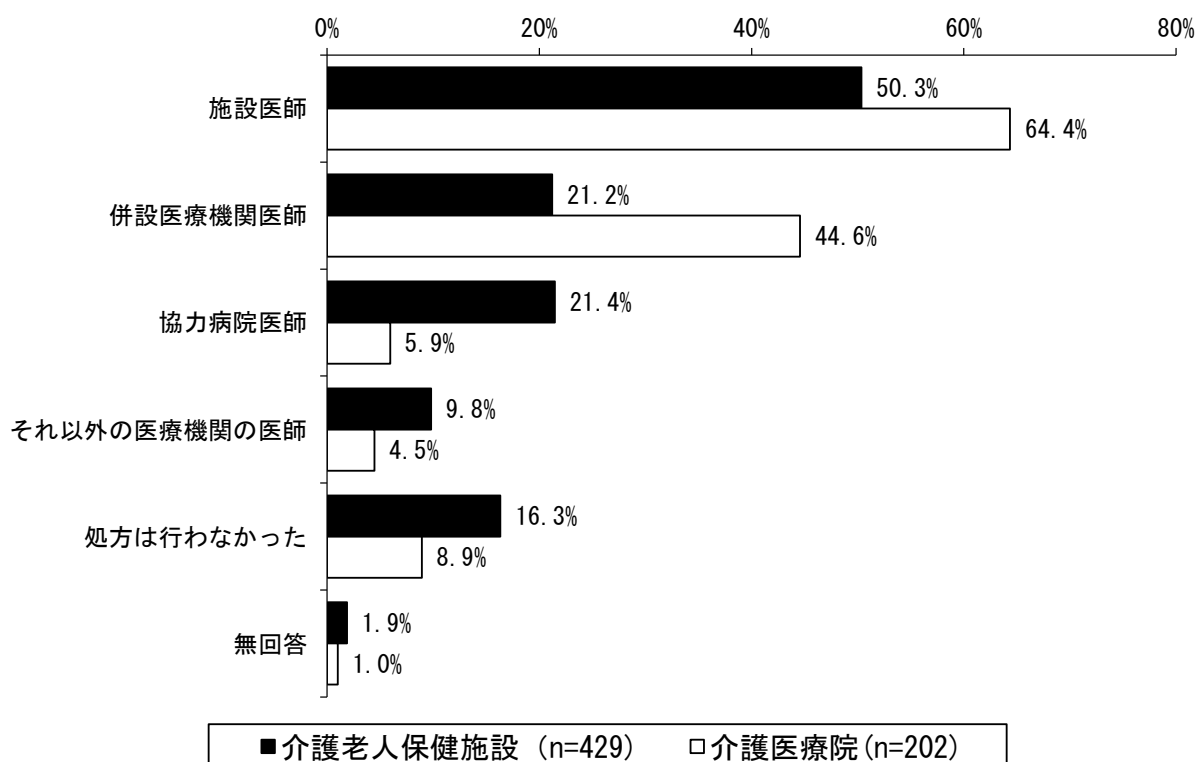
※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

⑭ 誰がコロナ治療薬の処方を行ったか

誰がコロナ治療薬の処方を行ったかは、介護老人保健施設では「施設医師」が 50.3%、「協力病院医師」が 21.4%であった。介護医療院では「施設医師」が 64.4%、「併設医療機関医師」が 44.6%であった。

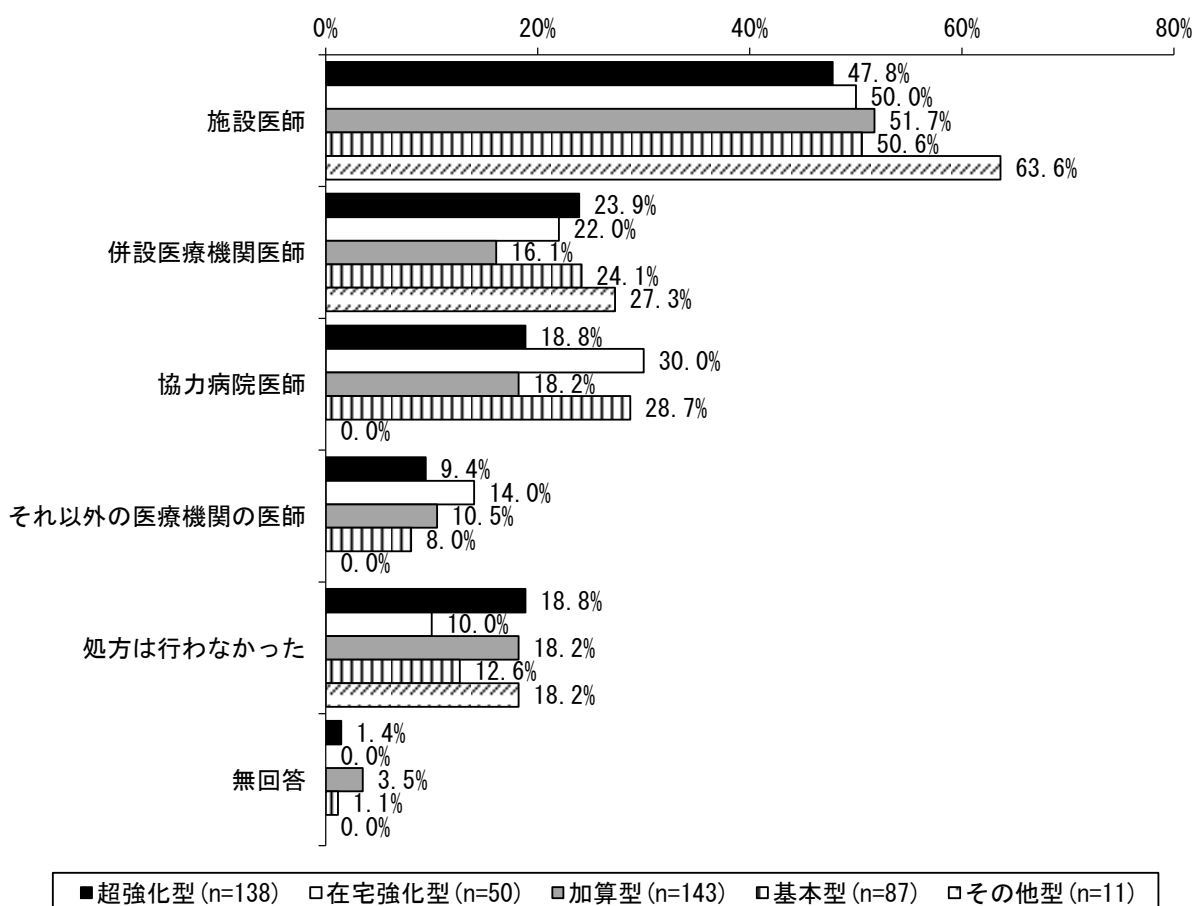
図表 2-2-278 誰がコロナ治療薬の処方を行ったか（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 28／介護医療院票：問 24）



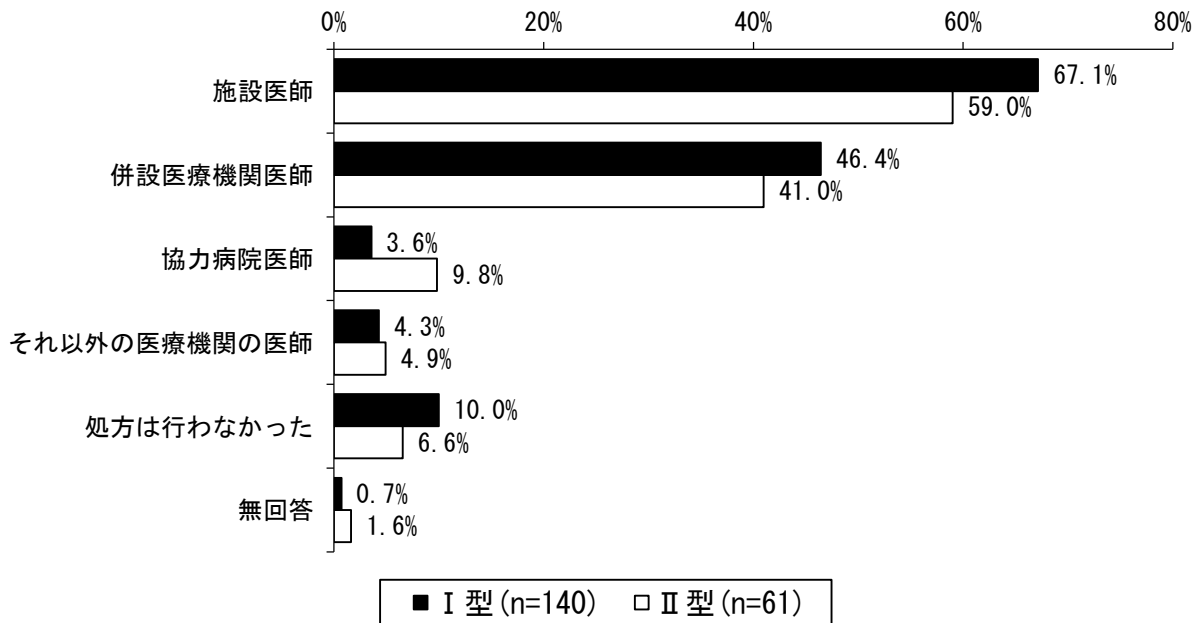
介護老人保健施設は、超強化型では「施設医師」が 47.8%、「併設医療機関医師」が 23.9%であった。在宅強化型では「施設医師」が 50.0%、「協力病院医師」が 30.0%であった。加算型では「施設医師」が 51.7%、「協力病院医師」が 18.2%であった。基本型では「施設医師」が 50.6%、「協力病院医師」が 28.7%であった。

図表 2-2-279 誰がコロナ治療薬を処方したか（複数回答）
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 28）



介護医療院は、Ⅰ型では「施設医師」が 67.1%、「併設医療機関医師」が 46.4%であった。Ⅱ型では「施設医師」が 59.0%、「併設医療機関医師」が 41.0%であった。

図表 2-2-280 誰がコロナ治療薬を処方したか（複数回答）
（介護医療院 類型別）（問 24）



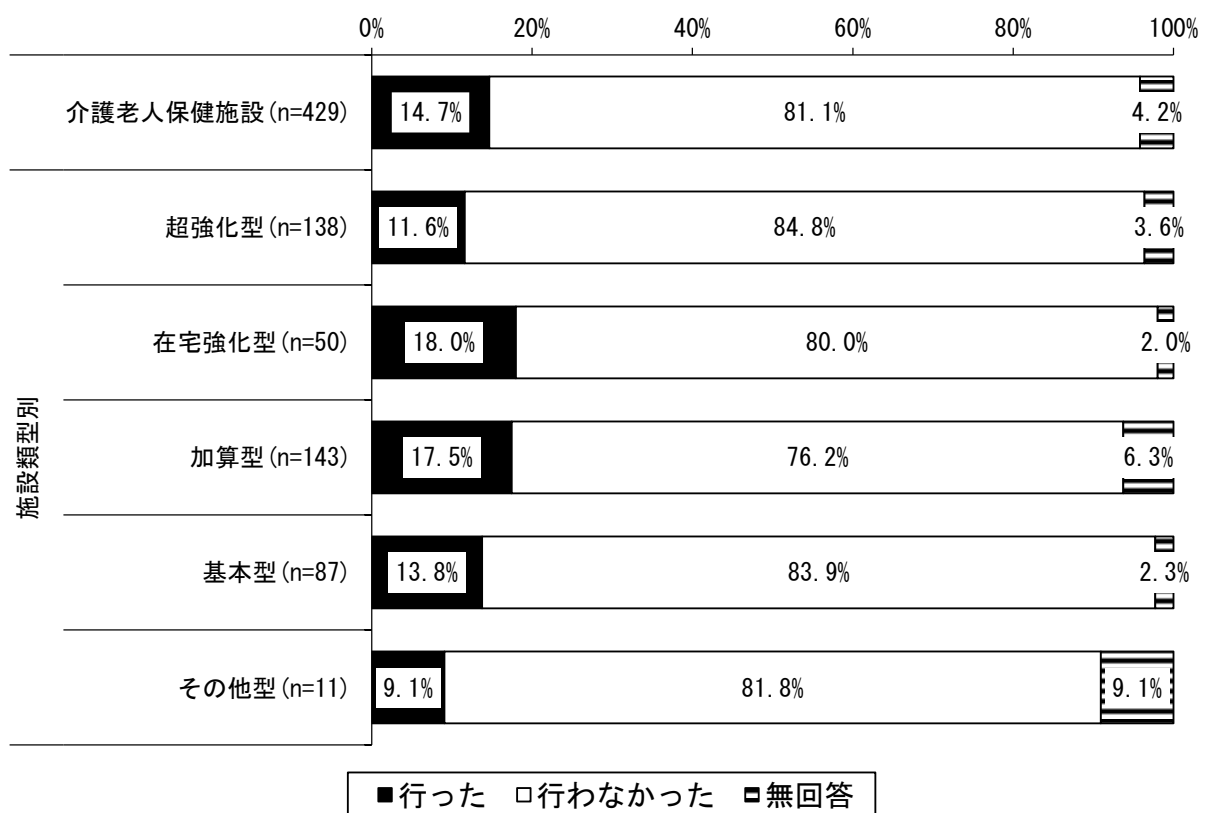
※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

⑮ 電話・オンライン診療を活用したコロナ治療薬の処方を行ったか（介護老人保健施設）

電話・オンライン診療を活用したコロナ治療薬の処方を行ったかは、「行った」が 14.7%、「行わなかった」が 81.1%であった。

施設類型別では、超強化型は「行った」が 11.6%、「行わなかった」が 84.8%であった。在宅強化型では「行った」が 18.0%、「行わなかった」が 80.0%であった。加算型では「行った」が 17.5%、「行わなかった」が 76.2%であった。基本型では「行った」が 13.8%、「行わなかった」が 83.9%であった。

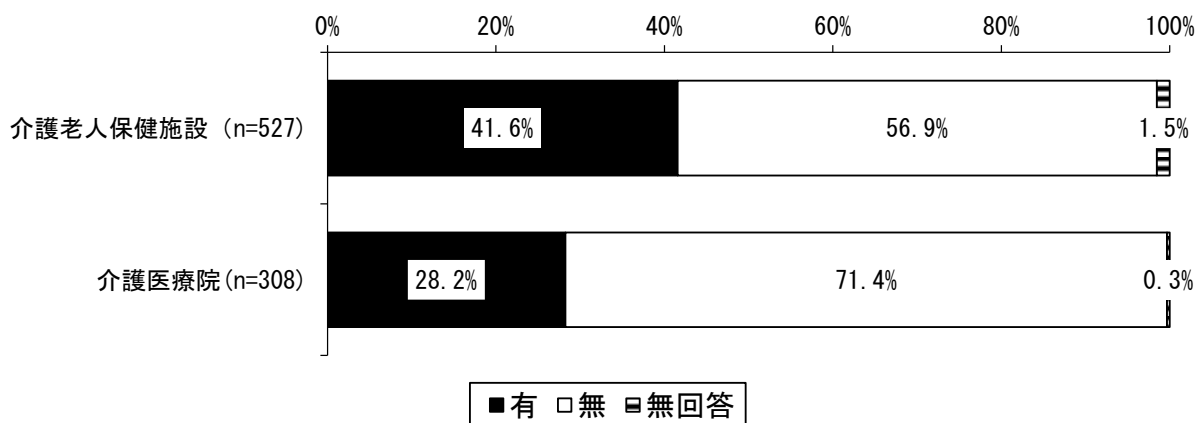
図表 2-2-281 電話・オンライン診療を活用したコロナ治療薬の処方を行ったか（介護老人保健施設）（問 29）



⑩ 医療機関からの新型コロナウイルス感染症治療後の患者の受入の有無

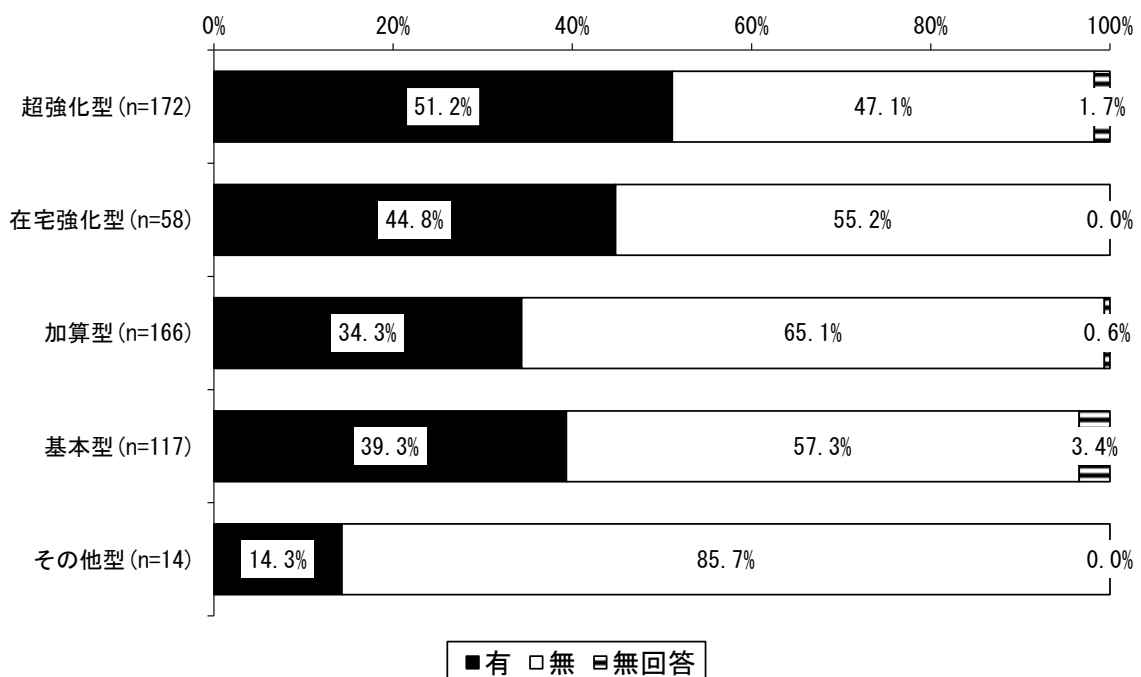
医療機関からの新型コロナウイルス感染症治療後の患者の受入の有無は、介護老人保健施設では「有」が 41.6%、「無」が 56.9%であった。介護医療院では「有」が 28.2%、「無」が 71.4%であった。

図表 2-2-282 医療機関からの新型コロナウイルス感染症治療後の患者の受入の有無
(介護老人保健施設票：問 30/介護医療院票：問 25)



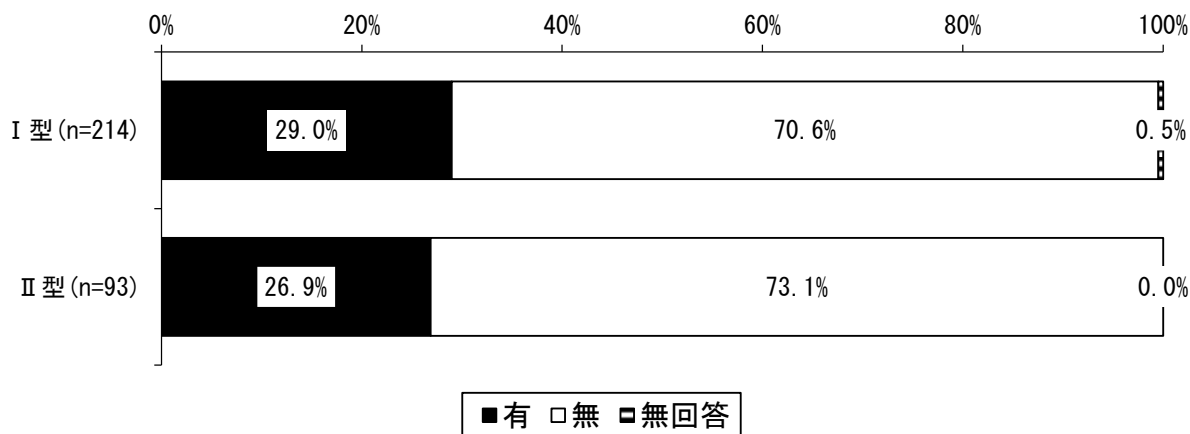
介護老人保健施設は、超強化型では「有」が 51.2%、「無」が 47.1%であった。在宅強化型では「有」が 44.8%、「無」が 55.2%であった。加算型では「有」が 34.3%、「無」が 65.1%であった。基本型では「有」が 39.3%、「無」が 57.3%であった。

図表 2-2-283 医療機関からの新型コロナウイルス感染症治療後の患者の受入の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 30)



介護医療院は、I型では「有」が29.0%、「無」が70.6%であった。II型では「有」が26.9%、「無」が73.1%であった。

図表 2-2-284 医療機関からの新型コロナウイルス感染症治療後の患者の受入の有無
(介護医療院 類型別) (問 25)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

図表 2-2-285 医療機関からの新型コロナウイルス感染症治療後の患者の受入人数
(介護老人保健施設票：問 30/介護医療院票：問 25)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	195	3.6	5.1	3.0
超強化型	78	4.5	7.5	3.0
在宅強化型	25	3.5	2.7	3.0
加算型	48	3.1	2.2	3.0
基本型	42	2.6	2.0	2.0
その他型	2	3.0	2.8	3.0
介護医療院	81	3.0	2.7	2.0
I型	57	3.2	2.8	2.0
II型	24	2.5	2.3	2.0

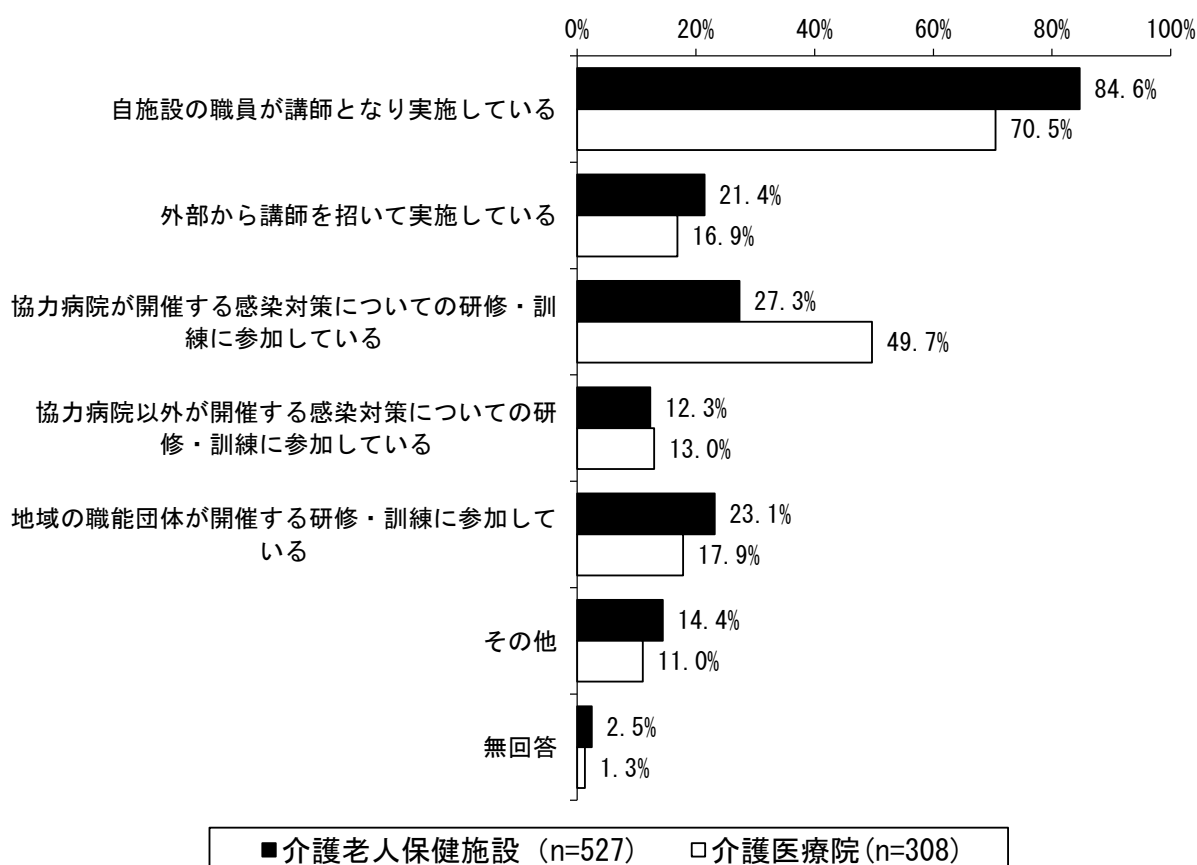
※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(12) 感染対策についての研修・訓練の実施方法

感染対策についての研修・訓練の実施方法は、介護老人保健施設では「自施設の職員が講師となり実施している」が 84.6%、「協力病院が開催する感染対策についての研修・訓練に参加している」が 27.3%であった。介護医療院では「自施設の職員が講師となり実施している」が 70.5%、「協力病院が開催する感染対策についての研修・訓練に参加している」が 49.7%であった。

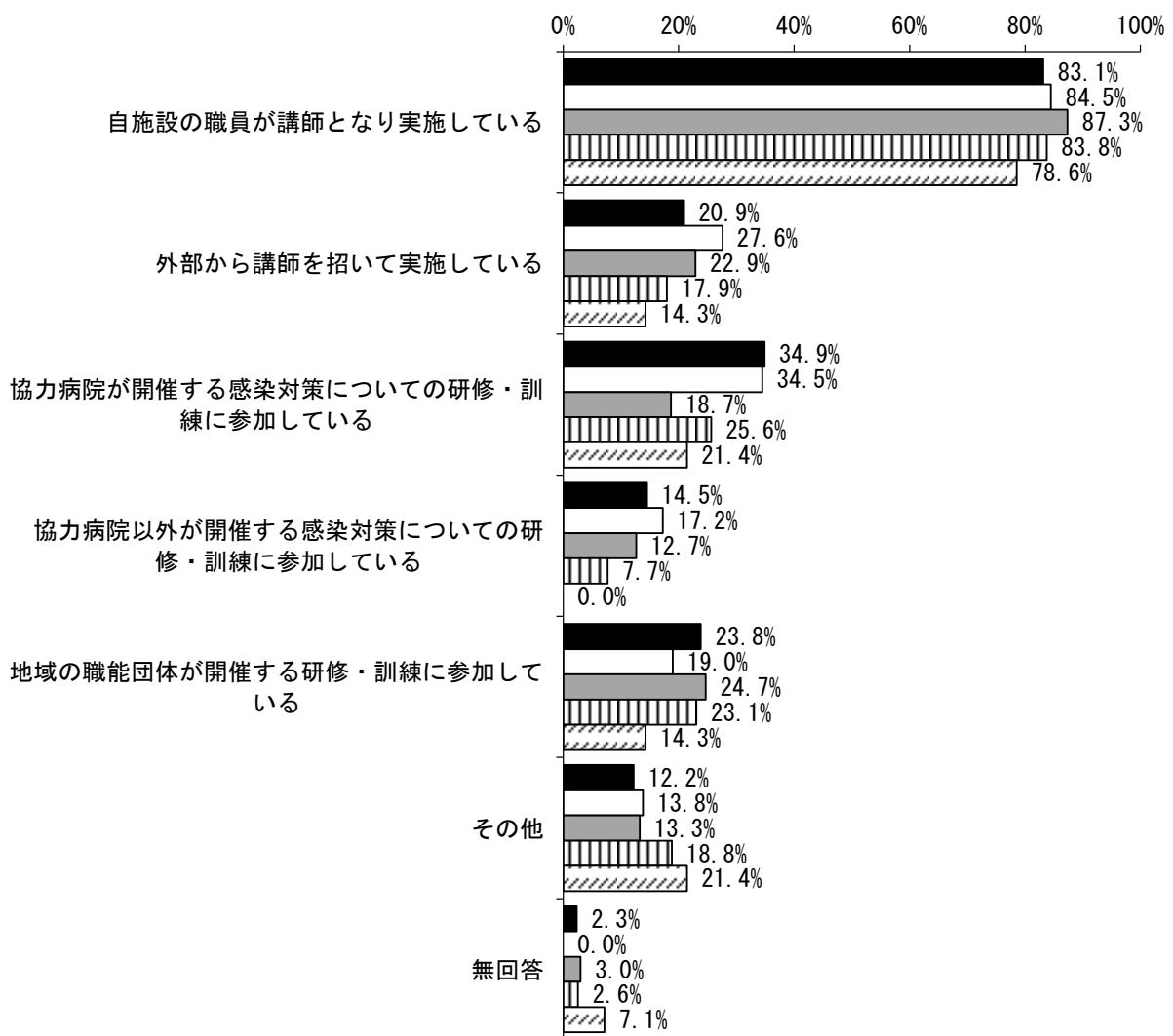
図表 2-2-286 感染対策についての研修・訓練の実施方法（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 31／介護医療院票：問 26）



介護老人保健施設は、超強化型では「自施設の職員が講師となり実施している」が83.1%、「協力病院が開催する感染対策についての研修・訓練に参加している」が34.9%であった。在宅強化型では「自施設の職員が講師となり実施している」が84.5%、「協力病院が開催する感染対策についての研修・訓練に参加している」が34.5%であった。加算型では「自施設の職員が講師となり実施している」が87.3%、「地域の職能団体が開催する研修・訓練に参加している」が24.7%であった。基本型では「自施設の職員が講師となり実施している」が83.8%、「協力病院が開催する感染対策についての研修・訓練に参加している」が25.6%であった。

図表 2-2-287 感染対策についての研修・訓練の実施方法（複数回答）
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 31）

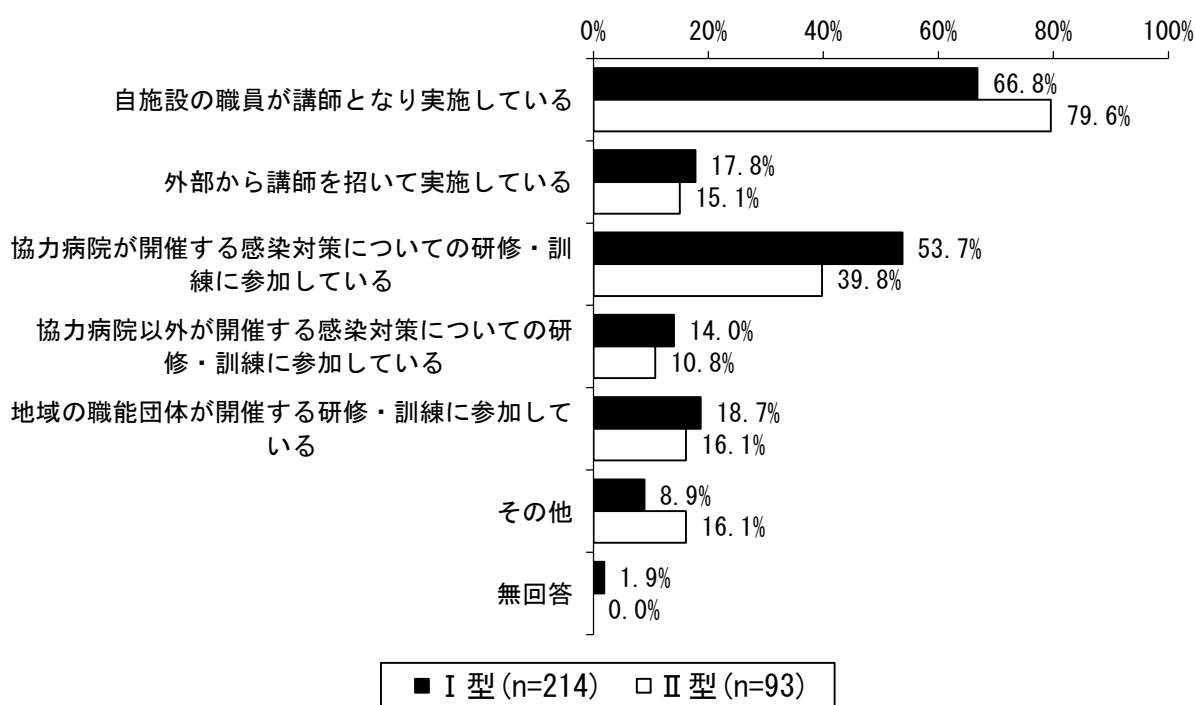


■ 超強化型 (n=172) □ 在宅強化型 (n=58) ▣ 加算型 (n=166)
▤ 基本型 (n=117) ▥ その他型 (n=14)

介護医療院は、I型では「自施設の職員が講師となり実施している」が66.8%、「協力病院が開催する感染対策についての研修・訓練に参加している」が53.7%であった。II型では「自施設の職員が講師となり実施している」が79.6%、「協力病院が開催する感染対策についての研修・訓練に参加している」が39.8%であった。

図表 2-2-288 感染対策についての研修・訓練の実施方法（複数回答）

（介護医療院 類型別）（問 26）

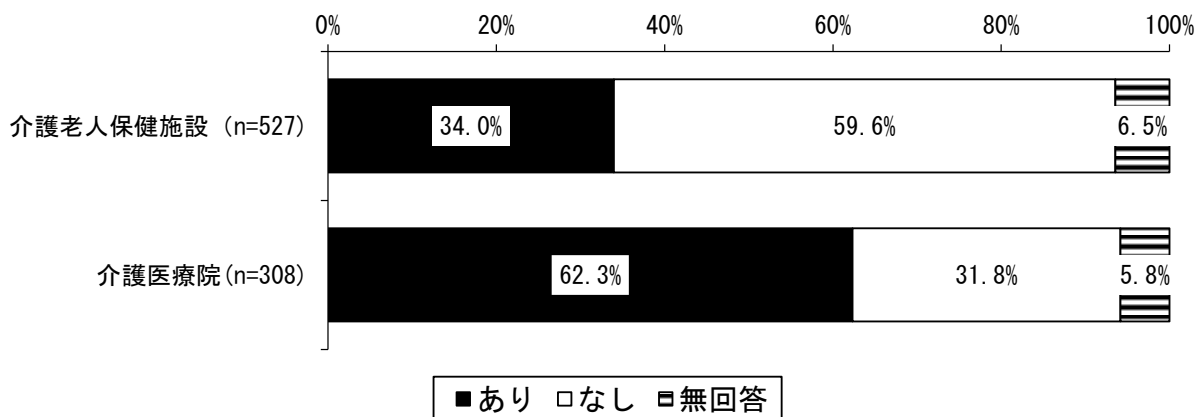


※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

(13) 酸素投与を行っている入所者の有無

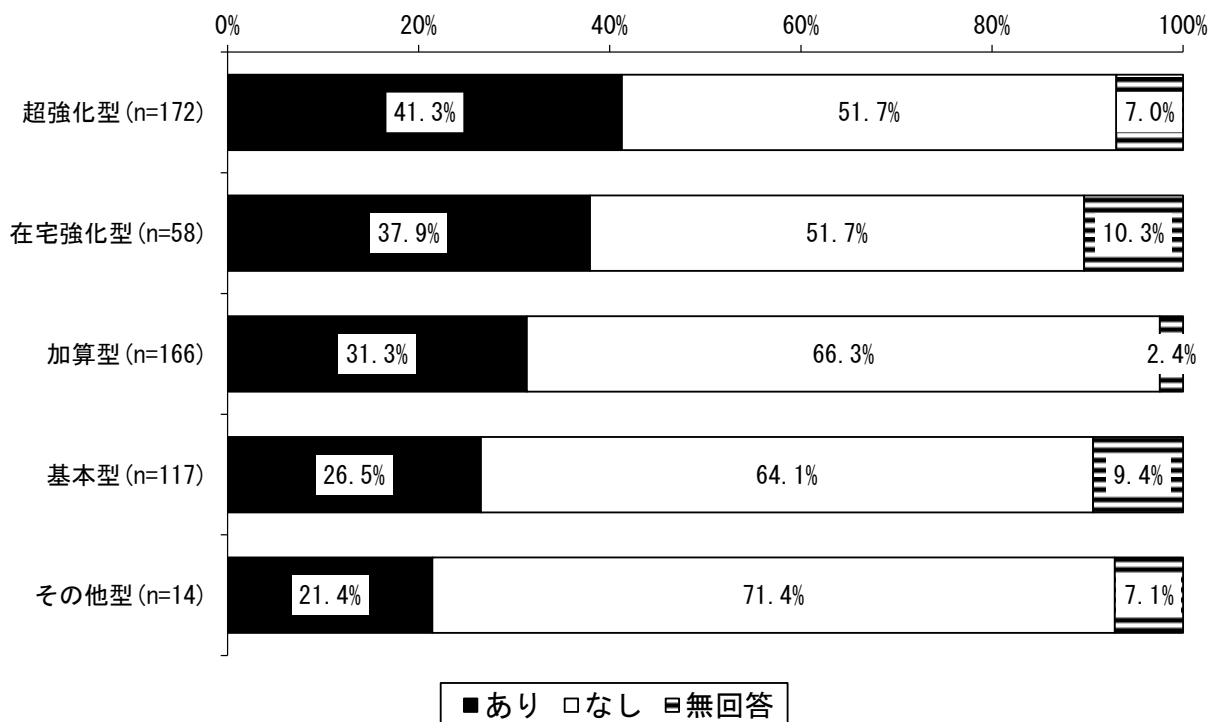
酸素投与を行っている入所者の有無は、介護老人保健施設では「あり」が 34.0%、「なし」が 59.6%であった。介護医療院では「あり」が 62.3%、「なし」が 31.8%であった。

図表 2-2-289 酸素投与を行っている入所者の有無
(介護老人保健施設票：問 32/介護医療院票：問 27)



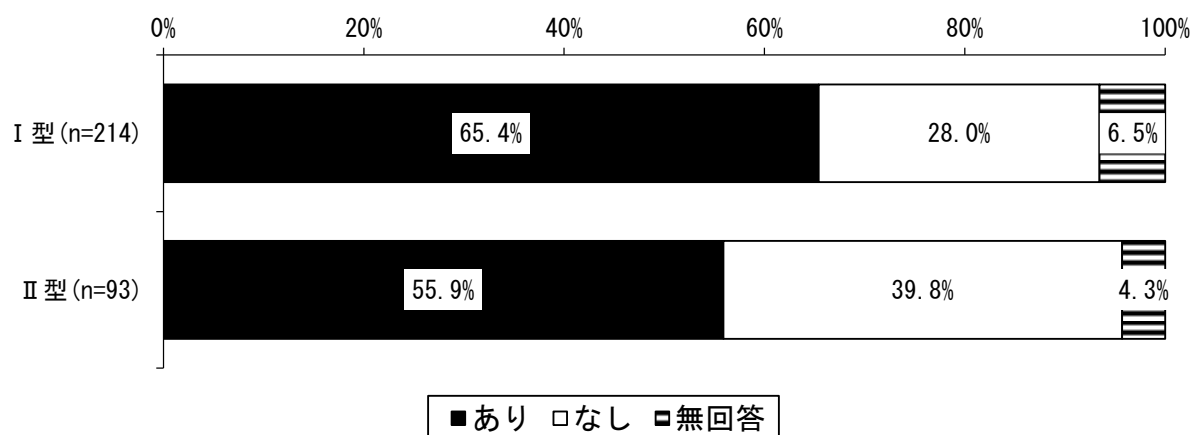
介護老人保健施設は、超強化型では「あり」が 41.3%、「なし」が 51.7%であった。在宅強化型では「あり」が 37.9%、「なし」が 51.7%であった。加算型では「あり」が 31.3%、「なし」が 66.3%であった。基本型では「あり」が 26.5%、「なし」が 64.1%であった。

図表 2-2-290 酸素投与を行っている入所者の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 32)



介護医療院は、I型では「あり」が65.4%、「なし」が28.0%であった。II型では「あり」が55.9%、「なし」が39.8%であった。

図表 2-2-291 酸素投与を行っている入所者の有無
(介護医療院 類型別) (問 27)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

酸素投与を行っている入所者数は、介護老人保健施設は平均0.9人、介護医療院は平均2.5人であった。1施設あたりの平均人数は、介護老人保健施設で2.4人、介護医療院で3.8人であった。

図表 2-2-292 酸素投与を行っている入所者数
(介護老人保健施設票：問 32/介護医療院票：問 27)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	493	0.9	1.6	0.0
超強化型	160	1.2	1.8	0.0
在宅強化型	52	0.9	1.3	0.0
加算型	162	0.8	1.7	0.0
基本型	106	0.5	0.9	0.0
その他型	13	0.5	1.0	0.0
介護医療院	290	2.5	3.7	1.0
I型	200	2.7	3.8	2.0
II型	89	2.2	3.6	1.0

※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

図表 2-2-293 酸素投与を行っている場合の1施設あたりの平均人数
(介護老人保健施設票：問 32/介護医療院票：問 27)

(単位：人)

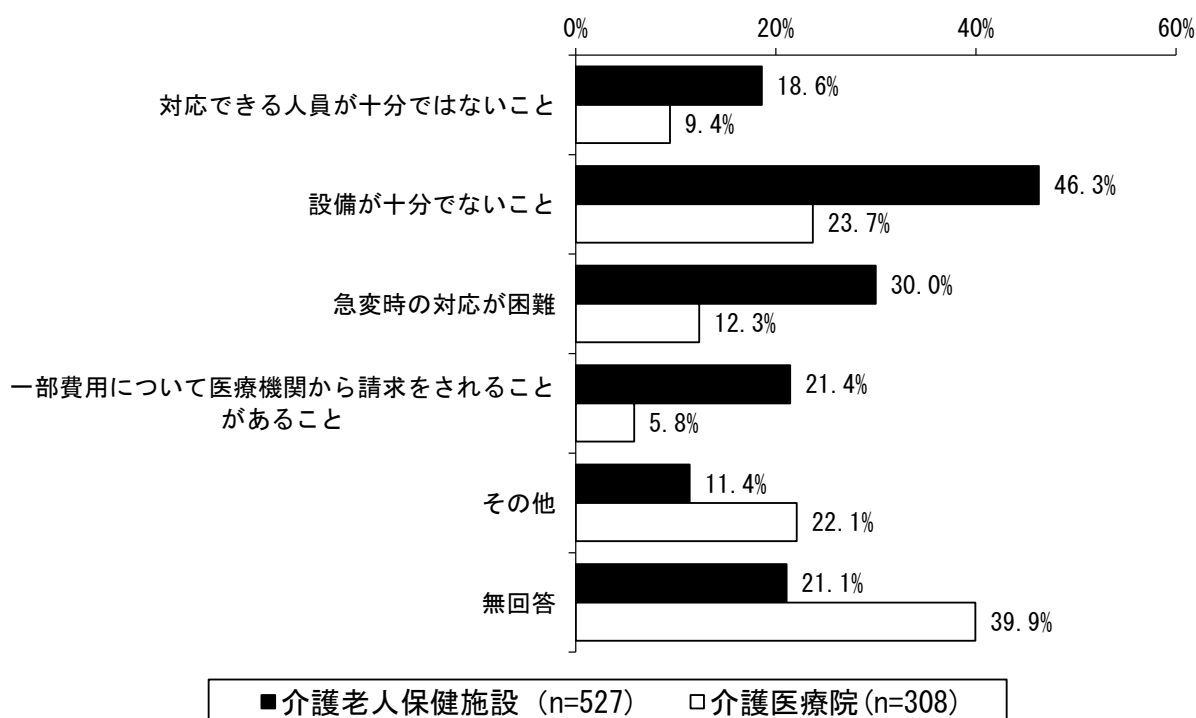
	平均値
老健(n=179)	2.4
介護医療院(n=192)	3.8

(14) 酸素投与を施設で実施する上での課題

酸素投与を施設で実施する上での課題は、介護老人保健施設では「設備が十分でないこと」が46.3%、「急変時の対応が困難」が30.0%であった。介護医療院では「設備が十分でないこと」が23.7%、「急変時の対応が困難」が12.3%であった。

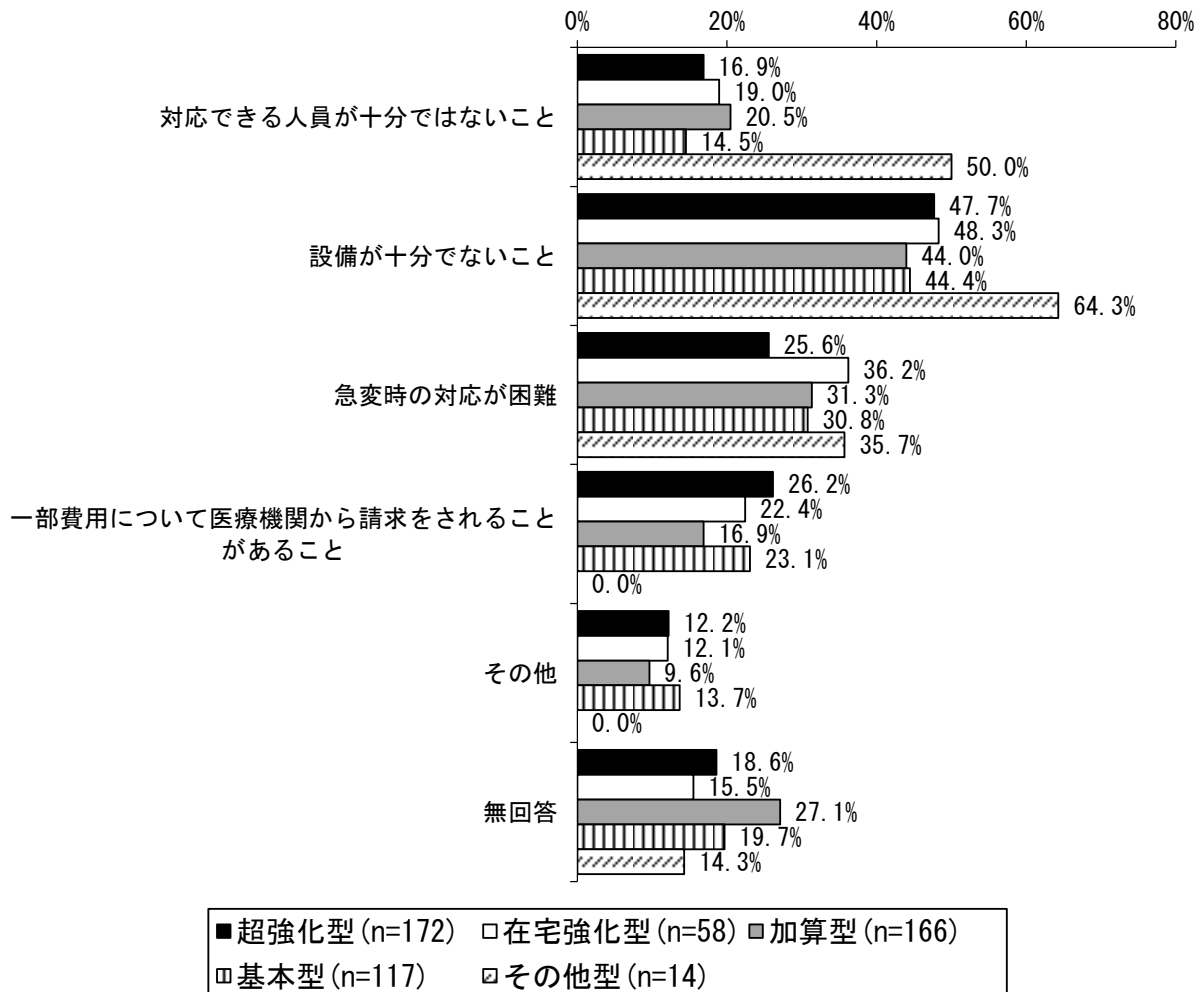
図表 2-2-294 酸素投与を施設で実施する上での課題（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 33／介護医療院票：問 28）



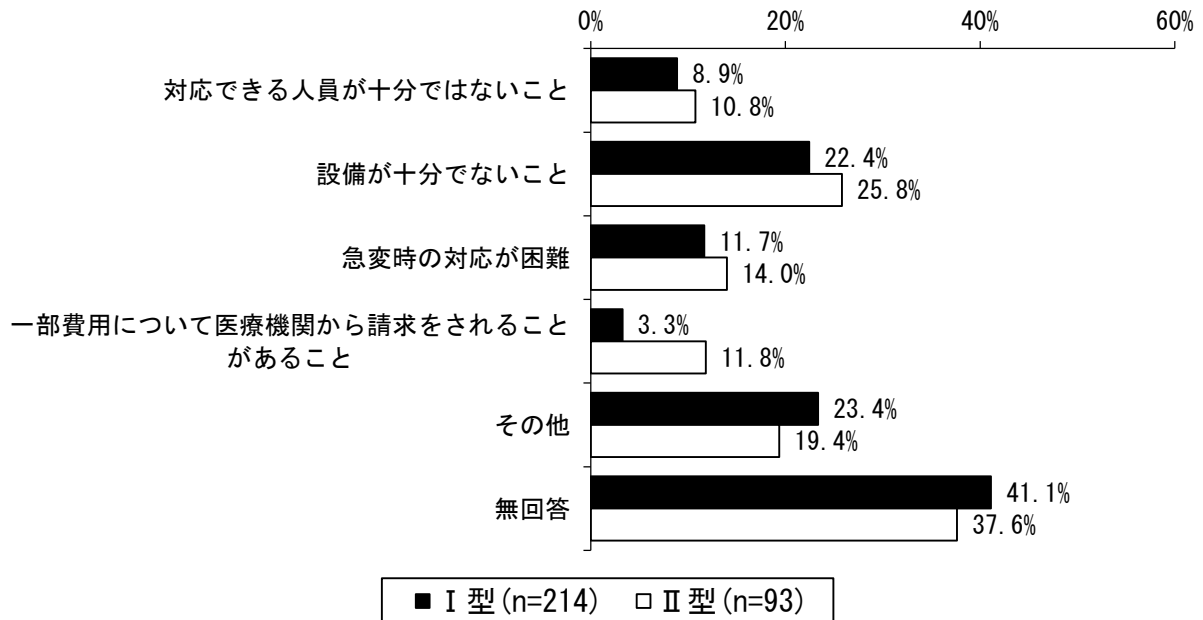
介護老人保健施設は、超強化型では「設備が十分でないこと」が47.7%、「一部費用について医療機関から請求をされることがあること」が26.2%であった。在宅強化型では「設備が十分でないこと」が48.3%、「急変時の対応が困難」が36.2%であった。加算型では「設備が十分でないこと」が44.0%、「急変時の対応が困難」が31.3%であった。基本型では「設備が十分でないこと」が44.4%、「急変時の対応が困難」が30.8%であった。

図表 2-2-295 酸素投与を施設で実施する上での課題（複数回答）
（介護老人保健施設 施設類型別）（問 33）



介護医療院は、Ⅰ型では「設備が十分でないこと」が 22.4%、「急変時の対応が困難」が 11.7%であった。Ⅱ型では「設備が十分でないこと」が 25.8%、「急変時の対応が困難」が 14.0%であった。

図表 2-2-296 酸素投与を施設で実施する上での課題（複数回答）
（介護医療院 類型別）（問 28）



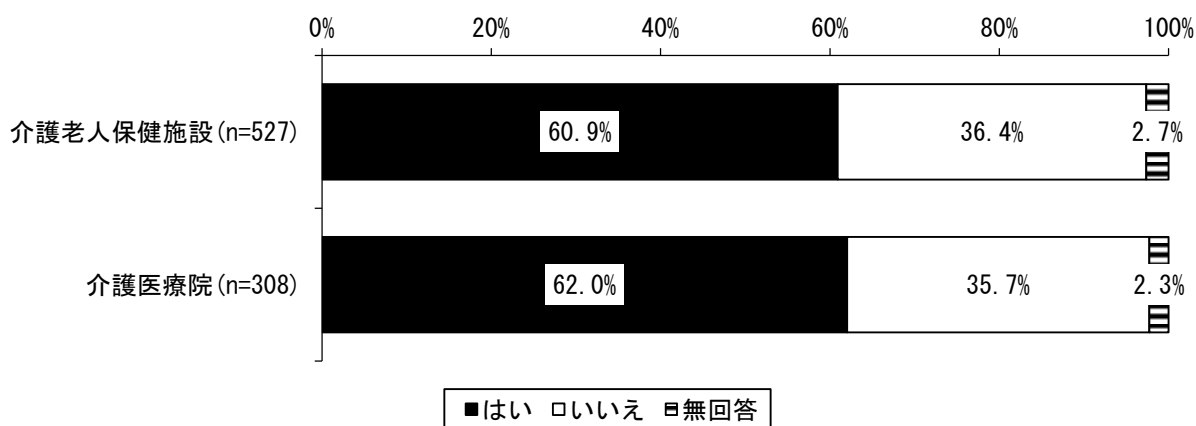
※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

(15) ポリファーマシー対策としての薬剤調整の実施の有無

ポリファーマシー対策としての薬剤調整の実施の有無は、介護老人保健施設は、「はい」が60.9%、「いいえ」が36.4%であった。

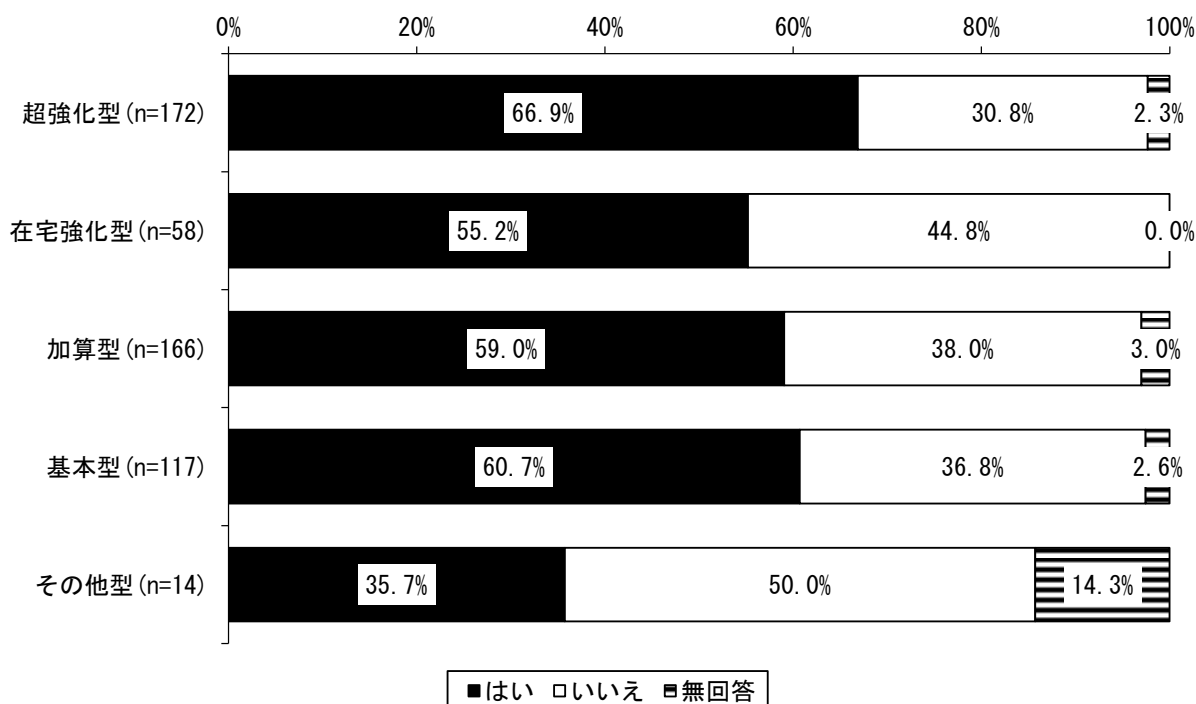
介護医療院は、「はい」が62.0%、「いいえ」が35.7%であった。

図表 2-2-297 ポリファーマシー対策としての薬剤調整の実施の有無
(介護老人保健施設票：問 34/介護医療院票：問 29)



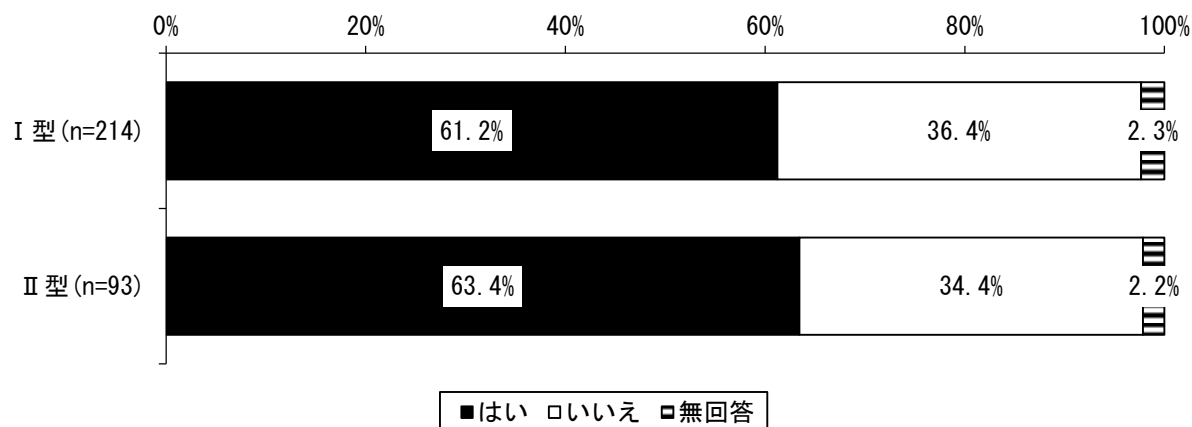
介護老人保健施設は、超強化型では「はい」が66.9%、「いいえ」が30.8%であった。在宅強化型では「はい」が55.2%、「いいえ」が44.8%であった。加算型では「はい」が59.0%、「いいえ」が38.0%であった。基本型では「はい」が60.7%、「いいえ」が36.8%であった。

図表 2-2-298 ポリファーマシー対策としての薬剤調整の実施の有無
(介護老人保健施設類型別) (問 34)



介護医療院は、I型では「はい」が61.2%、「いいえ」が36.4%であった。II型では「はい」が63.4%、「いいえ」が34.4%であった。

図表 2-2-299 ポリファーマシー対策としての薬剤調整の実施の有無
(介護医療院類型別) (問 29)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

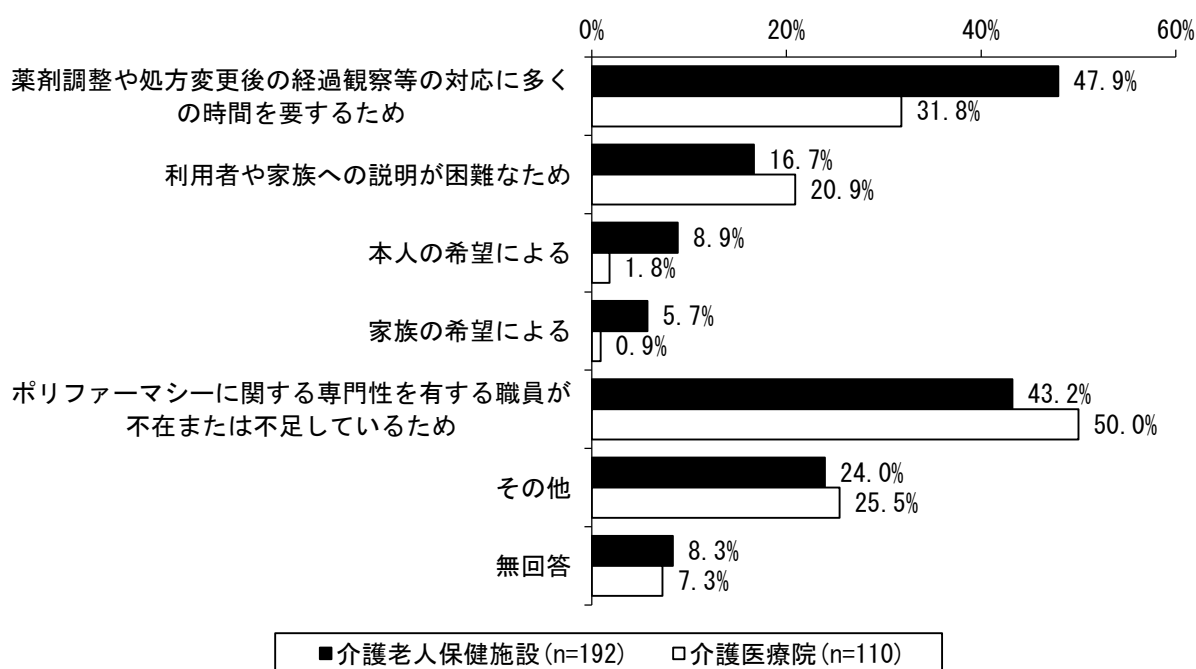
(16) 積極的に薬剤調整を実施していない理由

積極的に薬剤調整を実施していない理由は、介護老人保健施設は、「薬剤調整や処方変更後の経過観察等の対応に多くの時間を要するため」が47.9%、「ポリファーマシーに関する専門性を有する職員が不在または不足しているため」が43.2%であった。

介護医療院は、「ポリファーマシーに関する専門性を有する職員が不在または不足しているため」が50.0%、「薬剤調整や処方変更後の経過観察等の対応に多くの時間を要するため」が31.8%であった。

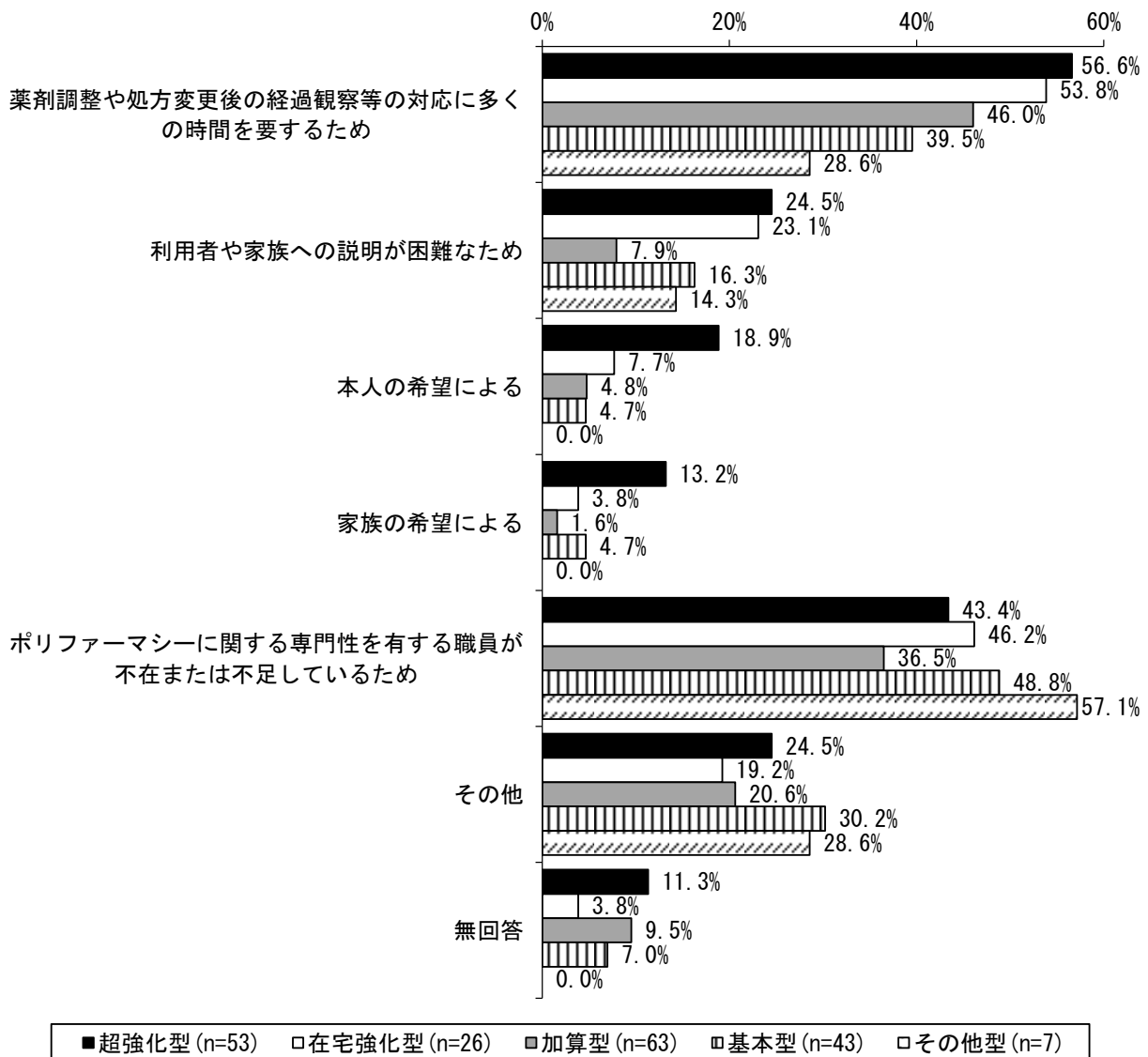
図表 2-2-300 積極的に薬剤調整を実施していない理由（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 34／介護医療院票：問 29）



介護老人保健施設は、「薬剤調整や処方変更後の経過観察等の対応に多くの時間を要するため」が超強化型（56.6%）、在宅強化型（53.8%）、加算型（46.0%）で、基本型では「ポリファーマシーに関する専門性を有する職員が不在または不足しているため」が48.8%となった。

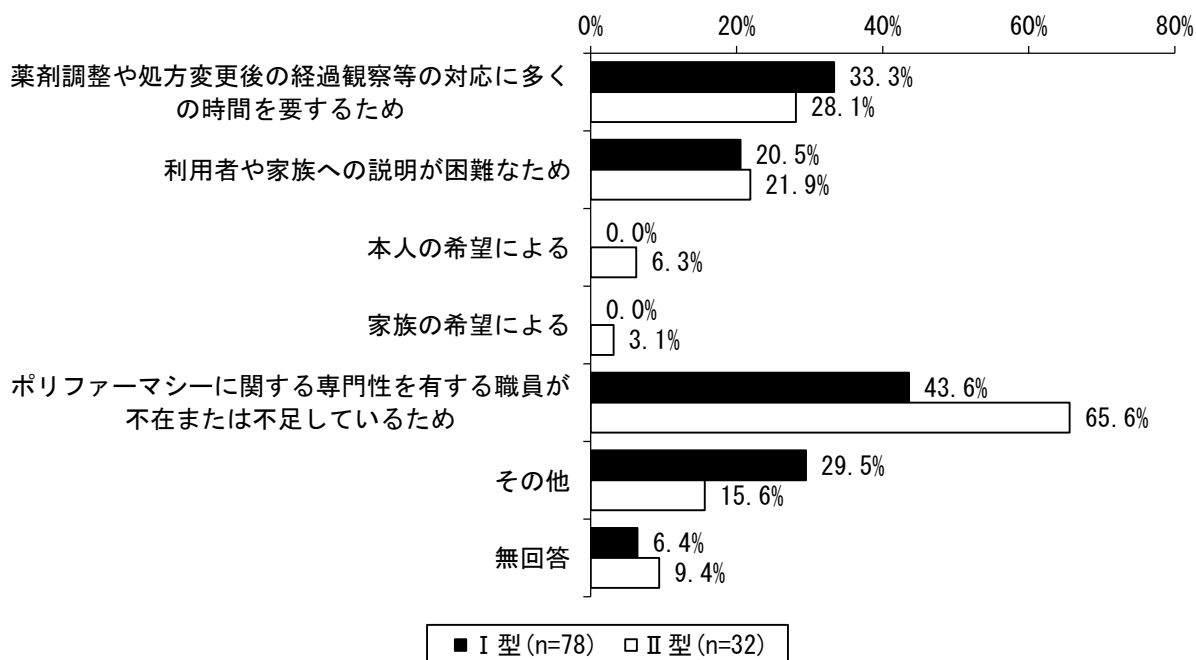
図表 2-2-301 積極的に薬剤調整を実施していない理由（複数回答）
（介護老人保健施設類型別）（問 34）



介護医療院は、「ポリファーマシーに関する専門性を有する職員が不在または不足しているため」が I 型で 43.6%、II 型で 65.6%となった。

図表 2-2-302 積極的に薬剤調整を実施していない理由（複数回答）

（介護医療院類型別）（問 29）



※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

9. 口腔衛生管理・栄養管理

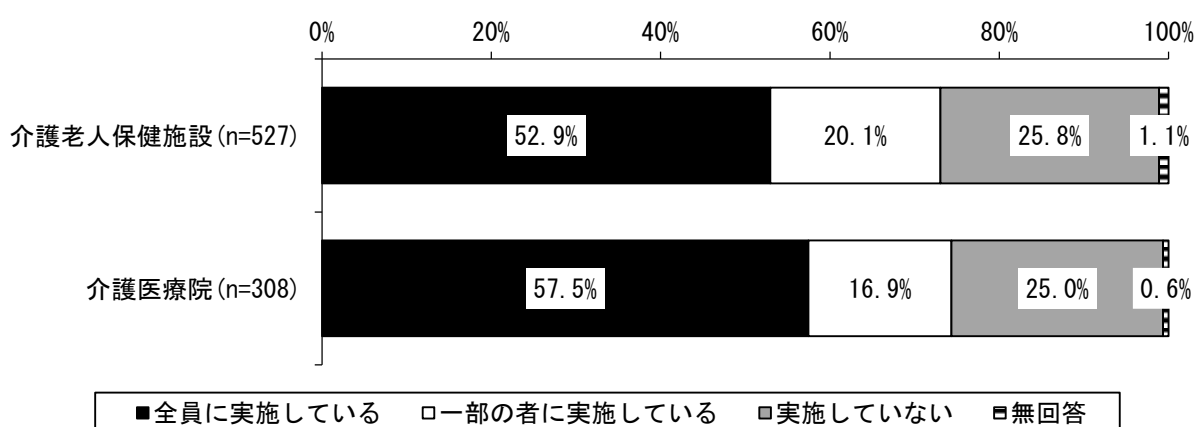
(1) 入所者全員に対する口腔内スクリーニングの実施状況

入所者全員に対する口腔内スクリーニングの実施状況は、介護老人保健施設は、「全員に実施している」が 52.9%、「一部の者に実施している」が 20.1%、「実施していない」が 25.8%であった。

介護医療院は、「全員に実施している」が 57.5%、「一部の者に実施している」が 16.9%、「実施していない」が 25.0%であった。

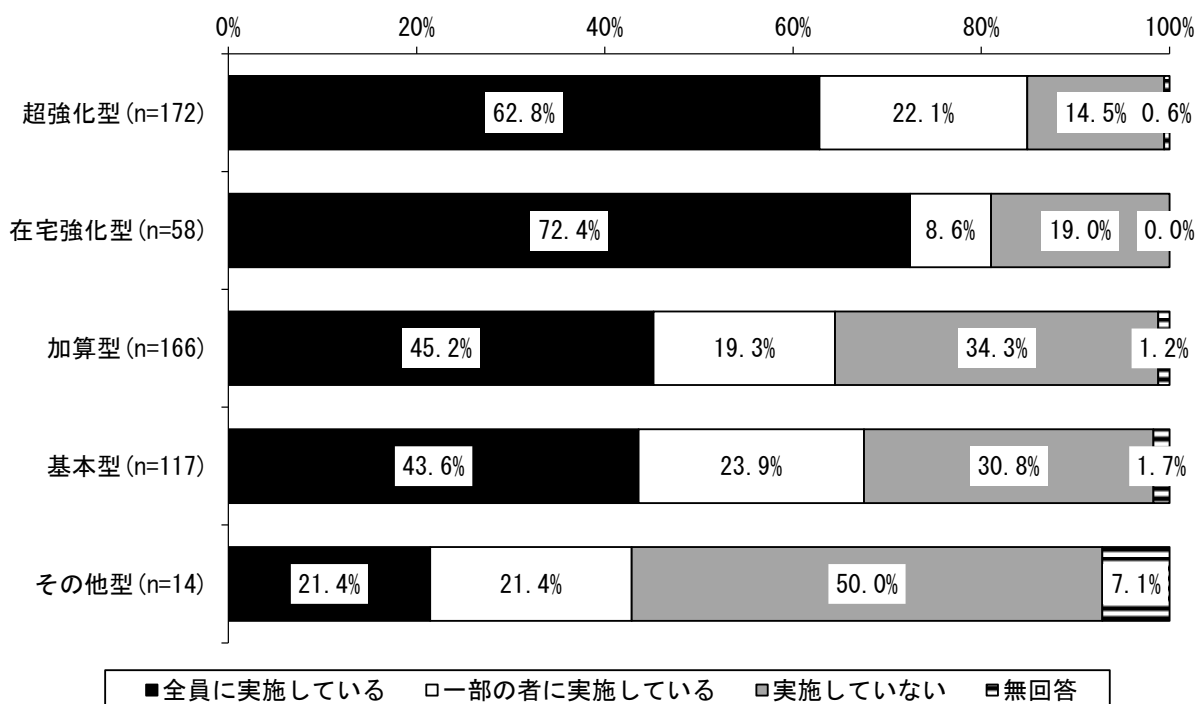
図表 2-2-303 入所者全員に対する口腔内スクリーニングの実施状況

(介護老人保健施設票：問 35／介護医療院票：問 30 1)



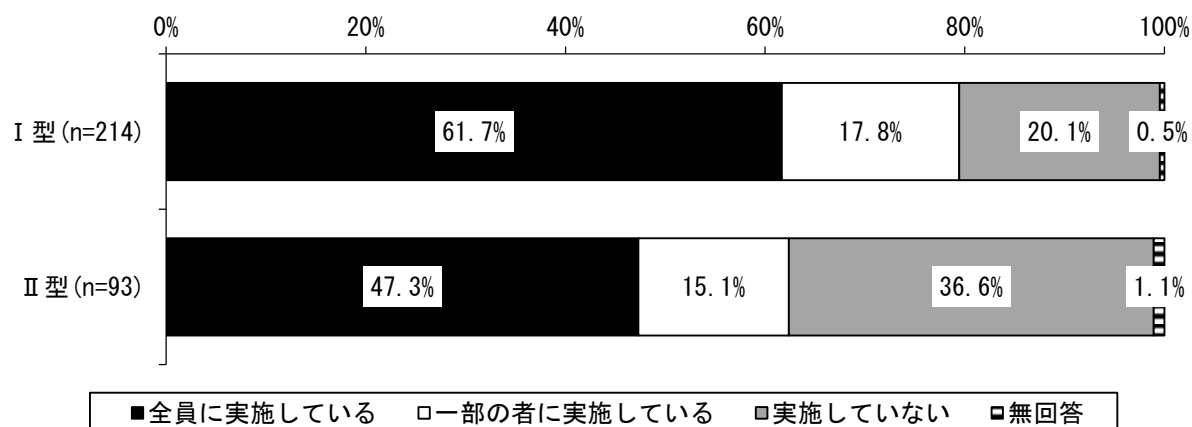
介護老人保健施設は、超強化型では「全員に実施している」が 62.8%、「一部の者に実施している」が 22.1%、「実施していない」が 14.5%であった。在宅強化型では「全員に実施している」が 72.4%、「一部の者に実施している」が 8.6%、「実施していない」が 19.0%であった。加算型では「全員に実施している」が 45.2%、「一部の者に実施している」が 19.3%、「実施していない」が 34.3%であった。基本型では「全員に実施している」が 43.6%、「一部の者に実施している」が 23.9%、「実施していない」が 30.8%であった。

図表 2-2-304 入所者全員に対する口腔内スクリーニングの実施状況
(介護老人保健施設類型別) (問 35)



介護医療院は、I型では「全員に実施している」が61.7%、「一部の者に実施している」が17.8%、「実施していない」が20.1%であった。II型では「全員に実施している」が47.3%、「一部の者に実施している」が15.1%、「実施していない」が36.6%であった。

図表 2-2-305 入所者全員に対する口腔内スクリーニングの実施状況
(介護医療院類型別) (問 30 1))



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

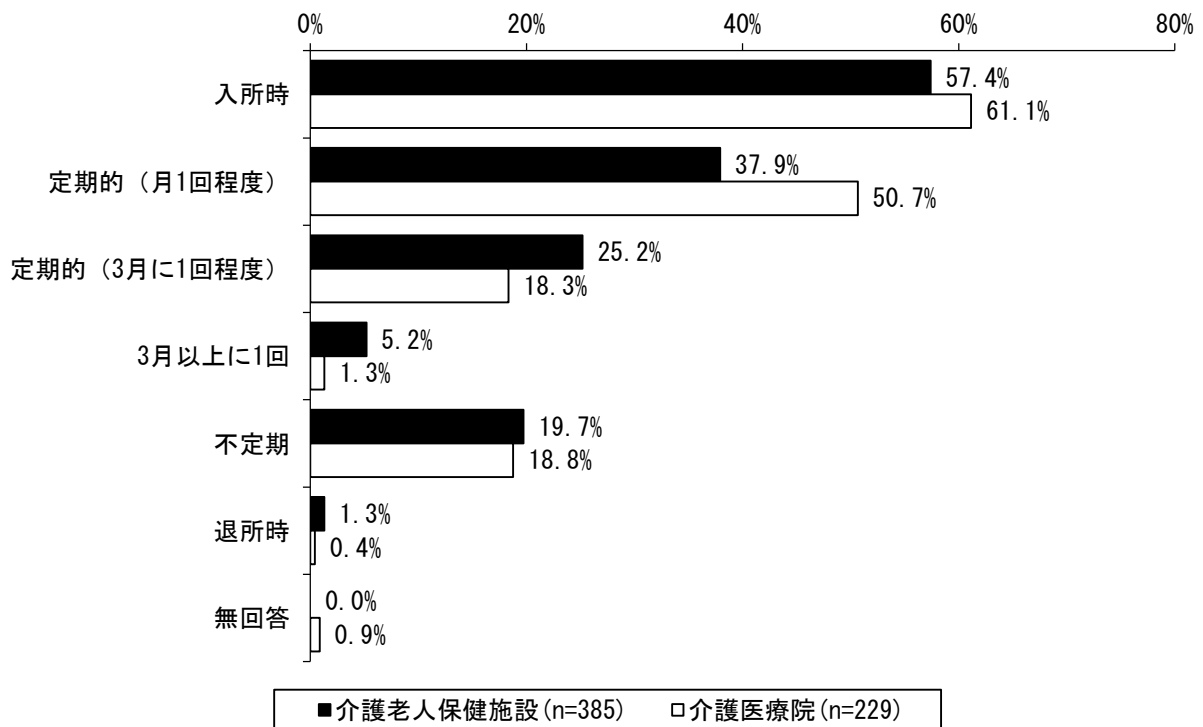
① 実施時期

実施時期は、介護老人保健施設は、「入所時」が 57.4%、「定期的（月 1 回程度）」が 37.9%であった。

介護医療院は、「入所時」が 61.1%、「定期的（月 1 回程度）」が 50.7%であった。

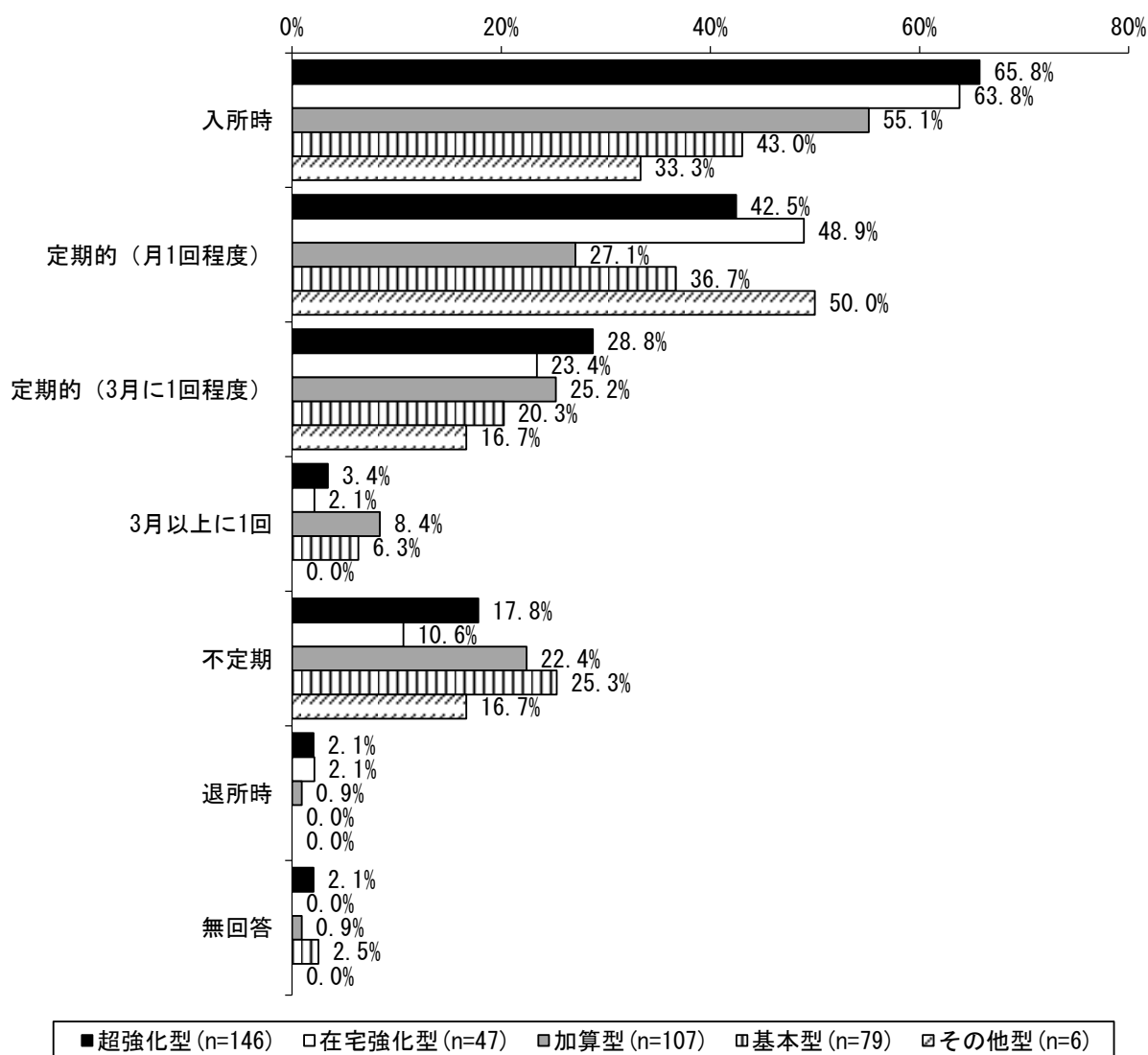
図表 2-2-306 実施時期（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 35 1）①／介護医療院票：問 30 1）①）



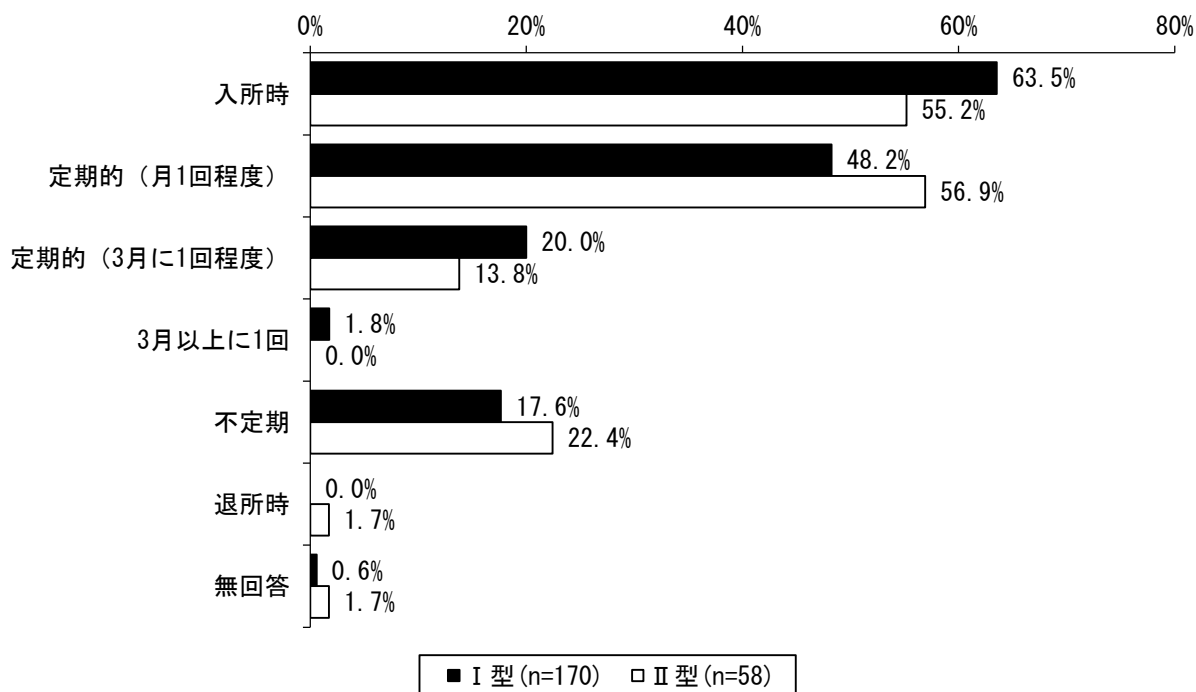
介護老人保健施設は、超強化型では「入所時」が 65.8%、「定期的（月 1 回程度）」が 42.5%であった。在宅強化型では「入所時」が 63.8%、「定期的（月 1 回程度）」が 48.9%であった。加算型では「入所時」が 55.1%であった。基本型では「入所時」が 43.0%であった。

図表 2-2-307 実施時期（複数回答）（介護老人保健施設類型別）（問 35 1）①



介護医療院は、Ⅰ型では「入所時」が63.5%、「定期的（月1回程度）」が48.2%であった。Ⅱ型では「定期的（月1回程度）」が56.9%、「入所時」が55.2%であった。

図表 2-2-308 実施時期（複数回答）（介護医療院類型別）（問 30 1）①



※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

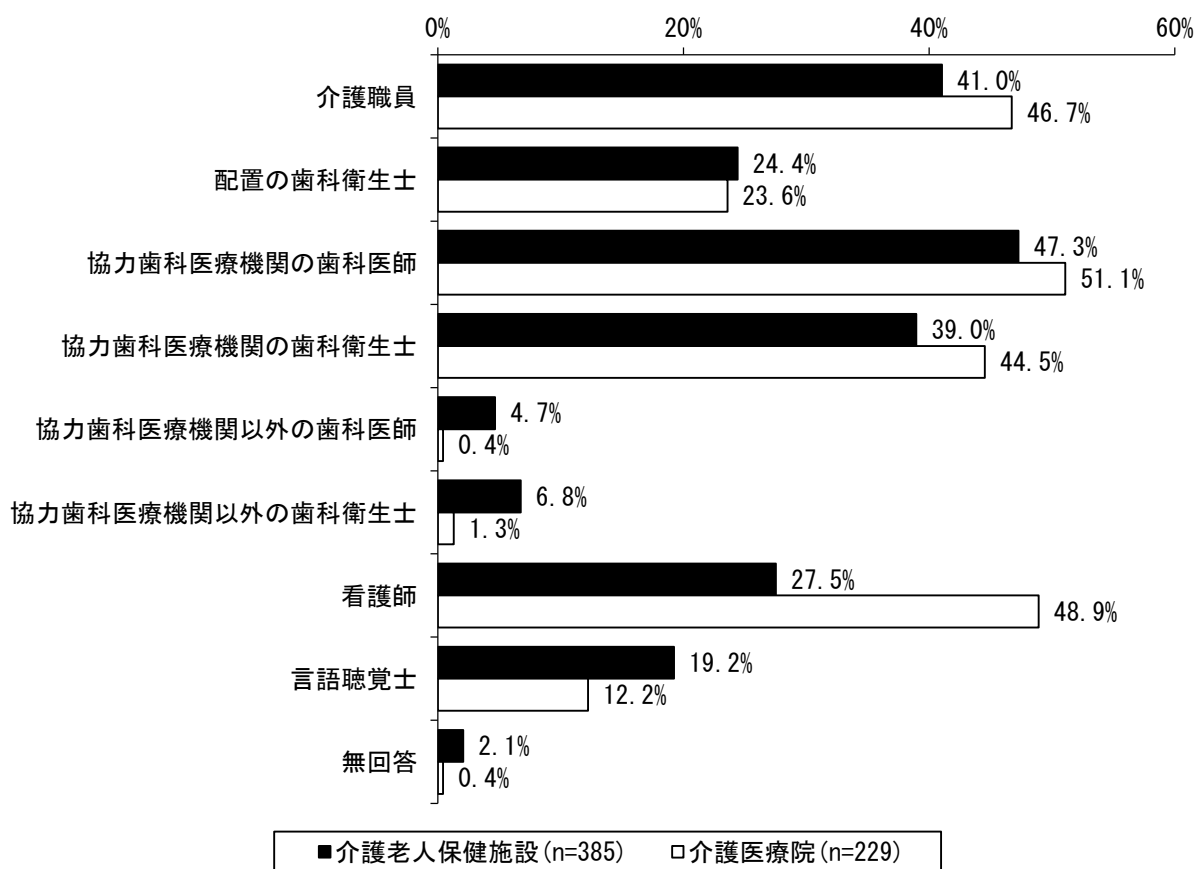
② 実施している職種

実施している職種は、介護老人保健施設は、「協力歯科医療機関の歯科医師」が 47.3%、「介護職員」が 41.0%、「協力歯科医療機関の歯科衛生士」が 39.0%であった。

介護医療院は、「協力歯科医療機関の歯科医師」が 51.1%、「看護師」が 48.9%、「介護職員」が 46.7%、「協力歯科医療機関の歯科衛生士」が 44.5%であった。

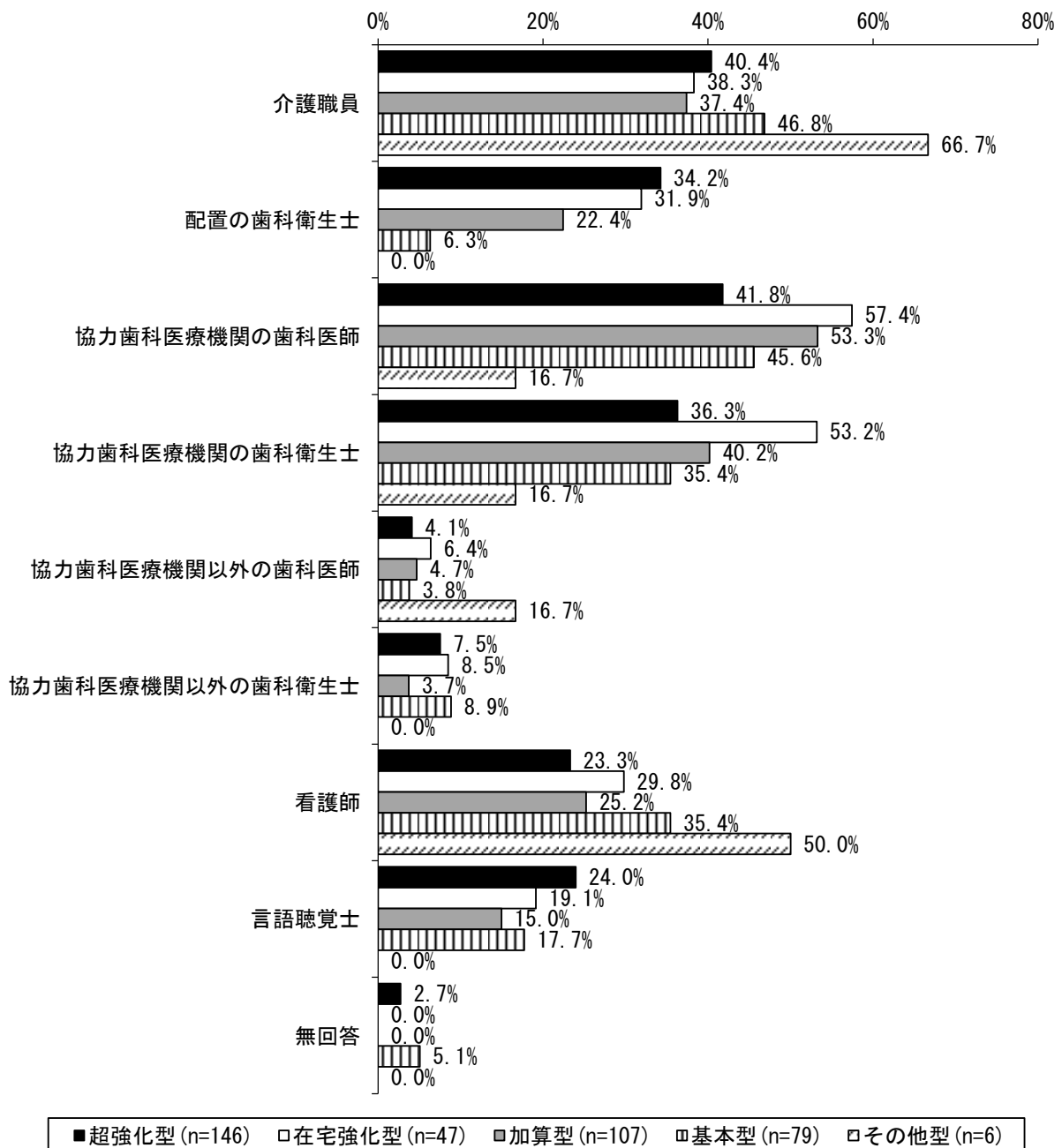
図表 2-2-309 実施している職種（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 35 1）②／介護医療院票：問 30 1）②）



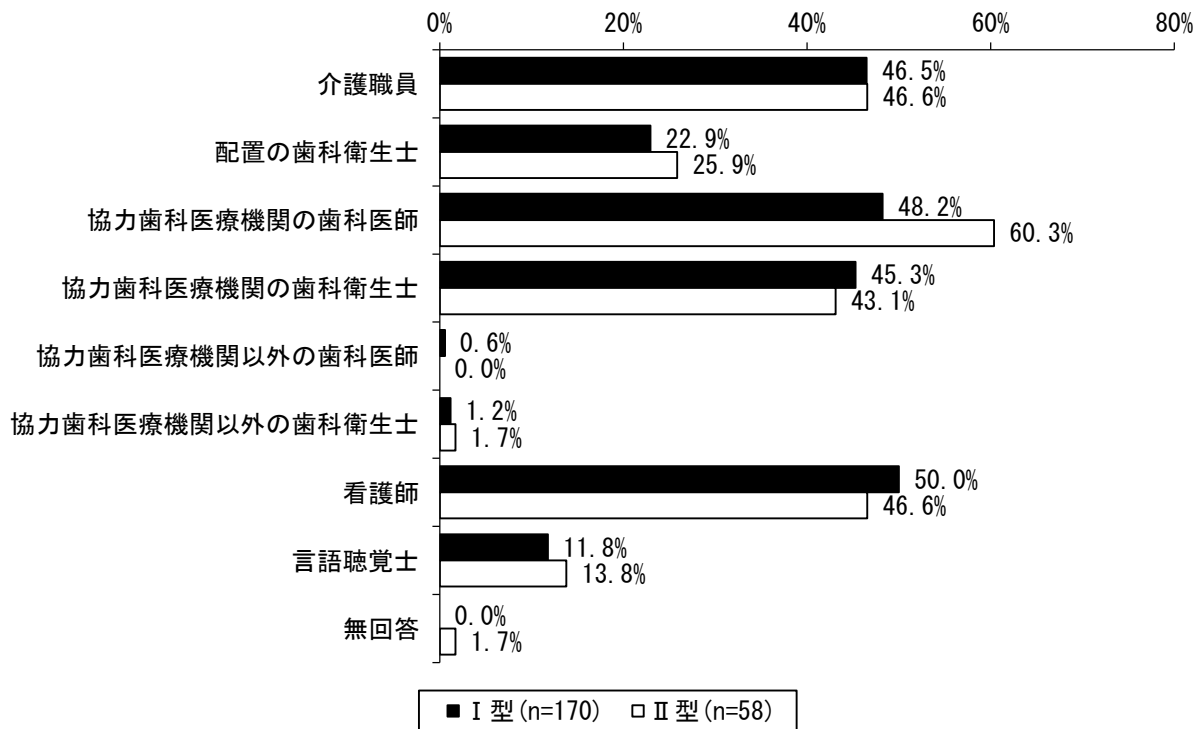
介護老人保健施設は、超強化型では「協力歯科医療機関の歯科医師」が41.8%、「介護職員」が40.4%であった。在宅強化型では「協力歯科医療医機関の歯科医師」が57.4%、「協力歯科医療機関の歯科衛生士」が53.2%であった。加算型では「協力歯科医療医機関の歯科医師」が53.3%、「協力歯科医療機関の歯科衛生士」が40.2%であった。基本型では「介護職員」が46.8%、「協力歯科医療医機関の歯科医師」が45.6%であった。

図表 2-2-310 実施している職種（複数回答）（介護老人保健施設類型別）（問 35 1）②



介護医療院は、I型では「看護師」が50.0%、「協力歯科医療機関の歯科医師」が48.2%、「介護職員」が46.5%であった。II型では「協力歯科医療機関の歯科医師」が60.3%、「介護職員」「看護師」がいずれも46.6%、「協力歯科医療機関の歯科衛生士」が43.1%であった。

図表 2-2-311 実施している職種（複数回答）（介護医療院類型別）（問 30 1）②



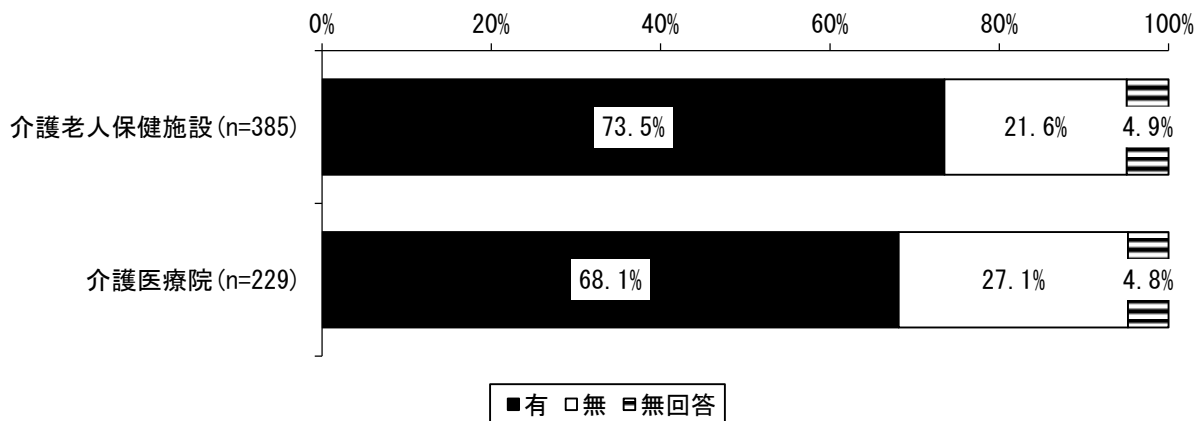
※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

③ 実施の際の歯科医師の指示の有無

実施の際の歯科医師の指示の有無は、介護老人保健施設は、「有」が 73.5%、「無」が 21.6%であった。

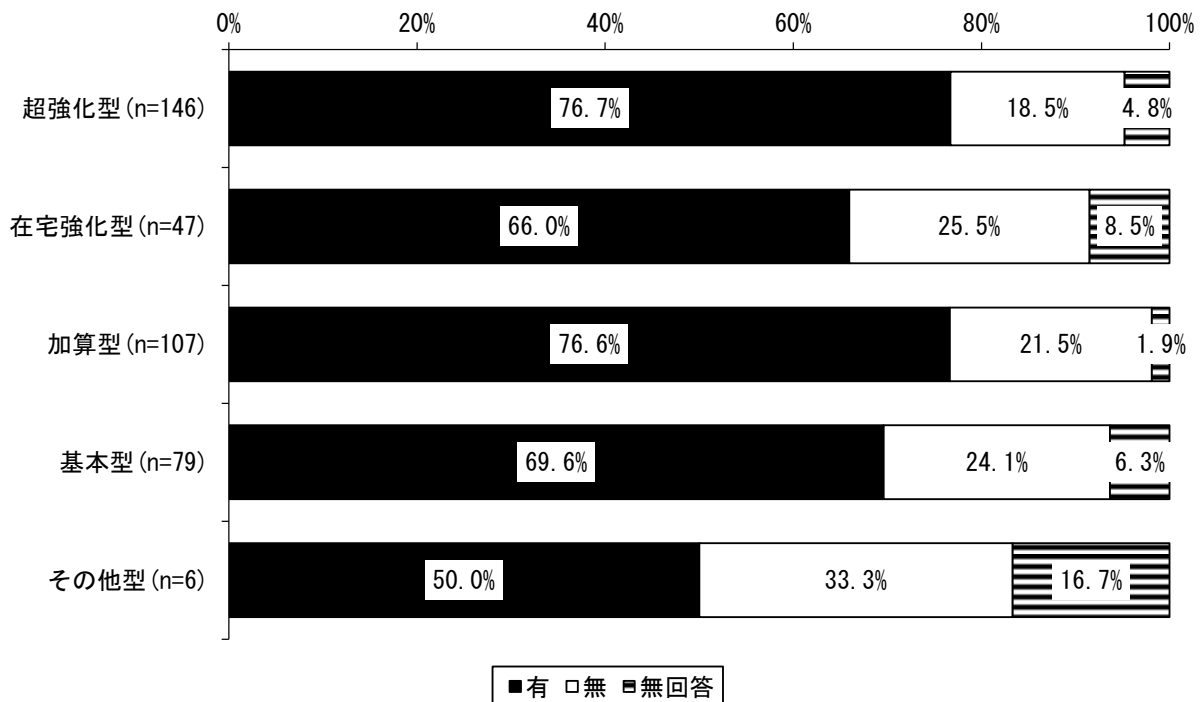
介護医療院は、「有」が 68.1%、「無」が 27.1%であった。

図表 2-2-312 実施の際の歯科医師の指示の有無
(介護老人保健施設票：問 35 1) ③ / 介護医療院票：問 30 1) ③)



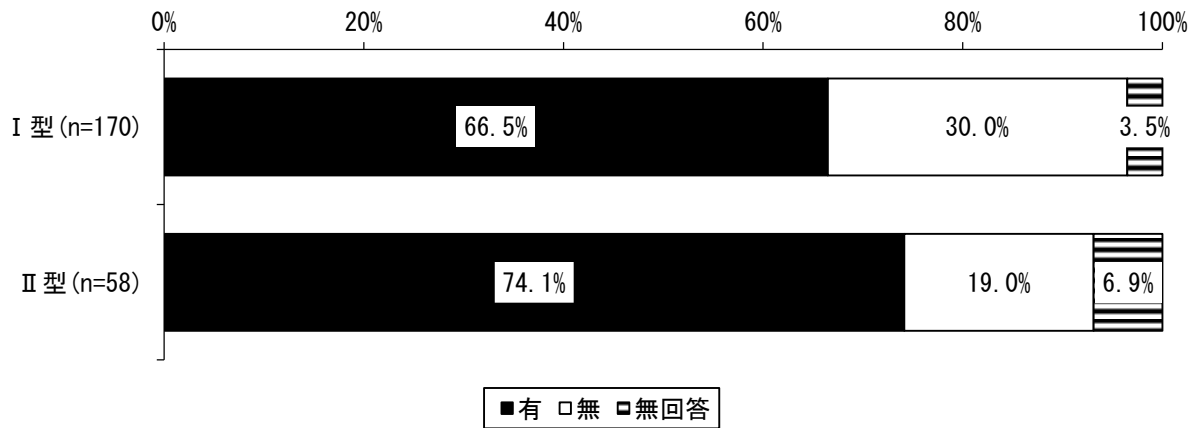
介護老人保健施設は、超強化型では「有」が 76.7%、在宅強化型では 66.0%、加算型では 76.6%、基本型では 69.6%であった。

図表 2-2-313 実施の際の歯科医師の指示の有無
(介護老人保健施設類型別) (問 35 1) ③)



介護医療院は、I型では「有」が66.5%、「無」が30.0%であった。II型では「有」が74.1%、「無」が19.0%であった。

図表 2-2-314 実施の際の歯科医師の指示の有無
(介護医療院類型別) (問 30 1) ③)



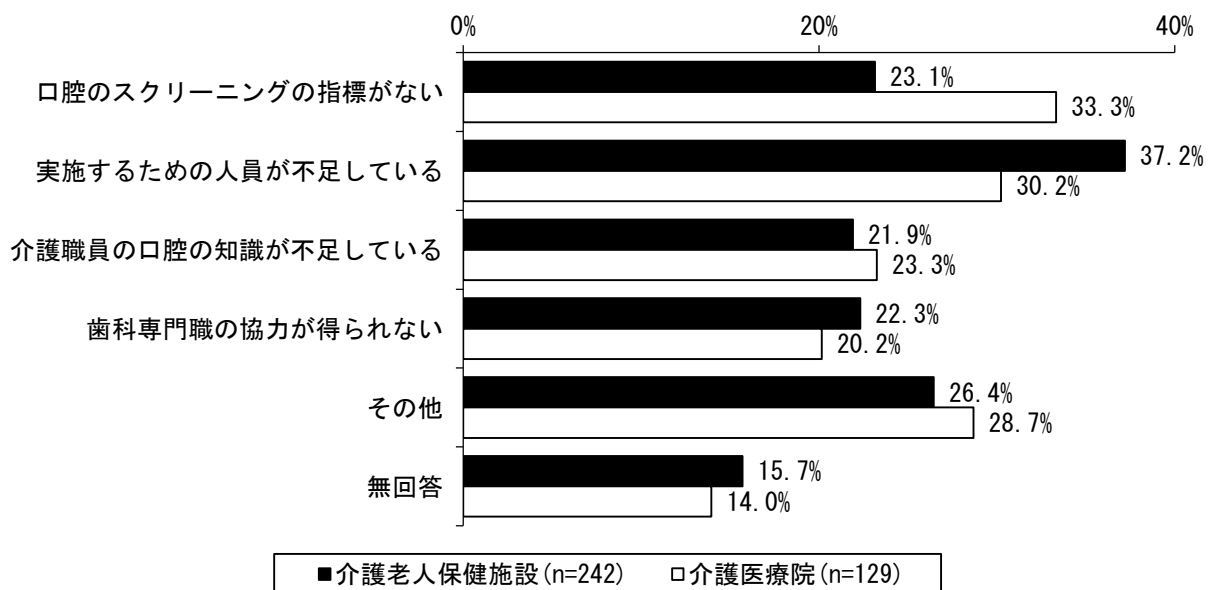
※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

④ 実施していない人がいる理由

実施していない人がいる理由は、介護老人保健施設は「実施するための人員が不足している」が37.2%であった。

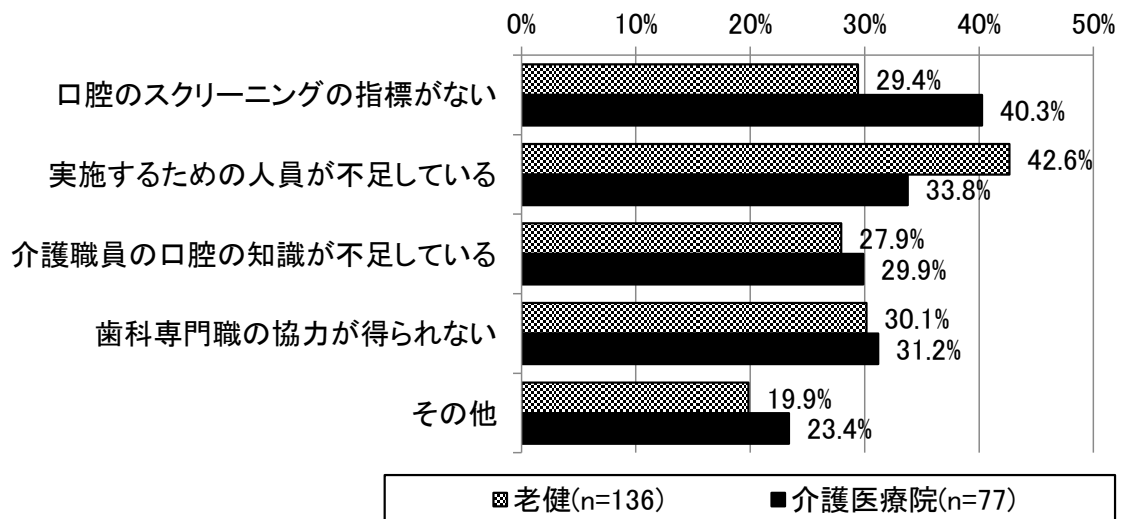
介護医療院は、「口腔のスクリーニングの指標がない」が33.3%、「実施するための人員が不足している」が30.2%であった。

図表 2-2-315 実施していない人がいる理由 (複数回答)
(介護老人保健施設票：問 35 1) ④ / 介護医療院票：問 30 1) ④)



口腔内スクリーニングを実施していない場合の理由は、介護老人保健施設では「実施するための人員が不足している」が42.6%、介護医療院では「口腔のスクリーニングの指標がない」が40.3%であった。

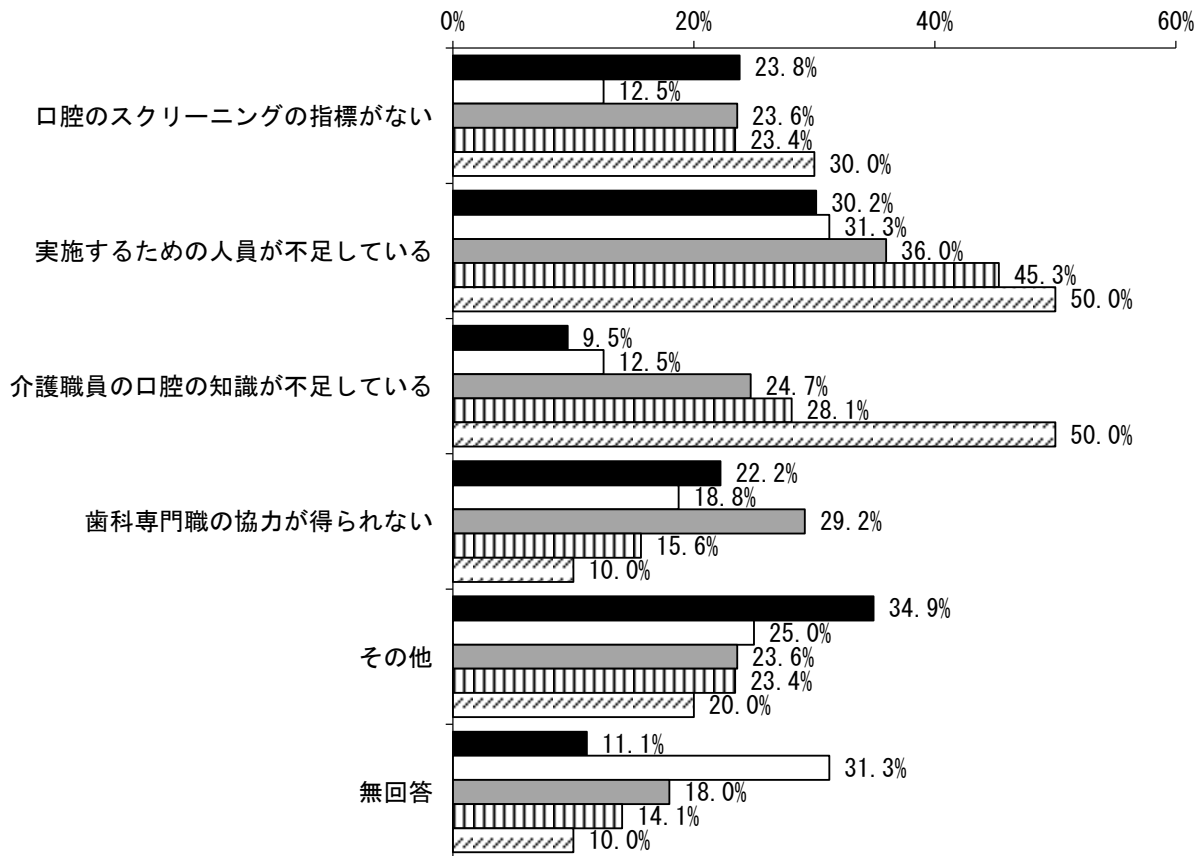
図表 2-2-316 (実施していない場合) 口腔内のスクリーニングを実施していない理由
(複数回答) (介護老人保健施設票：問 35 1) ④ / 介護医療院票：問 30 1) ④)



介護老人保健施設は、超強化型では「その他」が 34.9%、「実施するための人員が不足している」が 30.2%であった。在宅強化型では「実施するための人員が不足している」が 31.3%であった。加算型では「実施するための人員が不足している」が 36.0%、「歯科専門職の協力が得られない」が 29.2%であった。基本型では「実施するための人員が不足している」が 45.3%、「介護職員の口腔の知識が不足している」が 28.1%であった。

図表 2-2-317 実施していない人がいる理由（複数回答）

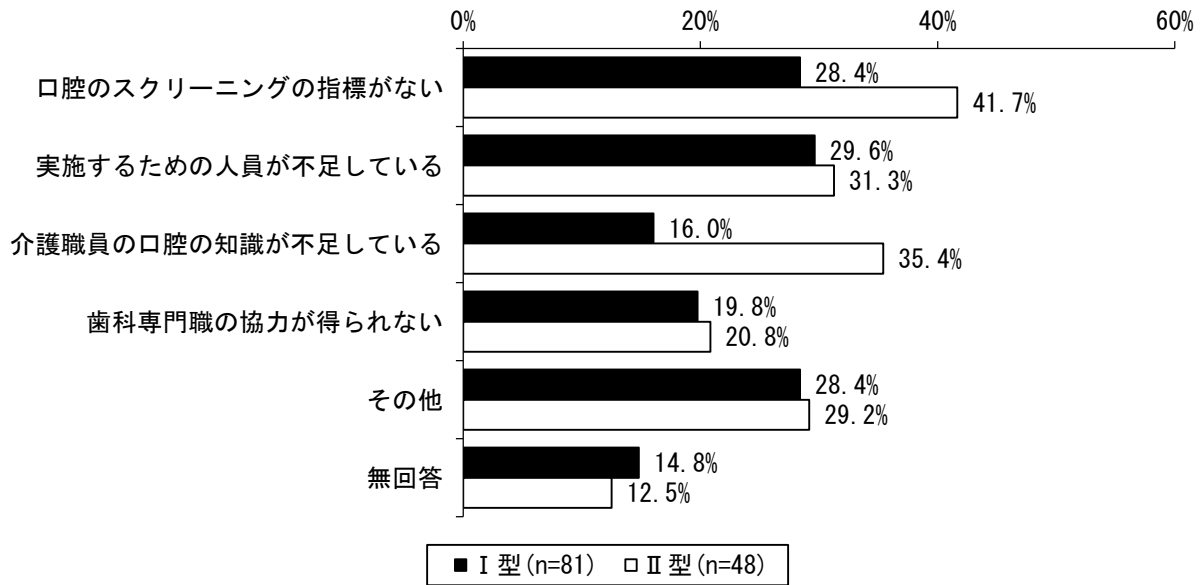
（介護老人保健施設類型別）（問 35 1）④



■超強化型 (n=63) □在宅強化型 (n=16) ▣加算型 (n=89) □基本型 (n=64) □その他型 (n=10)

介護医療院は、Ⅰ型では「実施するための人員が不足している」が 29.6%、「口腔スクリーニングの指標がない」「その他」がいずれも 28.4%であった。Ⅱ型では「口腔スクリーニングの指標がない」が 41.7%、「介護職員の口腔の知識が不足している」が 35.4%、「実施するための人員が不足している」が 31.3%であった。

図表 2-2-318 実施していない人がいる理由（複数回答）（介護医療院類型別）（問 30 1）④



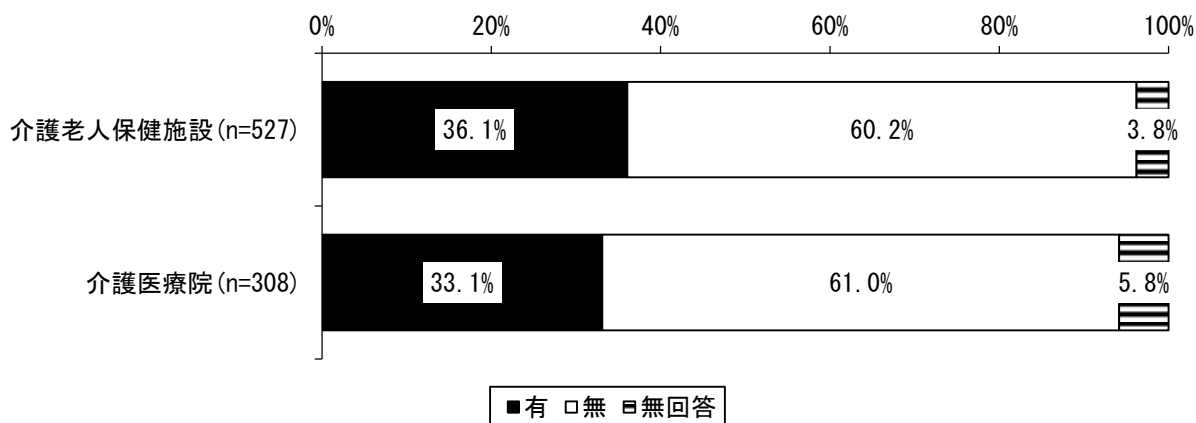
※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

(2) 口腔衛生管理加算算定の有無（2023年6月）

口腔衛生管理加算算定の有無は、介護老人保健施設は、「有」が36.1%、「無」が60.2%であった。

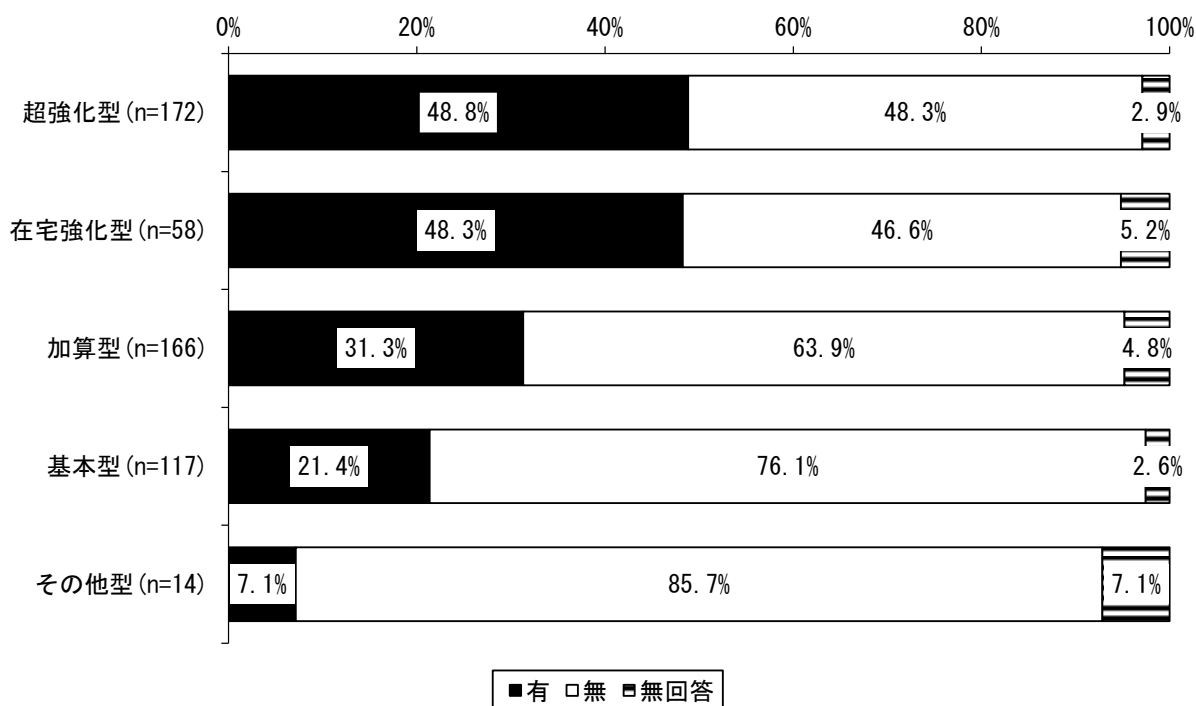
介護医療院は、「有」が33.1%、「無」が61.0%であった。

図表 2-2-319 口腔衛生管理加算算定の有無（2023年6月）
（介護老人保健施設票：問352）／介護医療院票：問302）



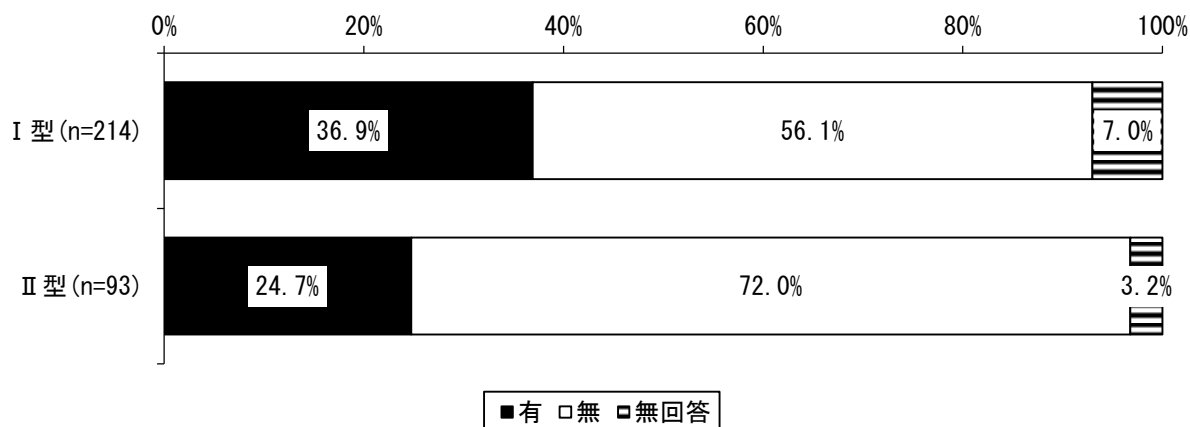
介護老人保健施設は、超強化型では「有」が48.8%、「無」が48.3%であった。在宅強化型では「有」が48.3%、「無」が46.6%であった。加算型では「有」が31.3%、「無」が63.9%であった。基本型では「有」が21.4%、「無」が76.1%であった。

図表 2-2-320 口腔衛生管理加算算定の有無（2023年6月）
（介護老人保健施設類型別）（問352）



介護医療院は、I型では「有」が36.9%、「無」が56.1%であった。II型では「有」が24.7%、「無」が72.0%であった。

図表 2-2-321 口腔衛生管理加算算定の有無（2023年6月）
（介護医療院類型別）（問302）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

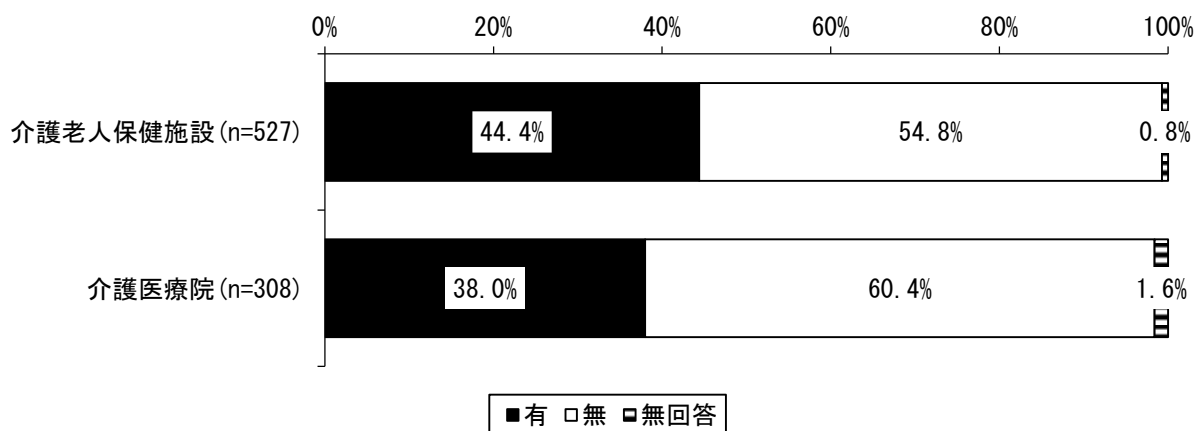
(3) 栄養マネジメント強化加算の算定状況（2023年6月）

① 栄養マネジメント強化加算の算定状況（2023年6月）

2023年6月の栄養マネジメント強化加算の算定状況は、介護老人保健施設は、「有」が44.4%、「無」が54.8%であった。

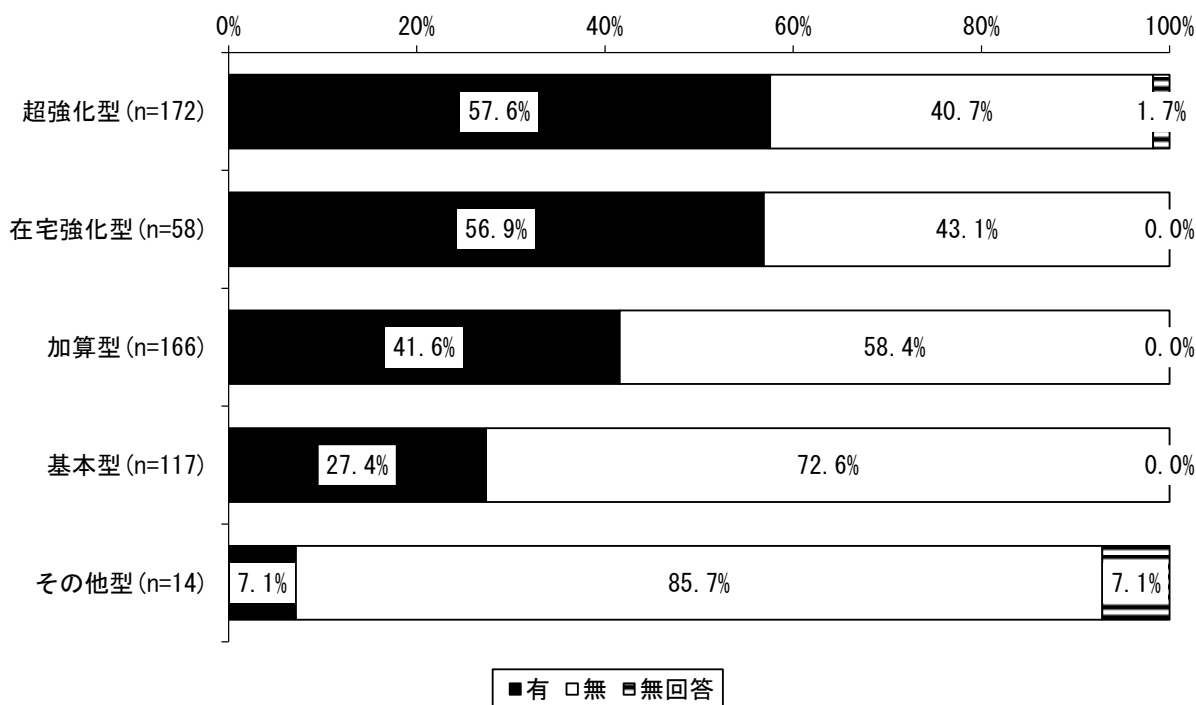
介護医療院は、「有」が38.0%、「無」が60.4%であった。

図表 2-2-322 栄養マネジメント強化加算の算定状況（2023年6月）
（介護老人保健施設票：問36／介護医療院票：問31）



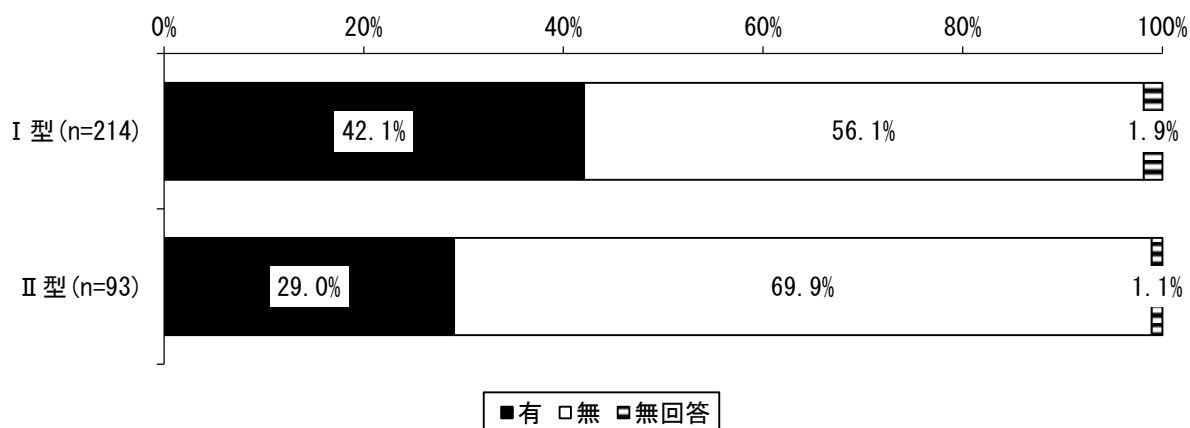
介護老人保健施設は、超強化型では「有」が 57.6%、「無」が 40.7%であった。在宅強化型では「有」が 56.9%、「無」が 43.1%であった。加算型では「有」が 41.6%、「無」が 58.4%であった。基本型では「有」が 27.4%、「無」が 72.6%であった。

図表 2-2-323 栄養マネジメント強化加算の算定状況（2023年6月）
（介護老人保健施設類型別）（問 36）



介護医療院は、I型では「有」が 42.1%、「無」が 56.1%であった。II型では「有」が 29.0%、「無」が 69.9%であった。

図表 2-2-324 栄養マネジメント強化加算の算定状況（2023年6月）
（介護医療院票類型別）（問 31）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

2023年6月の栄養マネジメント強化加算の算定件数は、介護老人保健施設は平均240.5件、介護医療院は平均46.0件であった。

図表 2-2-325 栄養マネジメント強化加算の算定件数（2023年6月）

（介護老人保健施設票：問36／介護医療院票：問31）

	件数	平均値（件）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	218	240.5	585.7	85.0
超強化型	90	358.9	725.2	90.0
在宅強化型	31	166.9	500.6	88.0
加算型	64	202.8	526.5	86.5
基本型	32	59.6	33.7	57.5
その他型	1	68.0	-	68.0
介護医療院	113	46.0	34.8	43.0
I型	87	48.1	36.6	43.0
II型	26	39.0	27.6	38.5

※介護医療院の類型別はI型・II型ともに届出をしている1施設を除く

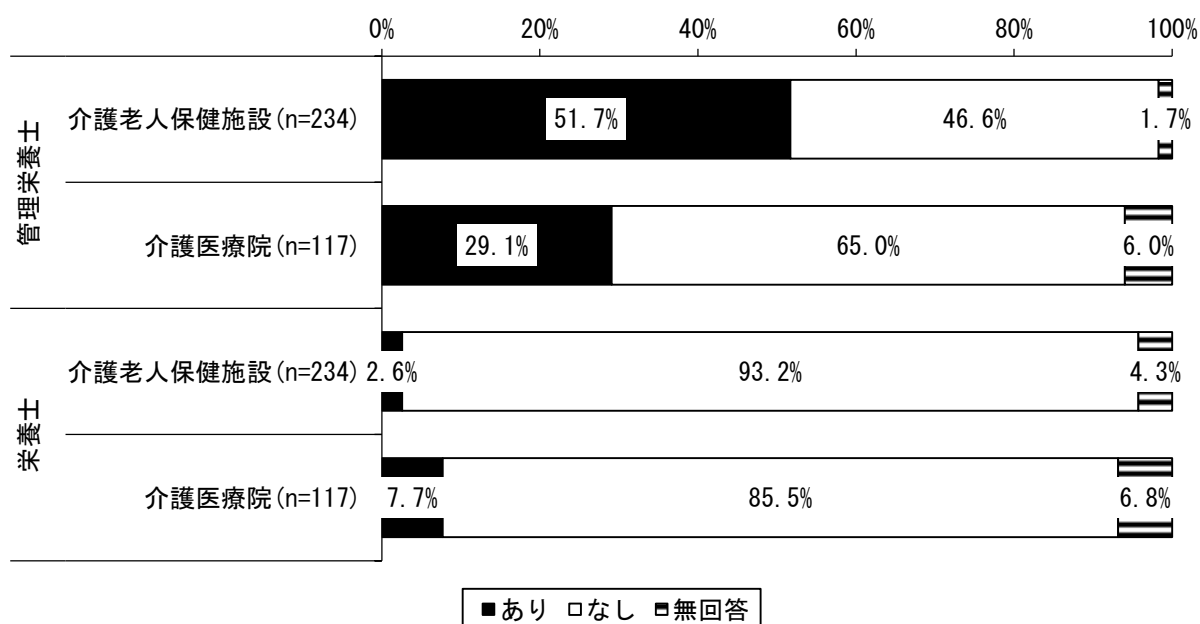
② 新規採用した管理栄養士および栄養士の人数

管理栄養士の新規採用は、介護老人保健施設は、「あり」が51.7%、「なし」が46.6%であった。介護医療院は、「あり」が29.1%、「なし」が65.0%であった。

栄養士の新規採用は、介護老人保健施設は、「あり」が2.6%、「なし」が93.2%であった。介護医療院は、「あり」が7.7%、「なし」が85.5%であった。

図表 2-2-326 新規採用した管理栄養士および栄養士の有無

（介護老人保健施設票：問36 1 1）・2）／介護医療院票：問31 1 1）・2）

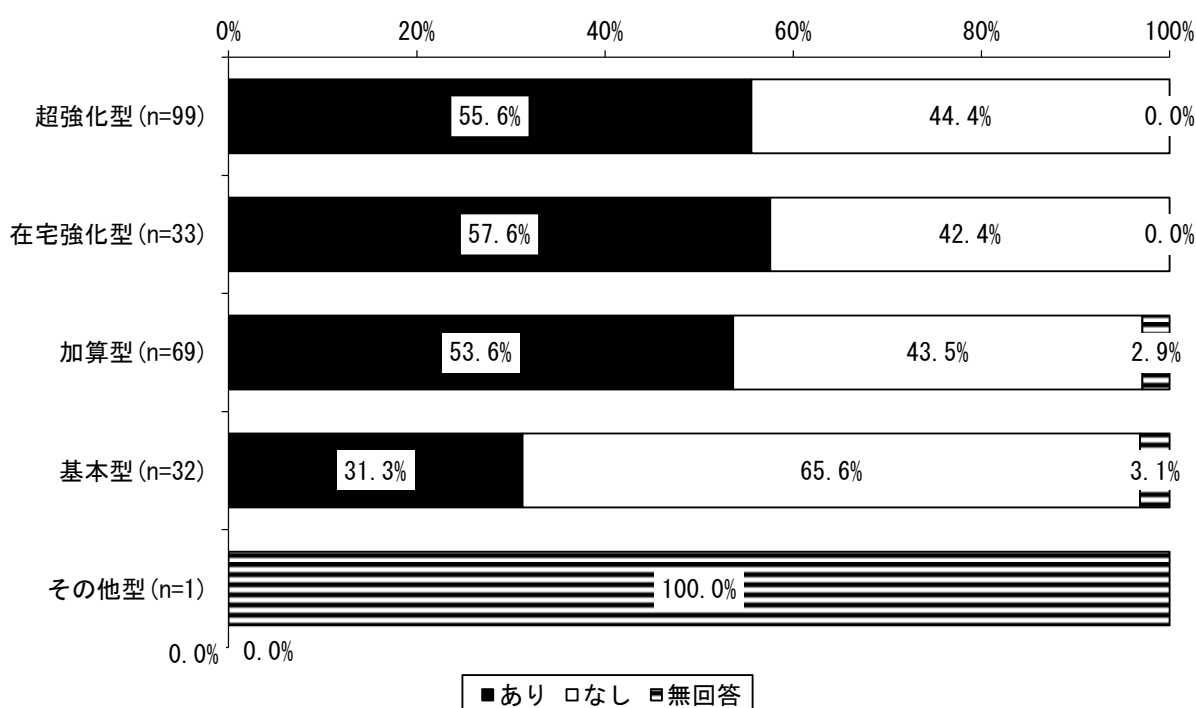


管理栄養士の介護老人保健施設の施設類型別の新規採用は、超強化型では「あり」が55.6%、「なし」が44.4%であった。在宅強化型では「あり」が57.6%、「なし」が42.4%であった。加算型では「あり」が53.6%、「なし」が43.5%であった。基本型では「あり」が31.3%、「なし」が65.6%であった。

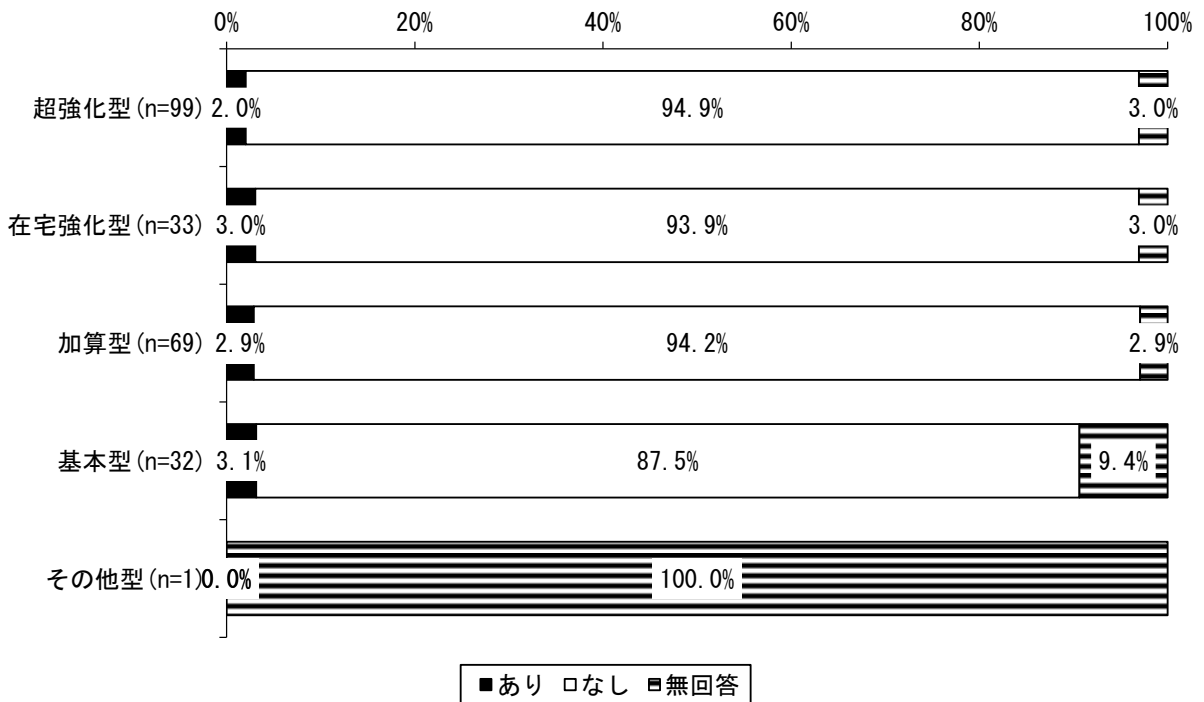
栄養士の介護老人保健施設の施設類型別の新規採用は、超強化型では「あり」が2.0%、「なし」が94.9%であった。在宅強化型では「あり」が3.0%、「なし」が93.9%であった。加算型では「あり」が2.9%、「なし」が94.2%であった。基本型では「あり」が3.1%、「なし」が87.5%であった。

図表 2-2-327 新規採用した管理栄養士および栄養士の有無－管理栄養士－
(介護老人保健施設類型別) (問 36 1 1)・2)

【管理栄養士】



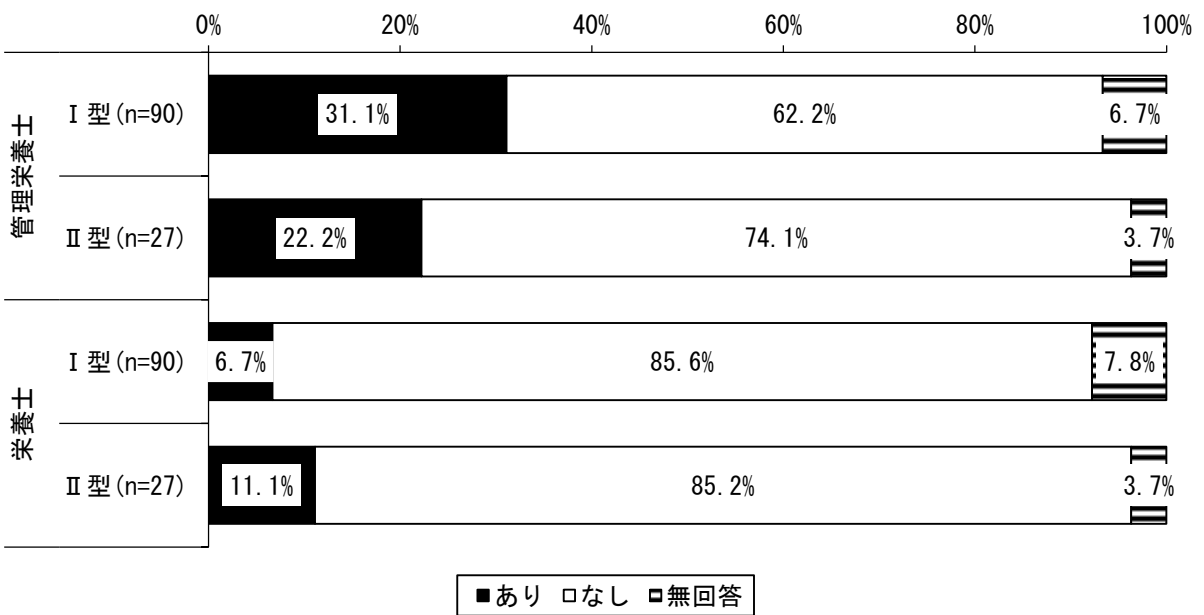
【栄養士】



管理栄養士の介護医療院の類型別の新規採用の有無は、I型では「あり」が31.1%、「なし」が62.2%であった。II型では「あり」が22.2%、「なし」が74.1%であった。

栄養士の介護医療院の類型別の新規採用の有無は、I型では「あり」が6.7%、「なし」が85.6%であった。II型では「あり」が11.1%、「なし」が85.2%であった。

図表 2-2-328 新規採用した管理栄養士および栄養士の有無
(介護医療院票類型別) (問 31 1 1)・2)



管理栄養士の新規採用人数は、介護老人保健施設は平均 0.7 人、介護医療院は平均 0.3 人であった。栄養士の新規採用人数は、介護老人保健施設は平均 0.0 人、介護医療院は平均 0.1 人であった。

図表 2-2-329 新規採用した管理栄養士および栄養士の人数
(介護老人保健施設票：問 36 1 1)・2)／介護医療院票：問 31 1 1)・2))

		件数	平均値(人)	標準偏差	中央値
管理 栄養士	介護老人保健施設	230	0.7	0.8	0.7
	超強化型	99	0.7	0.7	1.0
	在宅強化型	33	0.7	0.7	1.0
	加算型	67	0.7	0.8	0.7
	基本型	31	0.5	0.8	0.0
	その他型	0	-	-	-
	介護医療院	110	0.3	0.5	0.0
I 型	84	0.3	0.5	0.0	
II 型	26	0.2	0.5	0.0	
栄養士	介護老人保健施設	224	0.0	0.2	0.0
	超強化型	96	0.0	0.1	0.0
	在宅強化型	32	0.0	0.2	0.0
	加算型	67	0.0	0.2	0.0
	基本型	29	0.0	0.2	0.0
	その他型	0	-	-	-
	介護医療院	109	0.1	0.3	0.0
	I 型	83	0.1	0.3	0.0
	II 型	26	0.1	0.3	0.0

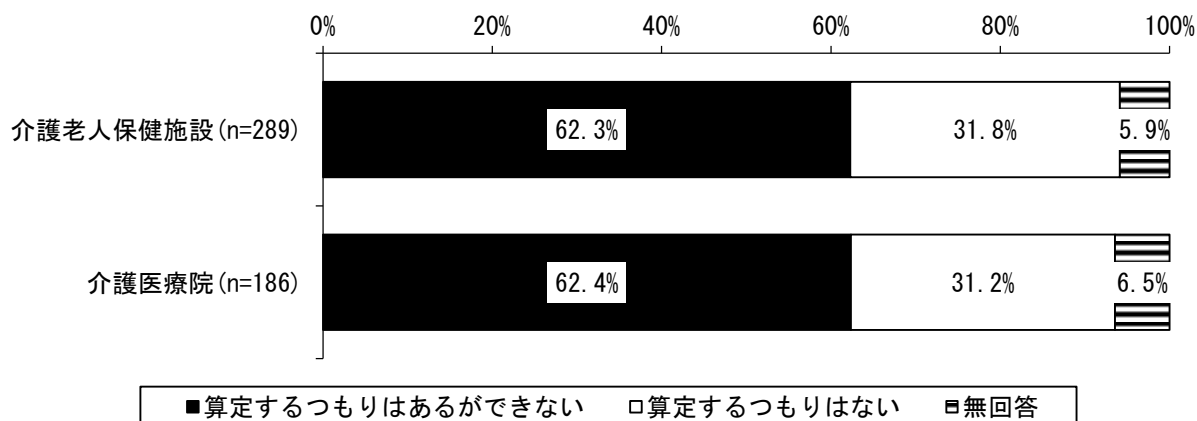
※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

③ 栄養マネジメント強化加算を算定する意向

栄養マネジメント強化加算を算定する意向は、介護老人保健施設は、「算定するつもりはあるができない」が 62.3%、「算定するつもりはない」が 31.8%であった。

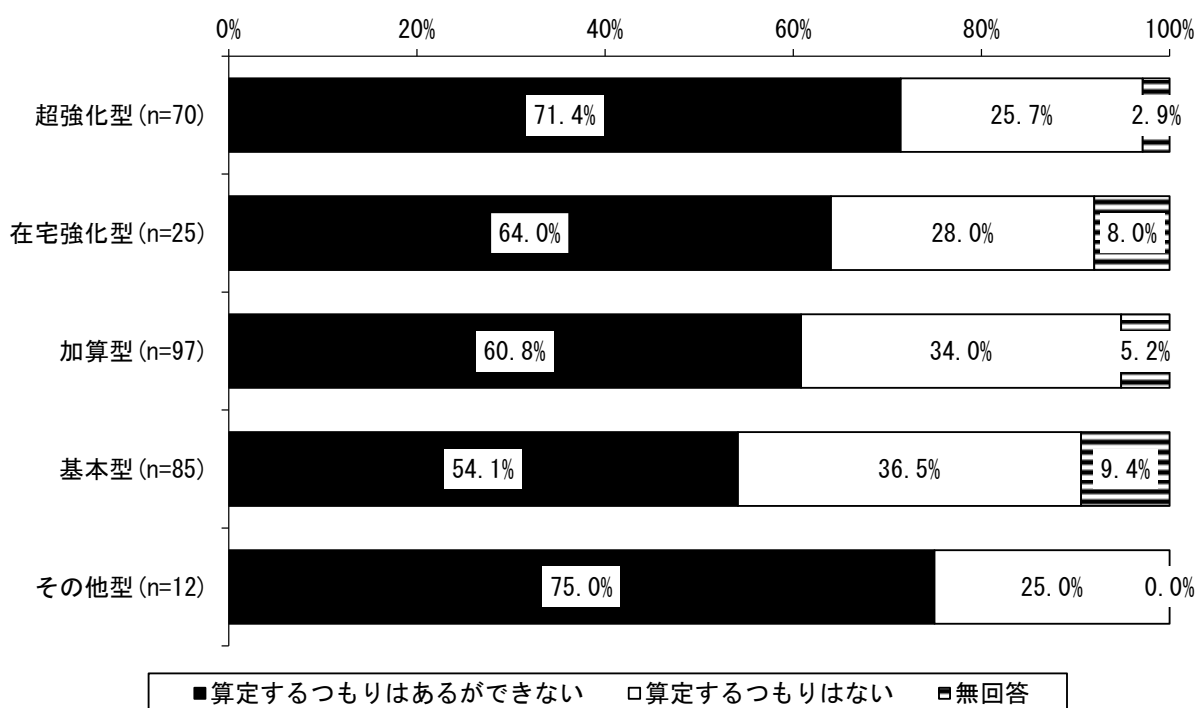
介護医療院は、「算定するつもりはあるができない」が 62.4%、「算定するつもりはない」が 31.2%であった。

図表 2-2-330 栄養マネジメント強化加算を算定する意向
(介護老人保健施設票：問 36 2 1) / 介護医療院票：問 31 2 1))



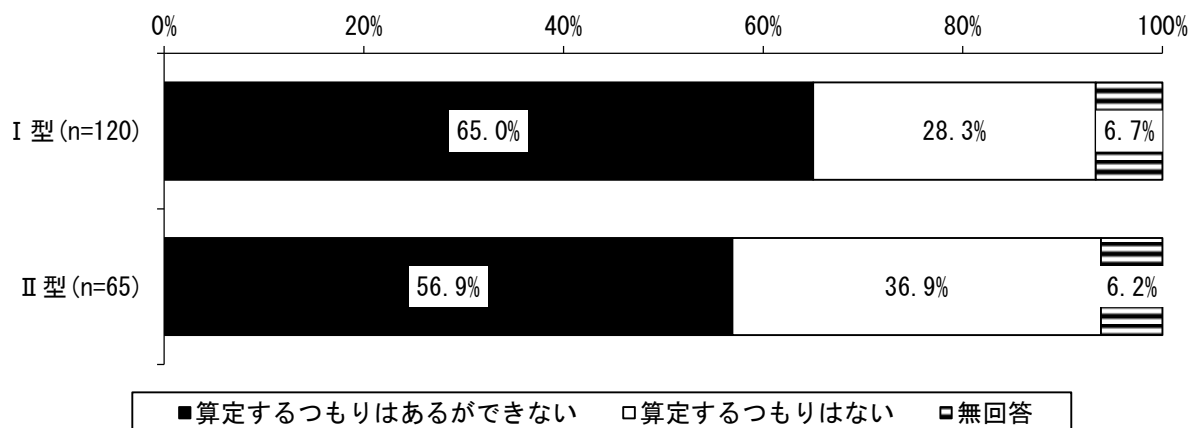
介護老人保健施設は、超強化型では「算定するつもりはあるができない」が 71.4%、「算定するつもりはない」が 25.7%であった。在宅強化型では「算定するつもりはあるができない」が 64.0%、「算定するつもりはない」が 28.0%であった。加算型では「算定するつもりはあるができない」が 60.8%、「算定するつもりはない」が 34.0%であった。基本型では「算定するつもりはあるができない」が 54.1%、「算定するつもりはない」が 36.5%であった。

図表 2-2-331 栄養マネジメント強化加算を算定する意向
(介護老人保健施設類型別) (問 36 2 1))



介護医療院は、I型では「算定するつもりはあるができない」が65.0%、「算定するつもりはない」が28.3%であった。II型では「算定するつもりはあるができない」が56.9%、「算定するつもりはない」が36.9%であった。

図表 2-2-332 栄養マネジメント強化加算を算定する意向
(介護医療院類型別) (問 31 2 1))



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

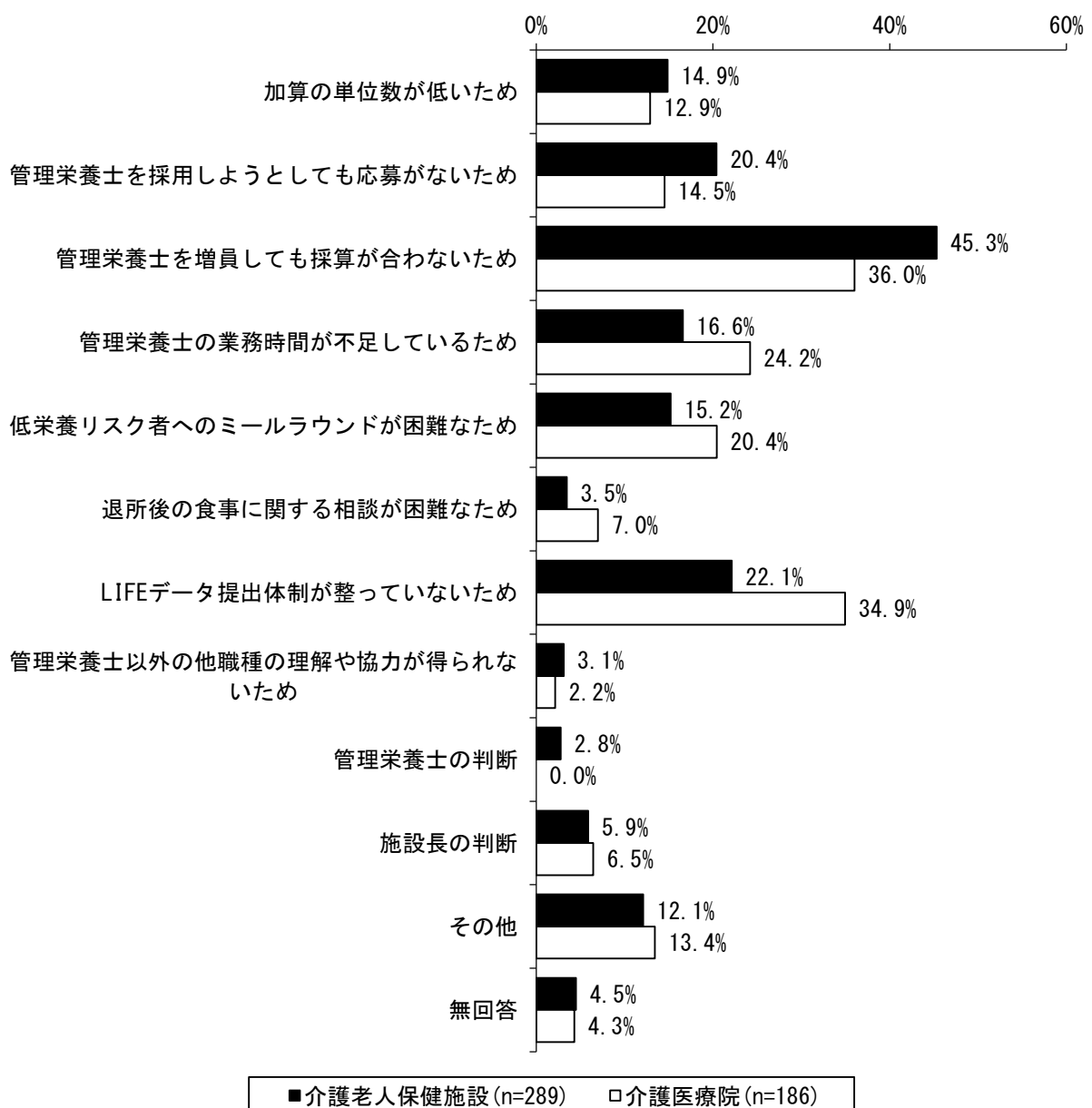
④ 栄養マネジメント強化加算を算定しない具体的な理由

栄養マネジメント強化加算を算定しない具体的な理由は、介護老人保健施設は、「管理栄養士を増員しても採算が合わないため」が 45.3%、「LIFE データ提出体制が整っていないため」が 22.1%、「管理栄養士を採用しようとしても応募がないため」が 20.4%であった。

介護医療院は、「管理栄養士を増員しても採算が合わないため」が 36.0%、「LIFE データ提出体制が整っていないため」が 34.9%、「管理栄養士の業務時間が不足しているため」が 24.2%、「低栄養リスク者へのミールラウンドが困難なため」が 20.4%であった。

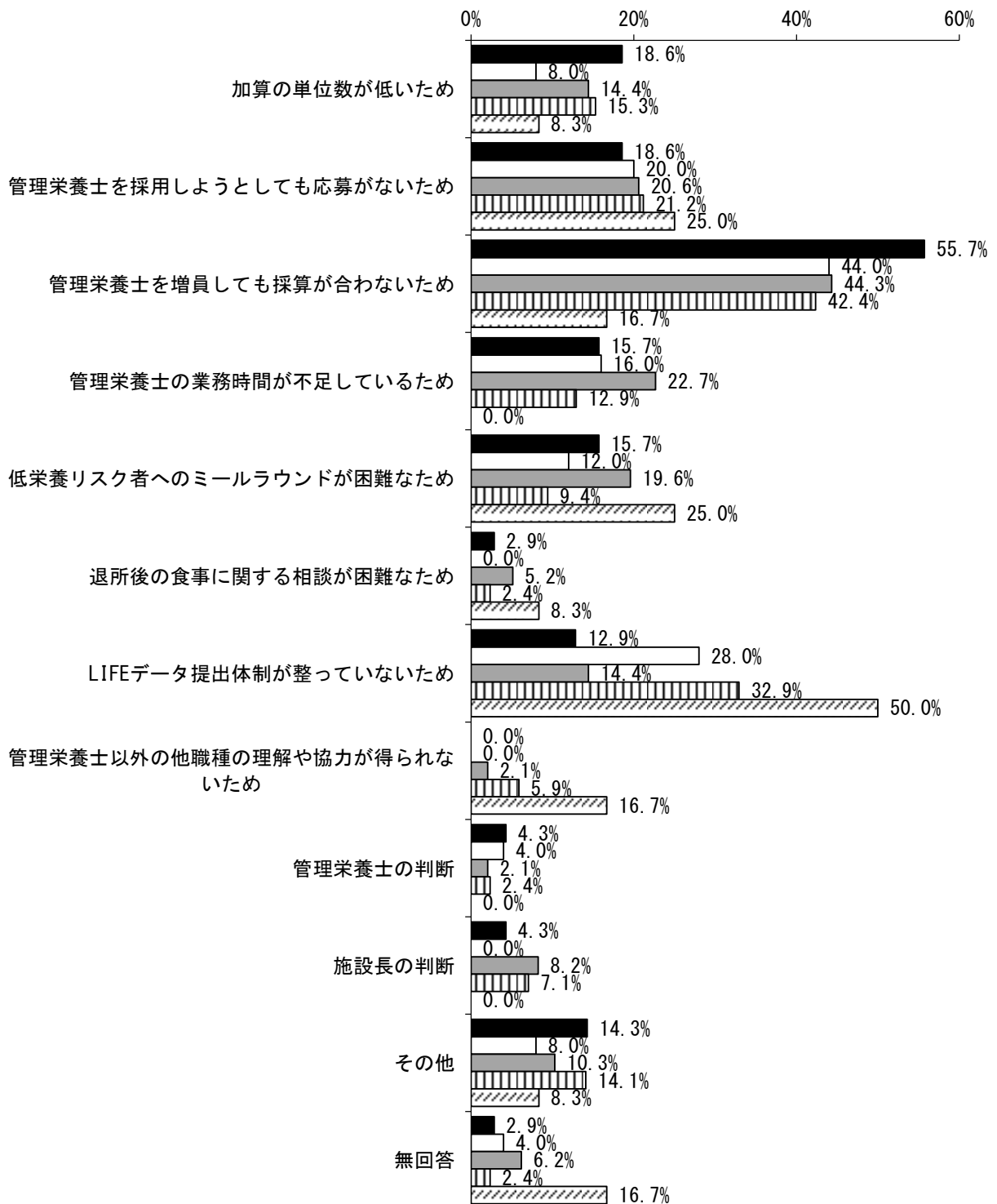
図表 2-2-333 栄養マネジメント強化加算を算定しない具体的な理由（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 36 2 2）／介護医療院票：問 31 2 2）



介護老人保健施設は、いずれの施設類型でも「管理栄養士を増員しても採算が合わないため」が超強化型で 55.7%、在宅強化型で 44.0%、加算型で 44.3%、基本型で 42.4%となった。

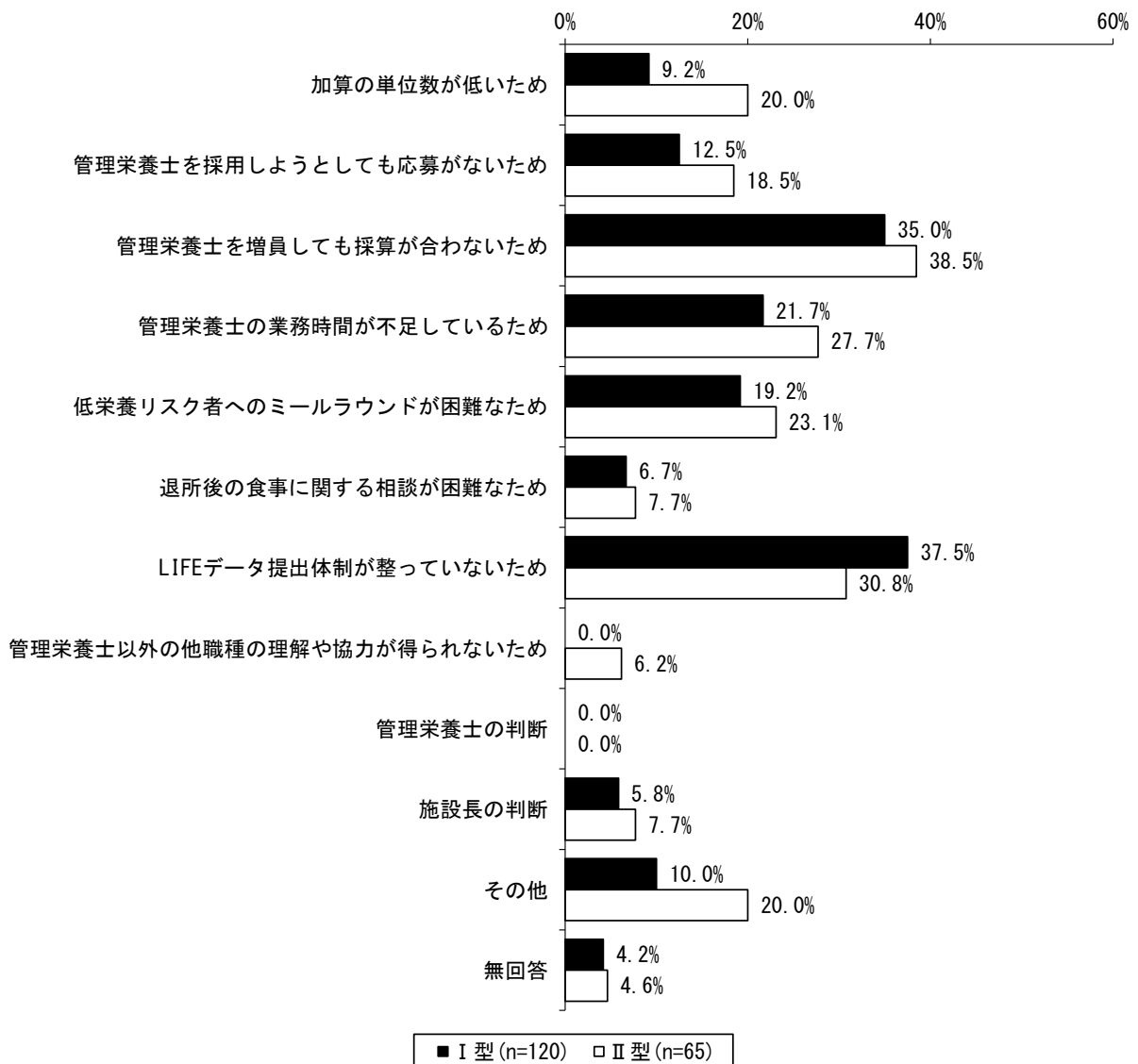
図表 2-2-334 栄養マネジメント強化加算を算定しない具体的な理由（複数回答）
（介護老人保健施設類型別）（問 36 2 2）



■超強化型 (n=70) □在宅強化型 (n=25) ▨加算型 (n=97) □基本型 (n=85) □その他型 (n=12)

介護医療院は、I型では「LIFEデータ提出体制が整っていないため」が37.5%、「管理栄養士を増員しても採算が合わないため」が35.0%であった。II型では「管理栄養士を増員しても採算が合わないため」が38.5%、「LIFEデータ提出体制が整っていないため」が30.8%であった。

図表 2-2-335 栄養マネジメント強化加算を算定しない具体的な理由（複数回答）
（介護医療院票類型別）（問 31 2 2）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

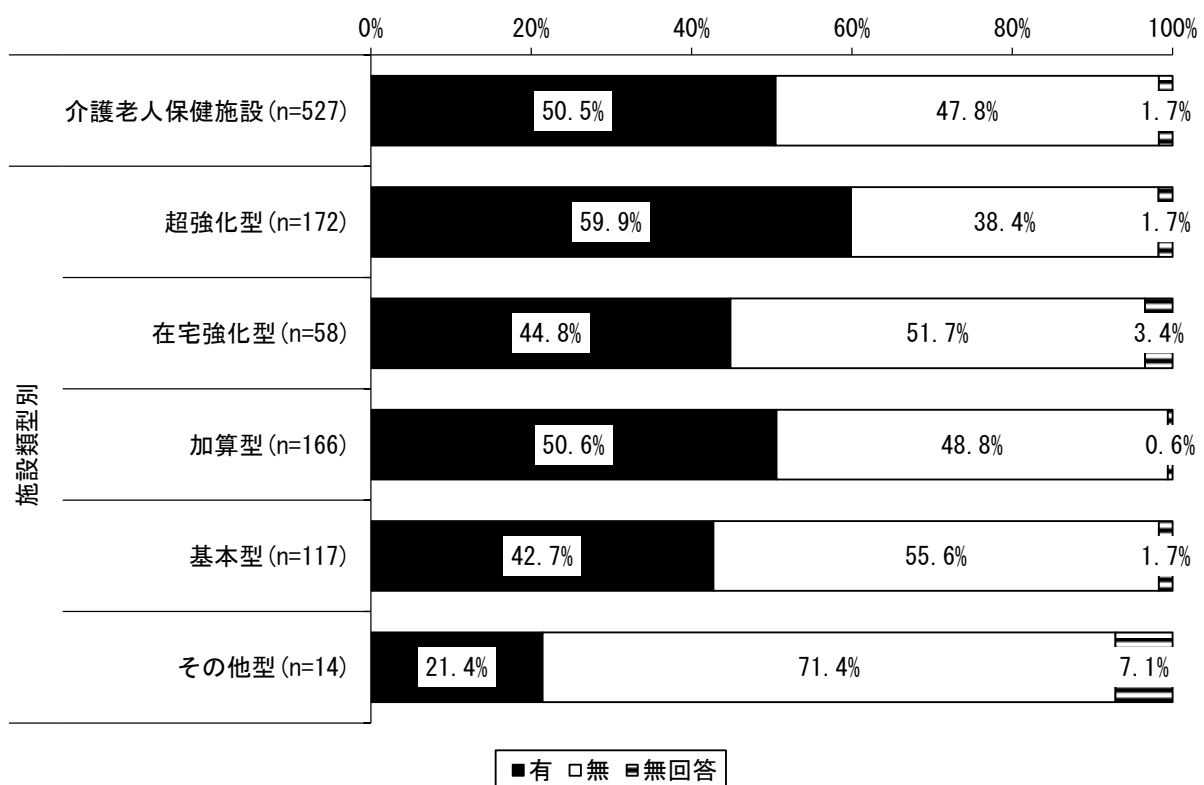
(4) 在宅復帰支援における管理栄養士の関与（介護老人保健施設）

① 在宅復帰支援における管理栄養士の関与の有無（介護老人保健施設）

介護老人保健施設での在宅復帰支援における管理栄養士の関与の有無は、「有」が50.5%、「無」が47.8%であった。

施設類型別みると、超強化型では「有」が59.9%、「無」が38.4%であった。在宅強化型では「有」が44.8%、「無」が51.7%であった。加算型では「有」が50.6%、「無」が48.8%であった。基本型では「有」が42.7%、「無」が55.6%であった。

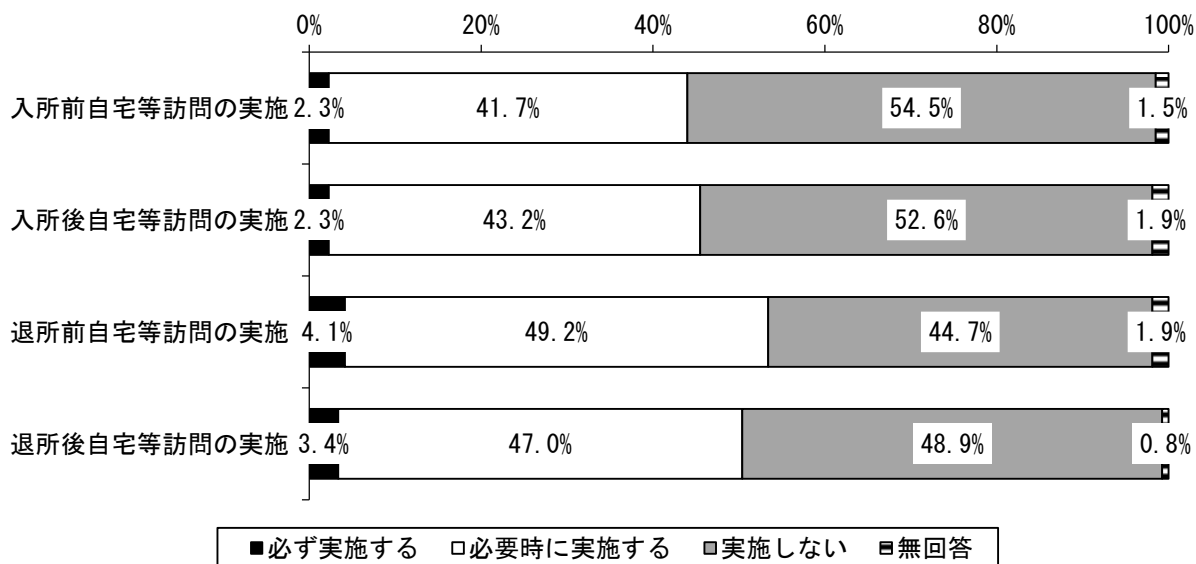
図表 2-2-336 在宅復帰支援における管理栄養士の関与の有無
（介護老人保健施設票：問37）



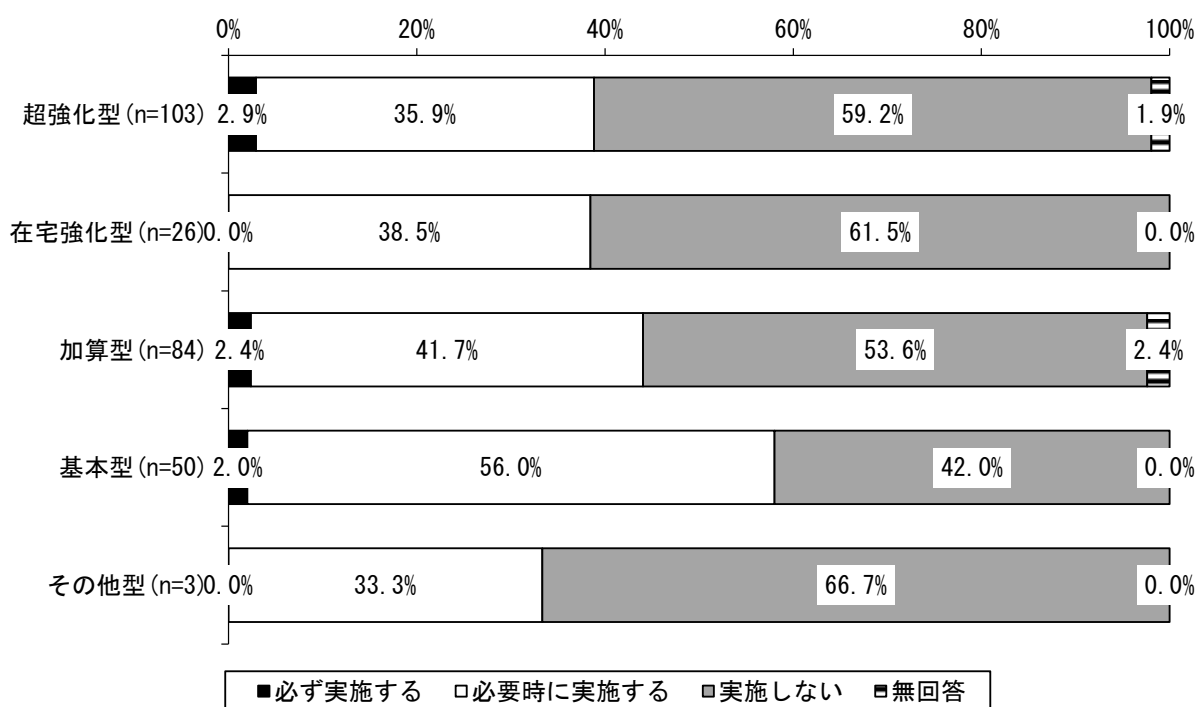
② 在宅復帰支援での実施内容

実施内容は、「退所前自宅等訪問の実施」「退所後自宅等訪問の実施」が「実施する」（「必ず実施する」「必要時に実施する」の合計）の割合が半数を超える結果となった。

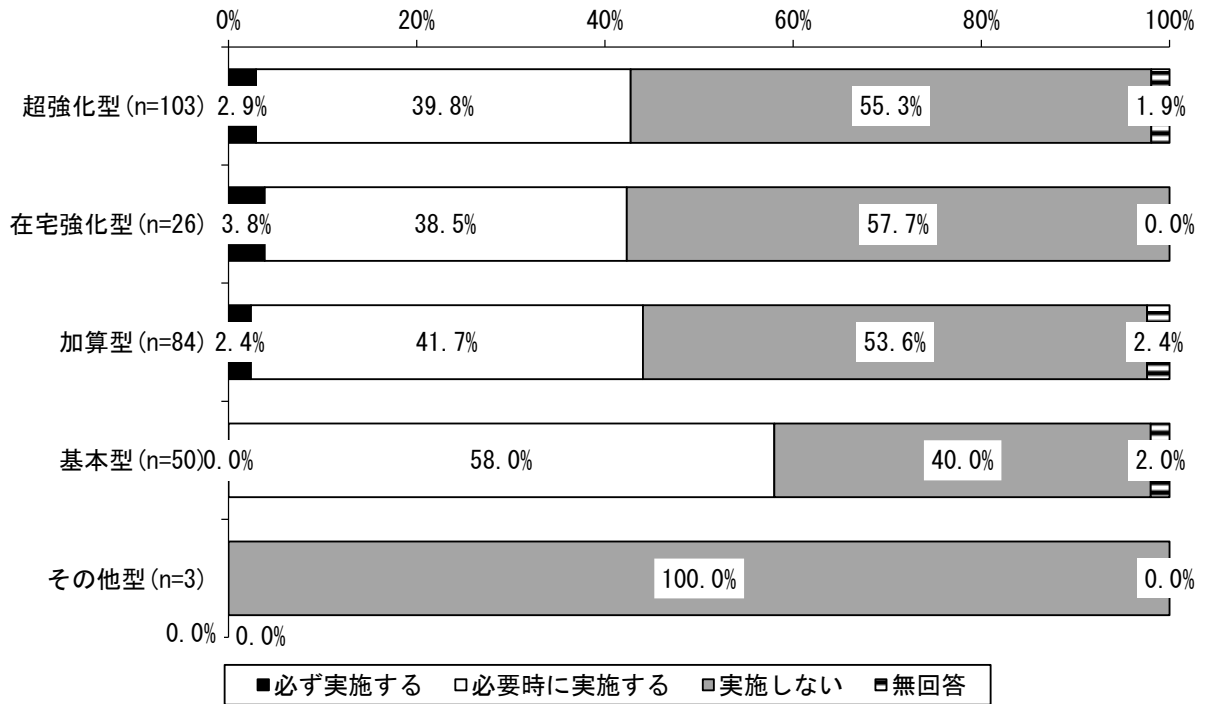
図表 2-2-337 実施内容（介護老人保健施設票：問 37①～④）（n=266）



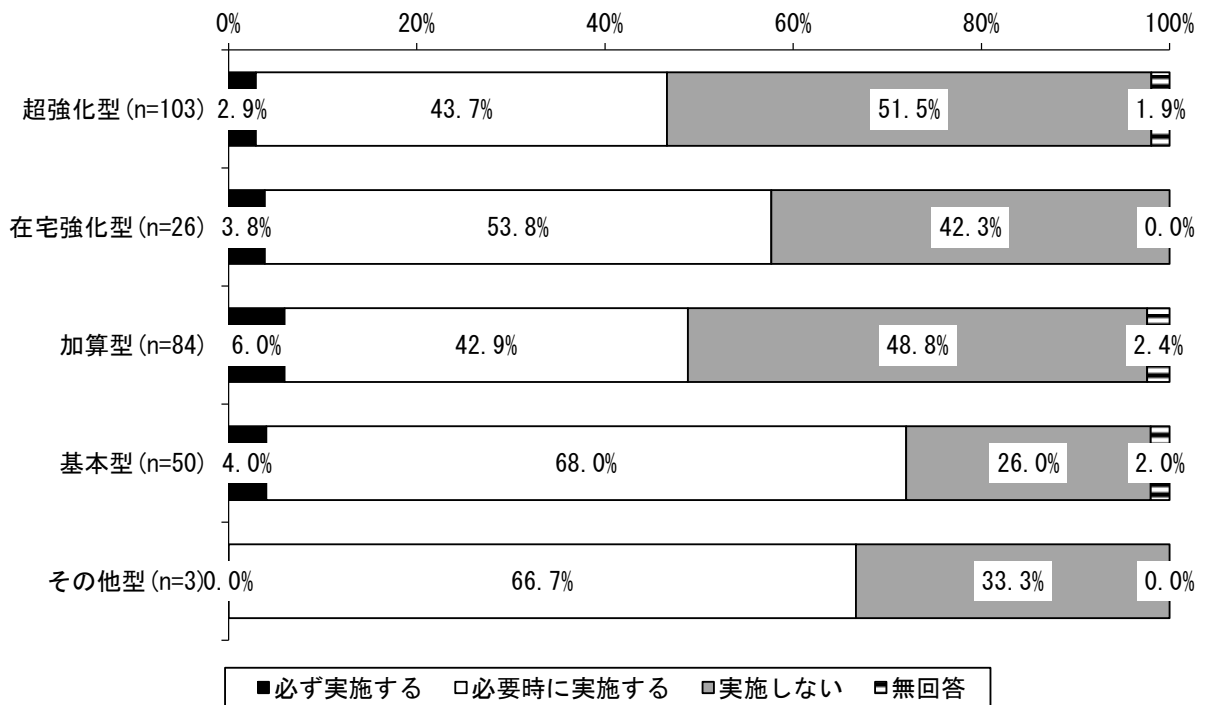
図表 2-2-338 実施内容－入所前自宅等訪問の実施－
（介護老人保健施設類型別）（問 37①）



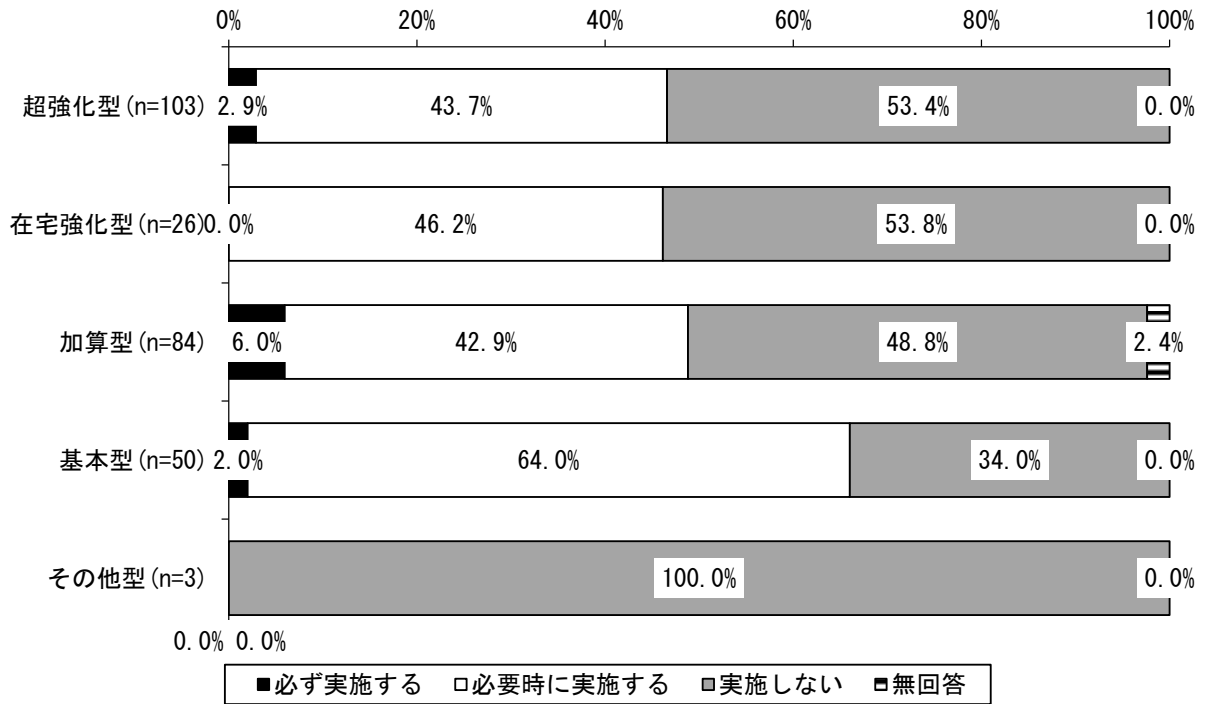
図表 2-2-339 実施内容－入所後自宅等訪問の実施－
 (介護老人保健施設類型別) (問 37②)



図表 2-2-340 実施内容－退所前自宅等訪問の実施－
 (介護老人保健施設類型別) (問 37③)



図表 2-2-341 実施内容－退所後自宅等訪問の実施－
 (介護老人保健施設類型別) (問 37④)



10. 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った対応の実施状況（介護医療院）

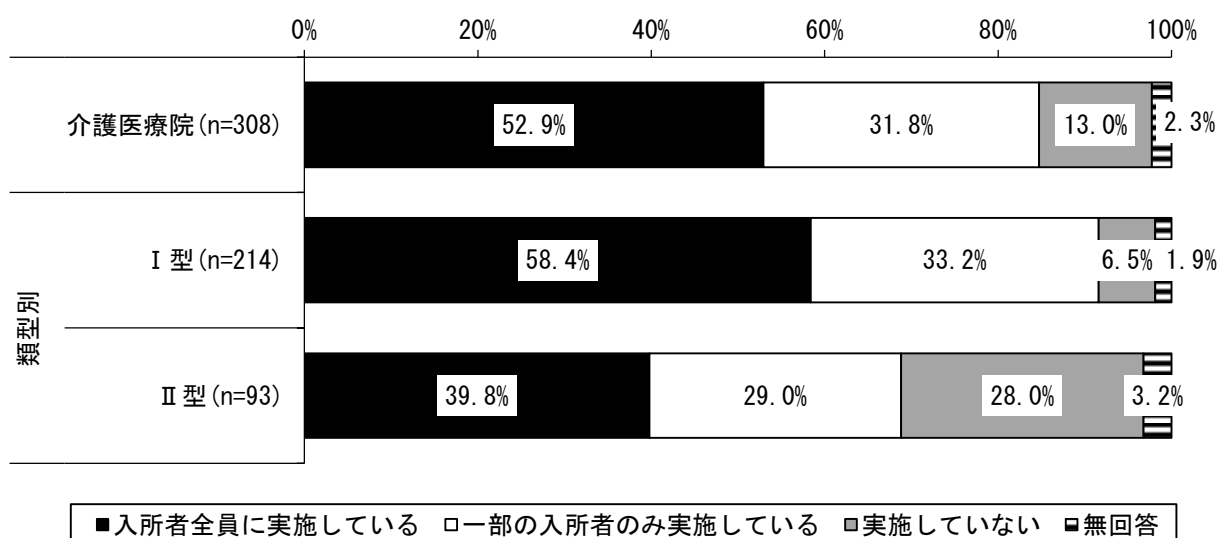
(1) 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った対応の実施状況

介護医療院での人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った対応の実施状況は、「入所者全員に実施している」が 52.9%、「一部の入所者のみ実施している」が 31.8%、「実施していない」が 13.0%であった。

類型別では、Ⅰ型は「入所者全員に実施している」が 58.4%、「一部の入所者のみ実施している」が 33.2%、「実施していない」が 6.5%であった。

Ⅱ型では「入所者全員に実施している」が 39.8%、「一部の入所者のみ実施している」が 29.0%、「実施していない」が 28.0%であった。

図表 2-2-342 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関する
ガイドラインに沿った対応の実施状況
(介護医療院票：問 32)

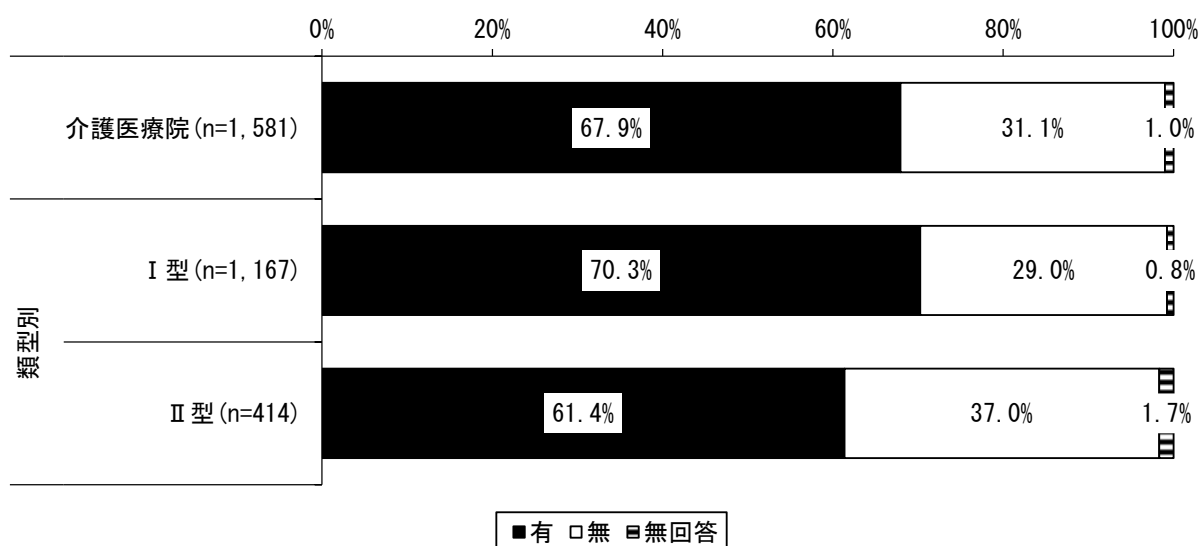


※類型別はⅠ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

介護医療院の入所者の「人生の最終段階における医療・ケア決定プロセスに関するガイドライン」にそった対応の有無は、「有」が 67.9%、「無」が 31.1%であった。

類型別では、I 型は「有」が 70.3%、「無」が 29.0%であった。II 型は「有」が 61.4%、「無」が 37.0%であった。

図表 2-2-343 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿った対応の有無（介護医療院入所者票：3） 9))

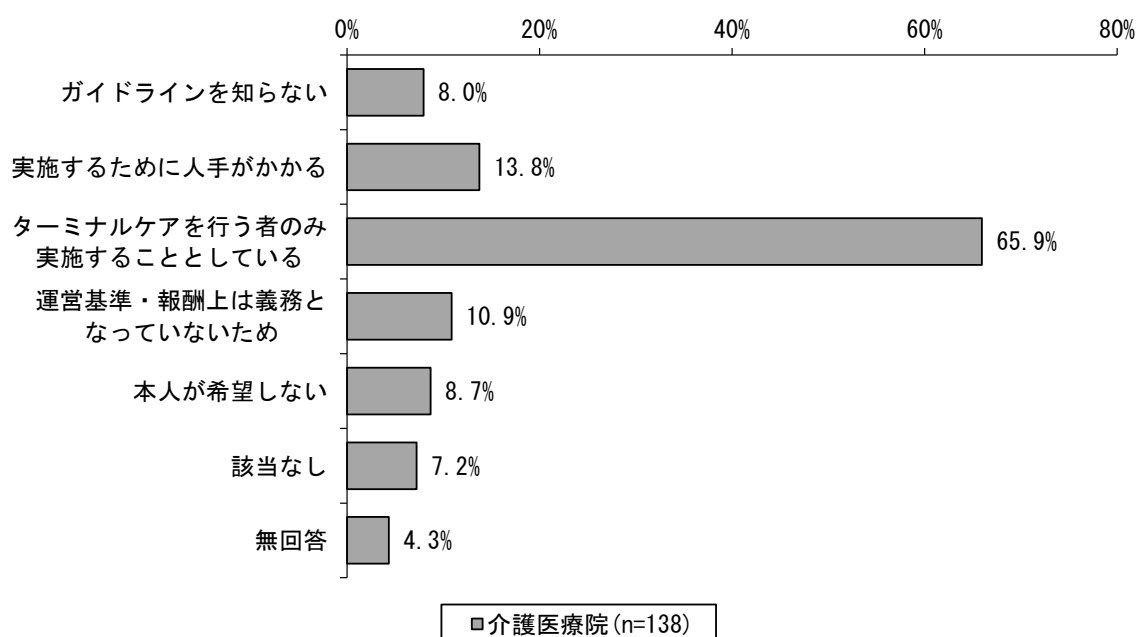


※類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

(2) 全員に実施していない理由

全員に実施していない理由は、「ターミナルケアを行う者のみ実施することとしている」が 65.9%であった。

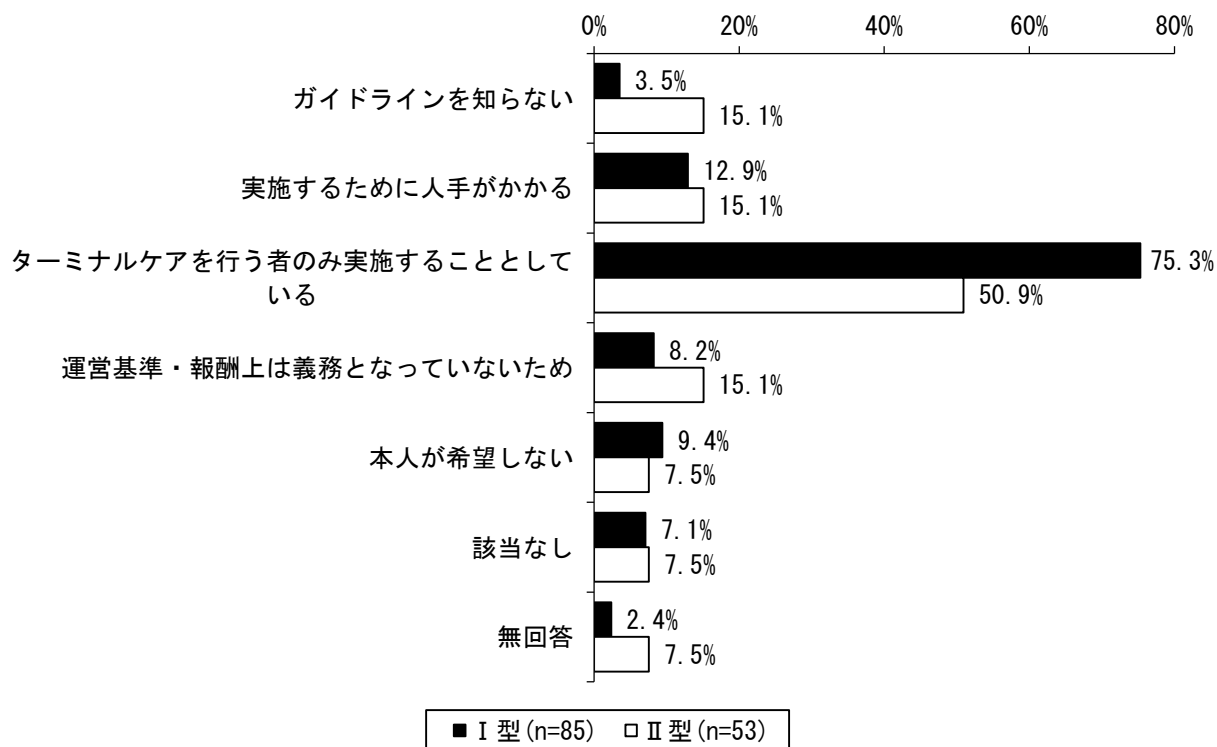
図表 2-2-344 全員に実施していない理由（複数回答）（介護医療院票：問 32）



類型別では、「ターミナルケアを行う者のみ実施することとしている」はI型が75.3%、II型が50.9%であった。

図表 2-2-345 全員に実施していない理由（複数回答）

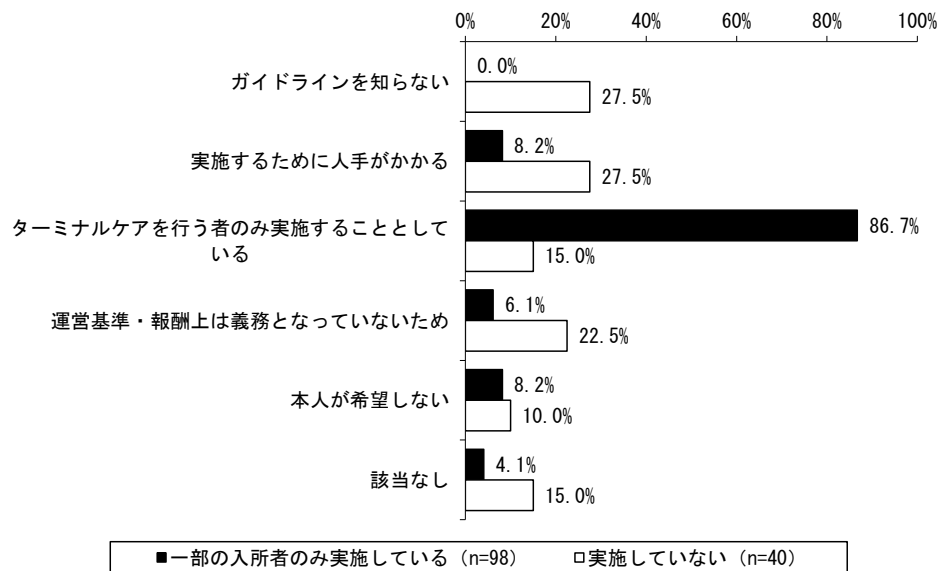
（介護医療院類型別）（介護医療院票：問32）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

ガイドラインに沿った対応の実施状況別では、「一部の入所者のみ実施している」と回答した施設では、「ターミナルケアを行う者のみ実施することとしている」が 86.7%となった。「実施していない」と回答した施設では、「ガイドラインを知らない」「実施するために人手がかかる」がいずれも 27.5%、「運営基準・報酬上は義務となっていないため」が 22.5%であった。

図表 2-2-346 ガイドラインに沿った対応の実施状況別全員に実施していない理由
(複数回答) (介護医療院票：問 32)

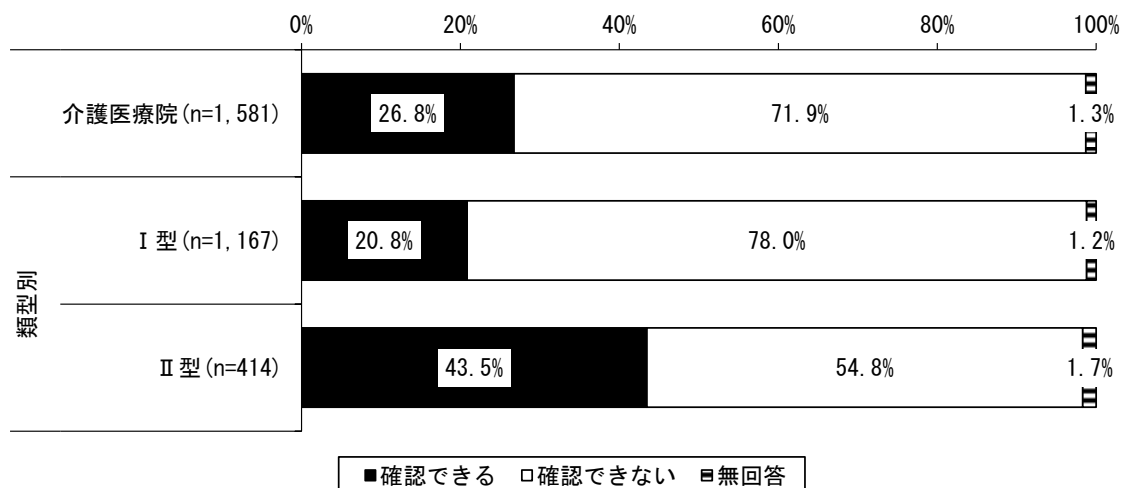


介護医療院の入所者で本人の意思が確認できるかは、「確認できる」が 26.8%、「確認できない」が 71.9%であった。

類型別では、I型は「確認できる」が 20.8%、「確認できない」が 78.0%であった。

II型は「確認できる」が 43.5%、「確認できない」が 54.8%であった。

図表 2-2-347 本人の意思が確認できるか
(介護医療院入所者票：(3) 10)

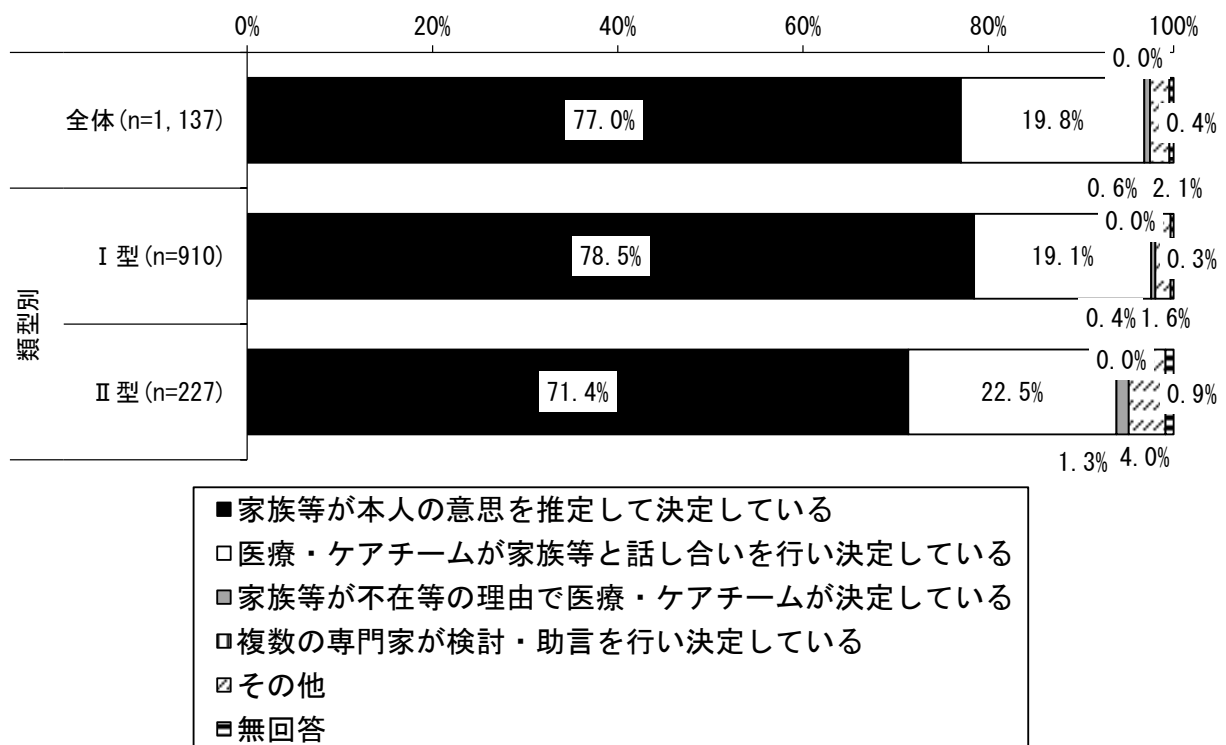


本人の意思が確認できない場合の提供する医療・ケアの決定方法は、「家族等が本人の意思を推定して決定している」が 77.0%、「家族等が本人の意思を推定できず、医療・ケアチームが家族等と十分に話し合いを行い決定している」が 19.8%であった。

施設類型別では、I型は「家族等が本人の意思を推定して決定している」が 78.5%、「家族等が本人の意思を推定できず、医療・ケアチームが家族等と十分に話し合いを行い決定している」が 19.1%であった。

II型では「家族等が本人の意思を推定して決定している」が 71.4%、「家族等が本人の意思を推定できず、医療・ケアチームが家族等と十分に話し合いを行い決定している」が 22.5%であった。

図表 2-2-348 本人の意思が確認できない場合の提供する医療・ケアの決定方法
(介護医療院入所者票：(3) 11)



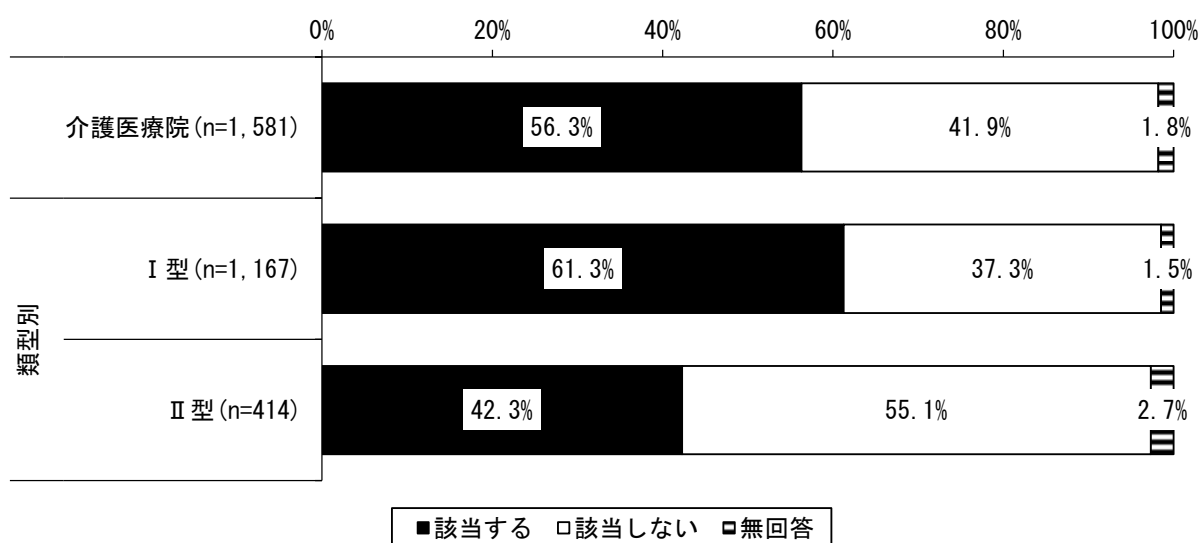
※「医療・ケアチームが家族等と十分に話し合いを行い決定している」は、調査票では「家族等が本人の意思を推定できず、医療・ケアチームが家族等と十分に話し合いを行い決定している」としている。
「複数の専門家が検討・助言を行い決定している」は、調査票では「医療・ケアチーム以外の複数の専門家が検討・助言を行い決定している」としている。

介護医療院の入所者が、医師が一般的に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者であるかは、「該当する」が 56.3%、「該当しない」が 41.9%であった。

類型別では、I 型は「該当する」が 61.3%、「該当しない」が 37.3%であった。

II 型では「該当する」が 42.3%、「該当しない」が 55.1%であった。

図表 2-2-349 医師が一般的に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者であるか
(介護医療院入所者票：(3) 12)



11. 短期入所療養介護

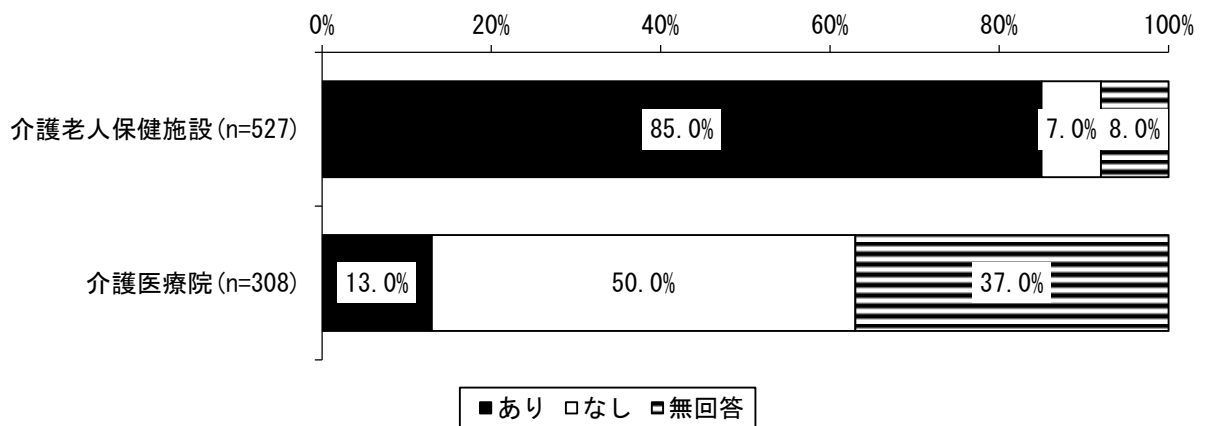
(1) 短期入所療養介護の利用者（2022年7月～2023年6月）について

① 短期入所療養介護の利用者（2022年7月～2023年6月）の有無

短期入所療養介護の利用者の有無は、介護老人保健施設は、「あり」が85.0%、「なし」が7.0%であった。

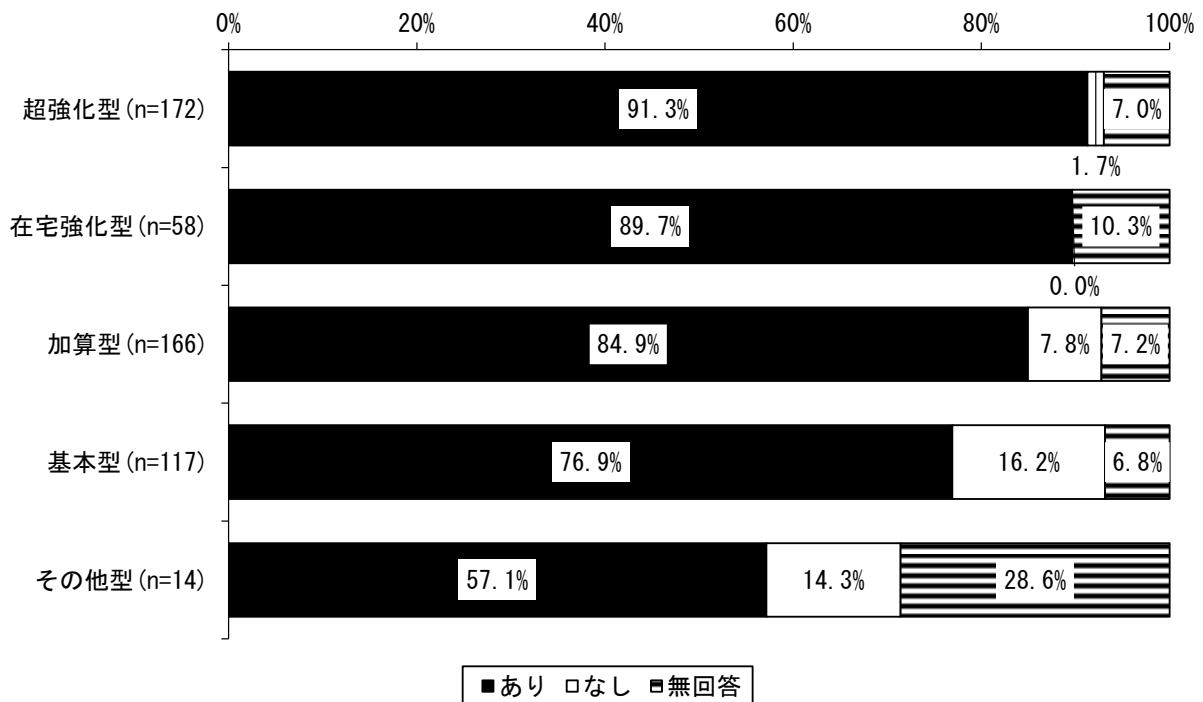
介護医療院は、「あり」が13.0%、「なし」が50.0%であった。

図表 2-2-350 短期入所療養介護の利用者（2022年7月～2023年6月）の有無
（介護老人保健施設票：問38／介護医療院票：問33）



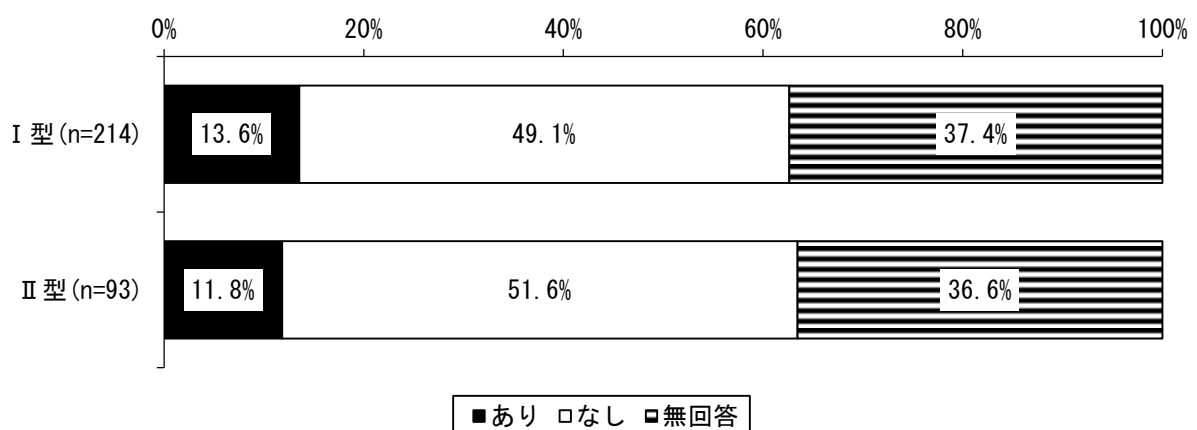
介護老人保健施設は、超強化型は「あり」が 91.3%、「なし」が 1.7%であった。在宅強化型では「あり」が 89.7%、「なし」は 0.0%であった。加算型では「あり」が 84.9%、「なし」が 7.8%であった。基本型では「あり」が 76.9%、「なし」が 16.2%であった。

図表 2-2-351 短期入所療養介護の利用者（2022年7月～2023年6月）の有無
（介護老人保健施設類型別）（問 38）



介護医療院は、I型では「あり」が 13.6%、「なし」が 49.1%であった。II型では「あり」が 11.8%、「なし」が 51.6%であった。

図表 2-2-352 短期入所療養介護の利用者（2022年7月～2023年6月）の有無
（介護医療院類型別）（問 33）



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

短期入所療養介護の利用者数の延べ人数は、介護老人保健施設は平均 408.2 人、介護医療院は平均 4.4 人であった。

図表 2-2-353 短期入所療養介護の利用者数（2022 年 7 月～2023 年 6 月）

（介護老人保健施設票：問 38／介護医療院票：問 33）

	件数	平均値（人）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	485	408.2	1347.8	109.0
超強化型	160	517.8	987.8	196.0
在宅強化型	52	607.8	1409.0	191.5
加算型	154	419.4	1975.6	74.5
基本型	109	139.2	276.8	31.0
その他型	10	374.0	784.4	39.5
介護医療院	194	4.4	14.2	0.0
I 型	134	5.2	15.9	0.0
II 型	59	2.6	9.1	0.0

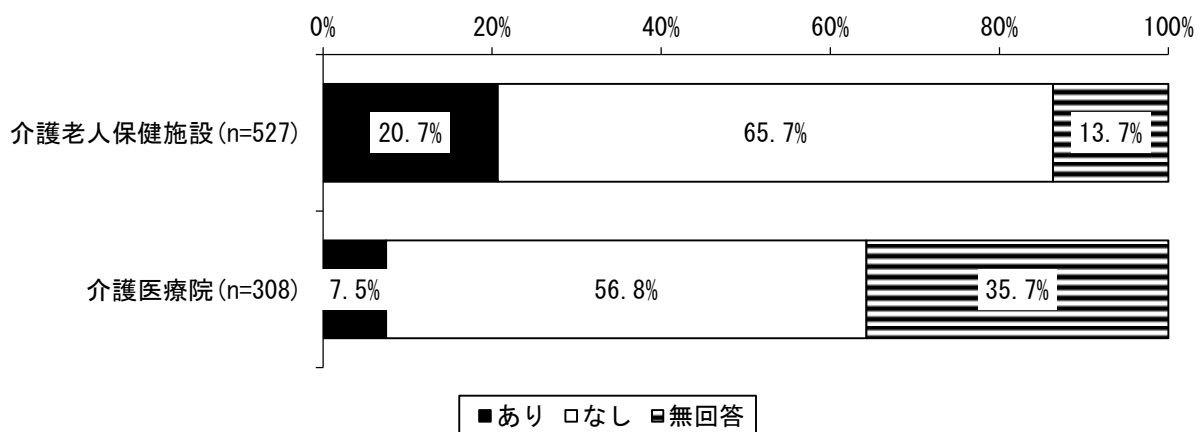
※介護医療院の類型別は I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

② 短期入所療養介護の利用者のうち医療的処置を行った人の有無

短期入所療養介護の利用者のうち医療的処置を行った人の有無は、介護老人保健施設では「あり」が20.7%、「なし」が65.7%であった。

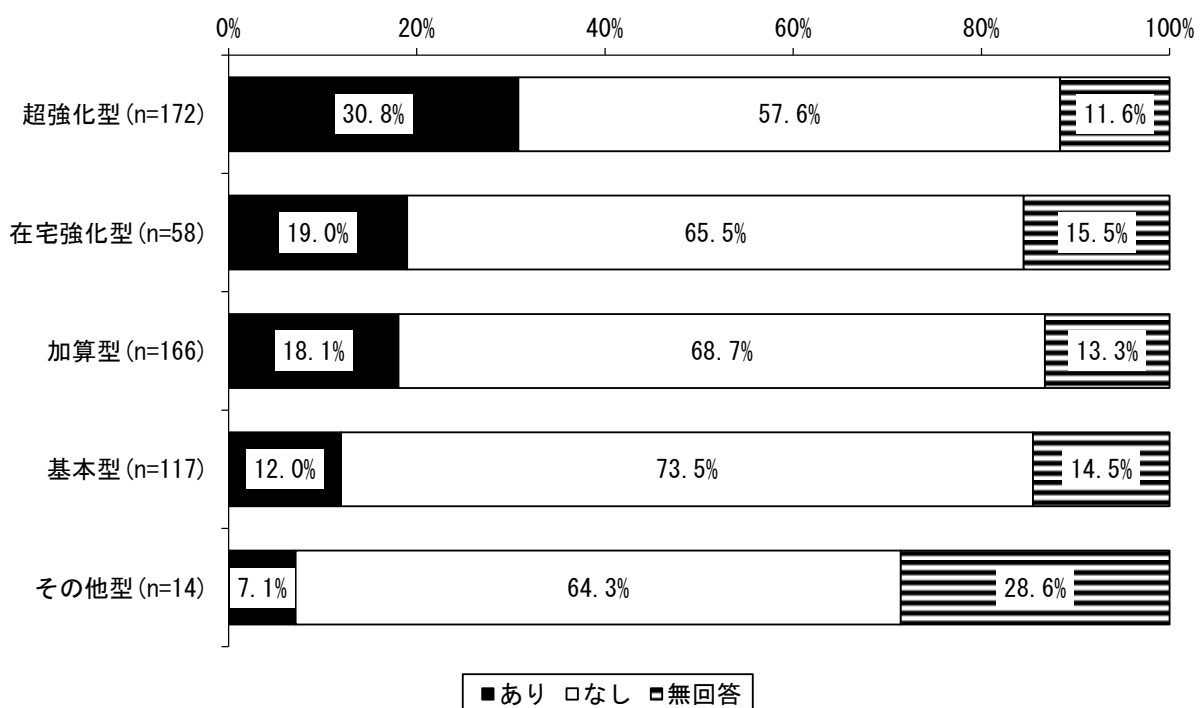
介護医療院では、「あり」が7.5%、「なし」が56.8%であった。

図表 2-2-354 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人の有無
(介護老人保健施設類型別) (問 38①)



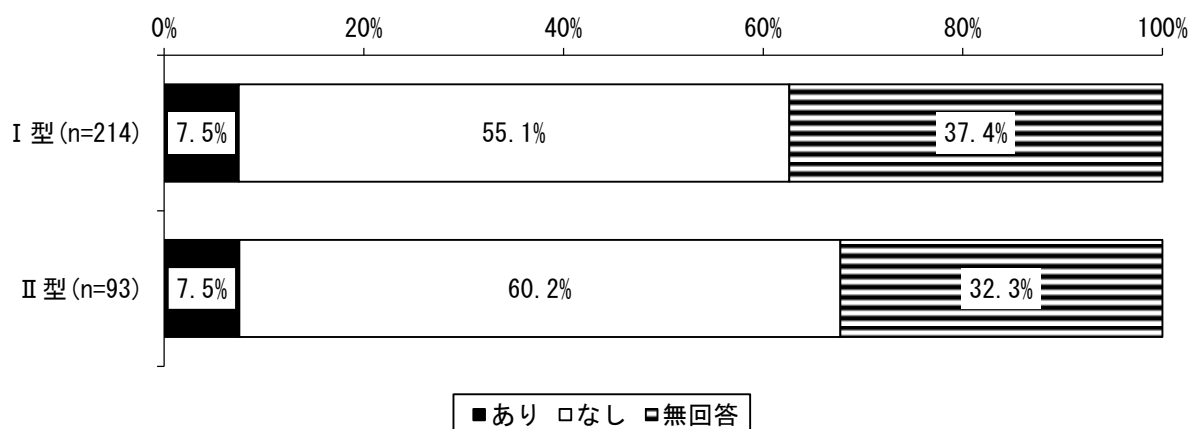
介護老人保健施設の施設類型別では、超強化型は「あり」が30.8%、在宅強化型では19.0%、加算型では18.1%、基本型では12.0%であった。

図表 2-2-355 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人の有無
(介護老人保健施設 施設類型別) (問 38①)



介護医療院は、Ⅰ型では「あり」が7.5%、「なし」が55.1%であった。Ⅱ型では「あり」が7.5%、「なし」が60.2%であった。

図表 2-2-356 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人の有無
(介護医療院類型別) (問 33①)



※Ⅰ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

③ 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人数

短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人数は、介護老人保健施設は、平均 23.9 人、介護医療院は平均 0.6 人であった。

図表 2-2-357 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人数
(介護老人保健施設票：問 38①／介護医療院票：問 33①)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	455	23.9	156.0	0.0
超強化型	152	43.3	207.5	0.0
在宅強化型	49	1.3	3.5	0.0
加算型	144	23.9	169.1	0.0
基本型	100	7.9	59.6	0.0
その他型	10	0.1	0.3	0.0
介護医療院	198	0.6	2.6	0.0
Ⅰ型	134	0.6	2.6	0.0
Ⅱ型	63	0.6	2.7	0.0

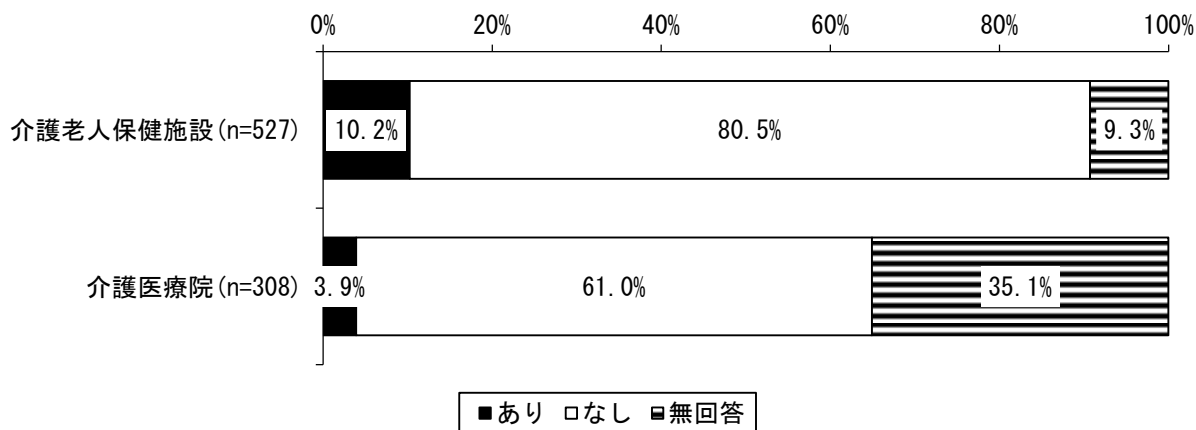
※介護医療院の類型別はⅠ型・Ⅱ型ともに届出をしている1施設を除く

④ 医療的処置を行った人のうち、急性疾患に対する医療的処置を行った人の有無

医療的処置を行った人のうち、急性疾患に対する医療的処置を行った人の有無は、介護老人保健施設では「あり」が10.2%、「なし」が80.5%であった。

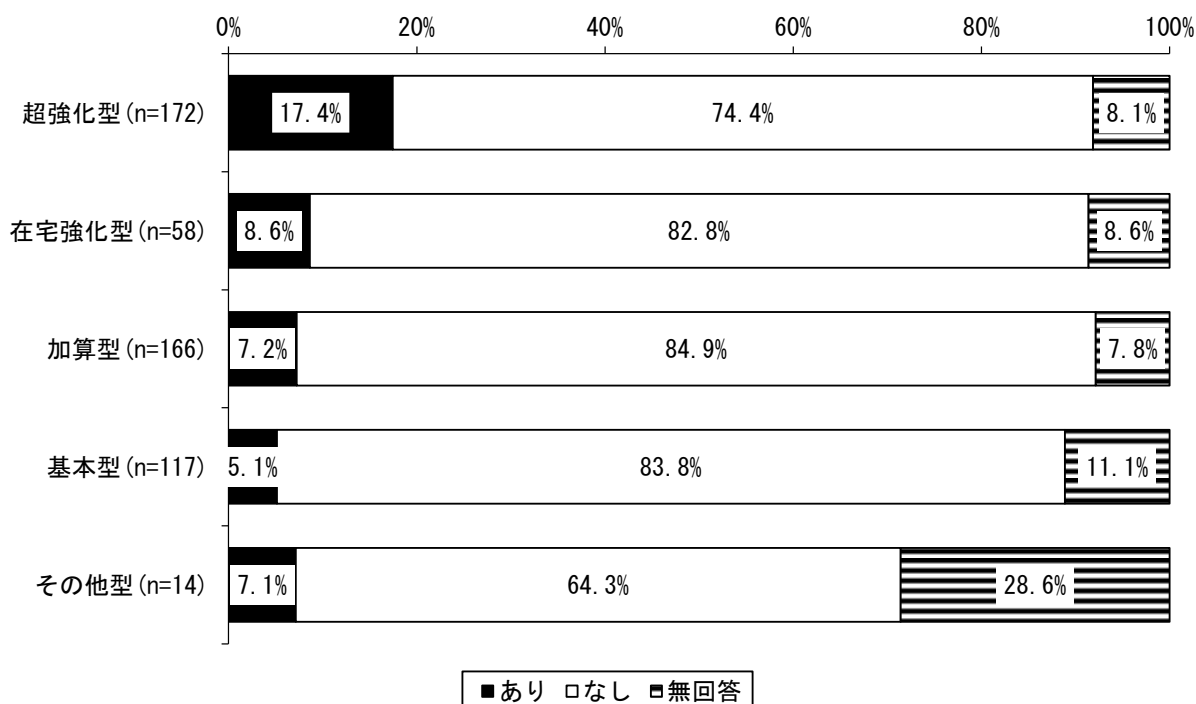
介護医療院では、「あり」が3.9%。「なし」が61.0%であった。

図表 2-2-358 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人のうち、急性疾患に対する医療的処置を行った人の有無（介護老人保健施設票：問38②／介護医療院票：問33②）



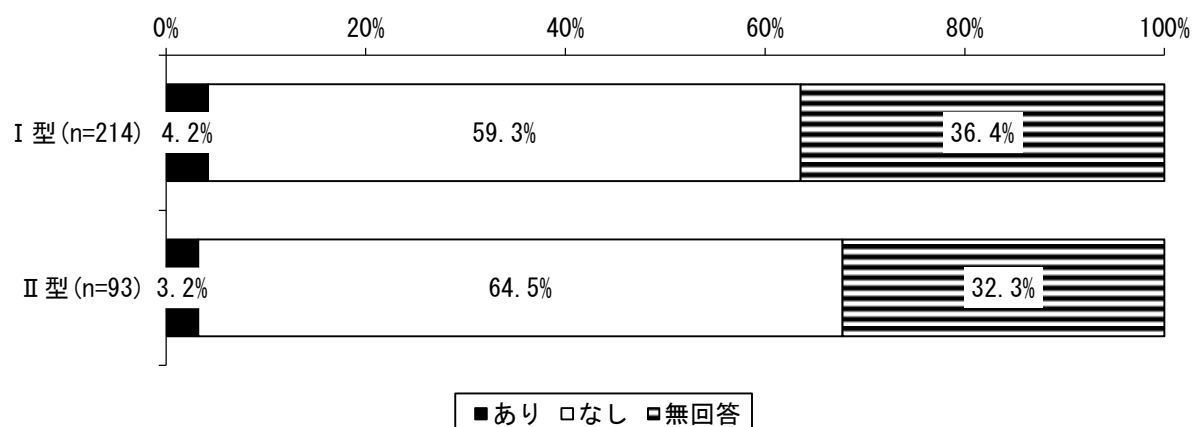
介護老人保健施設は、超強化型は「あり」が17.4%、「なし」が74.4%であった。在宅強化型では「あり」が8.6%、加算型では7.2%、基本型では5.1%であった。

図表 2-2-359 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人のうち、急性疾患に対する医療的処置を行った人の有無（介護老人保健施設 施設類型別）（問38②）



介護医療院は、I型では「あり」が4.2%、「なし」が59.3%であった。II型では「あり」が3.2%、「なし」が64.5%であった。

図表 2-2-360 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人のうち、急性疾患に対する医療的処置を行った人の有無
(介護医療院 類型別) (問 33)



※ I型・II型ともに届出をしている1施設を除く

⑤ 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人のうち、急性疾患に対する医療的処置を行った延べ人数

短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人のうち、急性疾患に対する医療的処置を行った延べ人数は、介護老人保健施設は平均0.5人、介護医療院は平均0.2人であった。

図表 2-2-361 短期入所療養介護の利用者のうち、医療的処置を行った人のうち、急性疾患に対する医療的処置を行った延べ人数
(介護老人保健施設票：問 38②) / 介護医療院票：問 33②)

	件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	478	0.5	2.3	0.0
超強化型	158	1.0	3.5	0.0
在宅強化型	53	0.4	1.8	0.0
加算型	153	0.2	0.6	0.0
基本型	104	0.3	2.1	0.0
その他型	10	0.1	0.3	0.0
介護医療院	200	0.2	1.0	0.0
I型	136	0.2	1.1	0.0
II型	63	0.1	0.4	0.0

(2) 利用者のうち入所後に新たに発症した疾患について

① 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無

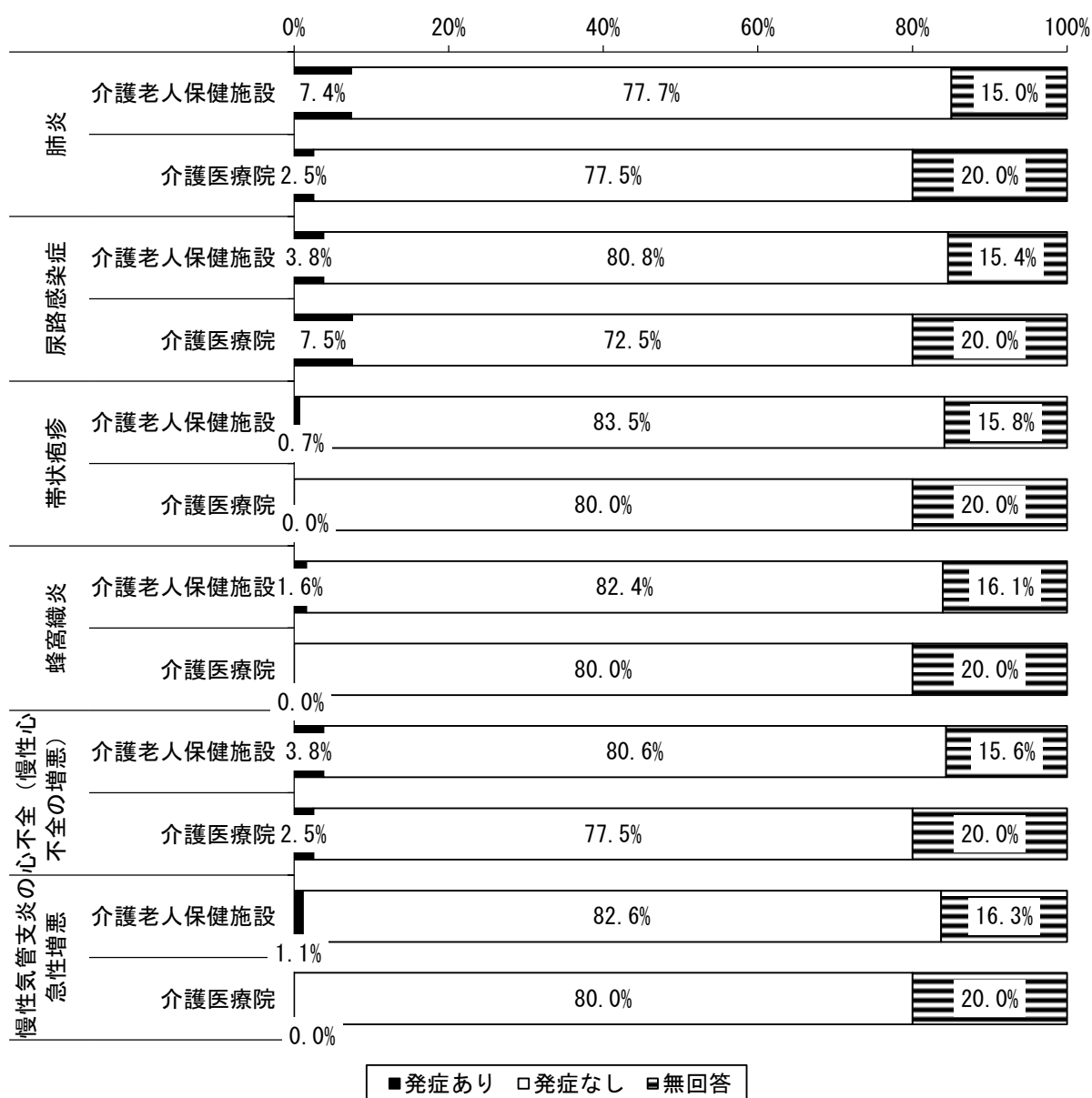
利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無をみると、介護老人保健施設では、「肺炎」が7.4%、「尿路感染症」が3.8%、「带状疱疹」が0.7%、「蜂窩織炎」が1.6%、「心不全（慢性心不全の増悪）」が3.8%、「慢性気管支炎の急性増悪」が1.1%であった。

介護医療院では「肺炎」が2.5%、「尿路感染症」が7.5%、「心不全（慢性心不全の増悪）」が2.5%であった。

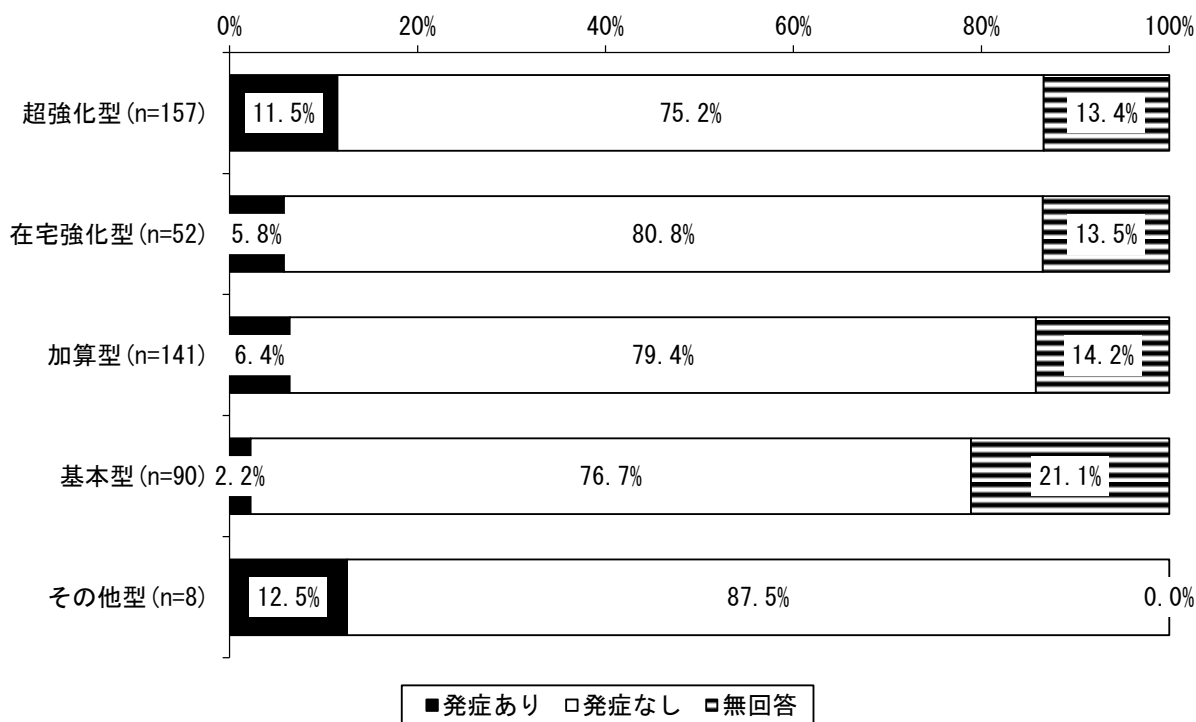
図表 2-2-362 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無

(介護老人保健施設票：問 39／介護医療院票：問 34)

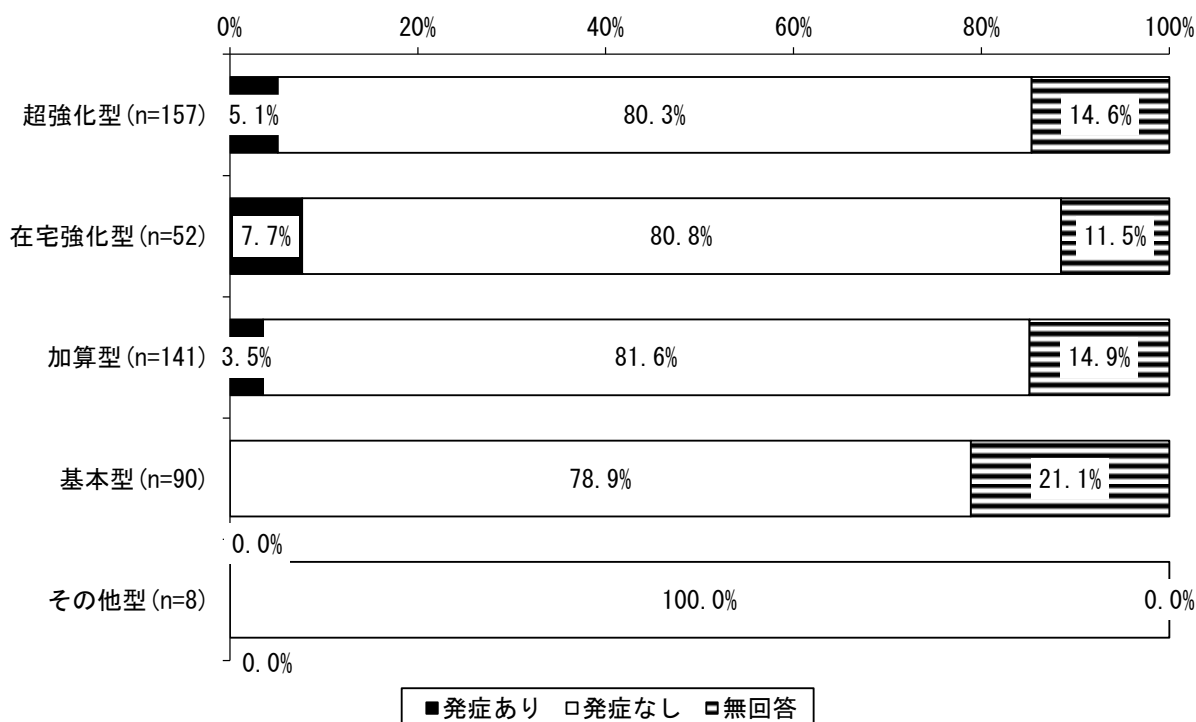
(介護老人保健施設 n=448／介護医療院 n=40)



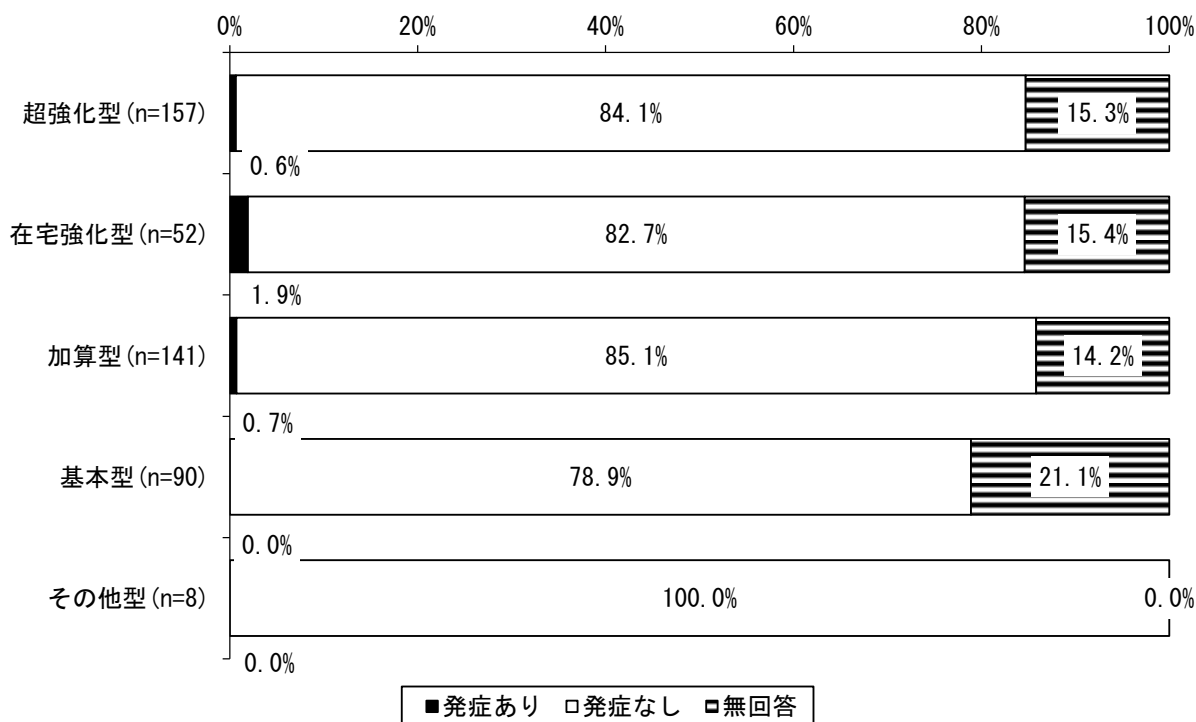
図表 2-2-363 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無－肺炎－
 (介護老人保健施設 施設類型別) (問 39)



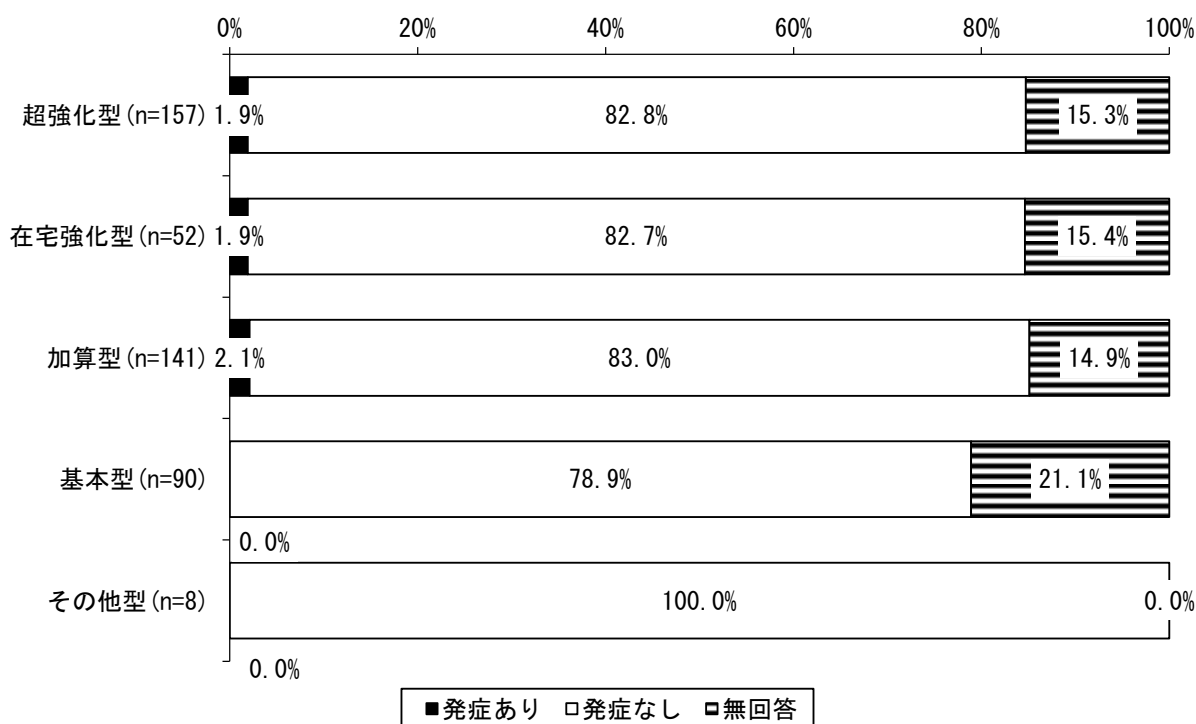
図表 2-2-364 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無－尿路感染症－
 (介護老人保健施設 施設類型別) (問 39)



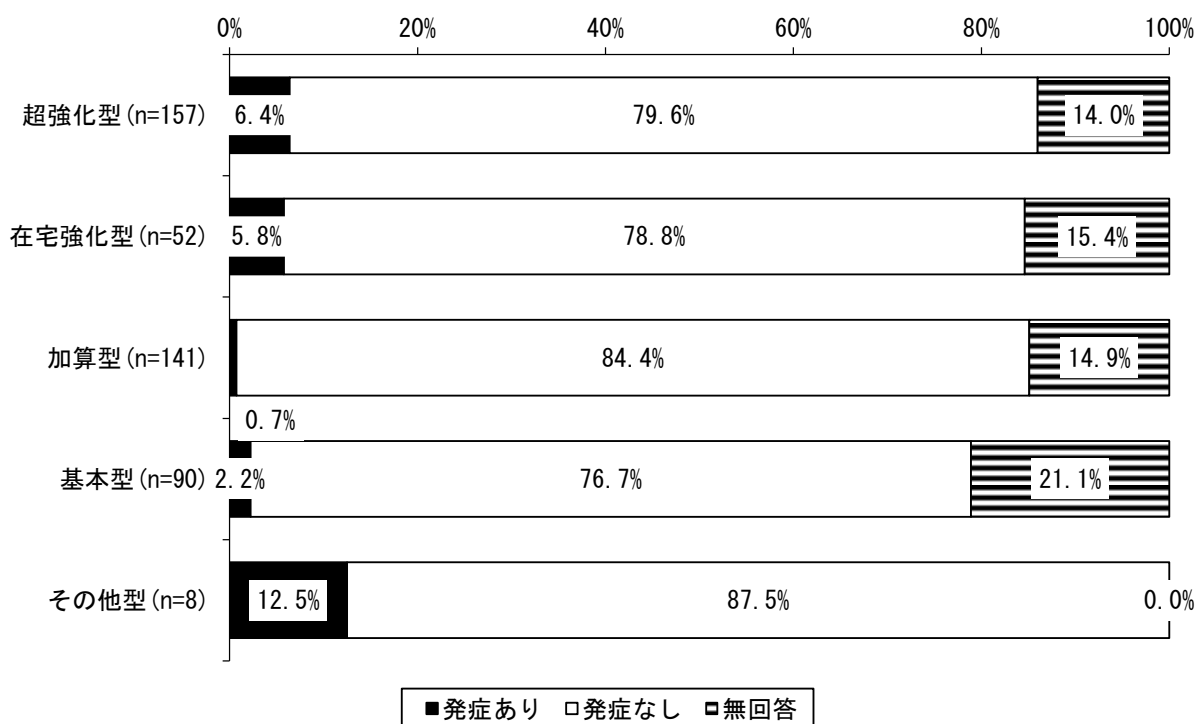
図表 2-2-365 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無－帯状疱疹－
 (介護老人保健施設 施設類型別) (問 39)



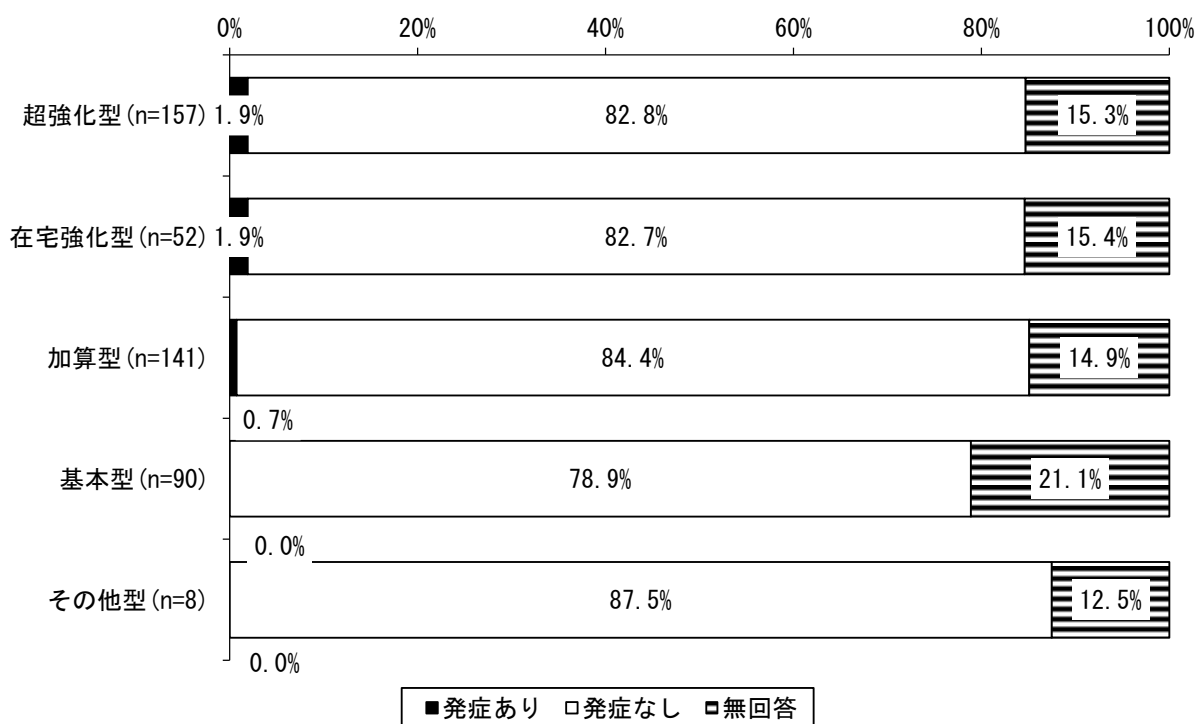
図表 2-2-366 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無－蜂窩織炎－
 (介護老人保健施設 施設類型別) (問 39)



図表 2-2-367 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無
 ー心不全（慢性心不全の増悪）ー
 （介護老人保健施設 施設類型別）（問 39）



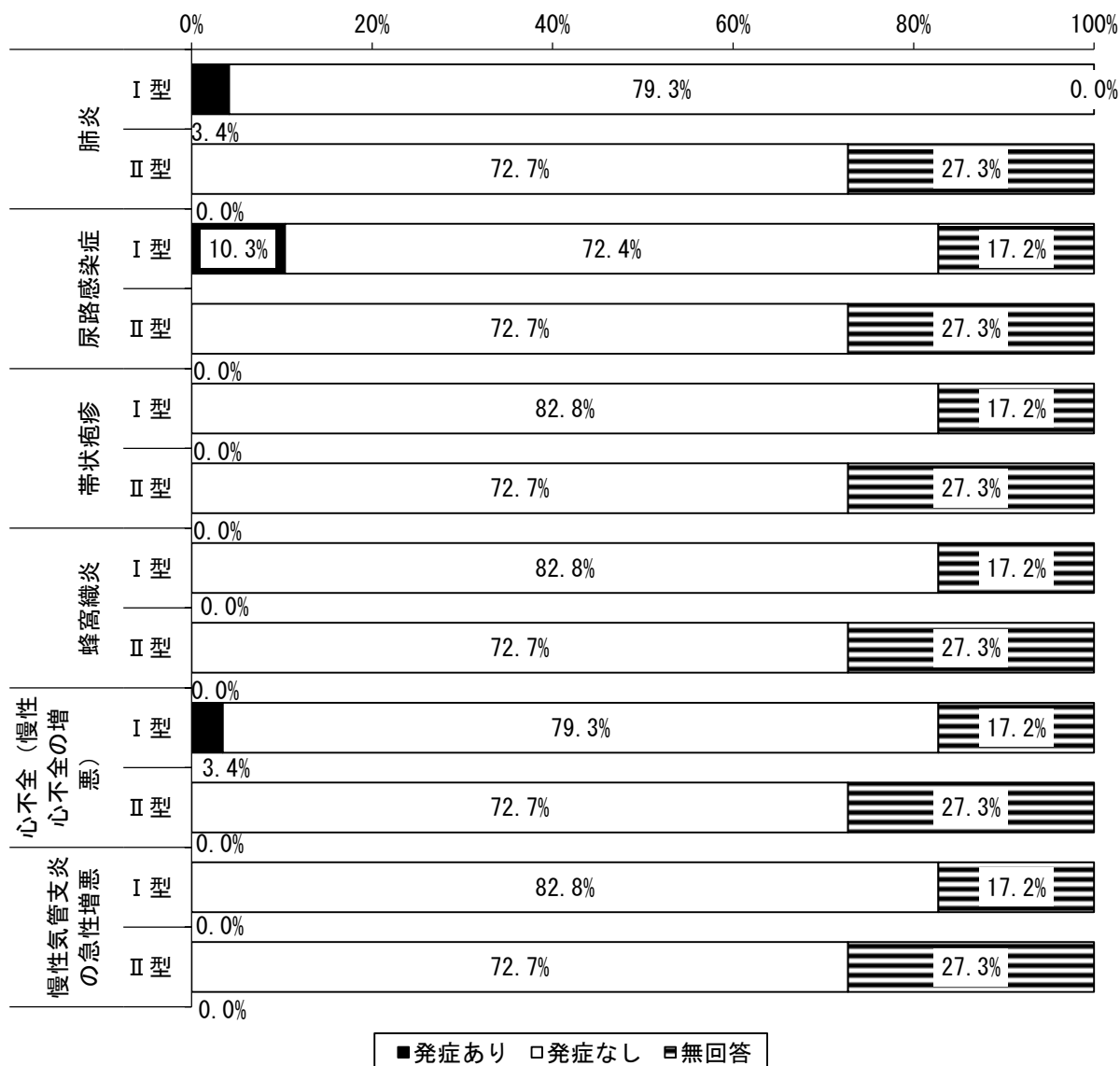
図表 2-2-368 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無ー慢性気管支炎の急性増悪ー
 （介護老人保健施設 施設類型別）（問 39）



図表 2-2-369 利用者のうち入所後に新たに発症した人の有無

(介護医療院 類型別) (問 34)

(I 型 n=29 / II 型 n=11)



※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

※ 回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

② 利用者のうち入所後に新たに発症した人数

利用者のうち入所後に新たに発症した人数は、介護老人保健施設では「肺炎」が平均 1.4 人、「尿路感染症」が平均 2.3 人、「带状疱疹」が平均 1.0 人、「蜂窩織炎」が平均 1.0 人、「心不全（慢性心不全の増悪）」が平均 1.3 人であった。

介護医療院では、「肺炎」が平均 1.0 人、「尿路感染症」が平均 1.0 人「心不全（慢性心不全の増悪）」が平均 1.0 人であった。

図表 2-2-370 利用者のうち入所後に新たに発症した人数

(介護老人保健施設票：問 39／介護医療院票：問 34)

		件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	肺炎	31	1.4	1.6	1.0
	尿路感染症	16	2.3	2.3	1.0
	带状疱疹	1	1.0	-	1.0
	蜂窩織炎	5	1.0	0.0	1.0
	心不全（慢性心不全の増悪）	14	1.3	1.1	1.0
	慢性気管支炎の急性増悪	0	-	-	-
介護医療院	肺炎	1	1.0	-	1.0
	尿路感染症	3	1.0	0.0	1.0
	带状疱疹	0	-	-	-
	蜂窩織炎	0	-	-	-
	心不全（慢性心不全の増悪）	1	1.0	-	1.0
	慢性気管支炎の急性増悪	0	-	-	-

※ I 型・II 型ともに届出をしている 1 施設を除く

※ 回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

③ 利用者のうち入所後に新たに発症した人のうち医療機関へ転院した人の有無

利用者のうち入所後に新たに発症した人のうち医療機関へ転院した人の有無は、介護老人保健施設では、肺炎で「あり」が 60.6%、「尿路感染症」で「あり」が 29.4%、「心不全（慢性心不全の増悪）」で「あり」が 64.7%であった。

図表 2-2-371 利用者のうち入所後に新たに発症した人のうち医療機関へ転院した人の有無
(介護老人保健施設票：問 39/介護医療院票：問 34)

		合計	あり	なし	無回答
介護老人保健施設	肺炎	33 100.0%	20 60.6%	11 33.3%	2 6.1%
	尿路感染症	17 100.0%	5 29.4%	11 64.7%	1 5.9%
	带状疱疹	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%
	蜂窩織炎	7 100.0%	1 14.3%	4 57.1%	2 28.6%
	心不全（慢性心不全の増悪）	17 100.0%	11 64.7%	3 17.6%	3 17.6%
	慢性気管支炎の急性増悪	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
介護医療院	肺炎	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	尿路感染症	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
	带状疱疹	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	蜂窩織炎	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	心不全（慢性心不全の増悪）	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	慢性気管支炎の急性増悪	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

④ 利用者のうち入所後に新たに発症した人のうち医療機関へ転院した人数

利用者のうち入所後に新たに発症した人のうち医療機関へ転院した人数は、介護老人保健施設では、「肺炎」が平均 0.8 人、「尿路感染症」が平均 0.4 人、「心不全（慢性心不全の増悪）」が平均 1.1 人であった。

図表 2-2-372 利用者のうち入所後に新たに発症した人のうち医療機関へ転院した人数
(介護老人保健施設票：問 39/介護医療院票：問 34)

		件数	平均値 (人)	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	肺炎	31	0.8	0.9	1.0
	尿路感染症	16	0.4	0.6	0.0
	带状疱疹	1	0.0	-	0.0
	蜂窩織炎	5	0.2	0.4	0.0
	心不全（慢性心不全の増悪）	14	1.1	1.2	1.0
	慢性気管支炎の急性増悪	0	-	-	-
介護医療院	肺炎	1	1.0	-	1.0
	尿路感染症	3	0.0	0.0	0.0
	带状疱疹	0	-	-	-
	蜂窩織炎	0	-	-	-
	心不全（慢性心不全の増悪）	1	1.0	-	1.0
	慢性気管支炎の急性増悪	0	-	-	-

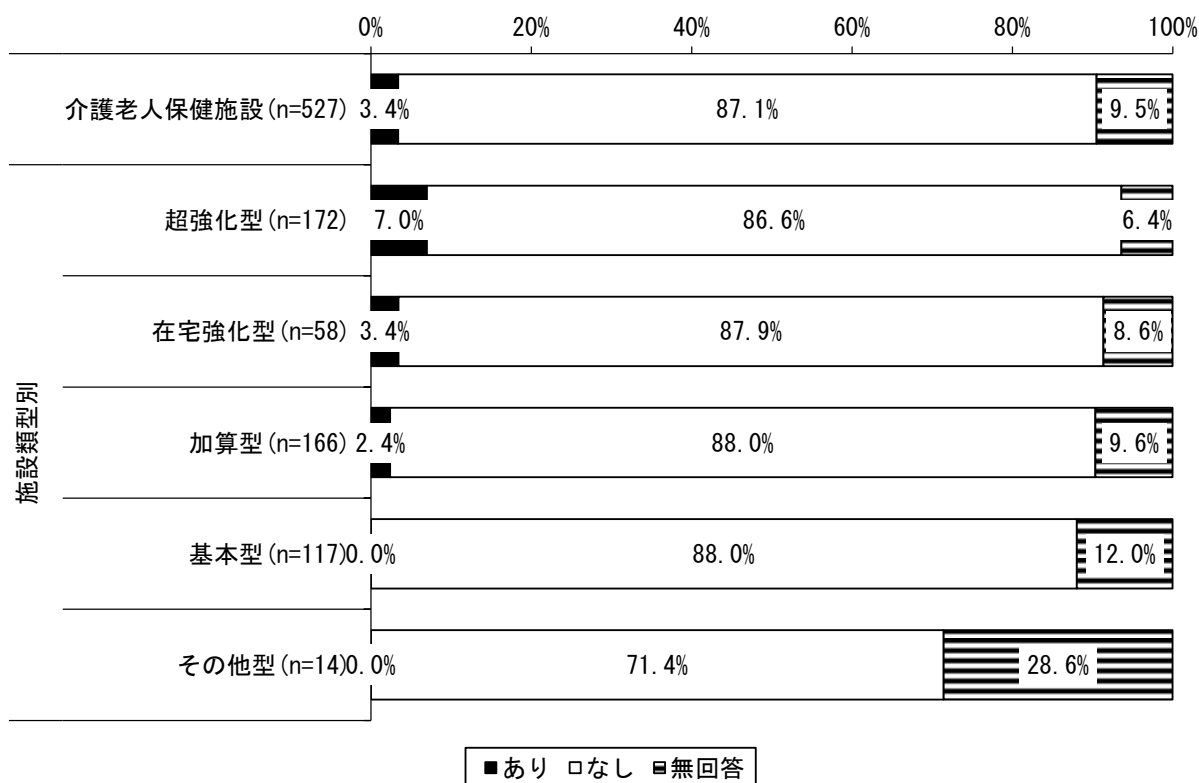
※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

(3) 総合医学管理加算について（介護老人保健施設）

① 総合医学管理加算の算定の有無

介護老人保健施設で総合医学管理加算の算定の有無は、「あり」が 3.4%、「なし」が 87.1%であった。施設類型別では、超強化型では「あり」が 7.0%、「なし」が 86.6%であった。在宅強化型では「あり」が 3.4%、「なし」が 87.9%であった。加算型では「あり」が 2.4%、「なし」が 88.0%であった。基本型では「あり」が 0.0%、「なし」が 88.0%であった。

図表 2-2-373 総合医学管理加算の算定の有無
（介護老人保健施設票：問 40）



② 総合医学管理加算の算定人数

2021年4月～2023年6月の間の総合医学管理加算の算定人数は、平均0.3人であった。

図表 2-2-374 総合医学管理加算の算定人数（2021年4月～2023年6月）

（介護老人保健施設票：問40）

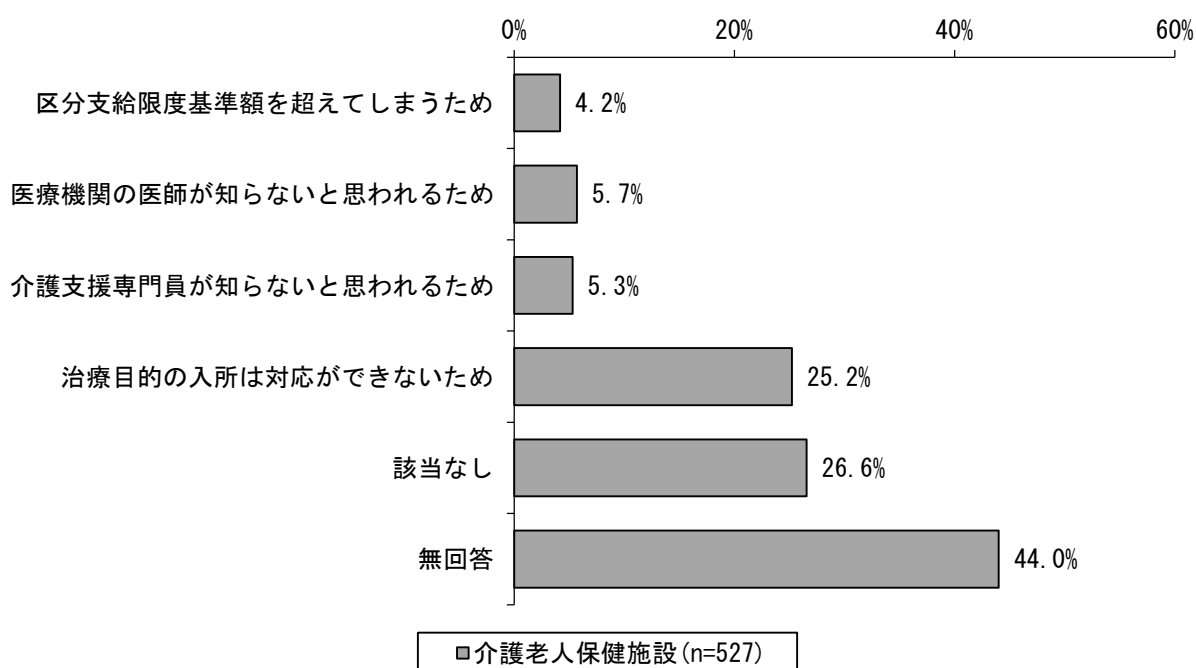
	件数	平均	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	477	0.3	2.1	0.0
超強化型	161	0.7	3.6	0.0
在宅強化型	53	0.2	0.8	0.0
加算型	150	0.1	0.4	0.0
基本型	103	0.0	-	0.0
その他型	10	0.0	-	0.0

③ 総合医学管理加算の算定が少ない理由

総合医学管理加算の算定が少ない理由は、「該当なし」が26.6%、「治療目的の入所は対応できないため」が25.2%であった。

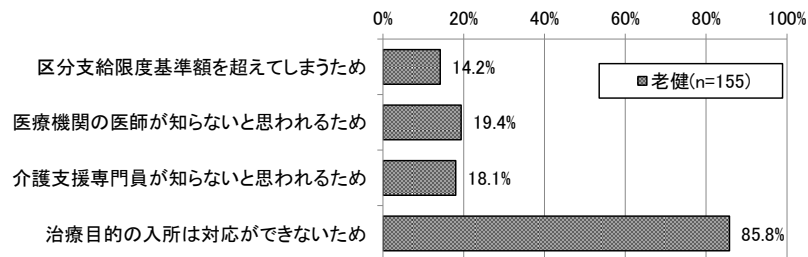
図表 2-2-375 総合医学管理加算の算定が少ない理由（複数回答）

（介護老人保健施設票：問41）



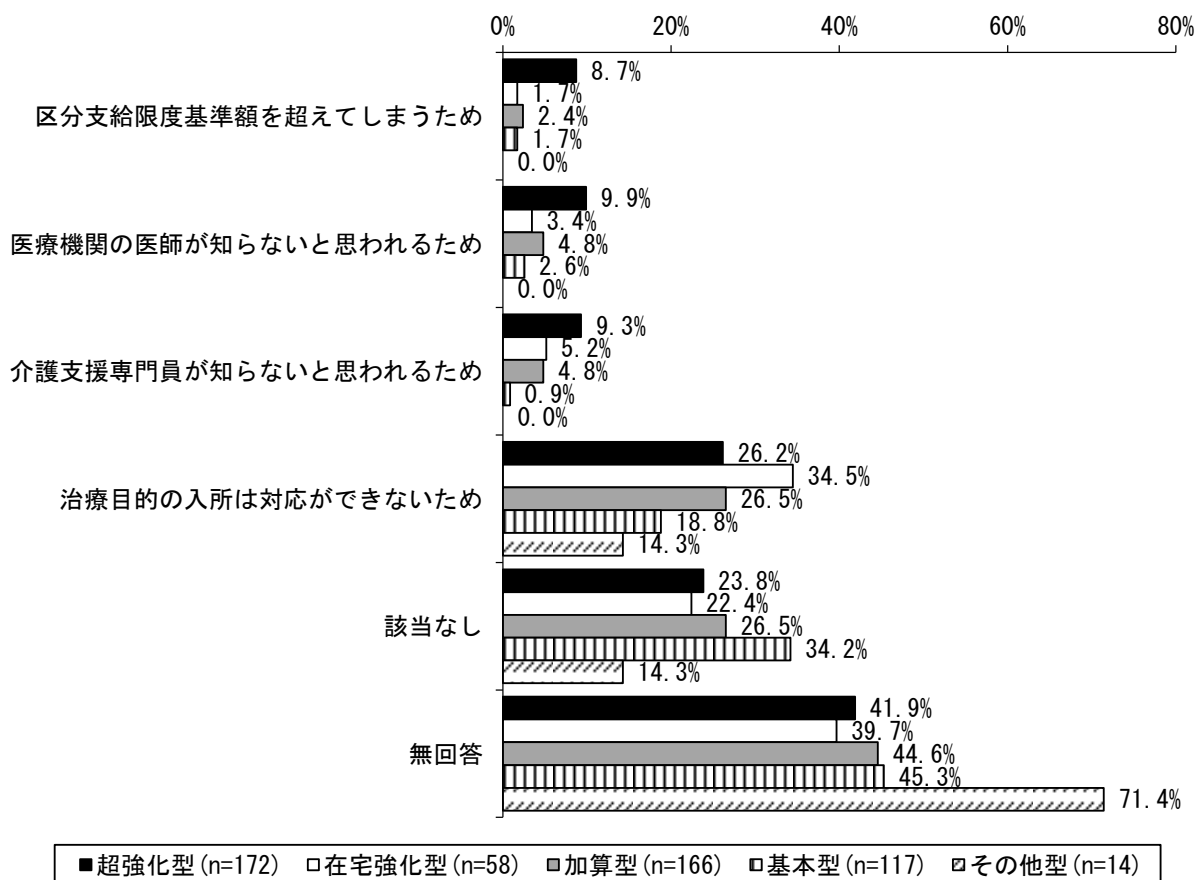
該当無し、無回答を除いた場合の総合医学管理加算の算定が少ない理由は「治療目的の入所は対応ができないため」が 85.8%であった。

図表 2-2-376 総合医学管理加算の算定が少ない理由（該当無し・無回答を除く）
（複数回答）（介護老人保健施設票：問 41）



施設類型別では、超強化型では、「治療目的の入所は対応ができないため」が 26.2%、在宅強化型では「治療目的の入所は対応ができないため」が 34.5%、加算型では「治療目的の入所は対応ができないため」「該当なし」がいずれも 26.5%、基本型では「該当なし」が 34.2%であった。

図表 2-2-377 総合医学管理加算の算定が少ない理由（複数回答）
（介護老人保健施設類型別）（問 41）



④ 総合医学管理加算の算定ができた理由

総合医学管理加算の算定ができた理由は、「地域の介護支援専門員にサービスを積極的に紹介している」「該当なし」がいずれも 38.9%（7 件）、「医療職を多めに配置している」が 27.8%（5 件）、「併設医療機関受診者のうち、利用が適当だった人がいた」が 22.2%（4 件）であった。

図表 2-2-378 総合医学管理加算の算定ができた理由（複数回答）

（介護老人保健施設票：問 42）

	合計	併設医療機関受診者のうち、利用が適当だった人がいた	地域の医療機関に、サービスを積極的に紹介している	地域の介護支援専門員にサービスを積極的に紹介している	医療職を多めに配置している	該当なし	無回答
介護老人保健施設	18 100.0%	4 22.2%	2 11.1%	7 38.9%	5 27.8%	7 38.9%	1 5.6%
超強化型	12 100.0%	3 25.0%	2 16.7%	6 50.0%	5 41.7%	4 33.3%	0 0.0%
在宅強化型	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
加算型	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%
基本型	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他型	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要

第3節 短期入所療養介護利用者調査の結果

1. 短期入所療養介護利用者の属性

(1) 入所者の年齢

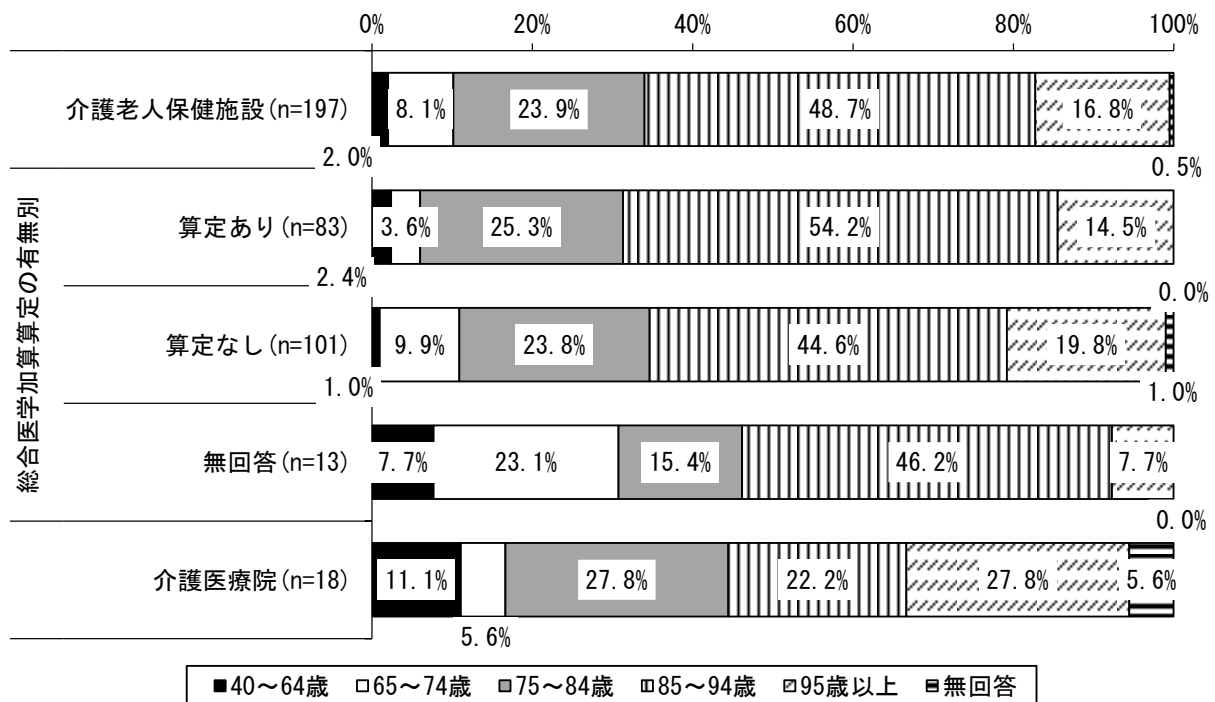
短期入所療養介護の入所者の年齢は、介護老人保健施設は、「85～94歳」が48.7%、「75～84歳」が23.9%、「95歳以上」が16.8%であった。

介護医療院は、「75～84歳」「95歳以上」がいずれも27.8%、「85～94歳」が22.2%であった。

総合医学管理加算算定の有無別では、算定ありでは「85～94歳」が54.2%、「75～84歳」が25.3%、「95歳以上」が14.5%であった。

算定なしでは「85～94歳」が44.6%、「75～84歳」が23.8%、「95歳以上」が19.8%であった。

図表 2-3-1 入所者の年齢（問1）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

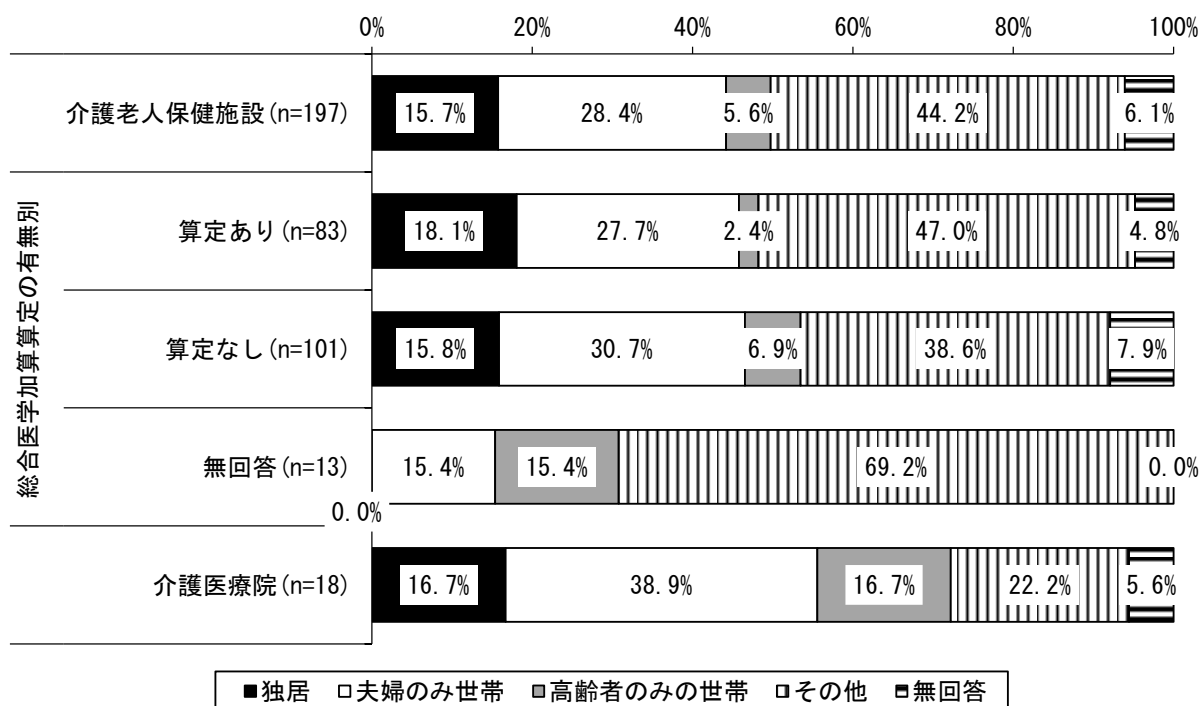
(2) 世帯構成

世帯構成は、介護老人保健施設は、「その他」が 44.2%、「夫婦のみ世帯」が 28.4%であった。

介護医療院は、「夫婦のみ世帯」が 38.9%であった。

総合医学加算算定の有無別では、算定ありでは、「その他」が 47.0%、「夫婦のみ世帯」が 27.7%であった。算定なしでは、「その他」が 38.6%、「夫婦のみ世帯」が 30.7%であった。

図表 2-3-2 世帯構成（問 2）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(3) 利用期間

利用期間は介護老人保健施設は、平均 9.4 日、介護医療院は、平均 10.2 日であった。
総合医学加算の算定の有無別では、算定ありで平均 9.4 日、算定なしで平均 9.9 日であった。

図表 2-3-3 利用期間（問 3）

	件数	平均値（日）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	193	9.4	6.4	8.0
総合医学加算算定あり	81	9.4	5.9	8.0
総合医学加算算定なし	99	9.9	7.0	8.0
無回答	13	6.5	3.0	6.0
介護医療院	18	10.2	9.0	7.5

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

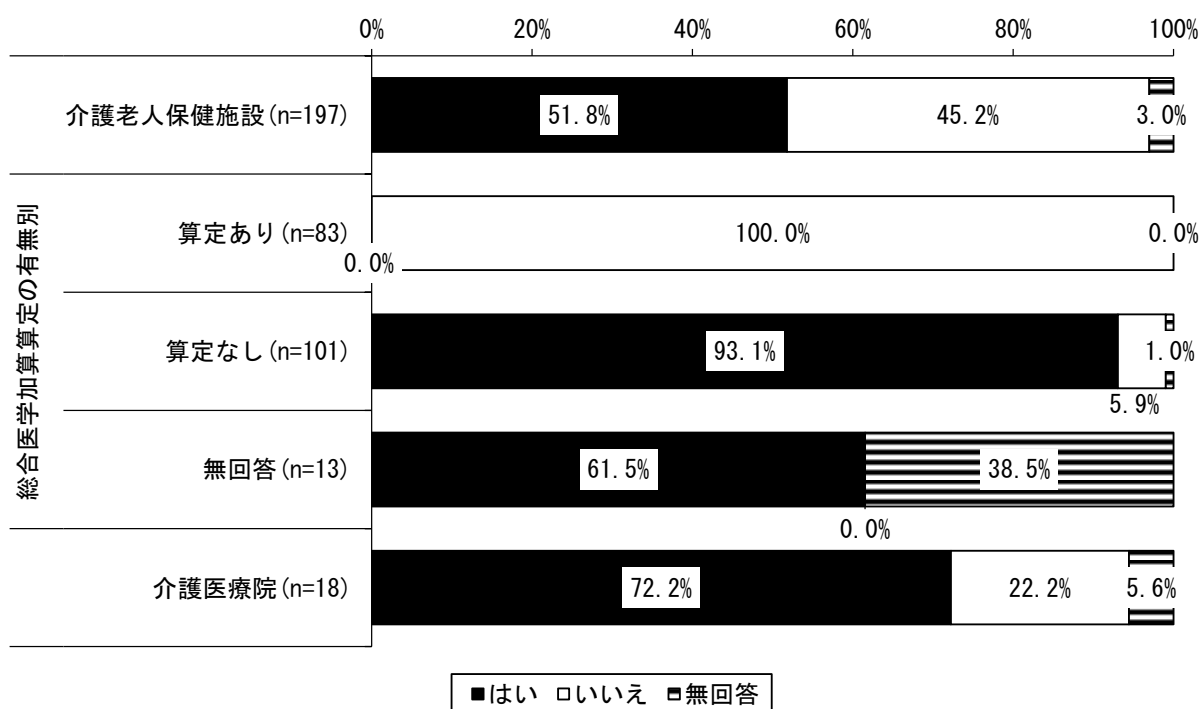
(4) 予め計画されていた短期入所か

予め計画されていた短期入所かについては、介護老人保健施設は、「はい」が 51.8%、「いいえ」が 45.2%であった。

介護医療院は、「はい」が 72.2%、「いいえ」が 22.2%であった。

総合医学加算算定の有無別では、算定ありでは、「いいえ」が 100%、算定なしでは「はい」が 93.1%、「いいえ」が 5.9%であった。

図表 2-3-4 予め計画されていた短期入所か（問 4）

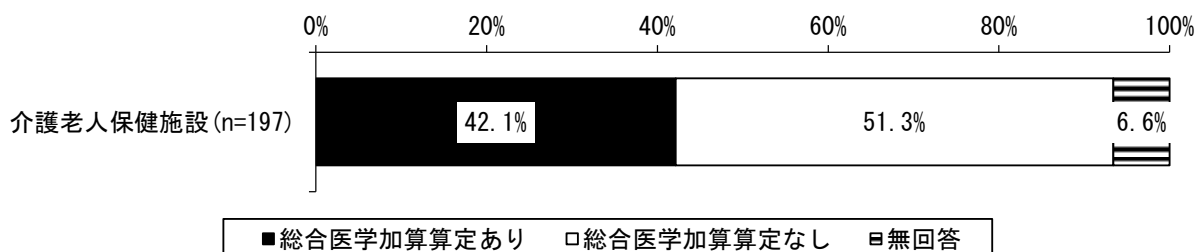


※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(5) 総合医学管理加算算定の有無

総合医学管理加算算定の有無は、「総合医学加算算定あり」が 42.1%、「総合医学加算算定なし」が 51.3%であった。

図表 2-3-5 総合医学管理加算算定の有無（介護老人保健施設類型別）（問 5）



(6) 利用開始前・終了後の居場所

介護老人保健施設の利用開始前の居場所は、「本人の家等（賃貸、家族等の家を含む）」が 87.3%、「病院（介護療養型医療施設を除く）」が 10.7%であった。

利用終了後の居場所は、「本人の家等（賃貸、家族等の家を含む）」が 57.9%、「病院（介護療養型医療施設を除く）」が 24.9%であった。

図表 2-3-6 利用終了後の居場所（介護老人保健施設）（問 6・問 7）

	利用開始前		利用終了後		
	人数 (人)	%	人数 (人)	%	
合計人数	197	100.0%	197	100.0%	
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族等の家を含む）	172	87.3%	114	57.9%
	病院（介護療養型医療施設を除く）	21	10.7%	49	24.9%
	協力病院である	11	52.4%	23	46.9%
	協力病院ではない	6	28.6%	20	40.8%
	不明	4	19.0%	6	12.2%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	0	0.0%	1	0.5%
	介護療養型医療施設	0	0.0%	0	0.0%
	介護医療院	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	1	0.5%	27	13.7%
	他の短期入所療養介護	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%
	居住系サービス等	1	0.5%	1	0.5%
	死亡			3	1.5%
	その他	1	0.5%	1	0.5%
内訳不明	1	0.5%	1	0.5%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の内訳の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-3-7 利用終了後の居場所（介護老人保健施設 総合医学管理加算算定あり）

（問 6・問 7）

		利用開始前		利用修了後	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		83	100.0%	83	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族等の家を含む）	75	90.4%	58	69.9%
	病院（介護療養型医療施設を除く）	7	8.4%	6	7.2%
	協力病院である	2	28.6%	3	50.0%
	協力病院ではない	2	28.6%	2	33.3%
	不明	3	42.9%	1	16.7%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	0	0.0%	0	0.0%
	介護療養方医療施設	0	0.0%	0	0.0%
	介護医療院	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	0	0.0%	16	19.3%
	他の短期入所療養介護	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%
	居住系サービス等	0	0.0%	0	0.0%
	死亡			1	1.2%
	その他	0	0.0%	1	1.2%
内訳不明	1	1.2%	1	1.2%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の内訳の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-3-8 利用終了後の居場所（介護老人保健施設 総合医学管理加算算定なし）

（問 6・問 7）

		利用開始前		利用修了後	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		101	100.0%	101	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族等の家を含む）	86	85.1%	46	45.5%
	病院（介護療養型医療施設を除く）	12	11.9%	42	41.6%
	協力病院である	9	75.0%	20	47.6%
	協力病院ではない	3	25.0%	17	40.5%
	不明	0	0.0%	5	11.9%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	0	0.0%	1	1.0%
	介護療養方医療施設	0	0.0%	0	0.0%
	介護医療院	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	1	1.0%	9	8.9%
	他の短期入所療養介護	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%
	居住系サービス等	1	1.0%	1	1.0%
	死亡			2	2.0%
	その他	1	1.0%	0	0.0%
内訳不明	0	0.0%	0	0.0%	

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の内訳の構成比は「病院」に対する構成比である。

図表 2-3-9 利用終了後の居場所（介護老人保健施設 総合医学管理加算算定無回答）

（問 6・問 7）

		利用開始前		利用修了後	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		13	100.0%	13	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族等の家を含む）	11	84.6%	10	76.9%
	病院（介護療養型医療施設を除く）	2	15.4%	1	7.7%
	協力病院である	2	100.0%	0	0.0%
	協力病院ではない	0	0.0%	1	100.0%
	不明	0	0.0%	0	0.0%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	0	0.0%	0	0.0%
	介護療養方医療施設	0	0.0%	0	0.0%
	介護医療院	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	0	0.0%	2	15.4%
	他の短期入所療養介護	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%
	居住系サービス等	0	0.0%	0	0.0%
	死亡			0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%
	内訳不明	0	0.0%	0	0.0%

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

※病院（介護療養型医療施設を除く）の内訳の構成比は「病院」に対する構成比である。

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

図表 2-3-10 利用終了後の居場所（介護医療院）（問 6・問 7）

		利用開始前		利用修了後	
		人数 (人)	%	人数 (人)	%
合計人数		18	100.0%	18	100.0%
【内訳】	本人の家等（賃貸、家族等の家を含む）	16	88.9%	10	55.6%
	病院（介護療養型医療施設を除く）	2	11.1%	8	44.4%
	協力病院である	2	100.0%	4	50.0%
	協力病院ではない	0	0.0%	2	25.0%
	不明	0	0.0%	2	25.0%
	有床診療所（介護療養型医療施設を除く）	0	0.0%	0	0.0%
	介護療養方医療施設	0	0.0%	0	0.0%
	介護医療院	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%
	他の短期入所療養介護	0	0.0%	0	0.0%
	介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%
	居住系サービス等	0	0.0%	0	0.0%
	死亡			0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%
	内訳不明	0	0.0%	0	0.0%

※居住系サービス等：有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

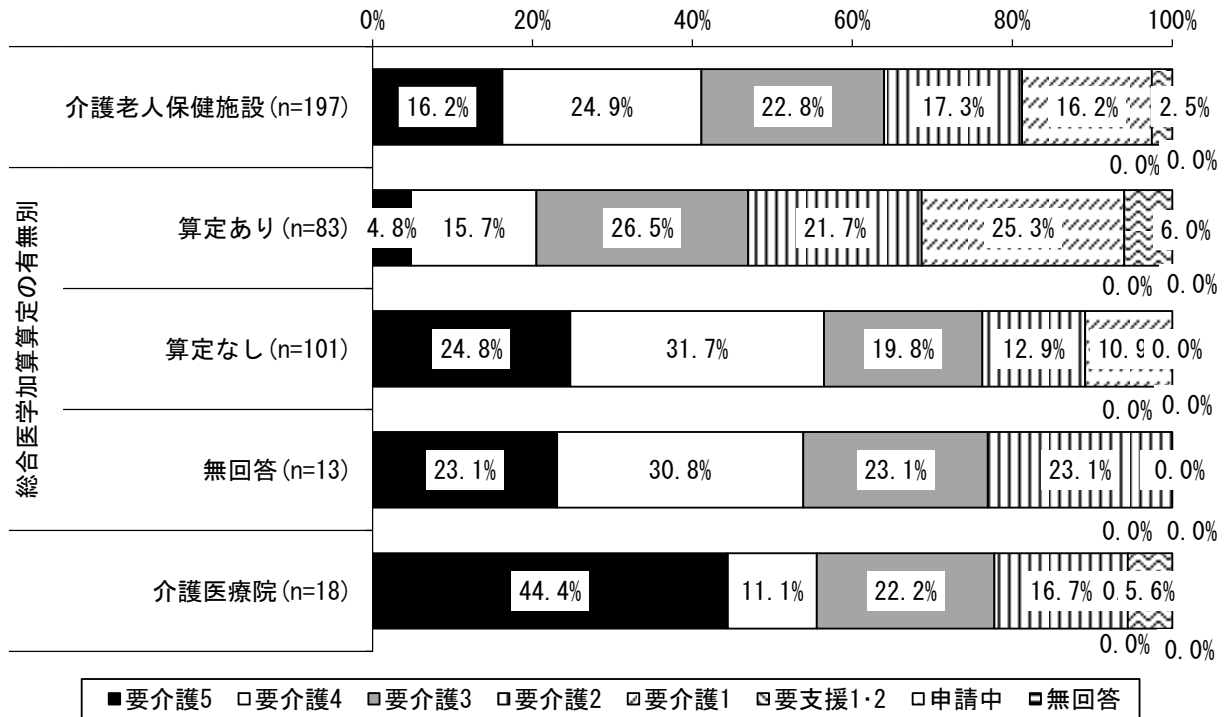
※病院（介護療養型医療施設を除く）の内訳の構成比は「病院」に対する構成比である。

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(7) 要介護度

要介護度は、介護老人保健施設は「要介護4」が24.9%、「要介護3」が22.8%、介護医療院は、「要介護5」が44.4%、「要介護3」が22.2%であった。

図表 2-3-11 要介護度（施設類型別）（問 8）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(8) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、介護老人保健施設は、「Ⅲ a」が 23.4%、「Ⅱ b」が 21.8%であった。

介護医療院は、「Ⅳ」が 27.8%、「Ⅲ a」が 22.2%であった。

総合医学加算算定の有無別では、算定ありでは「Ⅰ」「Ⅱ b」がいずれも 22.9%、「Ⅲ a」が 20.5%であった。算定なしでは、「Ⅲ a」が 26.7%であった。

図表 2-3-12 認知症高齢者の日常生活自立度（問 9）

	合計	自立	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b
介護老人保健施設	197 100.0%	20 10.2%	30 15.2%	24 12.2%	43 21.8%	46 23.4%	14 7.1%
総合医学加算算定あり	83 100.0%	15 18.1%	19 22.9%	6 7.2%	19 22.9%	17 20.5%	7 8.4%
総合医学加算算定なし	101 100.0%	4 4.0%	11 10.9%	15 14.9%	22 21.8%	27 26.7%	6 5.9%
無回答	13 100.0%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	2 15.4%	2 15.4%	1 7.7%
介護医療院	18 100.0%	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%	2 11.1%	4 22.2%	2 11.1%

(続き)

	合計	Ⅳ	M	無回答
介護老人保健施設	197 100.0%	15 7.6%	4 2.0%	1 0.5%
総合医学加算算定あり	83 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
総合医学加算算定なし	101 100.0%	13 12.9%	3 3.0%	0 0.0%
無回答	13 100.0%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%
介護医療院	18 100.0%	5 27.8%	1 5.6%	0 0.0%

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(9) 治療対象となった疾患名

治療対象となった疾患名は、介護老人保健施設は、「その他」が 57.9%、「尿路感染症」が 12.2%であった。

介護医療院は、「その他」が 44.4%、「誤嚥性肺炎」が 27.8%、「尿路感染症」が 22.2%であった。

総合医学加算算定の有無別では、算定ありでは「その他」が 59.0%、「脱水症」が 14.5%であった。算定なしでは、「その他」が 58.4%、「誤嚥性肺炎」が 13.9%、「尿路感染症」が 11.9%であった。

図表 2-3-13 治療対象となった疾患名（複数回答）（施設類型別）（問 10）

	合計	市中肺炎	誤嚥性肺炎	尿路感染症	帯状疱疹	蜂窩織炎	心不全
介護老人保健施設	197 100.0%	14 7.1%	17 8.6%	24 12.2%	1 0.5%	4 2.0%	17 8.6%
総合医学加算算定あり	83 100.0%	5 6.0%	1 1.2%	7 8.4%	1 1.2%	3 3.6%	6 7.2%
総合医学加算算定なし	101 100.0%	9 8.9%	14 13.9%	12 11.9%	0 0.0%	1 1.0%	11 10.9%
無回答	13 100.0%	0 0.0%	2 15.4%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護医療院	18 100.0%	0 0.0%	5 27.8%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%

(続き)

	合計	感染性胃腸炎	脱水症	褥瘡	急性腰痛症	その他	無回答
介護老人保健施設	197 100.0%	0 0.0%	17 8.6%	3 1.5%	5 2.5%	114 57.9%	4 2.0%
総合医学加算算定あり	83 100.0%	0 0.0%	12 14.5%	1 1.2%	4 4.8%	49 59.0%	3 3.6%
総合医学加算算定なし	101 100.0%	0 0.0%	5 5.0%	2 2.0%	1 1.0%	59 58.4%	1 1.0%
無回答	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 46.2%	0 0.0%
介護医療院	18 100.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	8 44.4%	0 0.0%

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

主な疾患は、介護老人保健施設は「その他」が 52.8%、「尿路感染症」が 10.2%、介護医療院は「その他」が 38.9%、「誤嚥性肺炎」「尿路感染症」がいずれも 22.2%であった。

図表 2-3-14 治療対象となった主たる疾患名（問 10）

	合計	市中肺炎	誤嚥性肺炎	尿路感染症	帯状疱疹	蜂窩織炎	心不全
介護老人保健施設	197 100.0%	10 5.1%	17 8.6%	20 10.2%	1 0.5%	4 2.0%	15 7.6%
総合医学加算算定あり	83 100.0%	4 4.8%	1 1.2%	6 7.2%	1 1.2%	3 3.6%	5 6.0%
総合医学加算算定なし	101 100.0%	6 5.9%	14 13.9%	9 8.9%	0 0.0%	1 1.0%	10 9.9%
無回答	13 100.0%	0 0.0%	2 15.4%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護医療院	18 100.0%	0 0.0%	4 22.2%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%

（続き）

	合計	感染性胃腸炎	脱水症	褥瘡	急性腰痛症	その他	無回答
介護老人保健施設	197 100.0%	0 0.0%	13 6.6%	3 1.5%	5 2.5%	104 52.8%	5 2.5%
総合医学加算算定あり	83 100.0%	0 0.0%	11 13.3%	1 1.2%	4 4.8%	43 51.8%	4 4.8%
総合医学加算算定なし	101 100.0%	0 0.0%	2 2.0%	2 2.0%	1 1.0%	55 54.5%	1 1.0%
無回答	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 46.2%	0 0.0%
介護医療院	18 100.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	7 38.9%	1 5.6%

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

2. 入所者への医療の状況

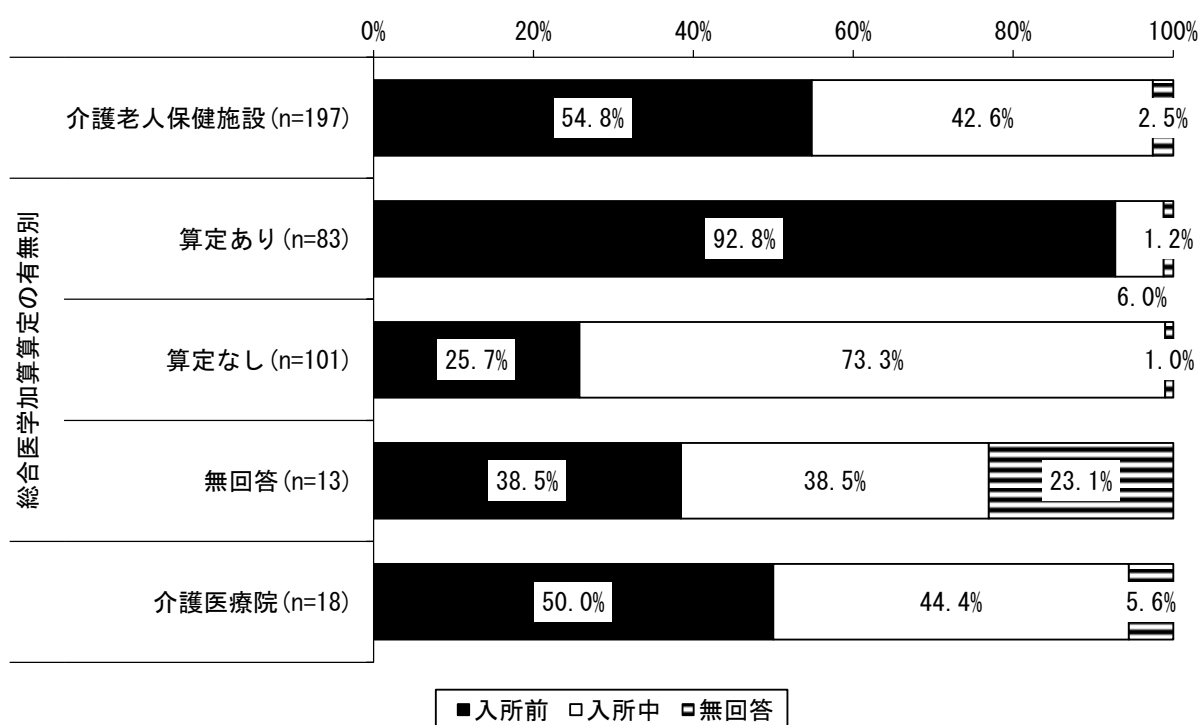
(1) 主たる疾患の発症の時期

主たる疾患の発症の時期は、介護老人保健施設は「入所前」が 54.8%、「入所中」が 42.6%であった。

介護医療院は「入所前」が 50.0%、「入所中」が 44.4%であった。

介護老人保健施設で総合医学管理加算算定の有無別では、算定ありでは「入所前」が 92.8%、「入所中」が 6.0%であった。算定なしでは「入所前」が 25.7%、「入所中」が 73.3%であった。

図表 2-3-15 主たる疾患の発症の時期（施設類型別）（問 11）



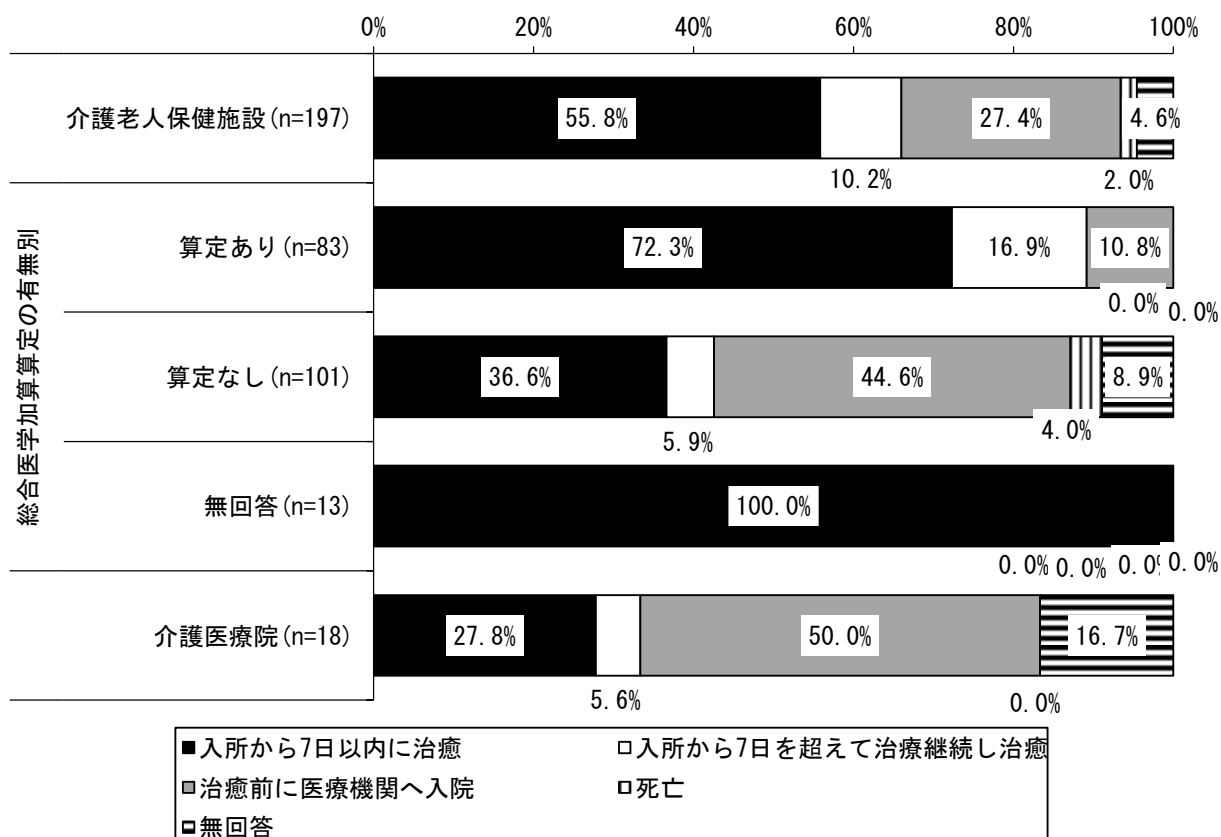
※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(2) 主たる疾患の治癒までの状況

主たる疾患の治癒までの状況は、介護老人保健施設は「入所から7日以内に治癒」が55.8%、「治癒前に医療機関へ入院」が27.4%であった。

介護医療院は、「治癒前に医療機関へ入院」が50.0%、「入所から7日以内に治癒」が27.8%であった。

図表 2-3-16 主たる疾患の治癒までの状況（施設類型別）（問 12）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

入所から7日を超えて治療継続し治癒した場合の治療期間の平均は、介護老人保健施設は15.3日であった。

図表 2-3-17 入所から7日を超えて治療継続し治癒した場合の治療期間（問 12）

	件数	平均値（日）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	17	15.3	7.2	12.0
総合医学加算算定あり	12	16.0	7.7	13.0
総合医学加算算定なし	5	13.6	6.6	10.0
無回答	0	-	-	-
介護医療院	1	10.0	-	10.0

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

図表 2-3-18 治癒期間（問 12）

	合計	8日	9日	10日	11日	12日	14日	18日
介護老人保健施設	20 100.0%	1 5.0%	3 15.0%	3 15.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%
総合医学加算算定あり	14 100.0%	0 0.0%	2 14.3%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%
総合医学加算算定なし	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護医療院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

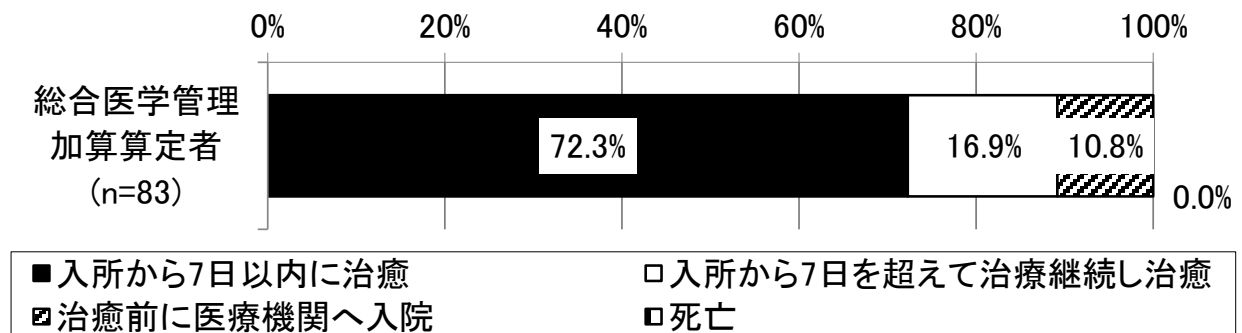
（続き）

	合計	22日	23日	24日	26日	31日	無回答
介護老人保健施設	20 100.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	3 15.0%
総合医学加算算定あり	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%
総合医学加算算定なし	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護医療院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

総合医学管理加算の算定者について、主たる疾患の治癒までの状況は「入所から7日以内に治癒」が72.3%であった。「入所から7日を超えて治療継続し治癒」が16.9%であった。

図表 2-3-19 （総合医学管理加算の算定者）主たる疾患の治癒までの状況



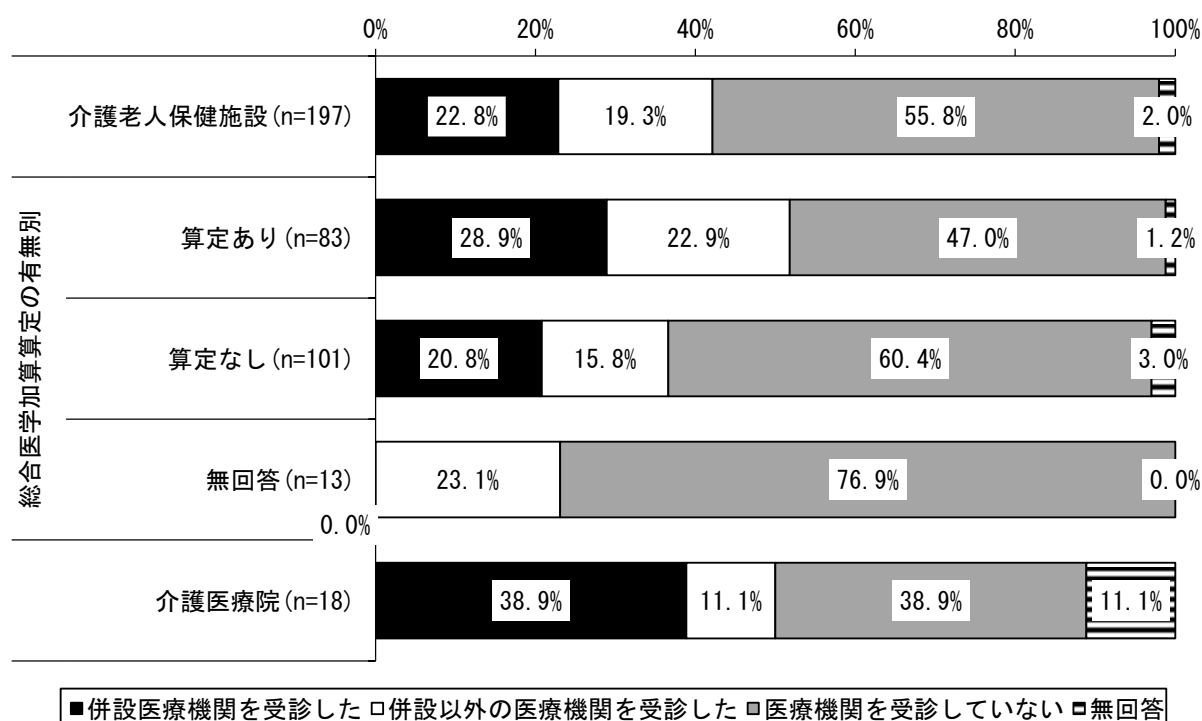
(3) 入所前の受診の状況

入所前の受診の状況は、介護老人保健施設は「併設医療機関を受診した」が 22.8%、「併設以外の医療機関を受診した」が 19.3%、「医療機関を受診していない」が 55.8%であった。

介護医療院は「併設医療機関を受診した」が 38.9%、「併設以外の医療機関を受診した」が 11.1%、「医療機関を受診していない」が 38.9%であった。

総合医学管理加算算定の有無別では、算定ありでは「併設医療機関を受診した」が 28.9%、「併設以外の医療機関を受診した」が 22.9%、「医療機関を受診していない」が 47.0%であった。算定なしでは「併設医療機関を受診した」が 20.8%、「併設以外の医療機関を受診した」が 15.8%、「医療機関を受診していない」が 60.4%であった。

図表 2-3-20 入所前の受診の状況（施設類型別）（問 13）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(4) 入所中に実施した検査の回数

① 検体検査（尿・血液等）

検体検査（尿・血液等）の回数は、介護老人保健施設は平均 0.7 回、介護医療院は平均 0.8 回であった。

総合医学管理加算算定の有無別では、算定あり、算定なしとも平均 0.7 回であった。

図表 2-3-21 検体検査（尿・血液等）の回数（問 14①）

	件数	平均値（回）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	195	0.7	1.1	0.0
総合医学加算算定あり	83	0.7	1.2	0.0
総合医学加算算定なし	99	0.7	1.1	0.0
無回答	13	0.6	0.9	0.0
介護医療院	18	0.8	0.6	1.0

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

② 生体検査（超音波・内視鏡等）

生体検査（超音波・内視鏡等）の回数は、介護老人保健施設は平均 0.1 回、介護医療院は平均 0.2 回であった。

総合医学管理加算算定の有無別では、算定あり、算定なしとも平均 0.1 回であった。

図表 2-3-22 生体検査（超音波・内視鏡等）の回数（問 14②）

	件数	平均値（回）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	195	0.1	0.3	0.0
総合医学加算算定あり	83	0.1	0.3	0.0
総合医学加算算定なし	99	0.1	0.4	0.0
無回答	13	0.2	0.4	0.0
介護医療院	18	0.2	0.4	0.0

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

③ X線単純撮影

X線単純撮影の回数は、介護老人保健施設は平均 0.2 回、介護医療院は平均 0.1 回であった。

総合医学管理加算算定の有無別では、算定ありは平均 0.1 回、算定なしは平均 0.2 回であった。

図表 2-3-23 X線単純撮影の回数（問 14③）

	件数	平均値（回）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	195	0.2	0.4	0.0
総合医学加算算定あり	83	0.1	0.4	0.0
総合医学加算算定なし	99	0.2	0.4	0.0
無回答	13	0.0		0.0
介護医療院	18	0.1	0.3	0.0

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

④ CT・MRI

CT・MRI の回数は、介護老人保健施設は平均 0.1 回、介護医療院は平均 0.4 回であった。

総合医学管理加算算定の有無別では、算定ありは平均 0.0 回、算定なしは平均 0.3 回であった。

図表 2-3-24 CT・MRI の回数（問 14④）

	件数	平均値（回）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	195	0.1	0.4	0.0
総合医学加算算定あり	83	0.0	0.2	0.0
総合医学加算算定なし	99	0.3	0.5	0.0
無回答	13	0.0		0.0
介護医療院	18	0.4	0.6	0.0

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(5) 原因菌の特定検査

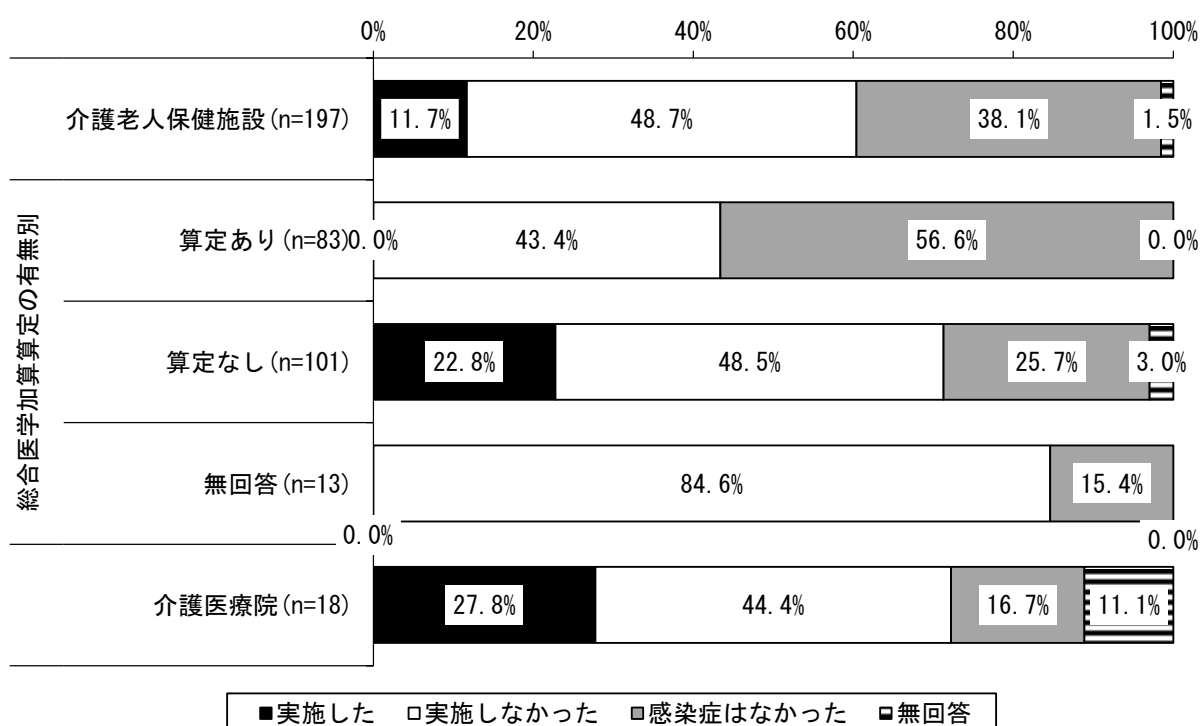
原因菌の特定検査は、介護老人保健施設では、「実施した」が 11.7%、「実施しなかった」が 48.7%、「感染症はなかった」が 38.1%であった。

介護医療院では、「実施した」が 27.8%、「実施しなかった」が 44.4%、「感染症はなかった」が 16.7%であった。

総合医学加算算定の有無別では、算定ありは「実施した」が 0.0%、「実施しなかった」が 43.4%、「感染症はなかった」が 56.6%であった

算定なしでは「実施した」が 22.8%、「実施しなかった」が 48.5%、「感染症はなかった」が 25.7%であった

図表 2-3-25 原因菌の特定検査（施設類型別）（問 15）



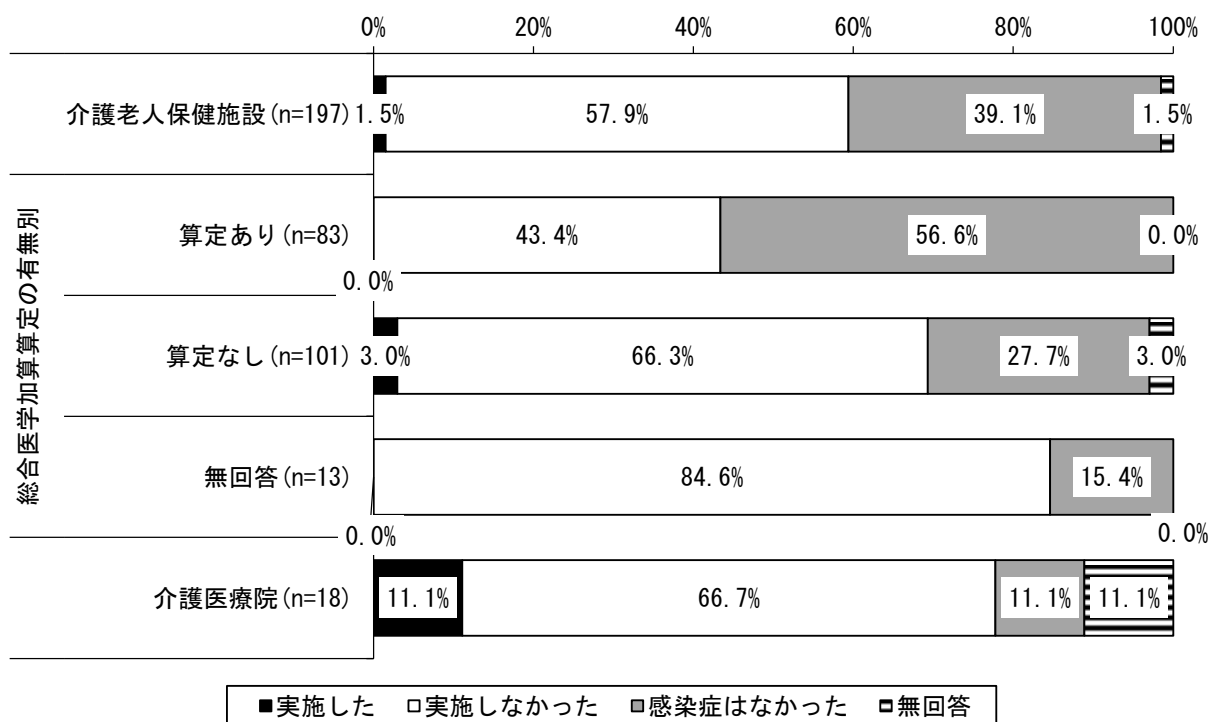
※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(6) 薬剤感受性検査

薬剤感受性検査は、介護老人保健施設では「実施した」が 1.5%、「実施しなかった」が 57.9%、「感染症はなかった」が 39.1%であった。

介護医療院では、「実施した」が 11.1%、「実施しなかった」が 66.7%、「感染症はなかった」が 11.1%であった。

図表 2-3-26 薬剤感受性検査（施設類型別）（問 16）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(7) 入所中に実施した処置

入所中に実施した処置は、介護老人保健施設は、「静脈内注射（点滴含む）」が 37.6%、「経口薬投与」が 32.0%、「該当なし」が 26.4%であった。

介護医療院は「静脈内注射（点滴含む）」が 66.7%、「経口薬投与」が 33.3%であった。

図表 2-3-27 入所中に実施した処置（施設類型別）（問 17）（複数回答）

	合計	経口薬 投与	静脈内 注射(点 滴含む)	→静脈	→静脈	→静脈	→静脈
				内注射 (点滴含 む)〈輸 液〉	内注射 (点滴含 む)〈抗 菌薬〉	内注射 (点滴含 む)〈利 尿薬〉	内注射 (点滴含 む)〈昇 圧薬〉
介護老人保健施設	197 100.0%	63 32.0%	74 37.6%	60 30.5%	30 15.2%	7 3.6%	0 0.0%
総合医学加算算定 あり	83 100.0%	35 42.2%	34 41.0%	28 33.7%	14 16.9%	4 4.8%	0 0.0%
総合医学加算算定 なし	101 100.0%	26 25.7%	35 34.7%	32 31.7%	11 10.9%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	13 100.0%	2 15.4%	5 38.5%	0 0.0%	5 38.5%	3 23.1%	0 0.0%
介護医療院	18 100.0%	6 33.3%	12 66.7%	9 50.0%	6 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

(続き)

	合計	24時間 持続点 滴	酸素療 法	経鼻経 管栄養	中心静 脈栄養	カテー テルの 管理	持続モ ニター
介護老人保健施設	197 100.0%	1 0.5%	19 9.6%	2 1.0%	0 0.0%	6 3.0%	7 3.6%
総合医学加算算定 あり	83 100.0%	0 0.0%	4 4.8%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.4%
総合医学加算算定 なし	101 100.0%	1 1.0%	13 12.9%	1 1.0%	0 0.0%	4 4.0%	3 3.0%
無回答	13 100.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	2 15.4%
介護医療院	18 100.0%	0 0.0%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	3 16.7%

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(続き)

	合計	喀痰吸引(1日8回未満)	喀痰吸引(1日8回以上)	疼痛管理(麻薬なし)	疼痛管理(麻薬使用)	創傷処置	褥瘡処置
介護老人保健施設	197 100.0%	12 6.1%	5 2.5%	4 2.0%	0 0.0%	13 6.6%	7 3.6%
総合医学加算算定あり	83 100.0%	2 2.4%	0 0.0%	3 3.6%	0 0.0%	7 8.4%	2 2.4%
総合医学加算算定なし	101 100.0%	9 8.9%	5 5.0%	1 1.0%	0 0.0%	6 5.9%	4 4.0%
無回答	13 100.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%
介護医療院票	18 100.0%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%

(続き)

	合計	該当なし	無回答
介護老人保健施設	197 100.0%	52 26.4%	7 3.6%
総合医学加算算定あり	83 100.0%	13 15.7%	5 6.0%
総合医学加算算定なし	101 100.0%	36 35.6%	1 1.0%
無回答	13 100.0%	3 23.1%	1 7.7%
介護医療院	18 100.0%	2 11.1%	2 11.1%

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

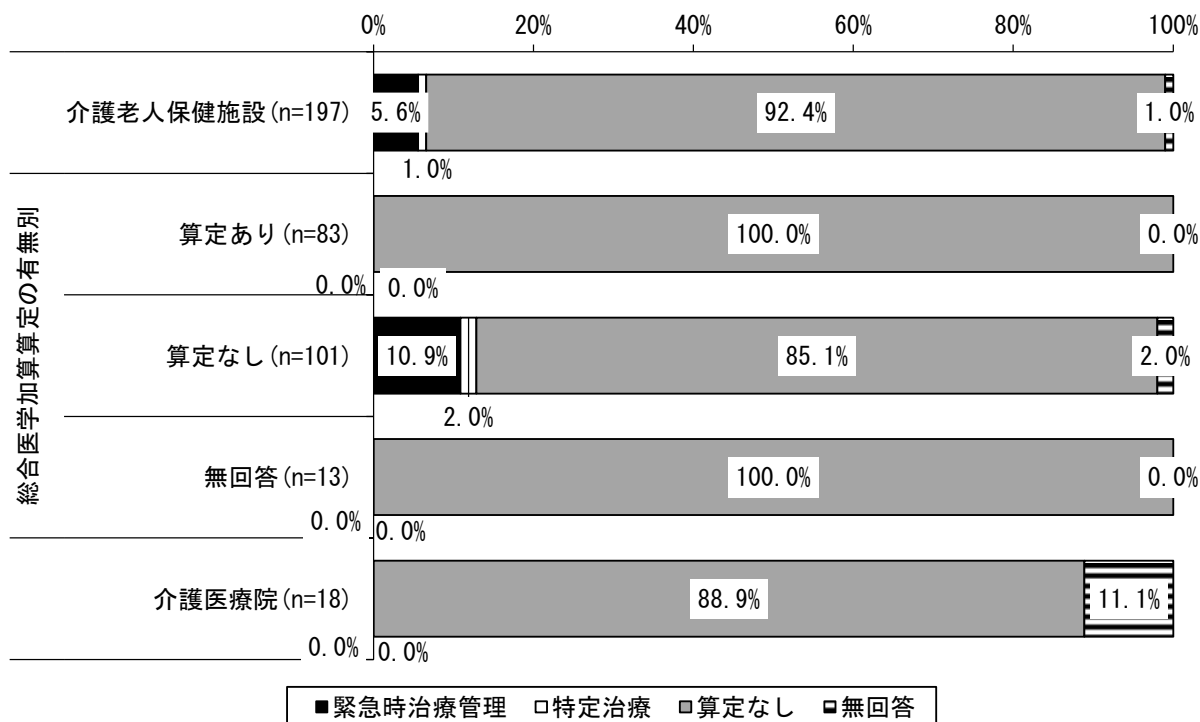
(8) 緊急時施設療養費算定の有無

緊急時施設療養費算定の有無は、介護老人保健施設は「緊急時治療管理」が 5.6%、「特定治療」が 1.0%、「算定なし」が 92.4%であった。

介護医療院は「算定なし」が 88.9%であった。

平均算定日数は、介護老人保健施設では 2.5 日であった。

図表 2-3-28 緊急時施設療養費算定の有無（施設類型別）（問 18）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

図表 2-3-29 緊急時施設療養費算定日数（問 18）

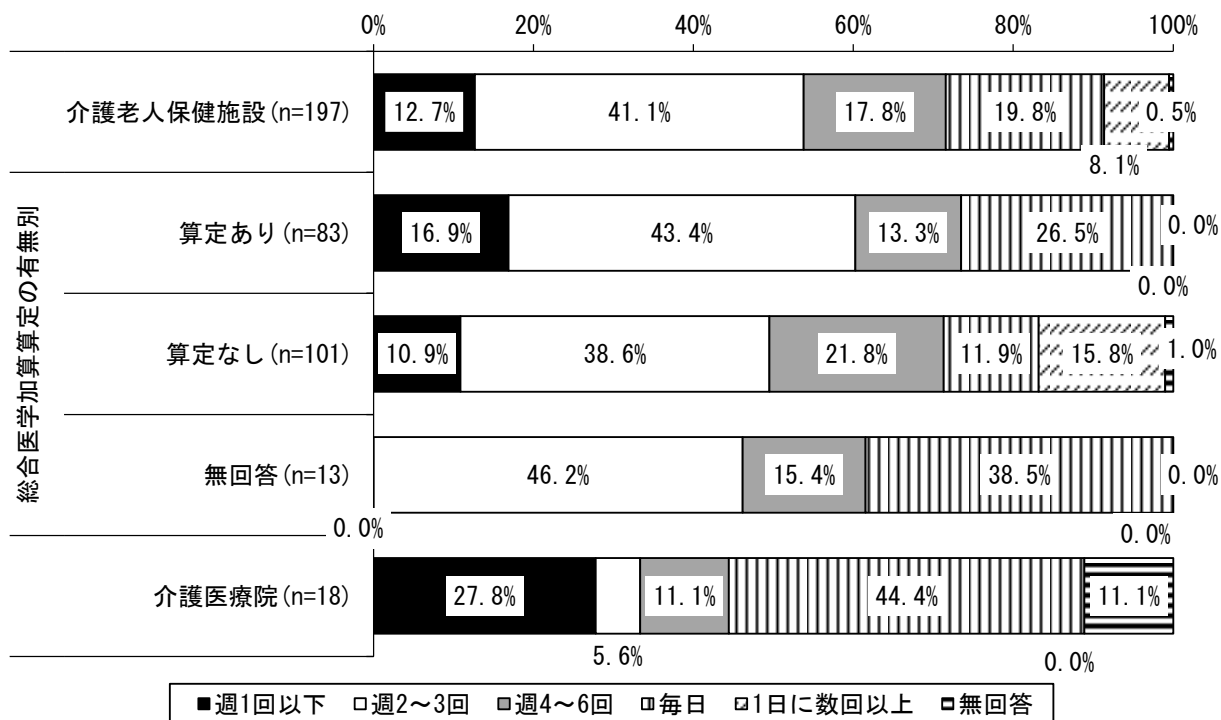
	件数	平均値（日）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	11	2.5	0.8	3.0
総合医学加算算定あり	0	-	-	-
総合医学加算算定なし	11	2.5	0.8	3.0
無回答	0	-	-	-
介護医療院	0	-	-	-

※回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(9) 医師による診察・健康観察の頻度・必要性

医師による診察・健康観察の頻度・必要性は、介護老人保健施設では「週2～3回」が41.1%、「毎日」が19.8%、介護医療院では、「毎日」が44.4%、「週1回以下」が27.8%であった。

図表 2-3-30 医師による診察・健康観察の頻度・必要性（施設類型別）（問 19）

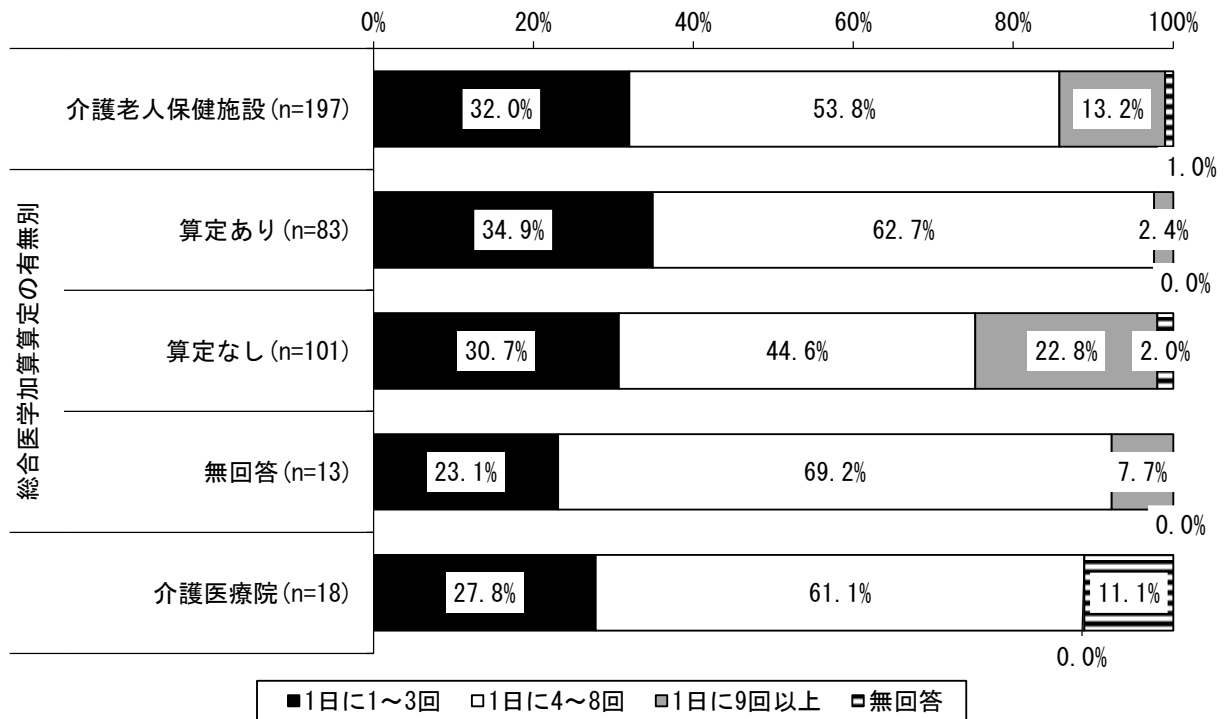


※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(10) 看護職員による観察・直接の看護提供の頻度・必要性

看護職員による観察・直接の看護提供の頻度・必要性は、介護老人保健施設では、「1日に4～8回」が53.8%、「1日に1～3回」が32.0%、介護医療院では「1日に4～8回」が61.1%、「1日に1～3回」が27.8%であった。

図表 2-3-31 看護職員による観察・直接の看護提供の頻度・必要性（施設類型別）（問 20）



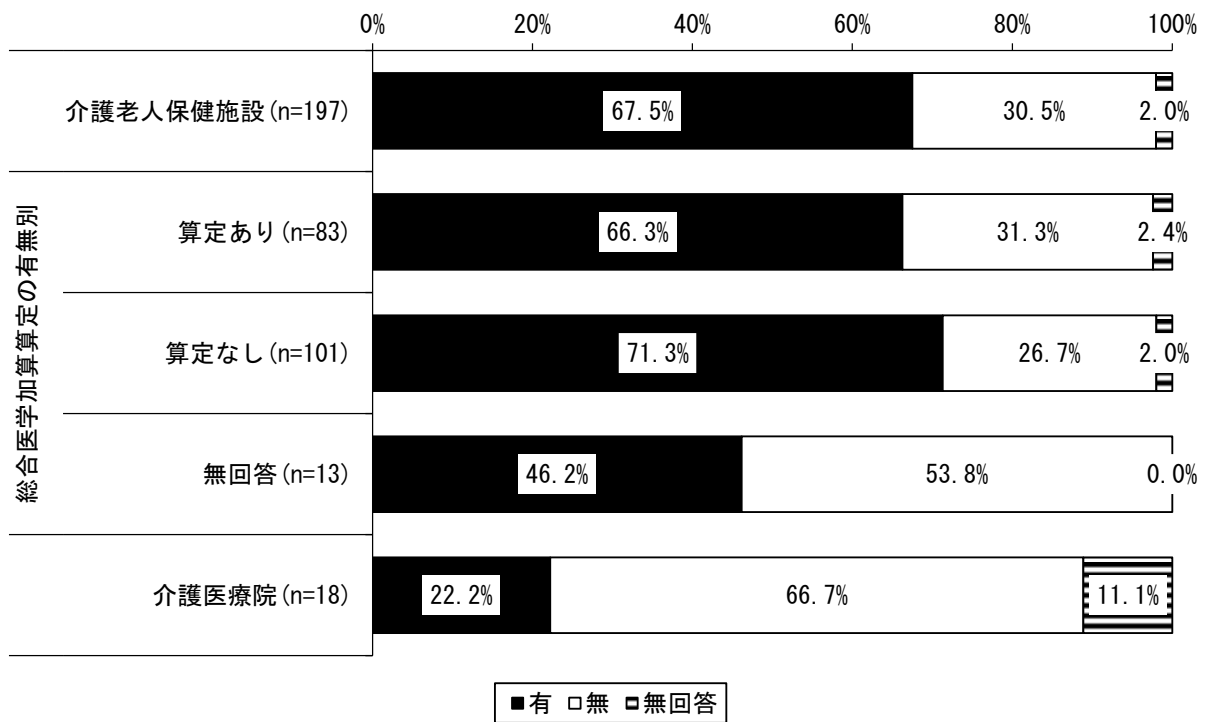
※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(11) リハビリテーション実施の有無と回数

リハビリテーション実施の有無は、介護老人保健施設は「有」が 67.5%、「無」が 30.5%、介護医療院は、「有」が 22.2%、「無」が 66.7%であった。

実施回数の平均は、介護老人保健施設は 5.1 回、介護医療院は 2.3 回（4 件）であった。

図表 2-3-32 リハビリテーション実施の有無（施設類型別）（問 21）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

図表 2-3-33 リハビリテーション実施回数（問 21）

	件数	平均値（回）	標準偏差	中央値
介護老人保健施設	133	5.1	4.4	3.0
総合医学加算算定あり	55	5.6	4.7	4.0
総合医学加算算定なし	72	4.8	4.4	3.0
無回答	6	3.7	1.6	3.0
介護医療院	4	2.3	1.5	2.0

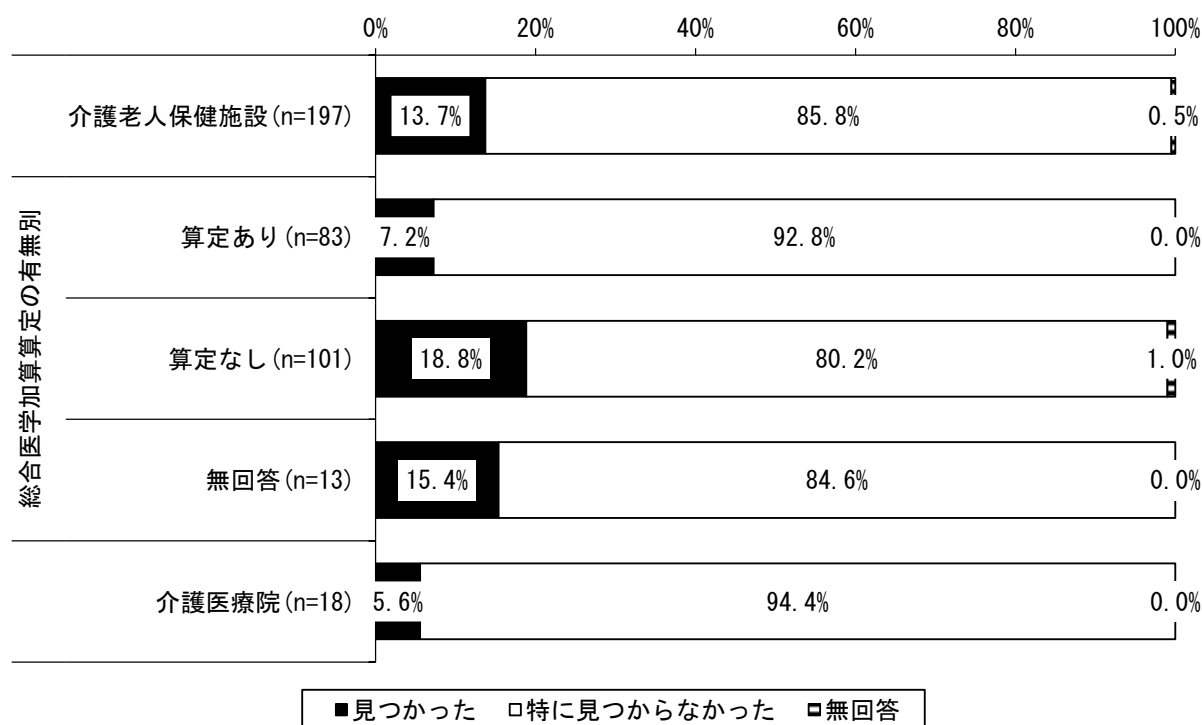
※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(12) 短期入所中に既往歴にない疾患が見つかったか

短期入所中に既往歴にない疾患が見つかったかは、介護老人保健施設は「見つかった」が 13.7%、「特に見つからなかった」が 85.8%、介護医療院は、「見つかった」が 5.6%、「特に見つからなかった」が 94.4%であった。

見つかった疾患は、介護老人保健施設は「その他」が 77.8%、「貧血」「心不全」がそれぞれ 11.1%であった。

図表 2-3-34 短期入所中に既往歴にない疾患が見つかったか（施設類型別）（問 22）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

図表 2-3-35 見つかった短期入所中に既往歴にない疾患（施設類型別）（問 22）

	合計	貧血	糖尿病	高血圧	脂質異常症	低アルブミン血症	心不全
介護老人保健施設	27 100.0%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	3 11.1%
総合医学加算算定あり	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%
総合医学加算算定なし	19 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
介護医療院	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（続き）

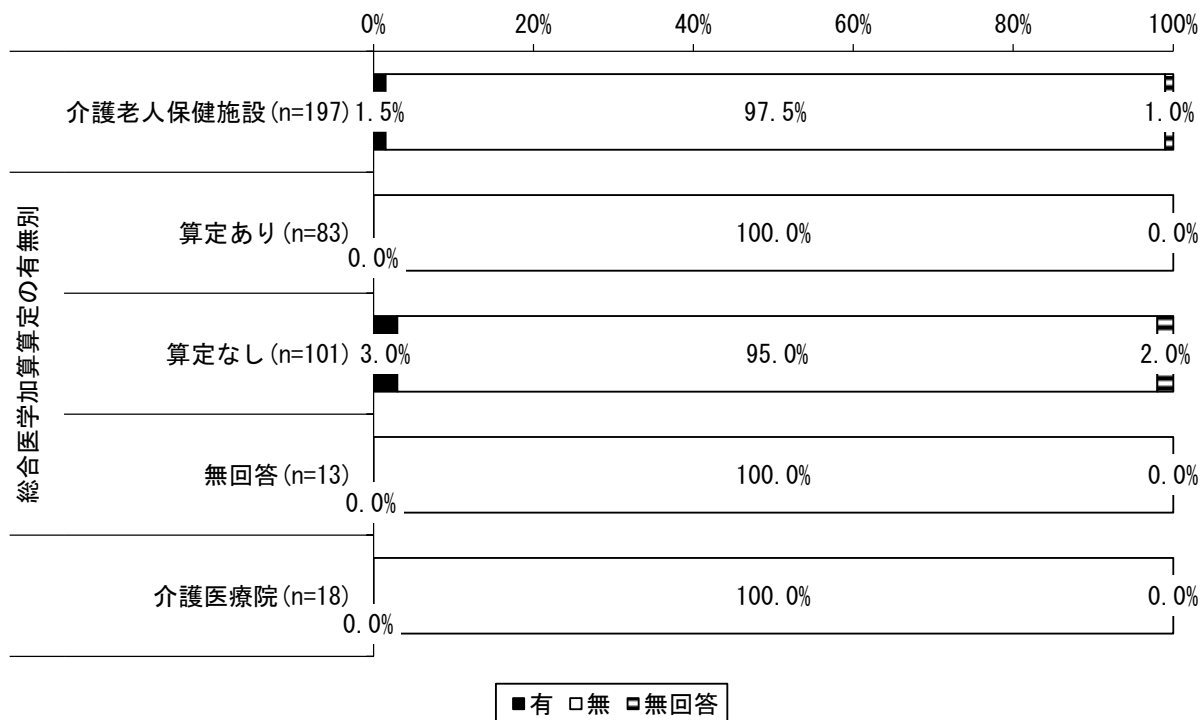
	合計	慢性腎不全	その他	無回答
介護老人保健施設	27 100.0%	0 0.0%	21 77.8%	0 0.0%
総合医学加算算定あり	6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%
総合医学加算算定なし	19 100.0%	0 0.0%	17 89.5%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
介護医療院	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

(13) 身体拘束の実施の有無

身体拘束の実施の有無は、介護老人保健施設では「有」が 1.5%、「無」が 97.5%、介護医療院では「無」が 100%であった。

図表 2-3-36 身体拘束の実施の有無（施設類型別）（問 23）



※介護医療院は回答数が少ないので結果の見方には注意が必要である

第4節 入所者票の結果

1. 入所者の基本情報

(1) 年齢

入所者の年齢は、介護老人保健施設は「85歳～94歳」が50.9%、「75歳～84歳」が24.9%、「95歳以上」が15.5%であった。

介護医療院は「85歳～94歳」が46.0%、「75歳～84歳」が27.3%、「95歳以上」が17.1%であった。

図表 2-4-1 年齢 (1)

	合計	40歳～ 64歳	65歳～ 74歳	75歳～ 84歳	85歳～ 94歳	95歳以 上	無回答
介護老人保健施設	4,206 100.0%	85 2.0%	279 6.6%	1,046 24.9%	2,142 50.9%	652 15.5%	2 0.0%
介護医療院	1,581 100.0%	27 1.7%	124 7.8%	432 27.3%	727 46.0%	271 17.1%	0 0.0%

図表 2-4-2 年齢 (1) (施設類型別)

		合計	40歳～ 64歳	65歳～ 74歳	75歳～ 84歳	85歳～ 94歳	95歳以 上	無回答
介護老人保健施設	超強化型	1,270 100.0%	37 2.9%	85 6.7%	323 25.4%	657 51.7%	168 13.2%	0 0.0%
	在宅強化型	485 100.0%	17 3.5%	47 9.7%	120 24.7%	231 47.6%	70 14.4%	0 0.0%
	加算型	1,514 100.0%	25 1.7%	79 5.2%	367 24.2%	766 50.6%	275 18.2%	2 0.1%
	基本型	884 100.0%	6 0.7%	68 7.7%	219 24.8%	463 52.4%	128 14.5%	0 0.0%
	その他型	53 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 32.1%	25 47.2%	11 20.8%	0 0.0%
介護医療院	I型	1,167 100.0%	23 2.0%	93 8.0%	316 27.1%	543 46.5%	192 16.5%	0 0.0%
	II型	414 100.0%	4 1.0%	31 7.5%	116 28.0%	184 44.4%	79 19.1%	0 0.0%

(2) 要介護度

要介護度は、介護老人保健施設は、「要介護4」が28.1%、「要介護3」が25.1%であった。平均要介護度は3.18であった。

介護医療院は、「要介護5」が44.5%、「要介護4」が37.9%であった。平均要介護度は4.18であった。

図表 2-4-3 要介護度 (2))

	合計	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援 1・2
介護老人保健施設	4,206 100.0%	672 16.0%	1,182 28.1%	1,057 25.1%	773 18.4%	509 12.1%	0 0.0%
介護医療院	1,581 100.0%	703 44.5%	599 37.9%	169 10.7%	66 4.2%	38 2.4%	0 0.0%

(続き)

	合計	申請中	無回答
介護老人保健施設	4,206 100.0%	11 0.3%	2 0.0%
介護医療院	1,581 100.0%	6 0.4%	0 0.0%

図表 2-4-4 要介護度 (2)) (施設類型別)

		合計	要介護 5	要介護 4	要介護 3	要介護 2	要介護 1	要支援 1・2
介護老人保健施設	超強化型	1,270 100.0%	220 17.3%	344 27.1%	337 26.5%	214 16.9%	150 11.8%	0 0.0%
	在宅強化型	485 100.0%	61 12.6%	150 30.9%	120 24.7%	81 16.7%	70 14.4%	0 0.0%
	加算型	1,514 100.0%	248 16.4%	420 27.7%	386 25.5%	291 19.2%	167 11.0%	0 0.0%
	基本型	884 100.0%	135 15.3%	252 28.5%	201 22.7%	183 20.7%	110 12.4%	0 0.0%
	その他型	53 100.0%	8 15.1%	16 30.2%	13 24.5%	4 7.5%	12 22.6%	0 0.0%
介護医療院	I 型	1,167 100.0%	541 46.4%	464 39.8%	104 8.9%	35 3.0%	18 1.5%	0 0.0%
	II 型	414 100.0%	162 39.1%	135 32.6%	65 15.7%	31 7.5%	20 4.8%	0 0.0%

(続き)

		合計	申請中	無回答
介護老人保健施設	超強化型	1,270 100.0%	5 0.4%	0 0.0%
	在宅強化型	485 100.0%	3 0.6%	0 0.0%
	加算型	1,514 100.0%	0 0.0%	2 0.1%
	基本型	884 100.0%	3 0.3%	0 0.0%
	その他型	53 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護医療院	I 型	1,167 100.0%	5 0.4%	0 0.0%
	II 型	414 100.0%	1 0.2%	0 0.0%

(3) 認知症高齢者日常生活自立度

認知症高齢者日常生活自立度は、介護老人保健施設は、「Ⅲ a」が 30.2%、「Ⅱ b」が 23.8%であった。

介護医療院は、「Ⅳ」が 41.4%、「Ⅲ a」が 20.1%であった。

図表 2-4-5 認知症高齢者日常生活自立度 (3)

	合計	自立	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b
介護老人保健施設	4,206 100.0%	134 3.2%	325 7.7%	501 11.9%	1,000 23.8%	1,271 30.2%	388 9.2%
介護医療院	1,581 100.0%	16 1.0%	46 2.9%	64 4.0%	108 6.8%	317 20.1%	225 14.2%

(続き)

	合計	Ⅳ	M	不明	無回答
介護老人保健施設	4,206 100.0%	381 9.1%	39 0.9%	123 2.9%	44 1.0%
介護医療院	1,581 100.0%	655 41.4%	107 6.8%	10 0.6%	33 2.1%

図表 2-4-6 認知症高齢者日常生活自立度 (3) (施設類型別)

		合計	自立	I	II a	II b	III a	III b
介護老人保健施設	超強化型	1,270 100.0%	46 3.6%	110 8.7%	141 11.1%	315 24.8%	378 29.8%	108 8.5%
	在宅強化型	485 100.0%	24 4.9%	44 9.1%	61 12.6%	126 26.0%	131 27.0%	51 10.5%
	加算型	1,514 100.0%	39 2.6%	99 6.5%	192 12.7%	390 25.8%	465 30.7%	138 9.1%
	基本型	884 100.0%	24 2.7%	68 7.7%	102 11.5%	160 18.1%	281 31.8%	88 10.0%
	その他型	53 100.0%	1 1.9%	4 7.5%	5 9.4%	9 17.0%	16 30.2%	3 5.7%
介護医療院	I型	1,167 100.0%	6 0.5%	26 2.2%	48 4.1%	57 4.9%	210 18.0%	182 15.6%
	II型	414 100.0%	10 2.4%	20 4.8%	16 3.9%	51 12.3%	107 25.8%	43 10.4%

(続き)

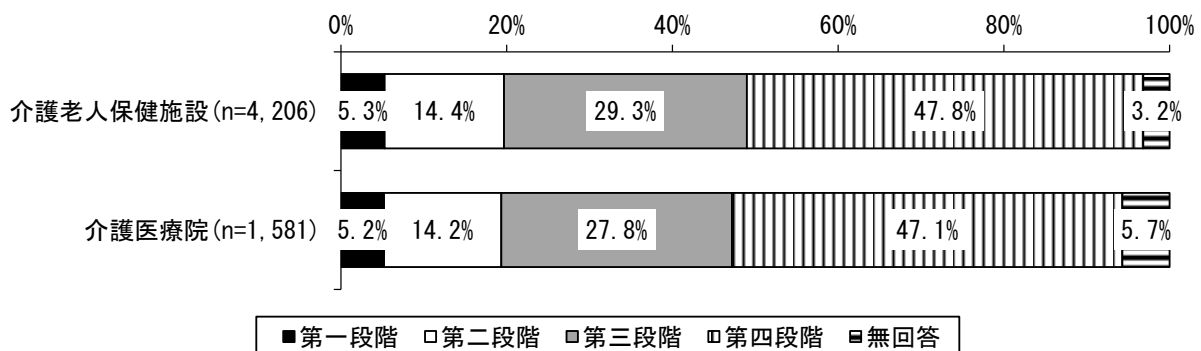
		合計	IV	M	不明	無回答
介護老人保健施設	超強化型	1,270 100.0%	113 8.9%	5 0.4%	40 3.1%	14 1.1%
	在宅強化型	485 100.0%	35 7.2%	0 0.0%	2 0.4%	11 2.3%
	加算型	1,514 100.0%	162 10.7%	18 1.2%	5 0.3%	6 0.4%
	基本型	884 100.0%	69 7.8%	14 1.6%	65 7.4%	13 1.5%
	その他型	53 100.0%	2 3.8%	2 3.8%	11 20.8%	0 0.0%
介護医療院	I型	1,167 100.0%	533 45.7%	89 7.6%	10 0.9%	6 0.5%
	II型	414 100.0%	122 29.5%	18 4.3%	0 0.0%	27 6.5%

(4) 補足給付の段階

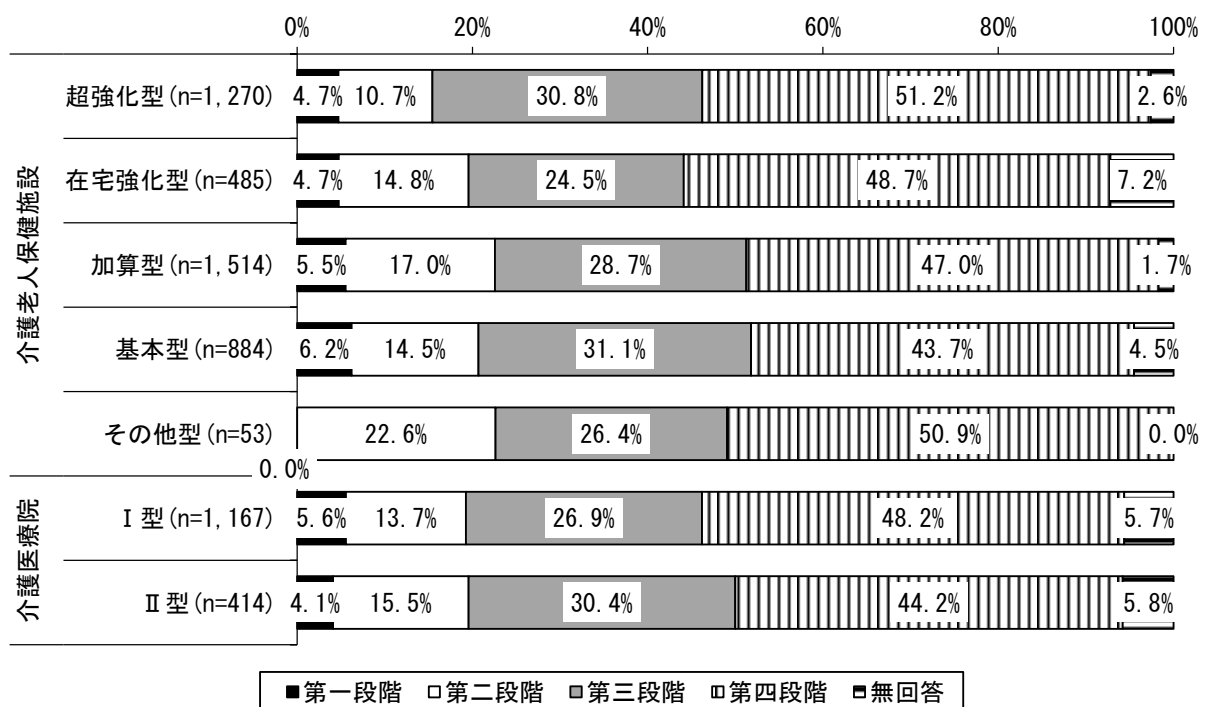
補足給付の段階は、介護老人保健施設は「第四段階」が47.8%、「第三段階」が29.3%であった。

介護医療院は、「第四段階」が47.1%、「第三段階」が27.8%であった。

図表 2-4-7 補足給付の段階 (4)



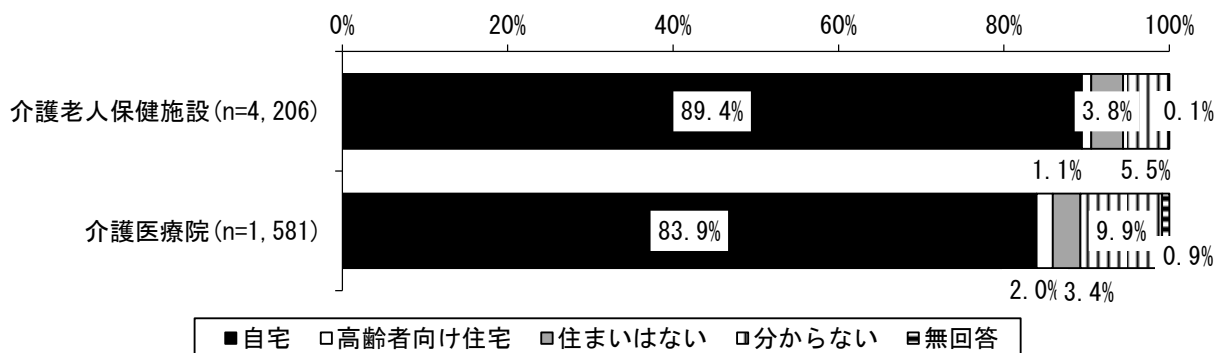
図表 2-4-8 補足給付の段階 (施設類型別) (4)



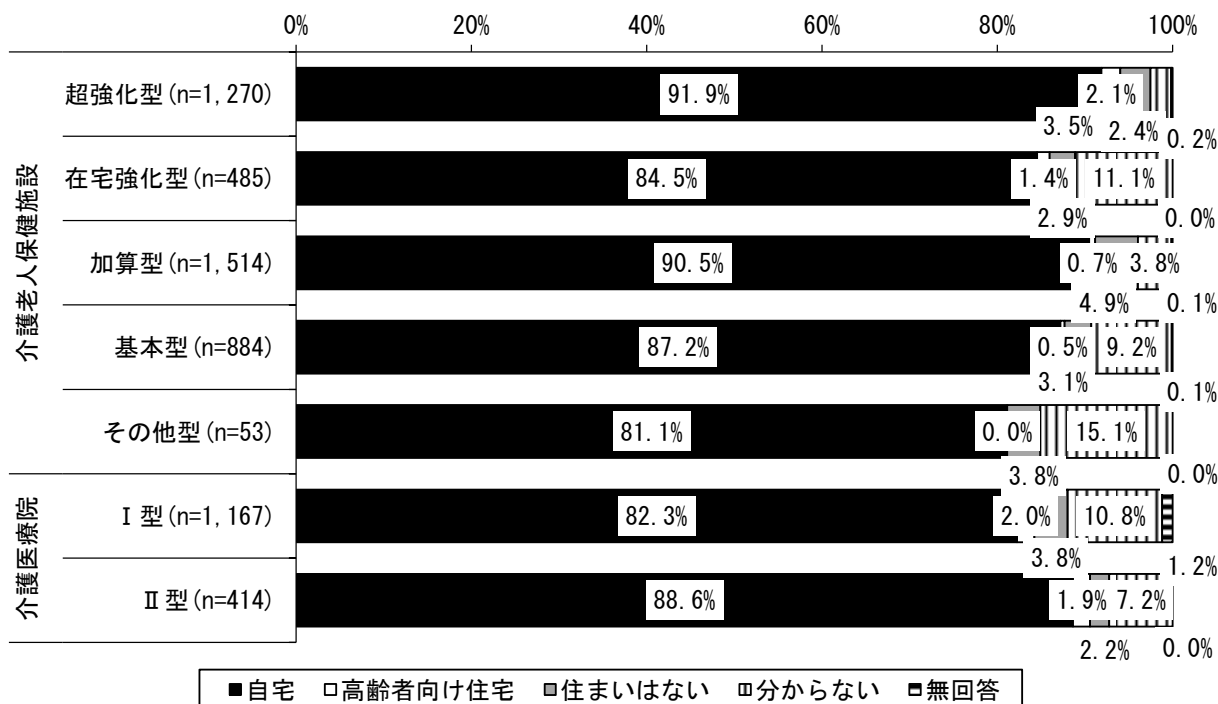
(5) 利用者の住まいの状況

利用者の住まいの状況は、介護老人保健施設は「自宅」が 89.4%、介護医療院は 83.9%であった。

図表 2-4-9 利用者の住まいの状況 (5)



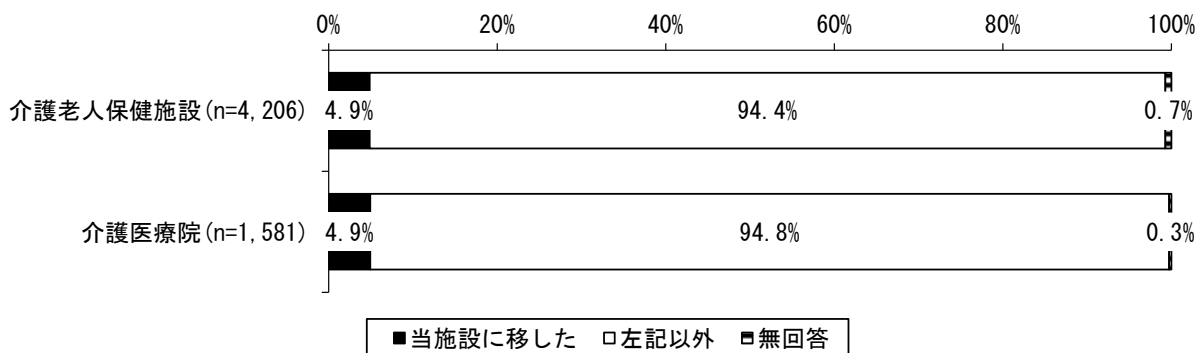
図表 2-4-10 利用者の住まいの状況 (施設類型別) (5)



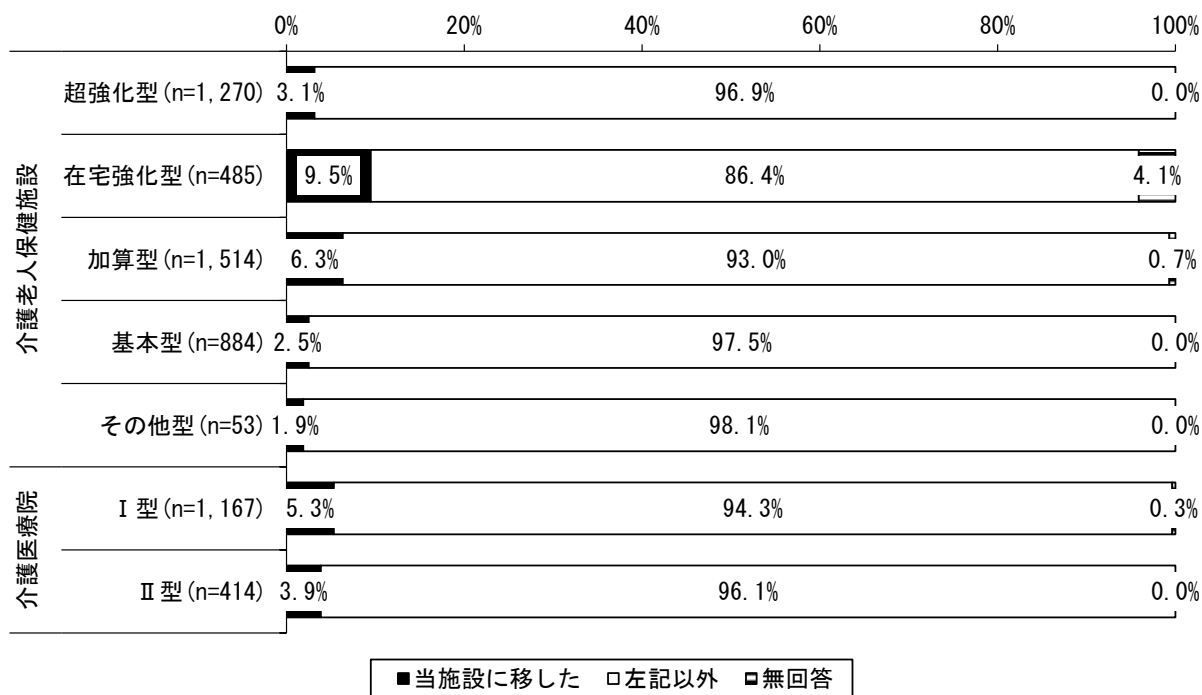
(6) 住民票

住民票は、介護老人保健施設、介護医療院ともに、「当施設に移した」が4.9%であった。

図表 2-4-11 住民票 (6))



図表 2-4-12 住民票 (施設類型別) (6))

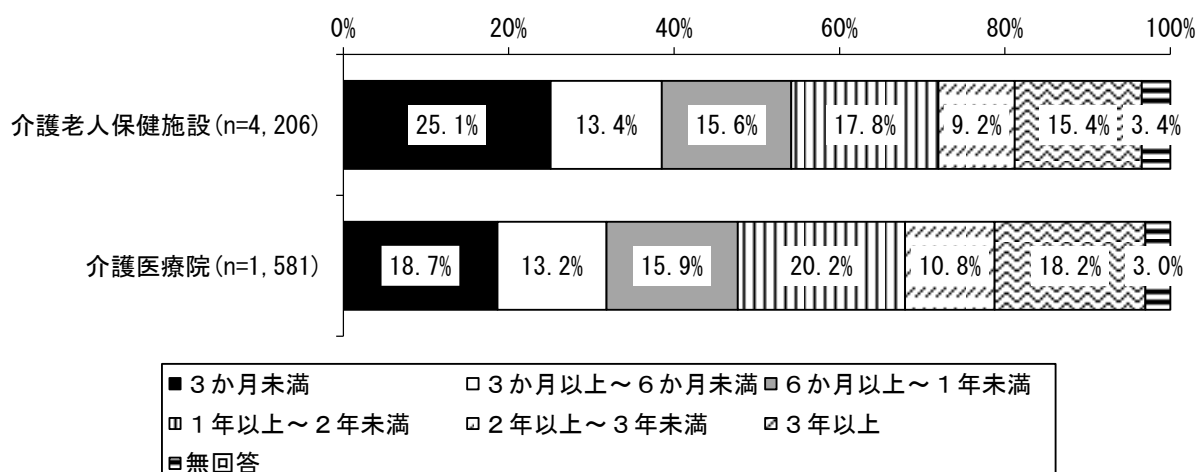


2. 施設の利用状況

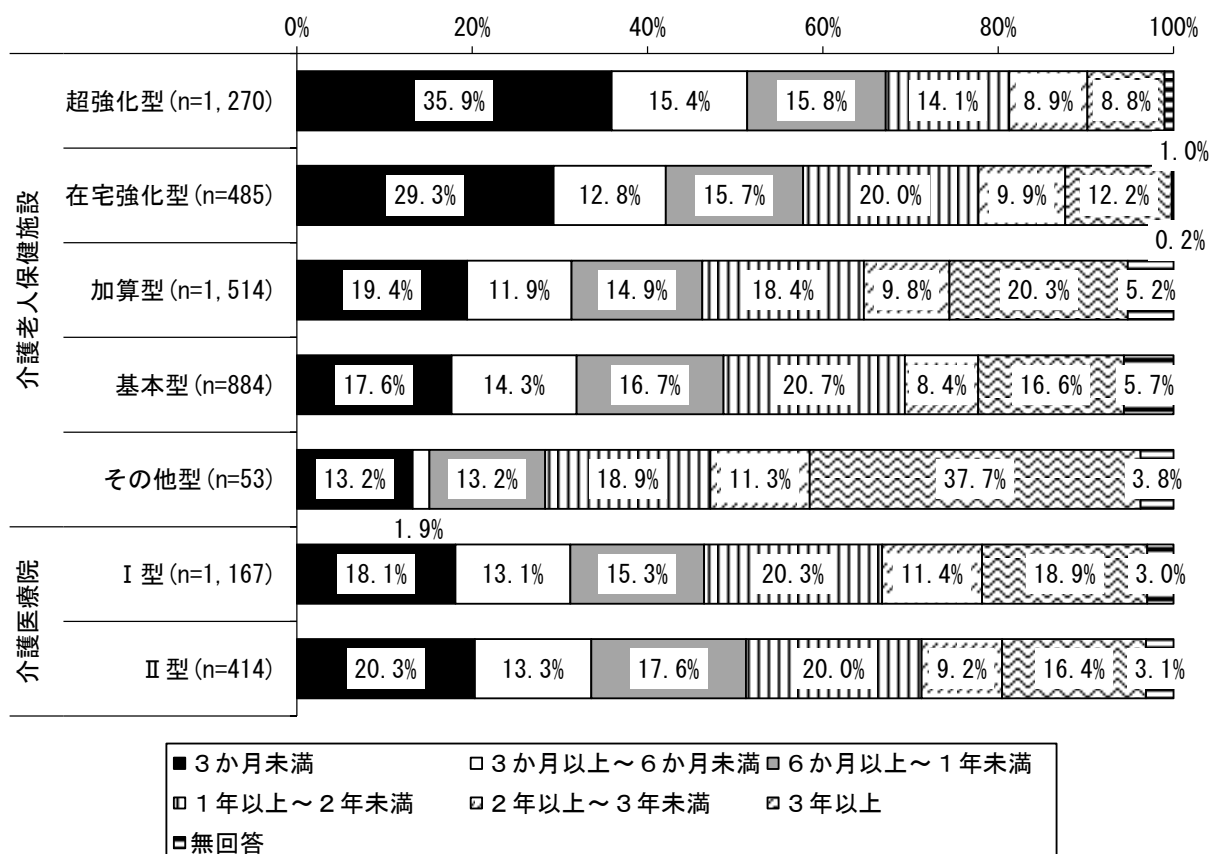
(1) 在所期間

在所期間は、介護老人保健施設は、「3か月未満」が25.1%、「1年以上～2年未満」が17.8%、「3年以上」が15.4%、介護医療院では、「1年以上～2年未満」が20.2%、「3か月未満」が18.7%、「3年以上」が18.2%であった。

図表 2-4-13 在所期間（7）



図表 2-4-14 在所期間（施設類型別）（7）

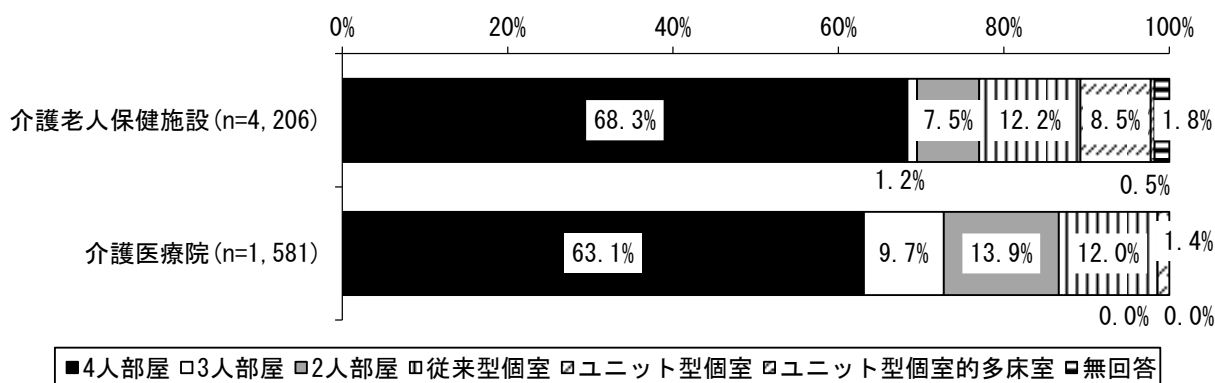


(2) 利用している居室

利用している居室は、介護老人保健施設は「4人部屋」が68.3%、「従来型個室」が12.2%であった。

介護医療院は、「4人部屋」が63.1%、「2人部屋」が13.9%、「従来型個室」が12.0%であった。

図表 2-4-15 利用している居室 (8)



図表 2-4-16 利用している居室 (施設類型別) (8)

